

奈良市子どもの生活に関するアンケート結果

平成29年3月
奈良市

目次

1 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査方法	1
3 アンケート結果の見方	1
2 子ども編	4
問3 一緒に住んでいる人	4
問4 身長・体重	5
問5 起床時間	7
問6 帰宅時間	8
問7 就寝時間	10
問8 朝食を食べる頻度	11
問8-1 食べない理由	13
問9 晩御飯を食べる頻度	14
問9-1 食べない理由	14
問10 家でひとりでごはんを食べる頻度	15
問10-1 特によく食べているもの	16
問11 お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入る頻度	17
問12 学校に遅刻する頻度	18
問13 毎日の生活で楽しい時	19
問14 ふだんの放課後、一緒に過ごす人	22
問15 ふだんの放課後、過ごす場所	24
問16 ふだんの勉強時間(授業時間を除く)	28
問16-1 家で勉強する場所	31
問17 毎月のおこづかいの額	32
問17-1 おこづかいの使い道	34
問18 1日の読書時間(授業時間を除く)	36
問19 学校の授業の理解度	37
問20 いやなことや悩んでいること	40
問21 相談相手	43
問22 家族のことなどで困っていること	46
問23 学校のことについて望んでいること	50
問24 将来の進学希望	52
問25 自分自身について思うこと	56
問26 自由意見	77
3 保護者編	79
問1 子どもから見たあなたの関係	79
問2 世帯の人数・同居家族	79
問3 すべての子どもの年齢・性別・同居別居・就学状況	80
問4 世帯状況	81
問5 住まいの小学校区	82
問6 住まいの種類	83
問7 住まいの近くで子どもを預かってもらえる親族等の有無	86
問7-1 子どもを預かってもらえる親族等	87
問8 現在の就業状況	88
問8-1 仕事をしていない理由	89
問9 家にいるとき、主に子どもと過ごす時間が長い人	90
問10 家庭での子どもとの関わり	92
問11 子どもの虫歯の有無	105
問11-1 治療していない理由	107

問 12	経済的な理由で、おおむね1年の間に経験したこと	108
問 13	子どもが頼りにしていると思われる大人	112
問 14	希望する子どもの進学	117
問 14-1	希望する子どもの進学の実現	120
問 14-2	その理由	121
問 15	年齢	121
問 16	子育てをしていて特に大変だと感じること	122
問 17	子どもに関する悩み	126
問 18	生活に関する悩み	130
問 19	悩みの相談相手	135
問 19-1	その理由	137
問 20	現在の生活意識	138
問 21	家族との関わり	167
問 22	世帯の可処分所得	174
問 23	現在の世帯収入	176
問 24	家計において負担を感じる経費	181
問 25	半年の間に経済的理由で経験したこと	183
問 26	公的制度の利用状況	185
問 27	奈良市の支援制度を受ける上で困ること	195
問 28	子どもに対して必要だと思う支援、重要だと思う支援	197
問 29	現在必要としている支援、重要だと思う支援	201
問 30	自由意見	206

1 調査概要

1. 調査の目的

奈良市の子どもが今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるよう、学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望、子育て世帯の生活環境・経済状況を把握し、今後の本市の貧困対策の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査方法

【子ども・保護者アンケート】

- (1) 調査地域 奈良市全域
- (2) 調査対象者 市内小学5年生の児童とその保護者
市内中学2年生の生徒とその保護者
- (3) 抽出方法 奈良市内小学5年生・中学2年生それぞれ学級単位の
無作為抽出
- (4) 調査方法 学校配布郵送回収
- (5) 調査期間 平成28年11月25日～12月6日
- (6) 回収結果

		調査対象数	回答数	回収率
子ども	小学5年生	1,028	567	55.2%
	中学2年生	976	405	41.5%
	不明		31	—
	計	2,004	1,003	50.0%
保護者	小学5年生	1,028	567	55.2%
	中学2年生	976	404	41.4%
	不明		54	—
	計	2,004	1,025	51.1%

3. アンケート結果の見方

- (1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数(n)として算出した。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 本書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

(4) 可処分所得別集計は、可処分所得が「わからない」「無回答」である層を除いて集計した結果、200万円未満は11.9%、300万円未満は20.9%となった。本書では、可処分所得別集計については、200万円未満を一つの区切りとし、200～400万円、400～600万円、600万円以上で分析を行った。

(5) (非) 相対的貧困層集計は、本調査では「親と子の生活意識に関する調査（内閣府 平成23年度）」における分析方法を参考に、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（貧困線）に満たない世帯を、相対的貧困層と想定した。しかし、本調査では世帯人数と可処分所得の回答のみで相対的貧困層と非相対的貧困層を区分しており、相対的貧困層に該当した世帯すべてが実際の生活に困難を抱えているものではない。

（内閣府調査では、世帯人数と世帯収入（税込）との関係で分類しており、本調査とは世帯収入の選択肢区分が異なる）

表：本調査における相対的貧困層の考え方

		可処分所得												
		100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1000万円未満	1000万円以上	わからない	無回答
世帯人数	2人	相対的 貧困層												
	3人													
	4人													
	5人													
	6人													
	7人													
	8人以上													
	無回答													

(6) 自己肯定感集計は、本調査では子ども問 25 の設問を得点化して、その合計により算出した。

- ・自己肯定感 高 →19～24 点
- ・自己肯定感 中 →12～18 点
- ・自己肯定感 低 →6～11 点

表：子ども問 26 の得点化

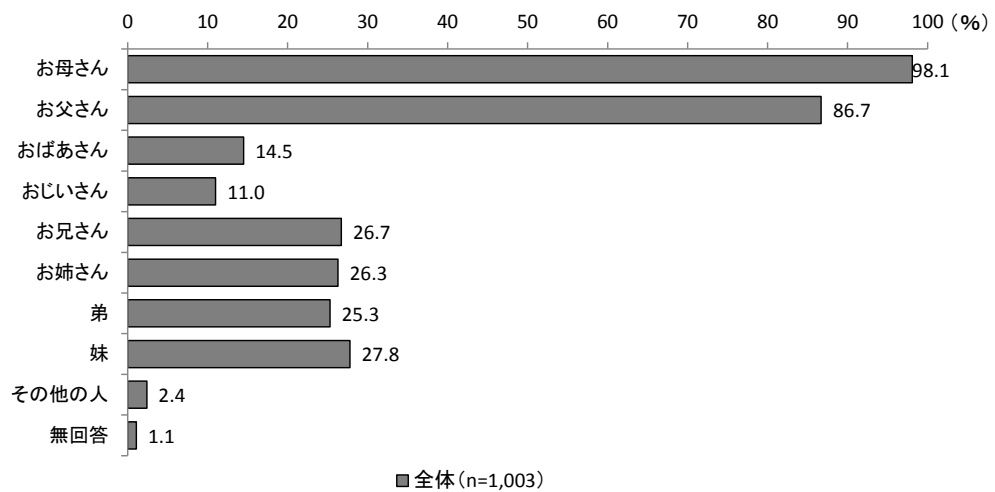
得点表	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない
頑張れば、成果が出せる	4	3	2	1
自分は価値のある人間だと思う	4	3	2	1
自分には良いところがある	4	3	2	1
不安に感じることはない	4	3	2	1
孤独を感じることはない	4	3	2	1
自分の将来が楽しみだ	4	3	2	1

2 子ども編

問3 あなたと今一緒に住んでいる人を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

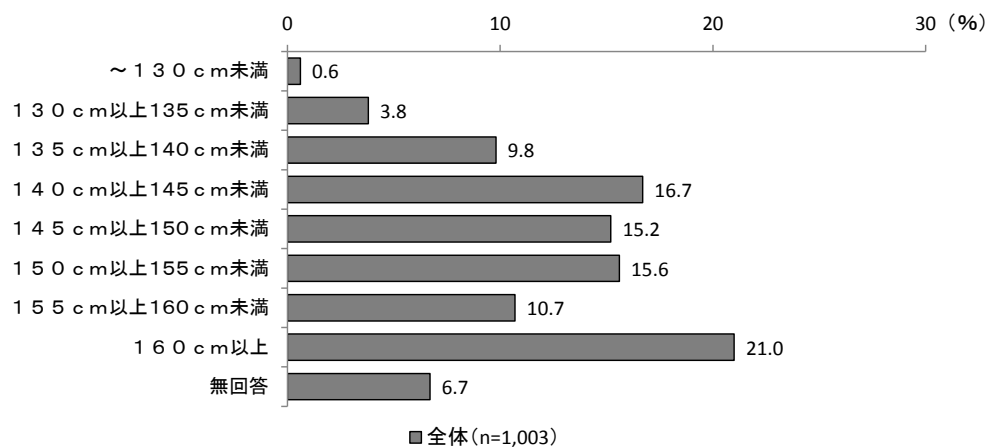
「お母さん」と回答した割合が 98.1%と最も高く、次いで「お父さん」が 86.7%となっている。



問4 あなたの今の身長・体重を（ ）内に記入してください。

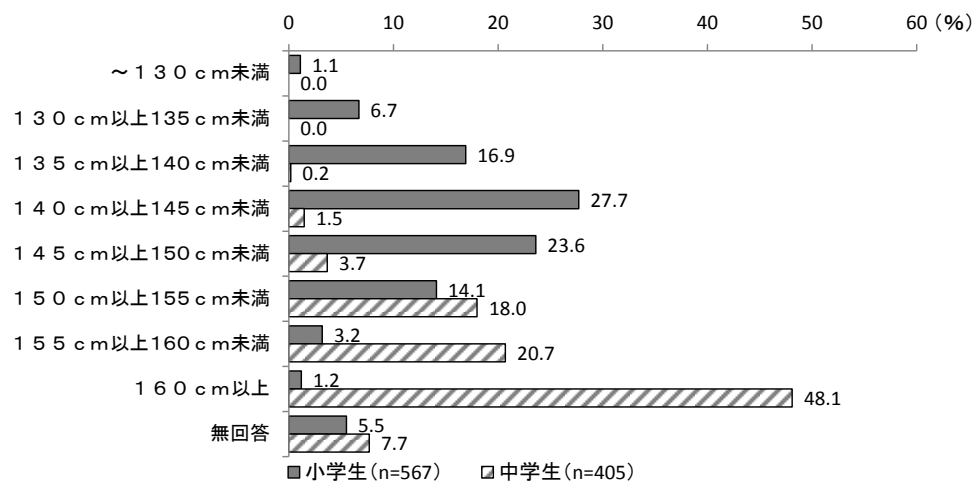
【身長】

「160cm以上」と回答した割合が21.0%と最も高く、次いで「140cm以上 145cm未満」が16.7%となっている。



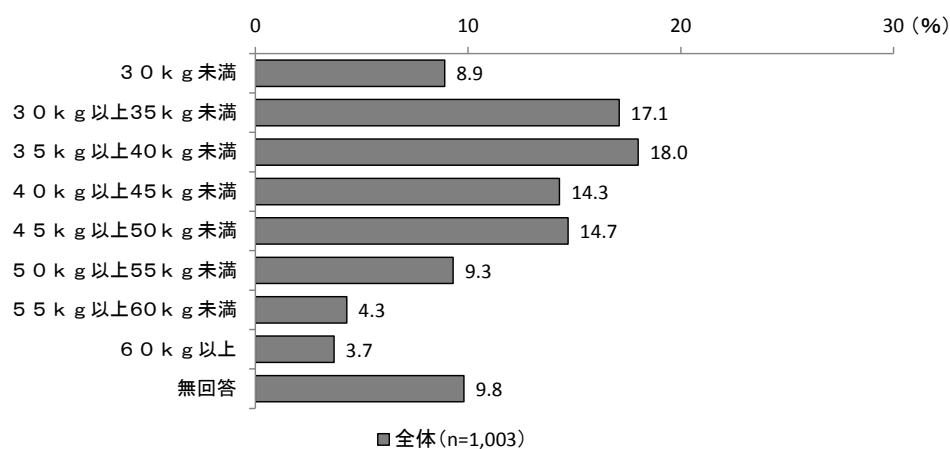
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「135cm以上 140cm未満」「140cm以上 145cm未満」「145cm以上 150cm未満」と回答した割合が高く、「155cm以上 160cm未満」「160cm以上」と回答した割合が低い。



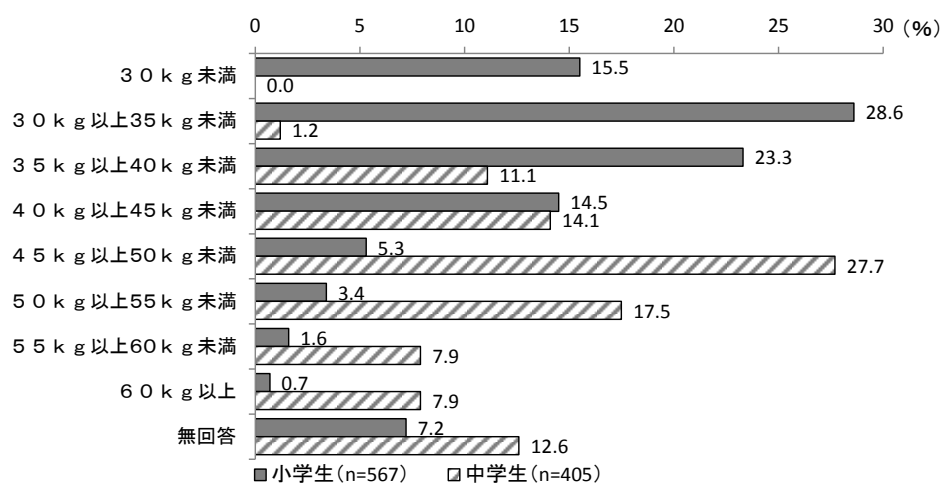
【体重】

「35kg以上 40kg未満」と回答した割合が 18.0%と最も高く、次いで「30kg以上 35kg未満」が 17.1%となっている。



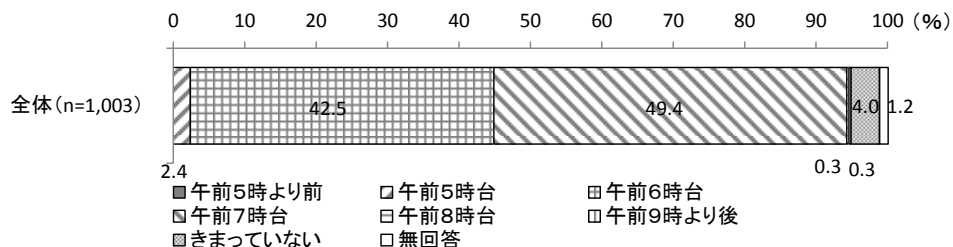
■ 学校種別

小学生では中学生と比べて、「30kg未満」「30kg以上 35kg未満」「35kg以上 40kg未満」と回答した割合が高く、「45kg以上 50kg未満」「50kg以上 55kg未満」と回答した割合が低い。



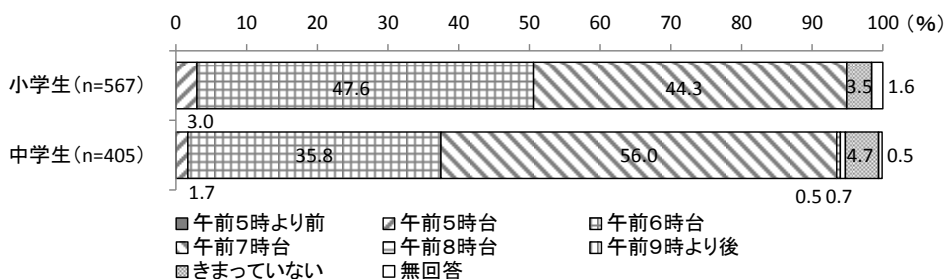
問5 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に起きていますか。
（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「午前7時台」と回答した割合が49.4%と最も高く、次いで「午前6時台」が42.5%となっている。



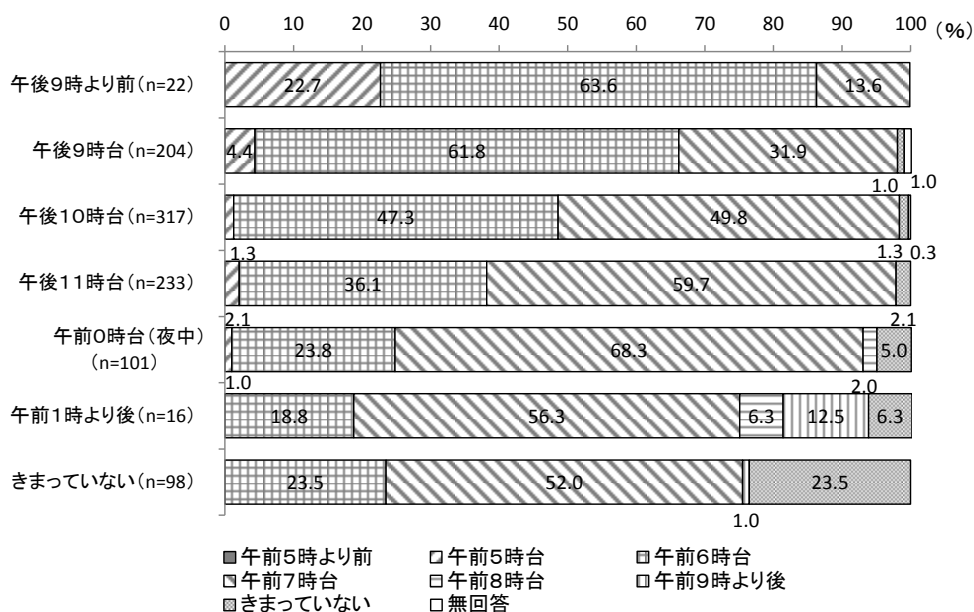
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「午前6時台」と回答した割合が高く、「午前7時台」と回答した割合が低い。



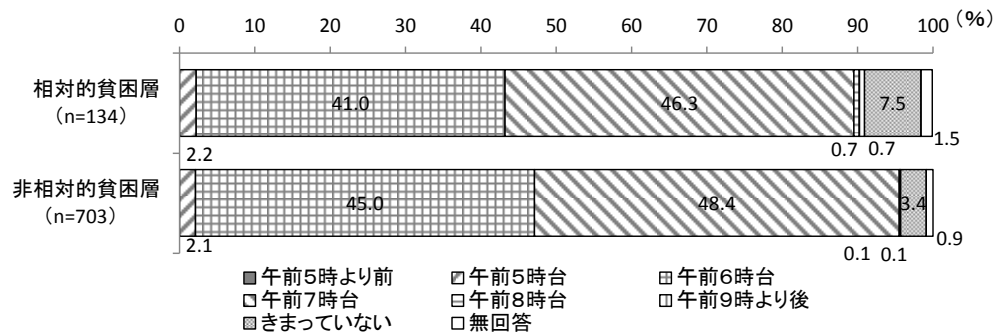
■就寝時間別

就寝時間が遅いほど、起床時間が早い。



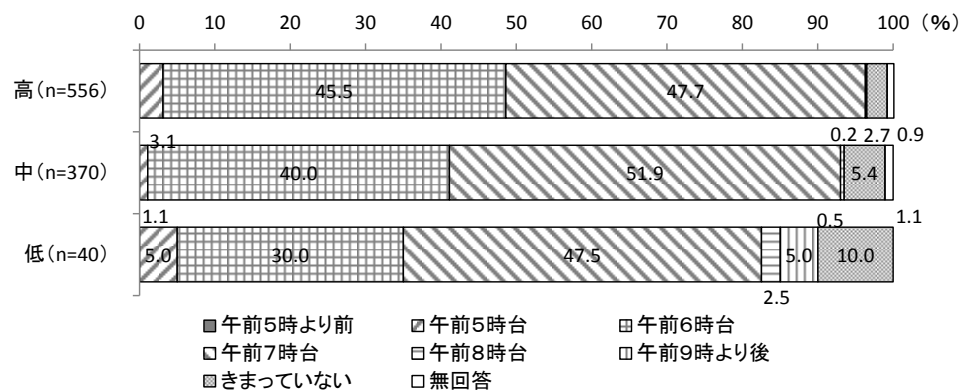
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



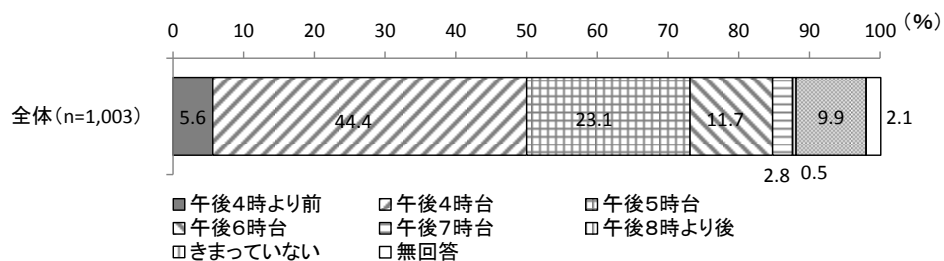
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「午前6時台」と回答した割合が高い。



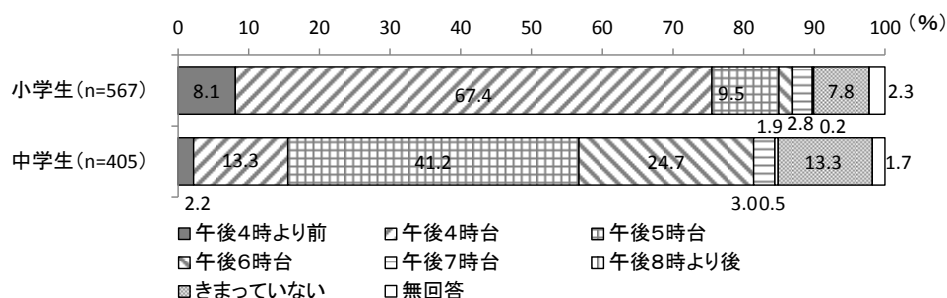
問6 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に家に帰りますか。 （あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「午後4時台」と回答した割合が44.4%と最も高く、次いで「午後5時台」が23.1%となっている。



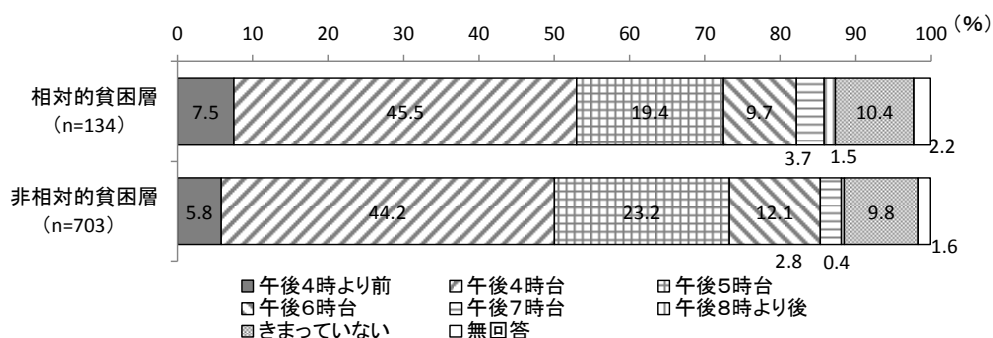
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「午後4時台」と回答した割合が高く、「午後5時台」「午後6時台」と回答した割合が低い。



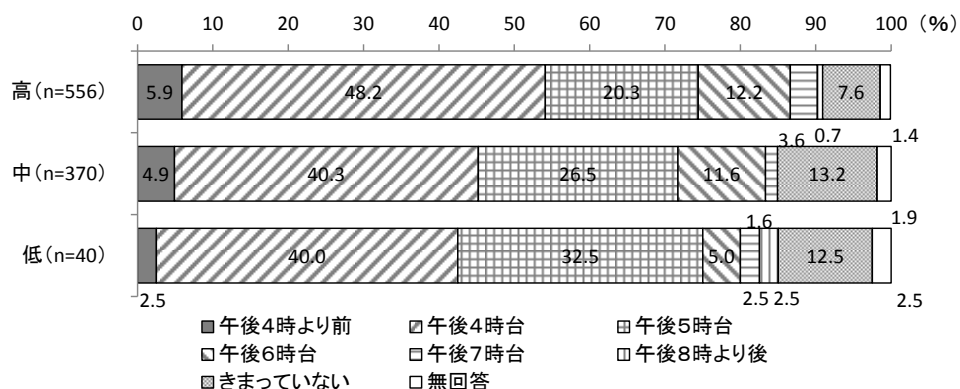
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「午後4時台」と回答した割合が高く、「午後5時台」と回答した割合が低い。



■放課後の過ごし方別（子ども問 15）

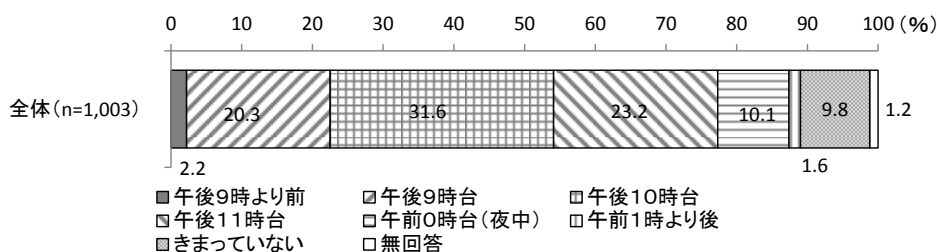
おばあさん・おじいさんの家・ともだちの家・公園・広場では「午後 4 時台」、学校（クラブ活動など）では「午後 5 時台」と回答した割合が高い。

	午後 4 時より前	午後 4 時台	午後 5 時台	午後 6 時台	午後 7 時台	午後 8 時より後	きまっていない	無回答
自分の家 (n=829)	6.3	49.0	20.3	10.3	2.8	0.5	9.5	1.4
おばあさん・おじいさんの家 (n=64)	4.7	54.7	14.1	4.7	3.1	—	17.2	1.6
ともだちの家 (n=226)	7.1	62.8	12.4	4.4	2.2	0.4	8.4	2.2
塾・習い事 (n=475)	5.9	49.5	18.1	11.2	4.0	—	8.8	2.5
学校（クラブ活動など） (n=349)	2.6	14.0	40.4	22.9	3.4	0.3	14.0	2.3
バンビーホーム（放課後児童クラブ） (n=29)	—	24.1	51.7	10.3	6.9	—	6.9	—
公園・広場 (n=166)	6.0	63.3	15.7	3.6	3.0	0.6	6.0	1.8
ショッピングモール・コンビニ (n=16)	—	43.8	18.8	31.3	—	—	6.3	—
ゲームセンター (n=9)	—	33.3	22.2	11.1	—	—	22.2	11.1
図書館や公民館などの公共の施設 (n=15)	—	53.3	26.7	6.7	6.7	—	—	6.7
児童館などの子どもの施設 (n=10)	—	30.0	30.0	—	20.0	—	20.0	—
その他 (n=9)	—	66.7	—	22.2	—	—	11.1	—

問 7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。

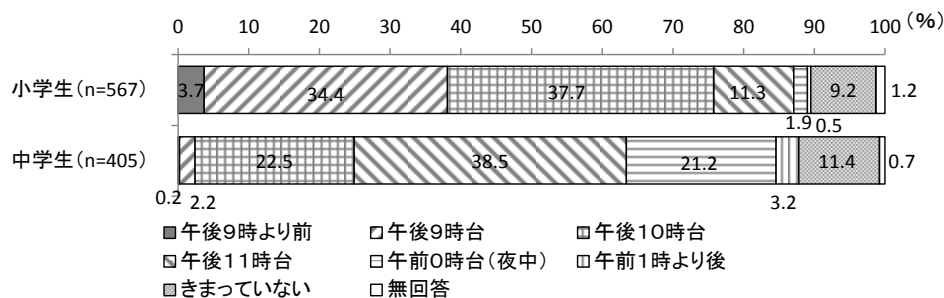
（あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください）

「午後 10 時台」と回答した割合が 31.6%と最も高く、次いで「午後 11 時台」が 23.2%となっている。



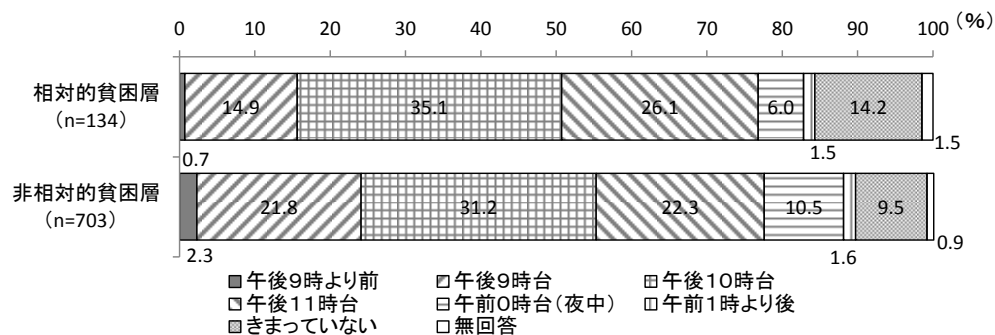
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「午後 9 時台」「午後 10 時台」と回答した割合が高く、「午後 11 時台」「午前 0 時台 (夜中)」と回答した割合が低い。



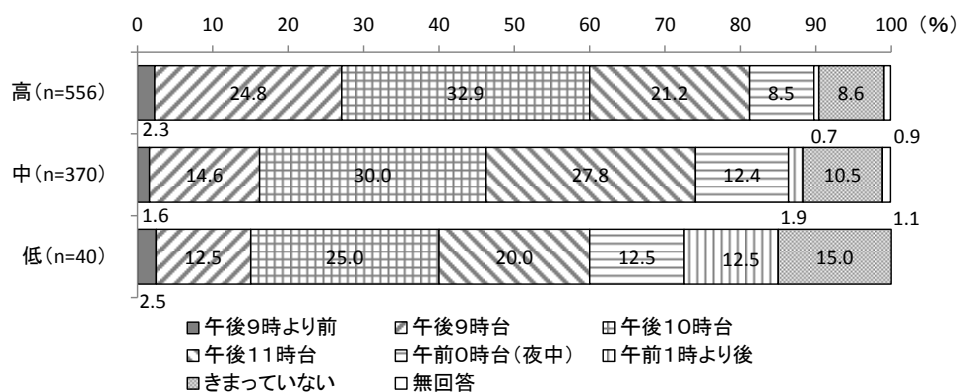
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて「午後9時台」と回答した割合が低い。



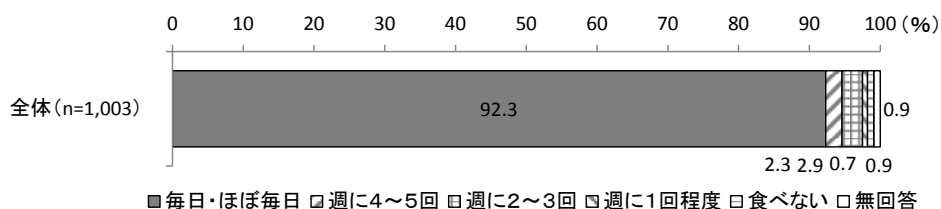
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「午後9時台」と回答した割合が高い。



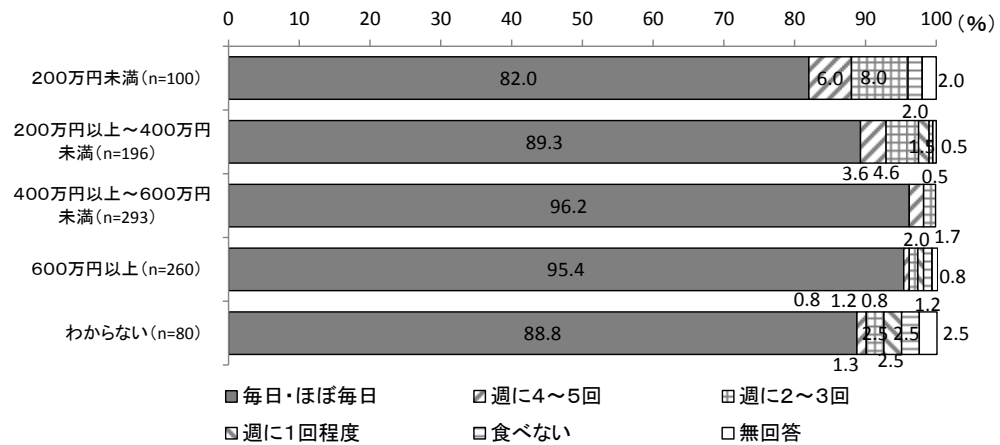
問8 あなたは朝ごはんをいつも食べていますか。 (あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が 92.3%と最も高く、次いで「週に2～3回」が 2.9%となっている。



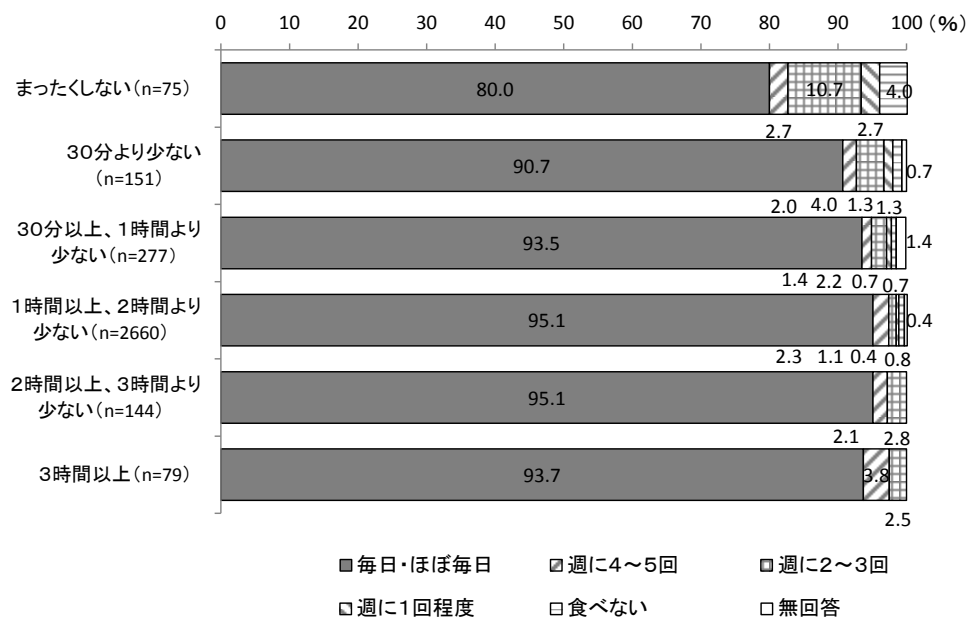
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



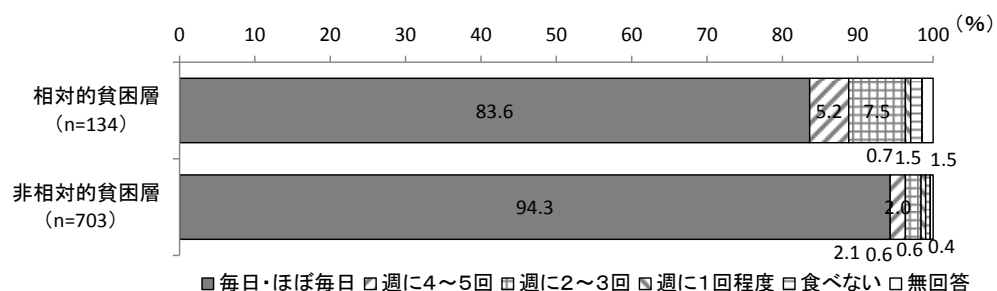
■学習時間別

まったくしないでは他の学習時間区分と比べて、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



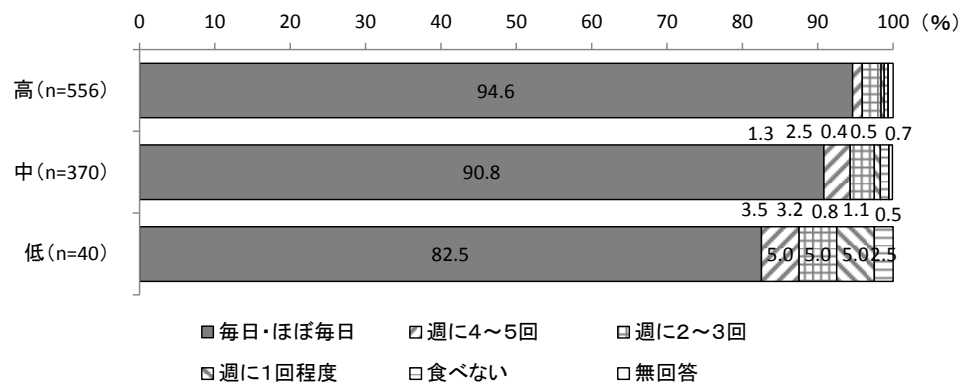
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 4. 69 であるのに対し、600 万円以上では 4. 90 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	毎日・ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	食べない	無回答	得点
全体	1003	926	23	29	7	9	9	4.86
	100	92.3	2.3	2.9	0.7	0.9	0.9	
200万円未満	100	82	6	8		2	2	4.69
	100	82	6	8		2	2	
200万円以上～400万円未満	196	175	7	9	3	1	1	4.81
	100	89.3	3.6	4.6	1.5	0.5	0.5	
400万円以上～600万円未満	293	282	6	5				4.95
	100	96.2	2	1.7				
600万円以上	260	248	2	3	2	3	2	4.90
	100	95.4	0.8	1.2	0.8	1.2	0.8	
わからない	80	71	1	2	2	2	2	4.76
	100	88.8	1.3	2.5	2.5	2.5	2.5	

※得点は、「毎日・ほぼ毎日」：5点、「週に4～5回」：4点、「週に2～3回」：3点、「週に1回程度」：2点、「食べない」：

1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

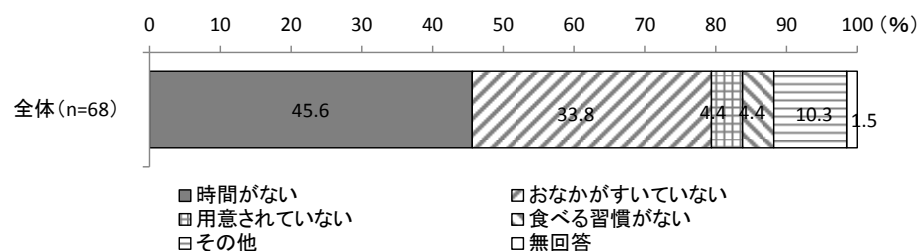
※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

問 8-1 問 8 で「2～5」と答えた方におたずねします。

毎日朝ごはんを食べない理由はなんですか。

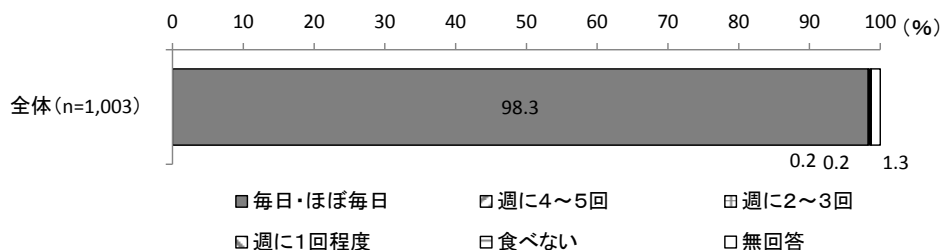
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「時間がない」と回答した割合が 45.6%と最も高く、次いで「おなかですいていない」が 33.8%となっている。



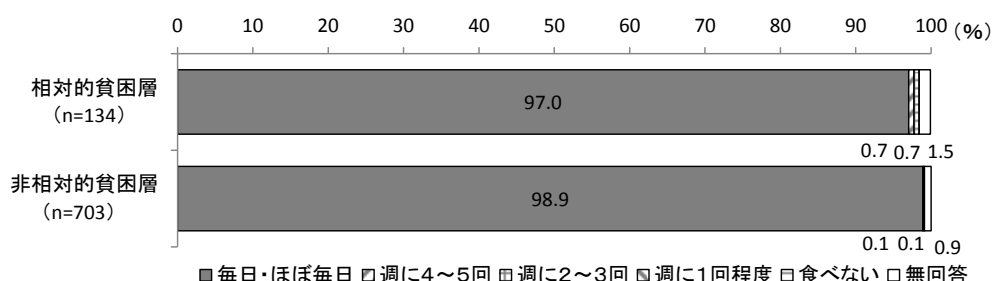
問9 あなたは晩ごはんをいつも食べていますか。
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が 98.3%と最も高く、次いで「週に4～5回」「週に2～3回」がともに 0.2%となっている。



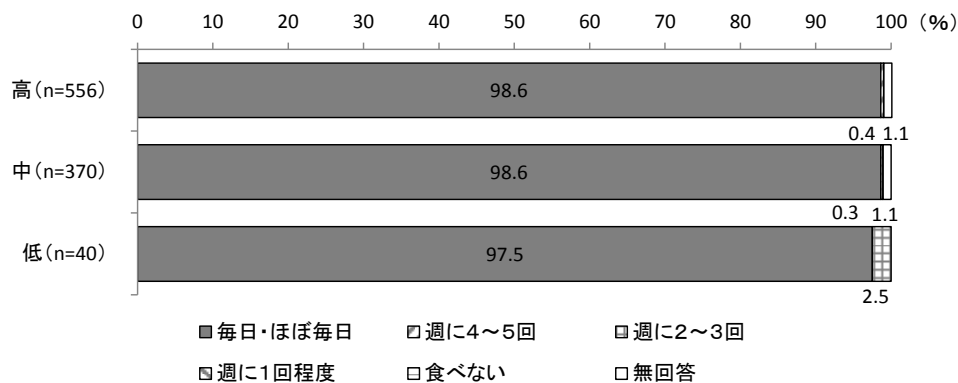
■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



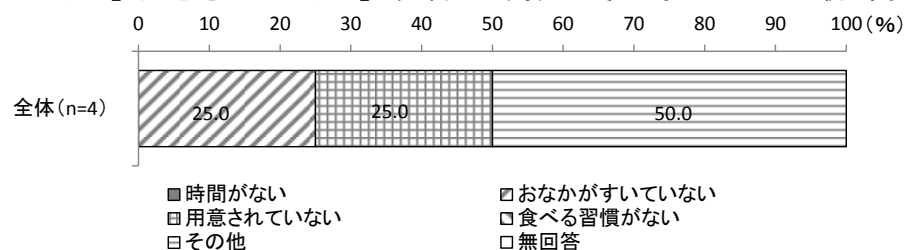
■ 自己肯定感別

自己肯定感別では、あまり違いはみられない。



問9-1 問9で「2～5」と答えた方におたずねします。
毎日晩ごはんを食べない理由はなんですか。
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

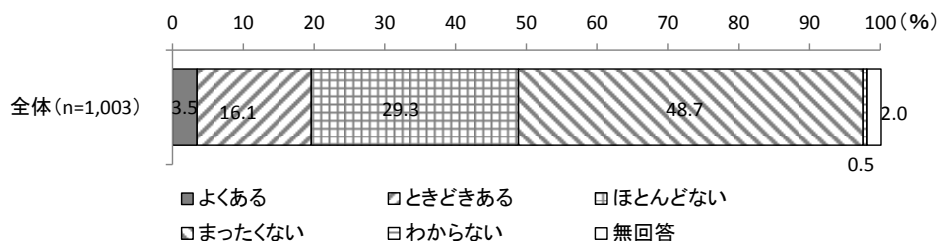
「おなかがすいていない」「用意されていない」と回答した割合がそれぞれ 25.0%と最も高い。



問 10 あなたは、家でひとりでごはんを食べることがありますか。

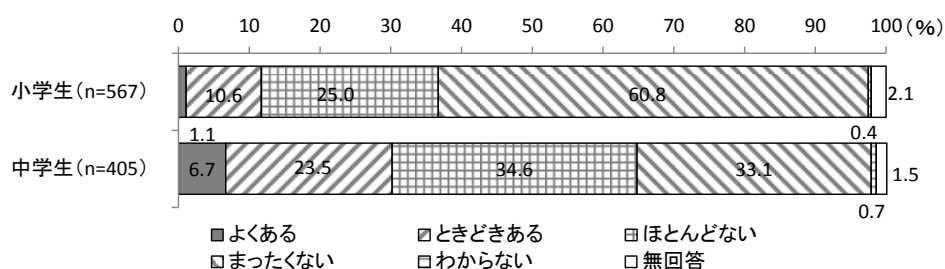
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「まったくない」と回答した割合が 48.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」が 29.3%となっている。



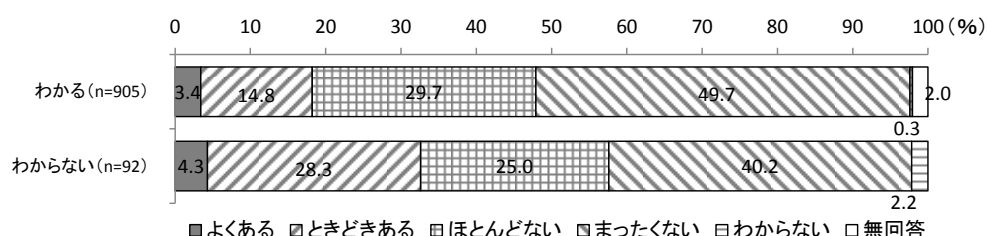
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「まったくない」と回答した割合が高く、「ときどきある」と回答した割合が低い。



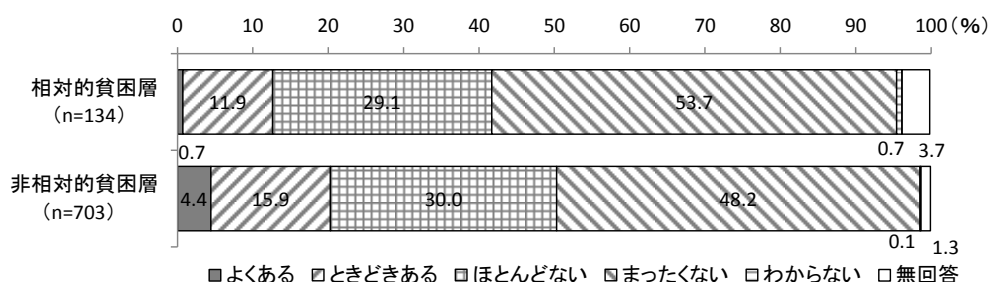
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「ときどきある」と回答した割合が低い。



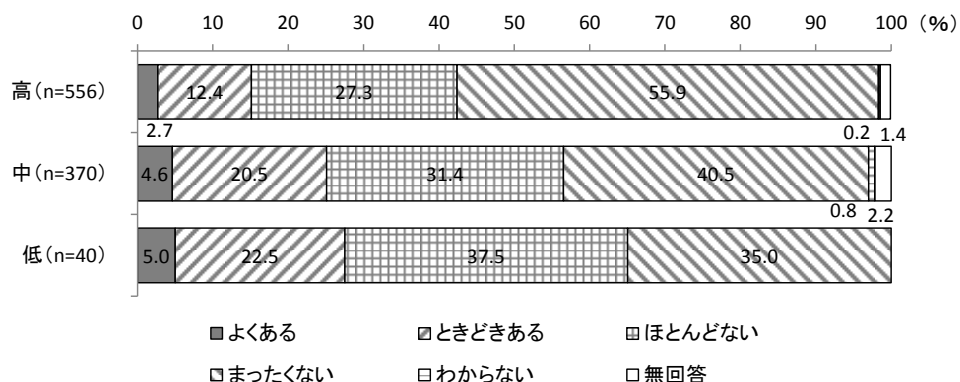
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「まったくない」と回答した割合が高い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「まったくない」と回答した割合が高く、「ときどきある」と回答した割合が低い。



■子どもの悩み別（子ども問 20）

おうちのこと・家族のこと・学校や勉強のこと・クラブ活動のこと・自分のことでは、「よくある」または「ときどきある」と回答した割合が高く、「ほとんどない」または「まったくない」と回答した割合が低い。

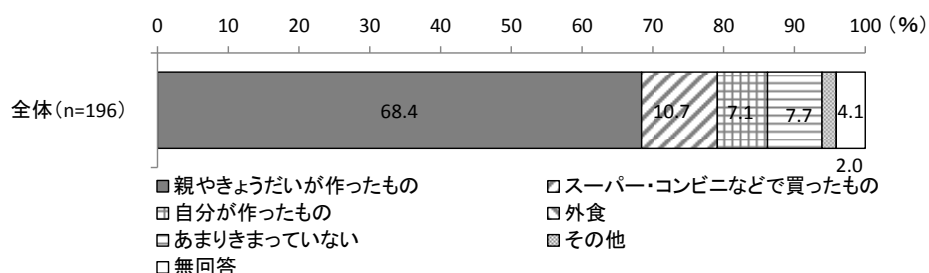
	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	わからない	無回答
おうちのこと・家族のこと (n=68)	10.3	35.3	26.5	26.5	—	1.5
学校や勉強のこと (n=222)	6.3	24.8	34.2	32.0	1.4	1.4
クラブ活動のこと (n=90)	8.9	26.7	31.1	31.1	—	2.2
自分のこと (n=157)	3.2	26.8	28.7	37.6	0.6	3.2
ともだちのこと (n=155)	4.5	21.3	27.7	45.2	—	1.3
好きな人のこと (n=87)	3.4	20.7	31.0	42.5	—	2.3
進学・進路のこと (n=194)	5.7	22.2	35.1	35.1	0.5	1.5
その他のこと (n=30)	6.7	10.0	36.7	46.7	—	—
いやなことや悩んでいることはない (n=488)	1.8	11.7	27.9	56.8	0.4	1.4

問 10-1 問 10 で「1 よくある」「2 ときどきある」と答えた方におたずねします。

ひとりでごはんを食べるとき、なにをよく食べていますか。特によく食べているものを教えてください。

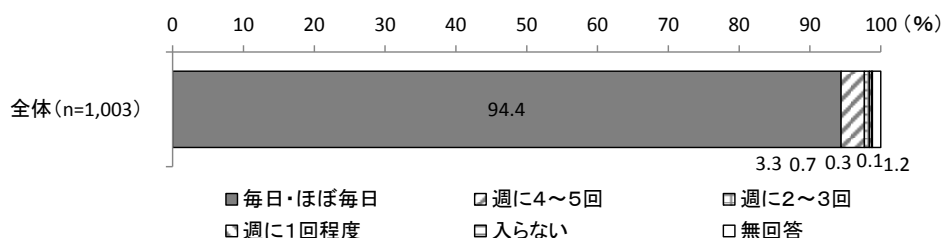
（あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください）

「親やきょうだいが作ったもの」と回答した割合が 68.4%と最も高く、次いで「スーパー・コンビニなどで買ったもの」が 10.7%となっている。



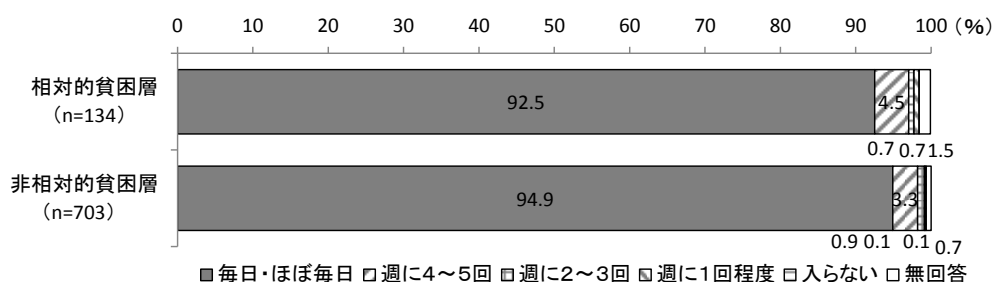
問 11 あなたは、週にどのくらい、お風呂（シャワーのみの場合も含む）に入りますか。（あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください）

「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が 94.4%と最も高く、次いで「週に4～5回」が 3.3%となっている。



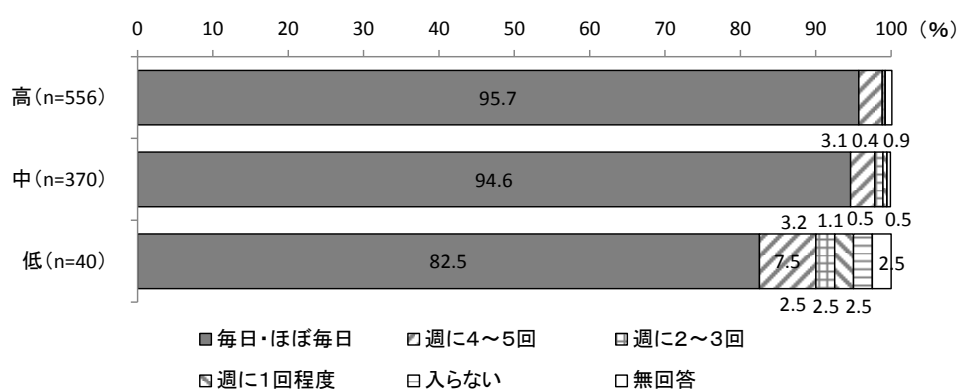
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



■自己肯定感別

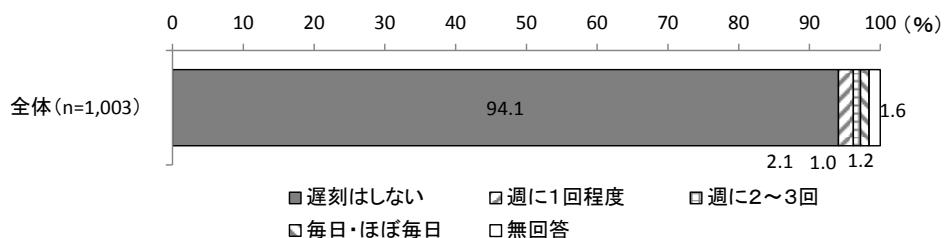
自己肯定感が低では高・中と比べて、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



問 12 あなたは、通っている学校に遅刻することがありますか。

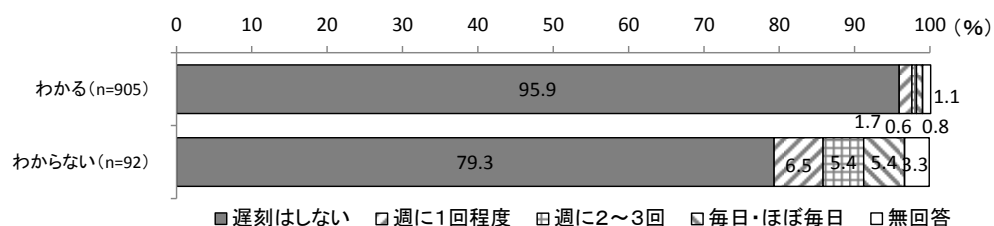
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「遅刻はしない」と回答した割合が 94.1%と最も高く、次いで「週に1回程度」が 2.1%となっている。



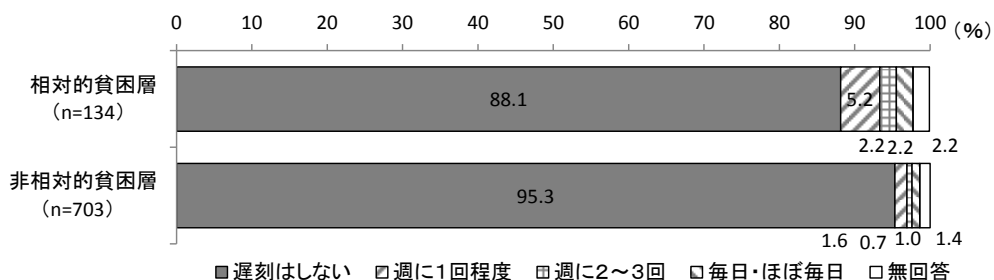
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「遅刻はしない」と回答した割合が高い。



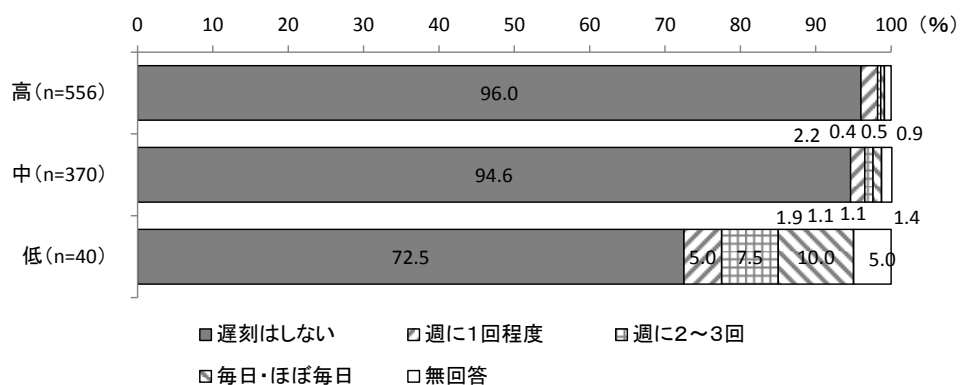
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「遅刻はしない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「遅刻はしない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

頑張れば、成果が出せる(あてはまらない)では「遅刻はしない」と回答した割合が低い。

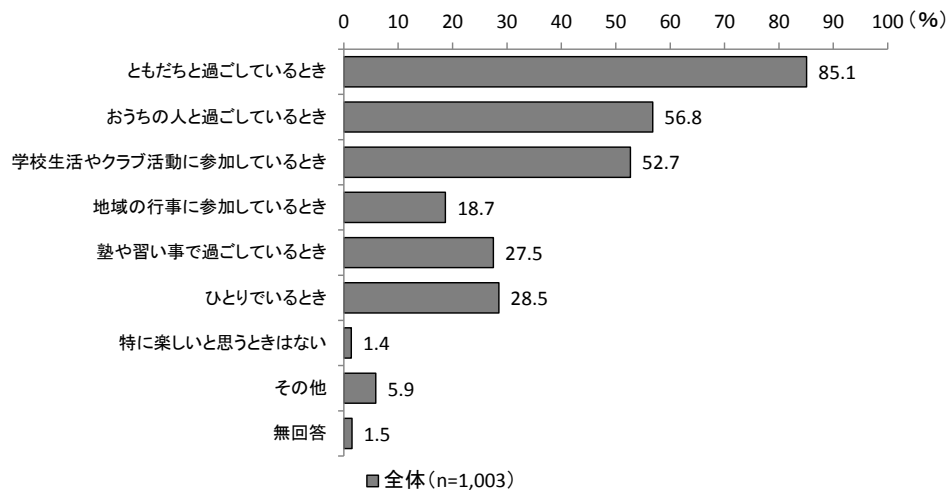
		遅刻はしない	週に1回程度	週に2～3回	毎日・ほぼ毎日	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=905)	95.6	2.0	0.7	0.9	0.9
	あてはまらない(n=82)	80.5	3.7	4.9	4.9	6.1
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=714)	95.7	2.2	0.6	0.7	0.8
	あてはまらない(n=266)	91.0	1.9	2.3	2.6	2.3
自分には良いところがある	あてはまる(n=823)	95.4	2.2	0.7	0.7	1.0
	あてはまらない(n=158)	89.2	1.9	1.9	3.8	3.2
不安に感じるところはない	あてはまる(n=613)	95.3	2.3	1.0	0.7	0.8
	あてはまらない(n=368)	92.9	1.9	1.1	1.9	2.2
孤独を感じることはない	あてはまる(n=744)	95.7	2.2	0.7	0.5	0.9
	あてはまらない(n=238)	89.9	2.1	2.1	3.4	2.5
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=804)	95.4	2.1	0.7	0.6	1.1
	あてはまらない(n=183)	89.6	2.2	2.2	3.8	2.2

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

問 13 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。

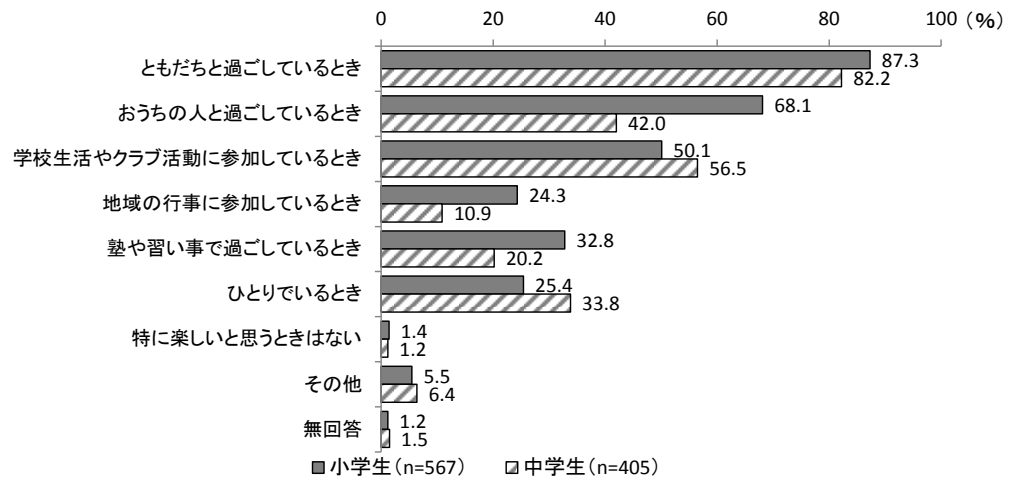
（あてはまる番号すべてに○を付けてください）

「ともだちと過ごしているとき」と回答した割合が 85.1%と最も高く、次いで「おうちの人と過ごしているとき」が 56.8%となっている。



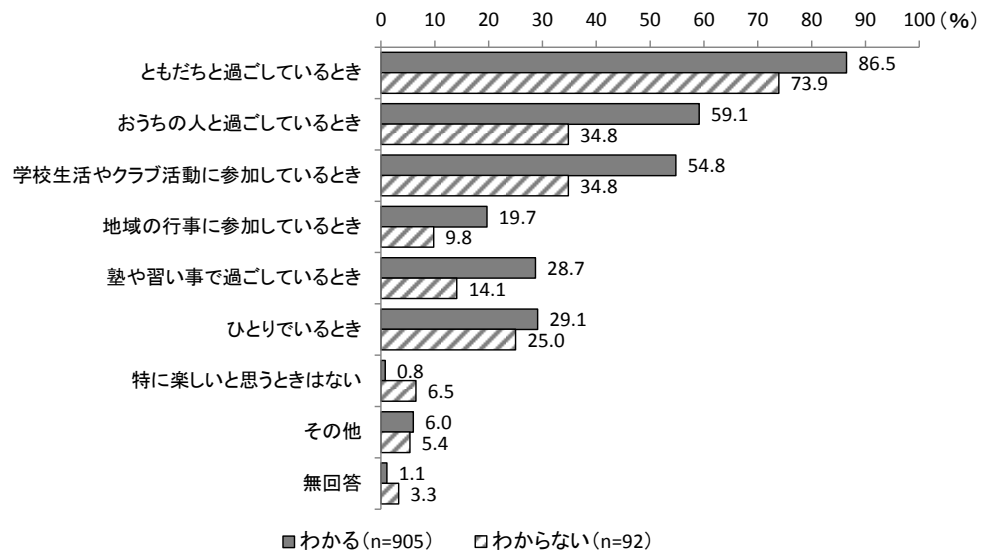
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「おうちの人と過ごしているとき」「地域の行事に参加しているとき」「塾や習い事で過ごしているとき」と回答した割合が高い。



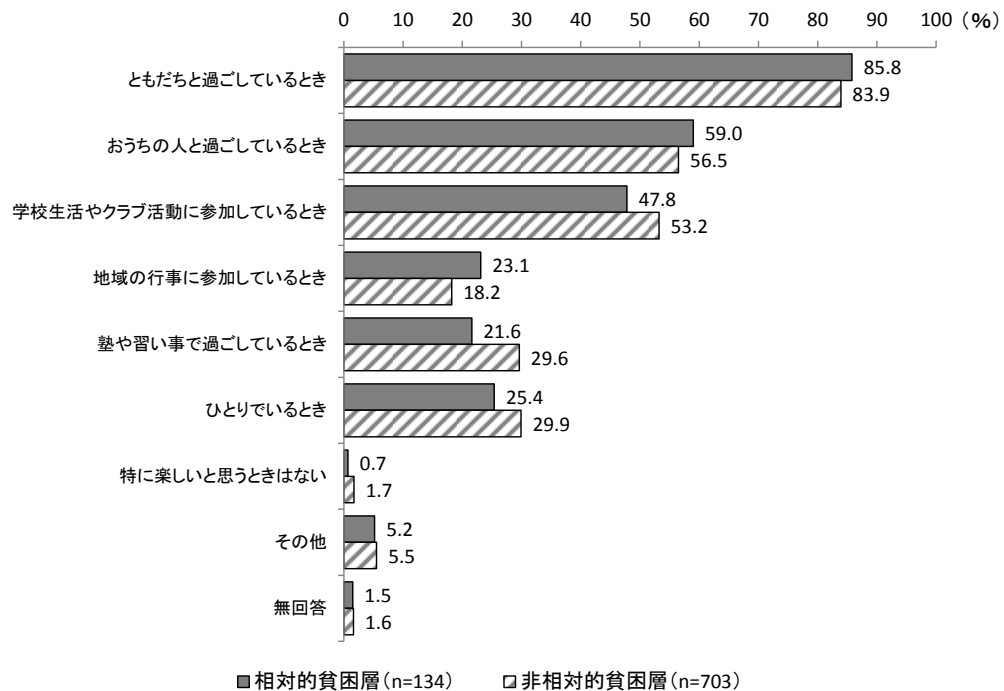
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「ともだちと過ごしているとき」「おうちの人と過ごしているとき」「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」「塾や習い事で過ごしているとき」と回答した割合が高い。



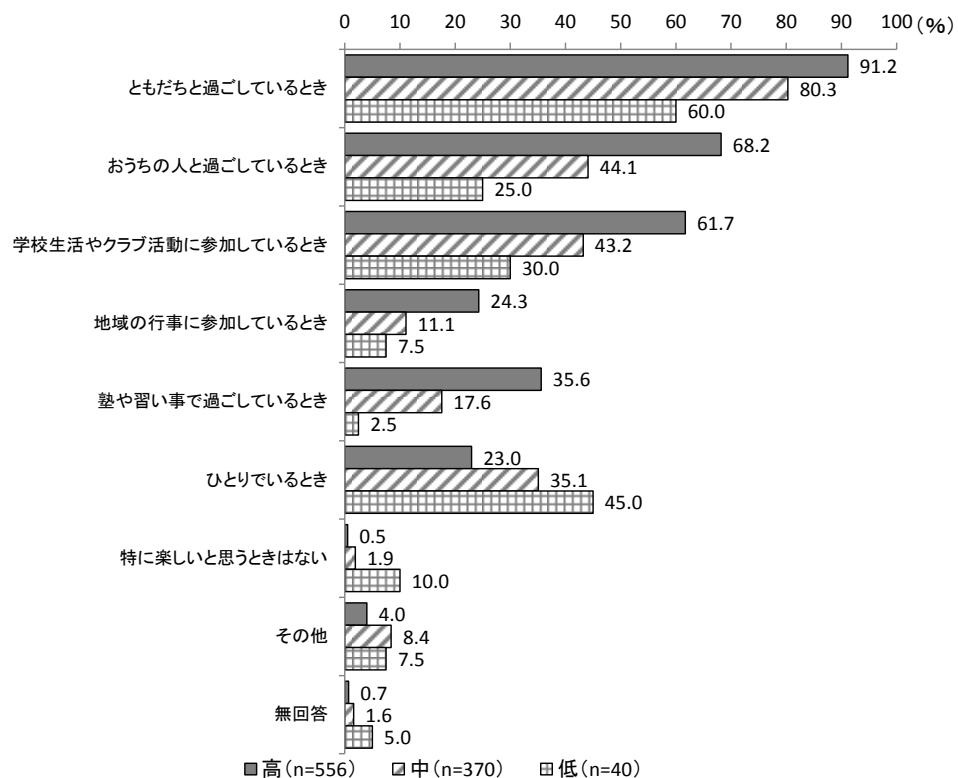
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」「塾や習い事で過ごしているとき」と回答した割合が低い。



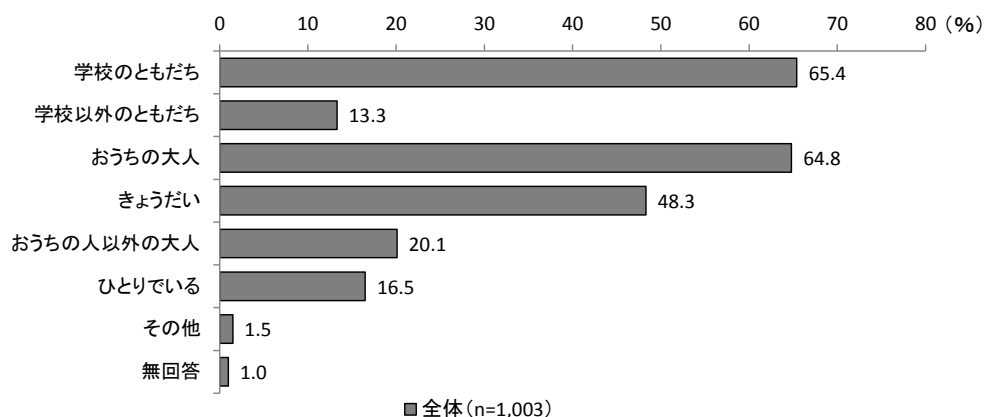
■ 自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「ともだちと過ごしているとき」「おうちの人と過ごしているとき」「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」「地域の行事に参加しているとき」「塾や習い事で過ごしているとき」と回答した割合が高く、「ひとりであるとき」と回答した割合が低い。



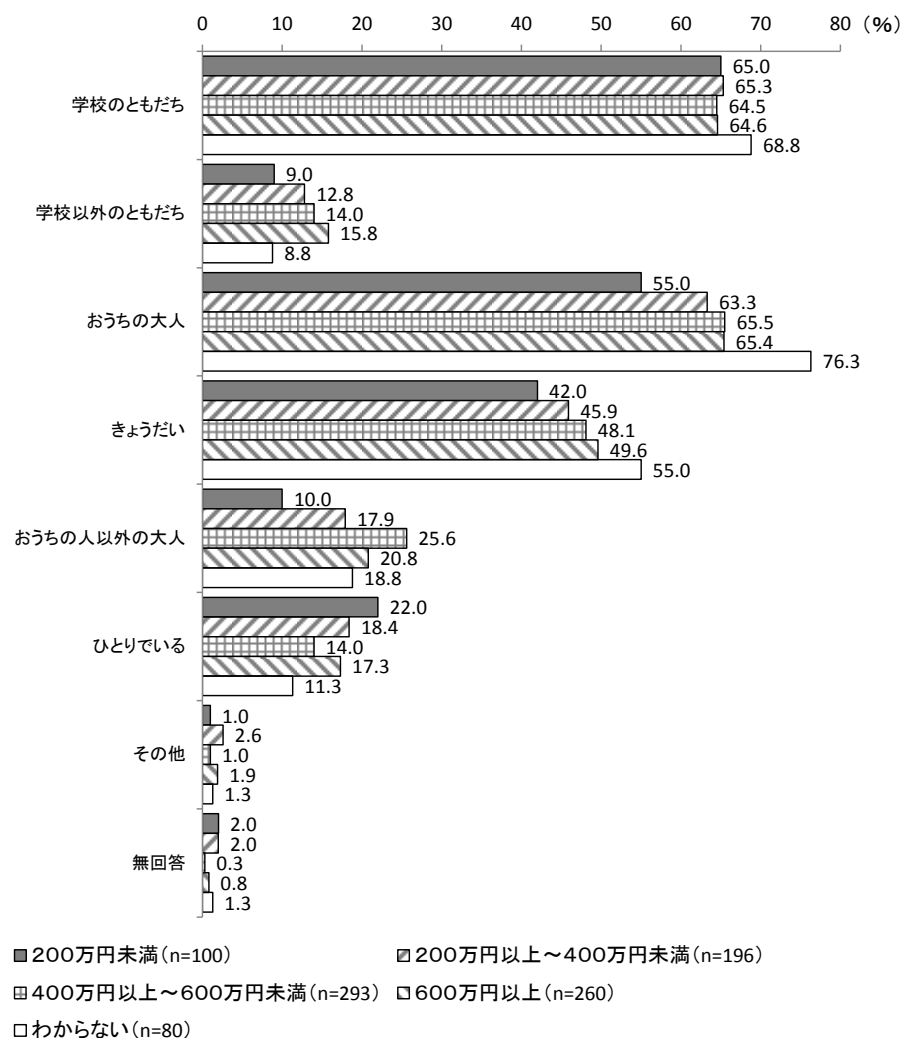
問 14 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○を付けてください）

「学校のともだち」と回答した割合が 65.4%と最も高く、次いで「おうちの大人」が 64.8%となっている。



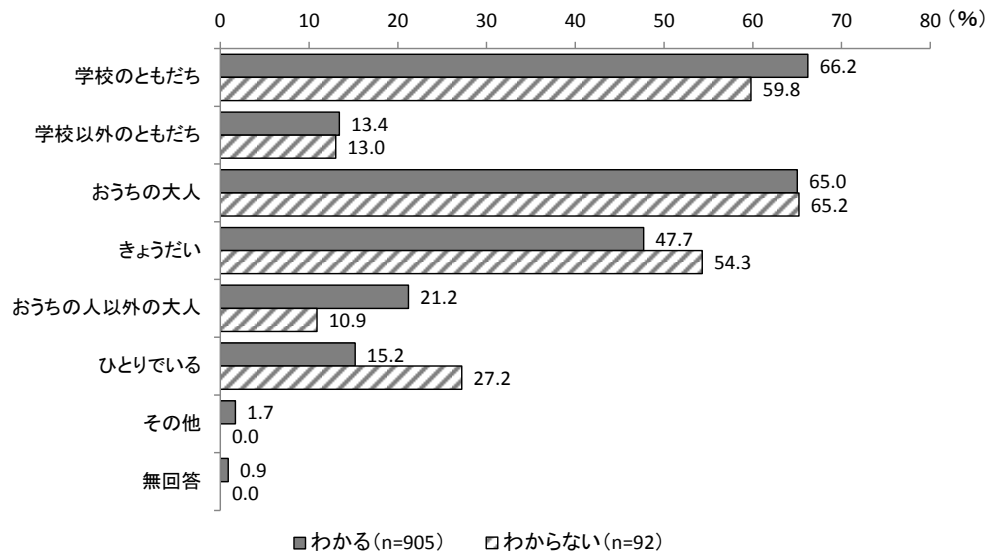
■ 可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「おうちの人以外の大人」と回答した割合が低い。



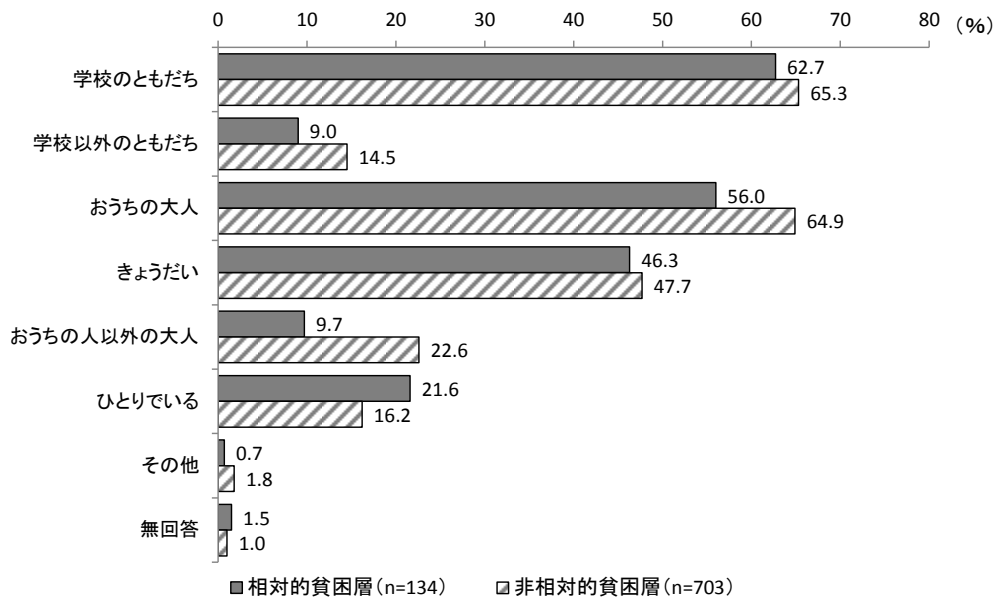
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「おうちの人以外の大人」と回答した割合が高く、「ひとりである」と回答した割合が低い。



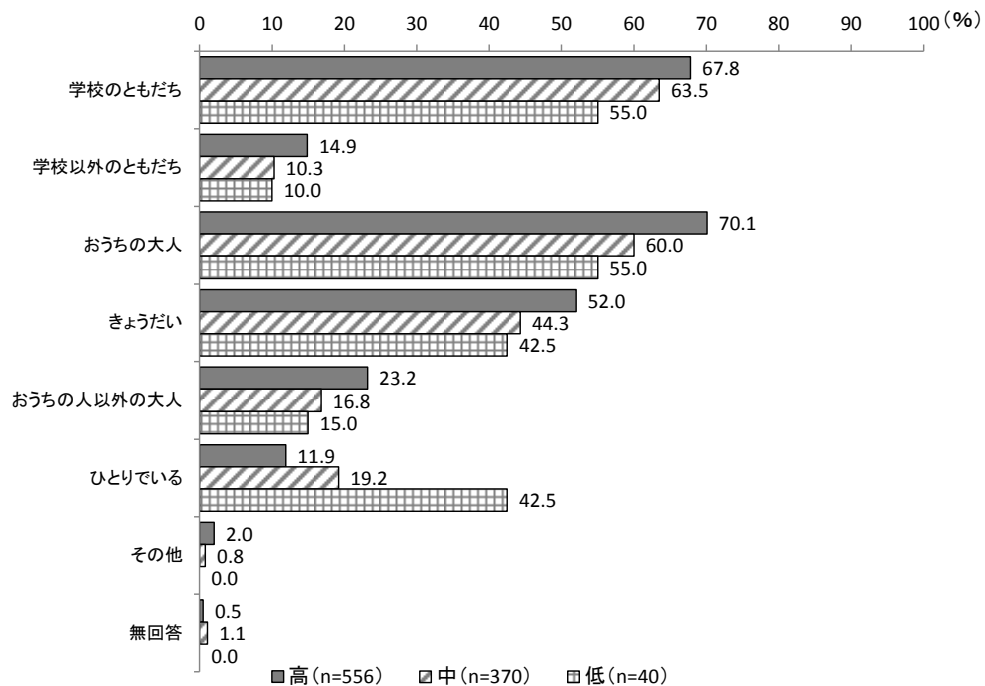
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「ひとりである」と回答した割合が高く、「学校以外のともだち」「おうちの大人」「おうちの人以外の大人」と回答した割合が低い。



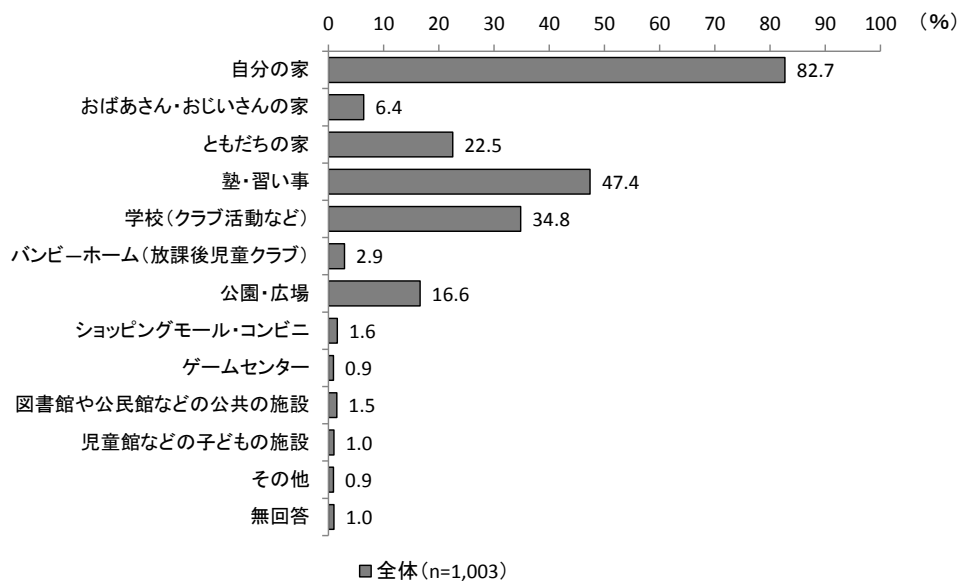
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「学校のともだち」「おうちの大人」「きょうだい」「おうちの人以外の大人」と回答した割合が高く、「ひとりである」と回答した割合が低い。



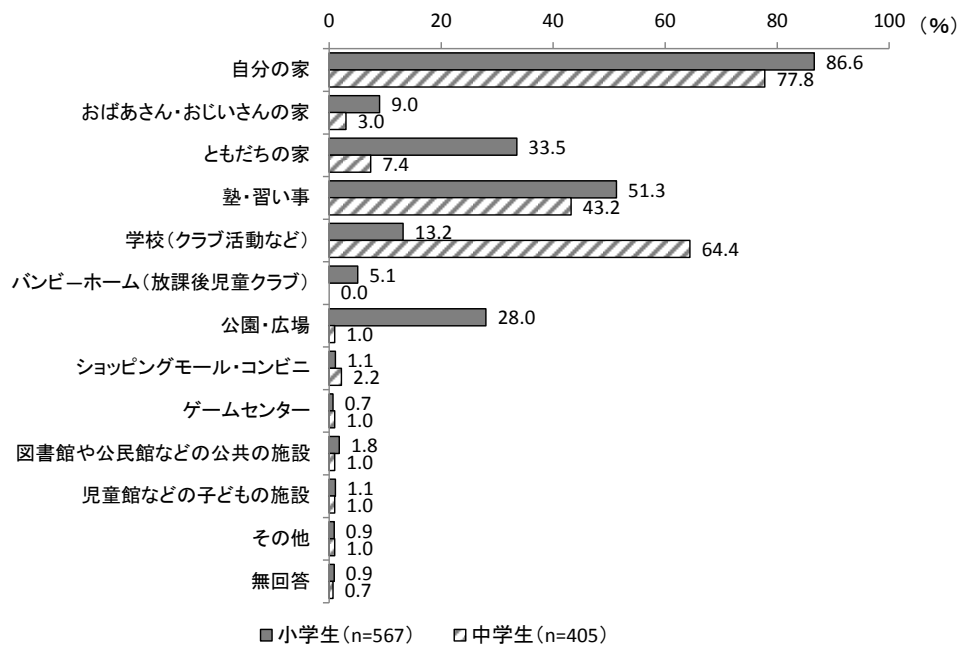
問 15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。 （あてはまる番号すべてに○を付けてください）

「自分の家」と回答した割合が 82.7%と最も高く、次いで「塾・習い事」が 47.4%となっている。



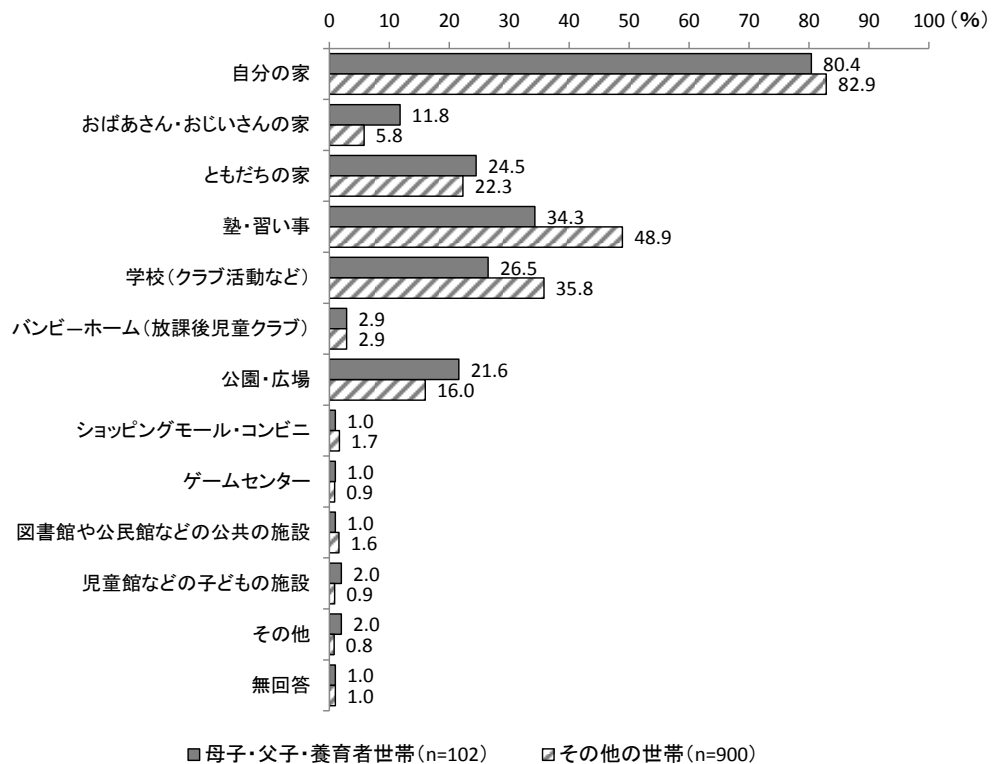
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「ともだちの家」「公園・広場」と回答した割合が高く、「学校(クラブ活動など)」と回答した割合が低い。



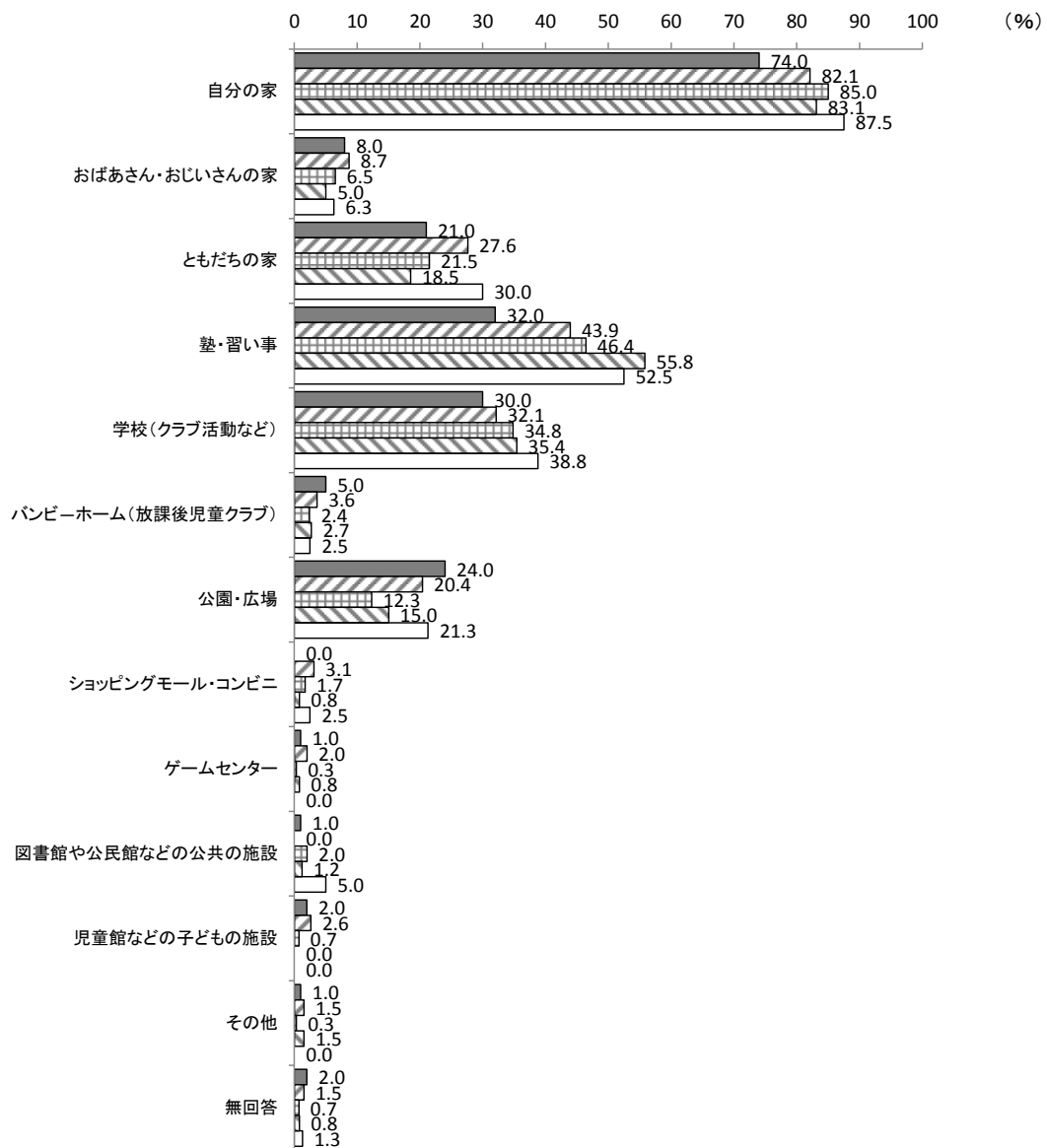
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「塾・習い事」と回答した割合が低い。



■可処分所得別

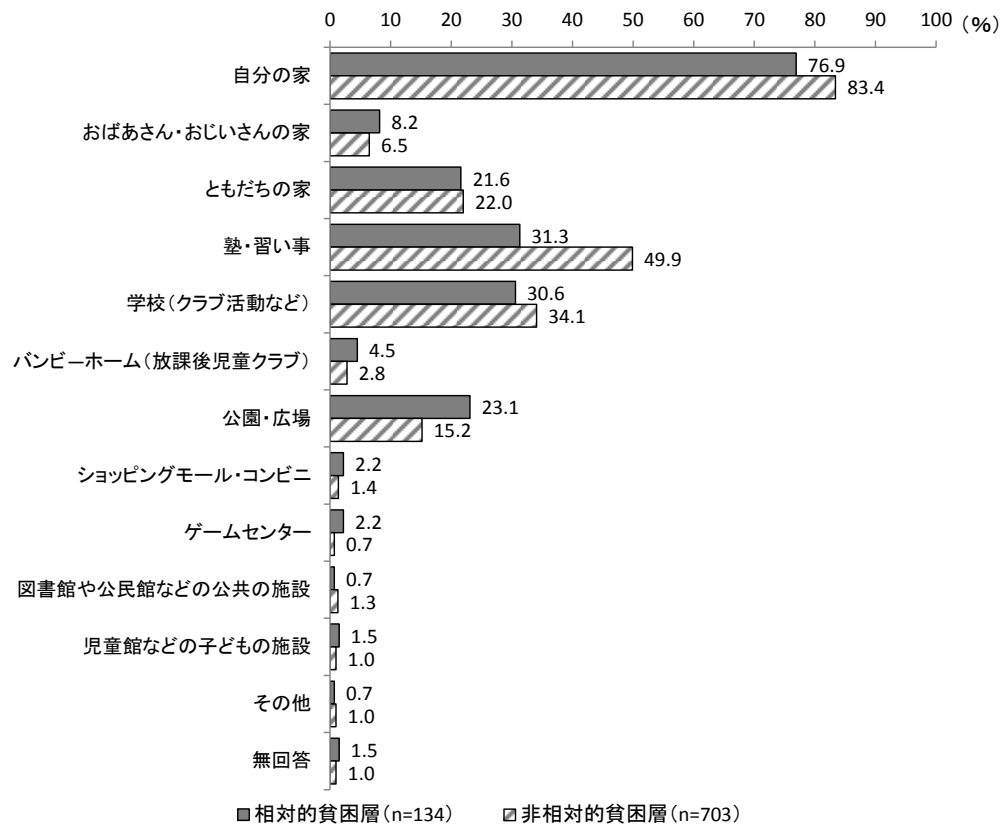
200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「塾・習い事」と回答した割合が低い。



■ 200万円未満 (n=100) □ 200万円以上～400万円未満 (n=196)
 ▨ 400万円以上～600万円未満 (n=293) ▩ 600万円以上 (n=260)
 □ わからない (n=80)

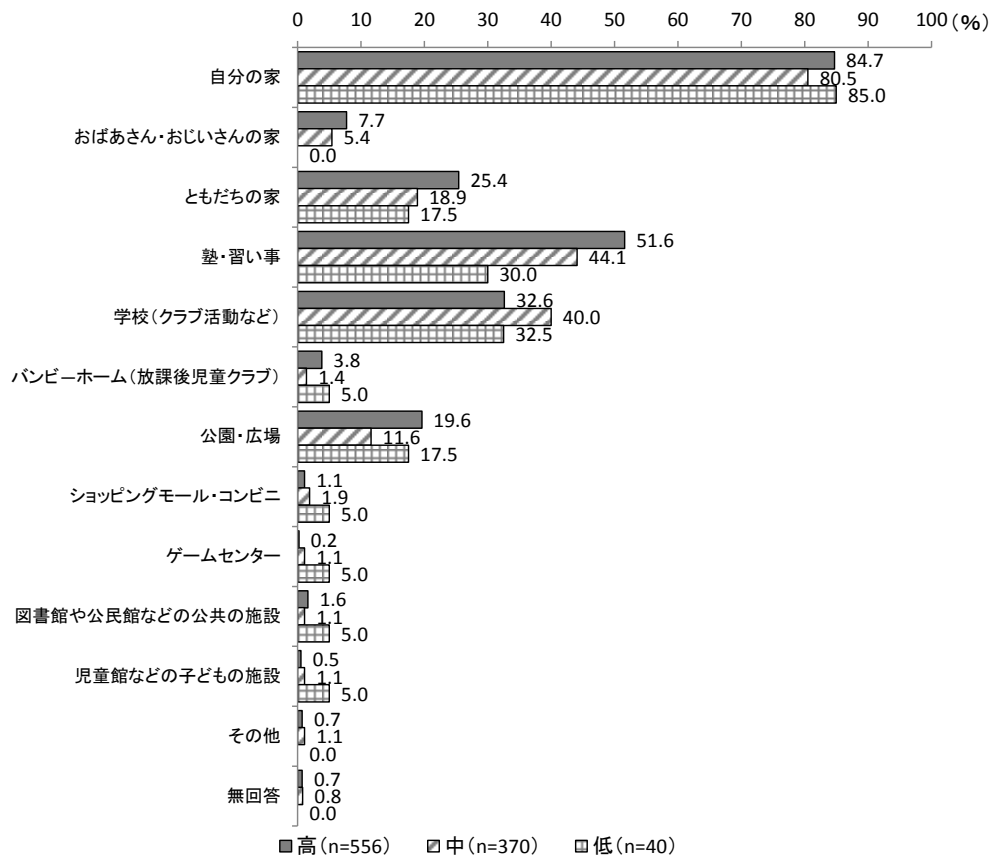
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「公園・広場」と回答した割合が高く、「自分の家」「塾・習い事」と回答した割合が低い。



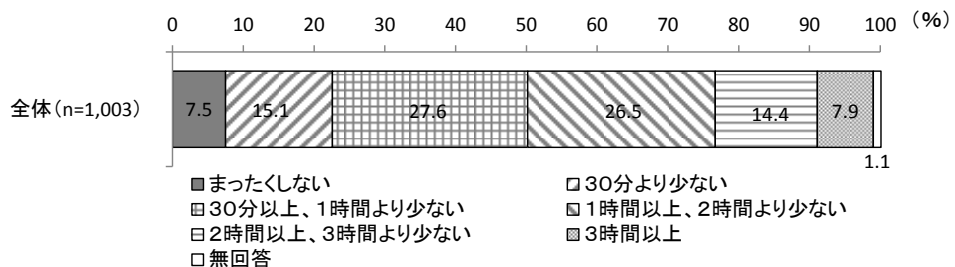
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「ともだちの家」「塾・習い事」と回答した割合が高い。



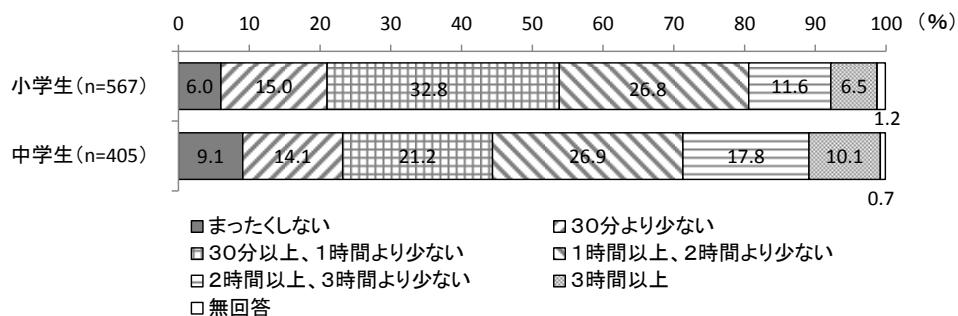
問 16 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、授業時間以外に1日あたりどれくらい勉強をしますか（塾などの時間も含みます）。
（あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください）

「30 分以上、1 時間より少ない」と回答した割合が 27.6%と最も高く、次いで「1 時間以上、2 時間より少ない」が 26.5%となっている。



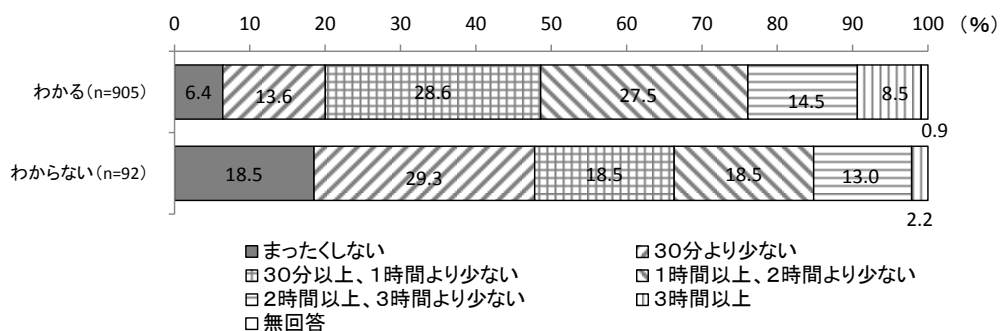
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合が高い。



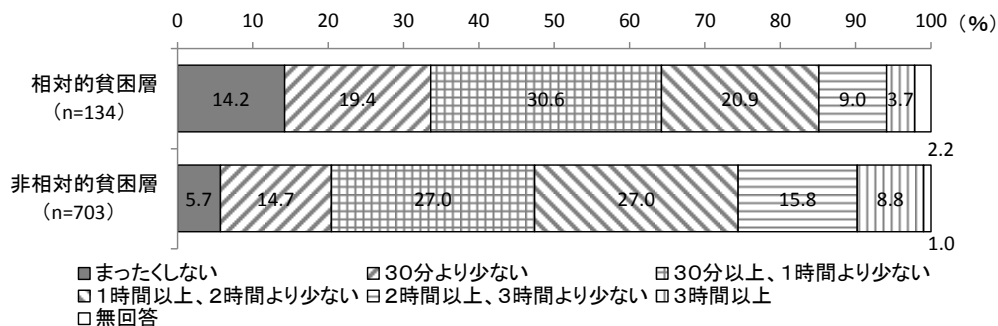
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合が高く、「まったくしない」「30分より少ない」と回答した割合が低い。



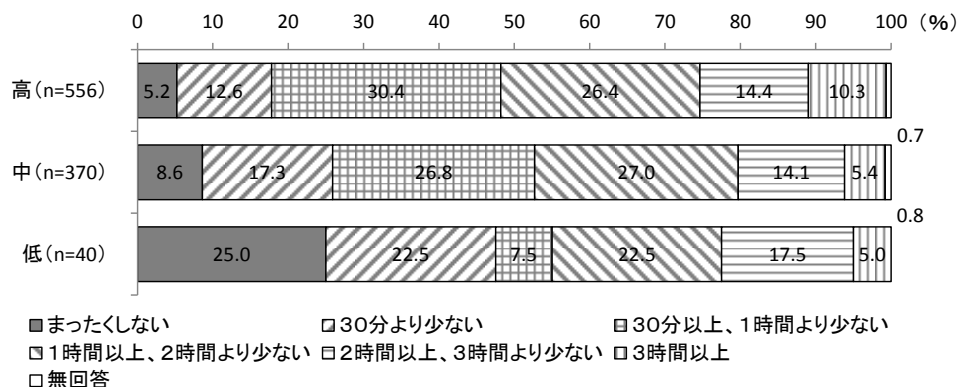
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「まったくしない」と回答した割合が高く、「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「まったくしない」と回答した割合が高い。



■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 3.08 であるのに対し、600 万円以上では 3.77 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答	得点
全体	1003	75	151	277	266	144	79	11	3.49
	100	7.5	15.1	27.6	26.5	14.4	7.9	1.1	
200万円未満	100	12	23	26	21	11	4	3	3.08
	100	12	23	26	21	11	4	3	
200万円以上～400万円未満	196	22	37	55	51	23	4	4	3.15
	100	11.2	18.9	28.1	26	11.7	2	2	
400万円以上～600万円未満	293	13	42	84	77	46	29	2	3.65
	100	4.4	14.3	28.7	26.3	15.7	9.9	0.7	
600万円以上	260	12	31	69	70	46	31	1	3.77
	100	4.6	11.9	26.5	26.9	17.7	11.9	0.4	
わからない	80	11	11	24	19	10	4	1	3.23
	100	13.8	13.8	30	23.8	12.5	5	1.3	

※得点は、「3時間以上」: 6点、「2時間以上、3時間より少ない」: 5点、「1時間以上、2時間より少ない」: 4点、「30分以上、1時間より少ない」: 3点、「30分より少ない」: 2点、「まったくしない」: 1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段: 数量、下段: 割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では3.18、その他の世帯では3.53である。

	全体	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答	得点
全 体	1003 100	75 7.5	151 15.1	277 27.6	266 26.5	144 14.4	79 7.9	11 1.1	3.49
母子・父子・養育者世帯	102 100	11 10.8	22 21.6	25 24.5	25 24.5	14 13.7	3 2.9	2 2	3.18
その他の世帯	900 100	64 7.1	129 14.3	252 28	240 26.7	130 14.4	76 8.4	9 1	3.53

※得点は、「3時間以上」:6点、「2時間以上、3時間より少ない」:5点、「1時間以上、2時間より少ない」:4点、「30分以上、1時間より少ない」:3点、「30分より少ない」:2点、「まったくしない」:1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段:数量、下段:割合

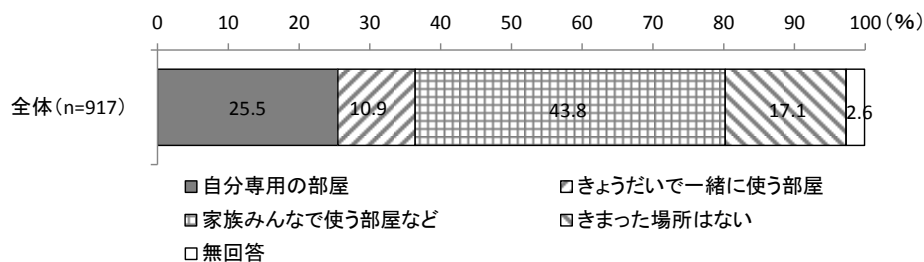
※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

問 16-1 問 16 で「2～6」と答えた方におたずねします。

あなたは、家で勉強するとき、どこで勉強していますか。

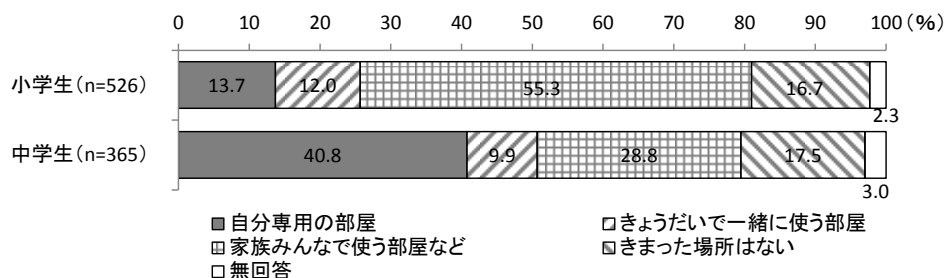
（あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください）

「家族みんなで使う部屋など」と回答した割合が 43.8%と最も高く、次いで「自分専用の部屋」が 25.5%となっている。



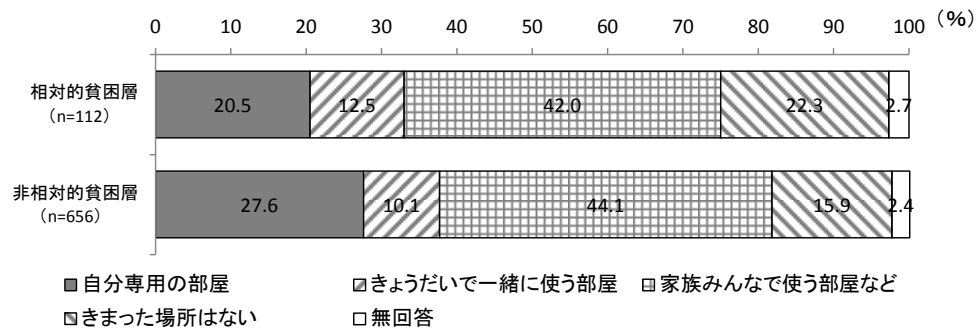
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「家族みんなで使う部屋など」と回答した割合が高く、「自分専用の部屋」と回答した割合が低い。



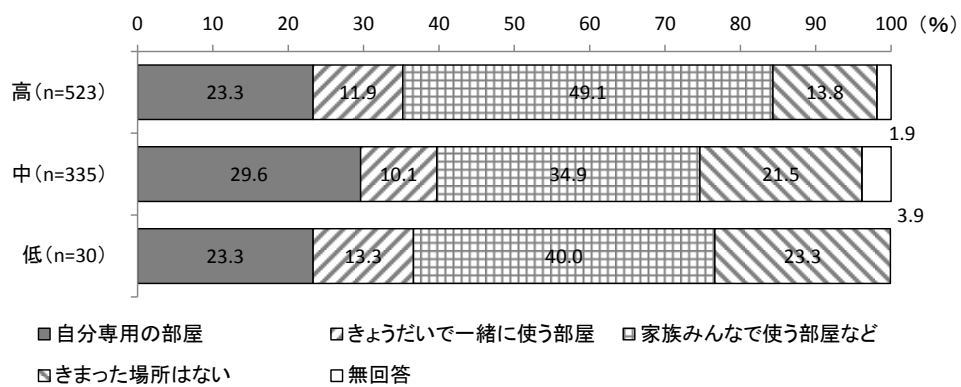
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「きまった場所はない」と回答した割合が高く、「自分専用の部屋」と回答した割合が低い。



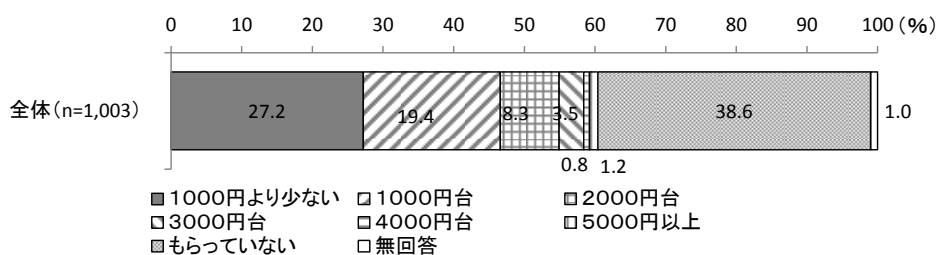
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「きまった場所はない」と回答した割合が低い。



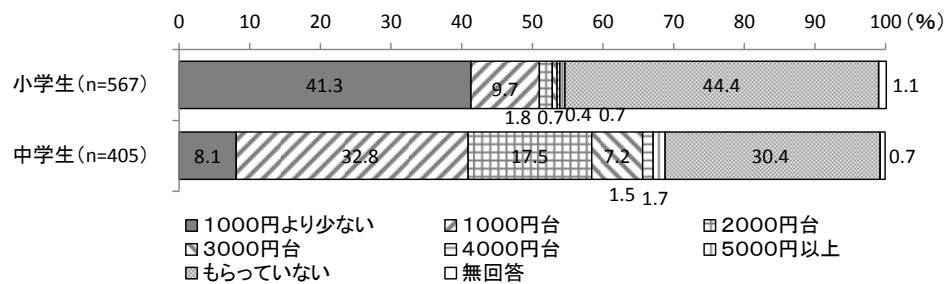
問 17 おこづかいについておたずねします。あなたの毎月のおこづかいはいくらですか（時々もらう場合は、1か月あたりにするとどのくらいかで○を付けてください。ただしお年玉はのぞきます）
（あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください）

「もらっていない」と回答した割合が 38.6%と最も高く、次いで「1000 円より少ない」が 27.2%となっている。



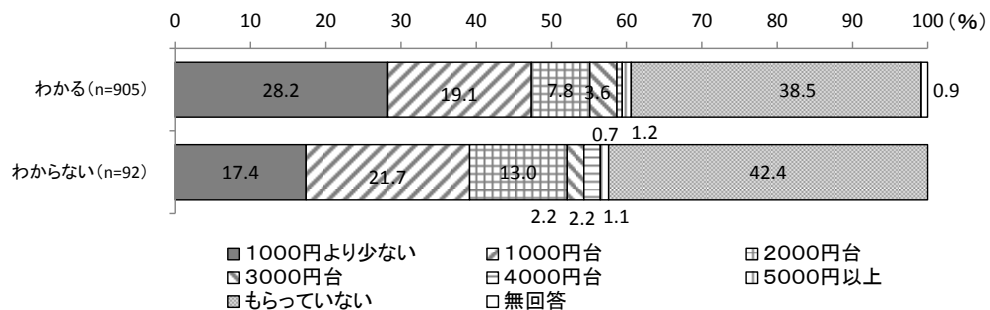
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「1000 円より少ない」「もらっていない」と回答した割合が高く、「1000 円台」「2000 円台」と回答した割合が低い。



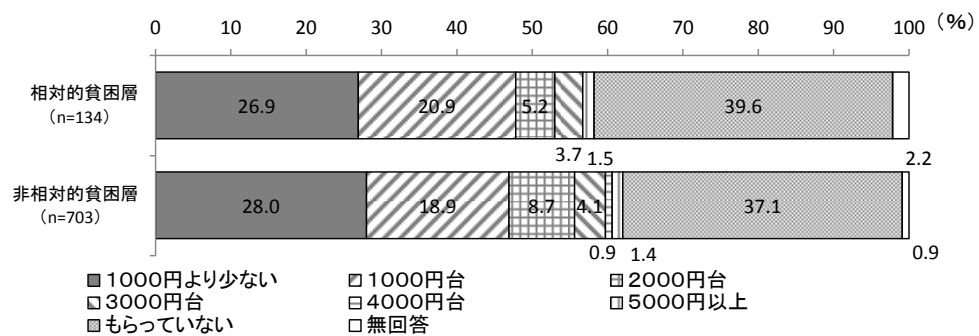
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「1000 円より少ない」と回答した割合が高い。



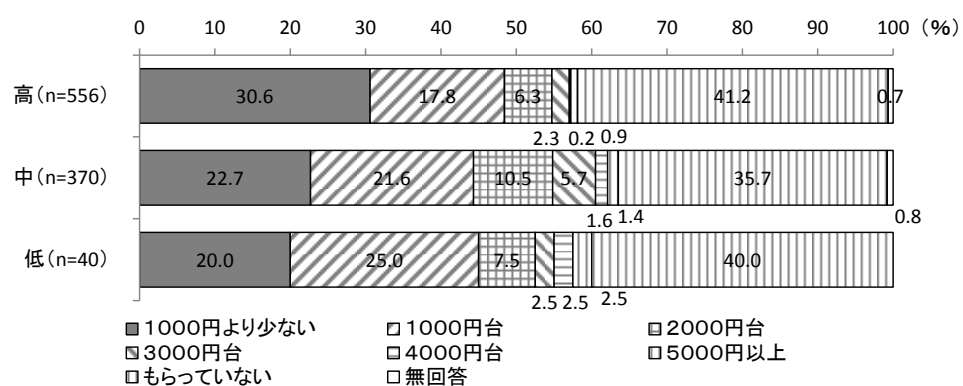
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



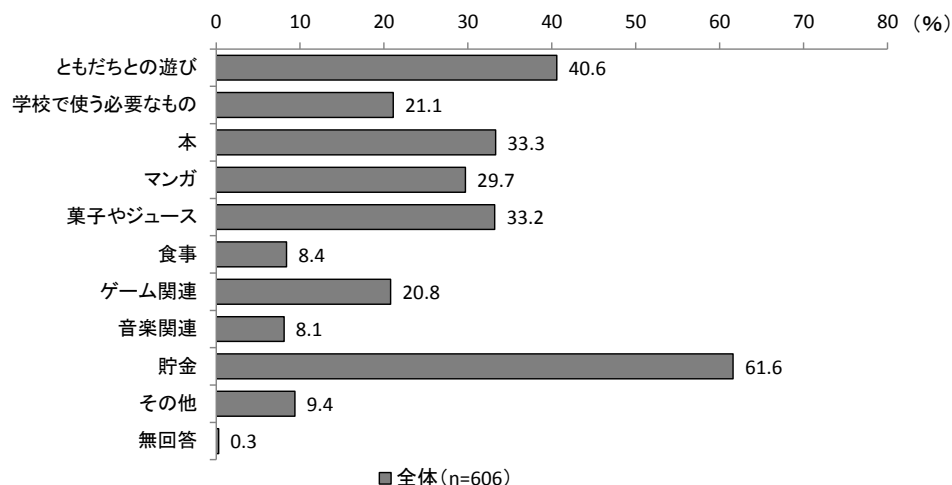
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「1000円より少ない」と回答した割合が高い。



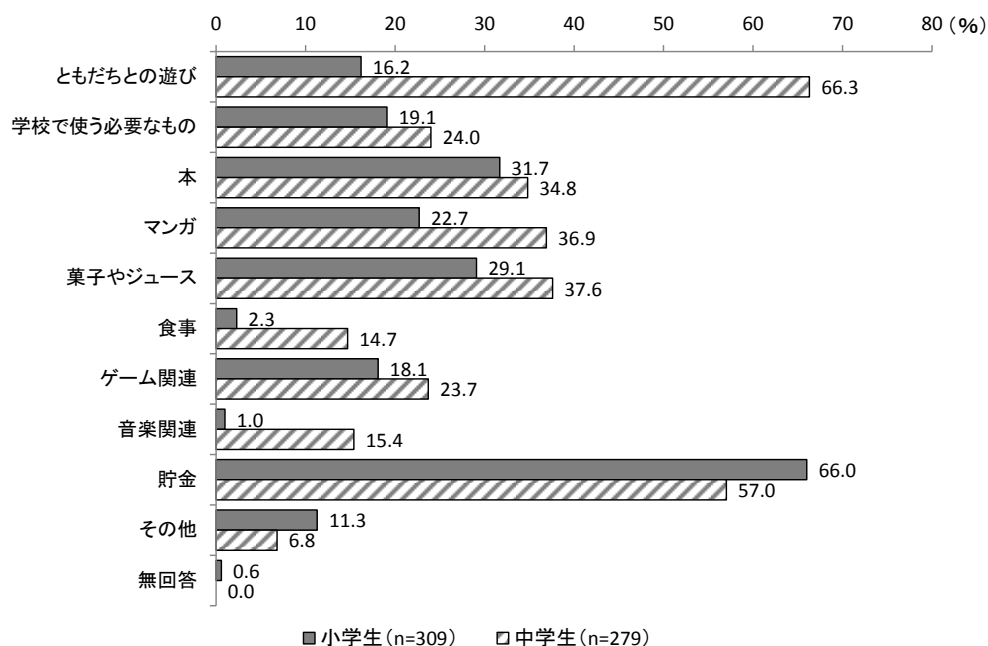
問 17-1 問 17 で「1～6」と答えた方におたずねします。
毎月のおこづかいは、何に使っていますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「貯金」と回答した割合が 61.6%と最も高く、次いで「ともだちとの遊び」が 40.6%となっている。



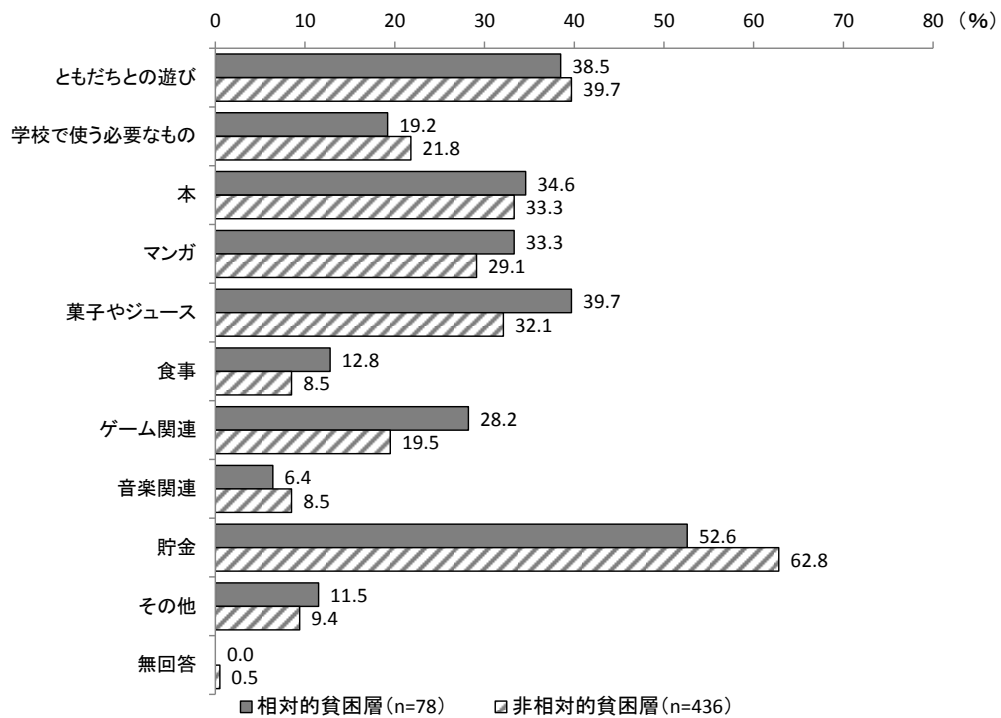
■ 学校種別

小学生では中学生と比べて、「ともだちとの遊び」「マンガ」「食事」「音楽関連」と回答した割合が低い。



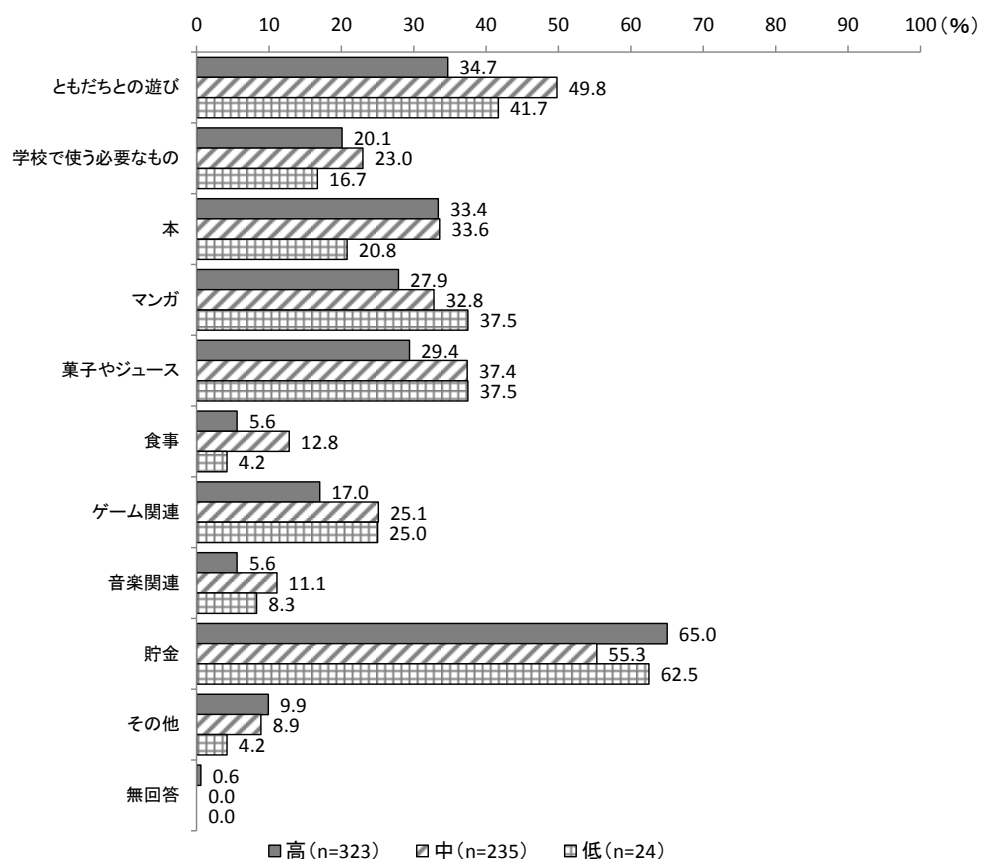
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「菓子やジュース」「ゲーム関連」と回答した割合が高く、「貯金」と回答した割合が低い。



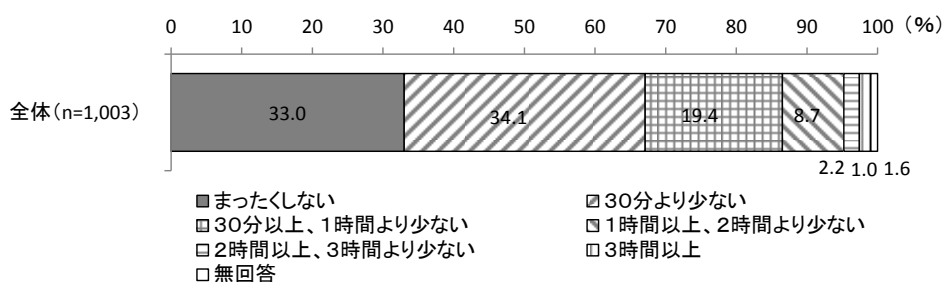
■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「貯金」と回答した割合が高く、「ともだちとの遊び」「マンガ」「菓子やジュース」「ゲーム関連」と回答した割合が低い。



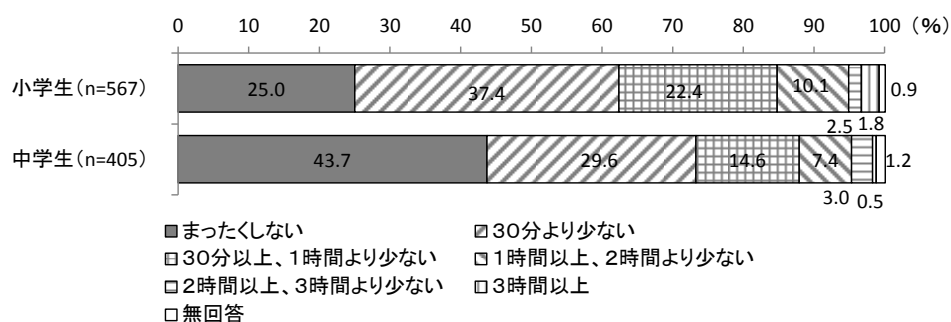
**問 18 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい読書をしますか
(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます)。
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)**

「30 分より少ない」と回答した割合が 34.1%と最も高く、次いで「まったくしない」が 33.0%となっている。



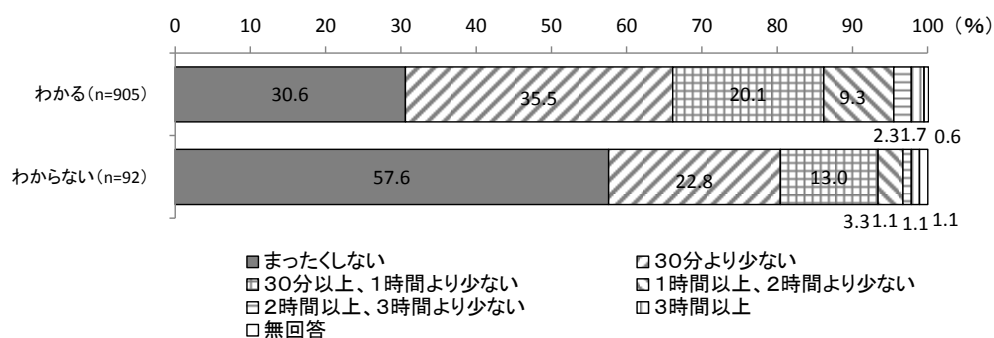
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「まったくしない」と回答した割合が低い。



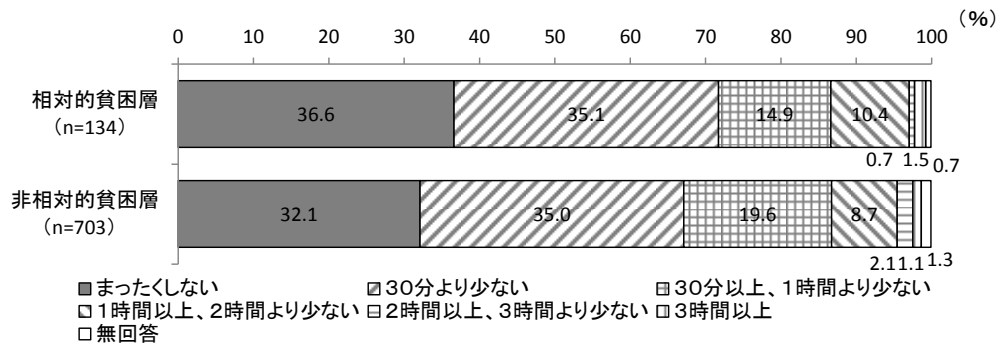
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「まったくしない」と回答した割合が低い。



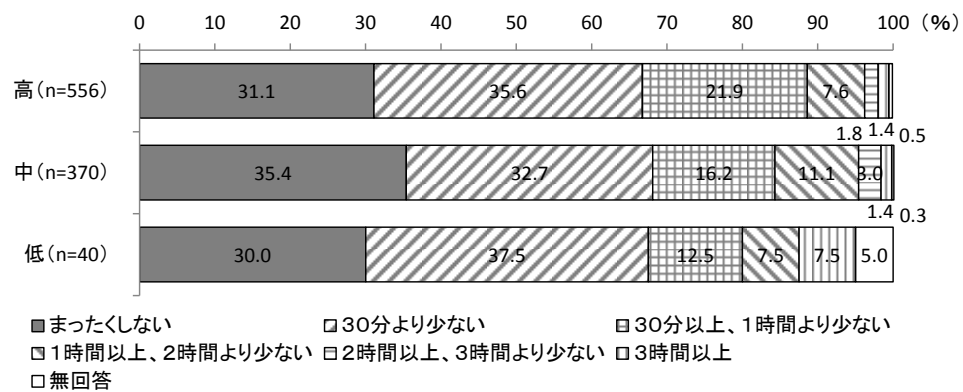
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



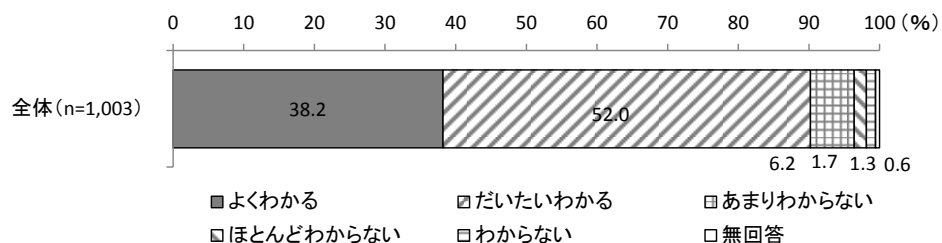
■自己肯定感別

自己肯定感別では、あまり違いはみられない



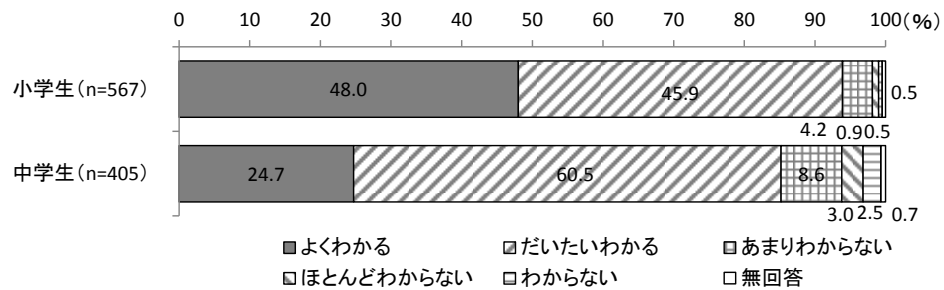
問 19 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。 (あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「だいたいわかる」と回答した割合が 52.0%と最も高く、次いで「よくわかる」が 38.2%となっている。



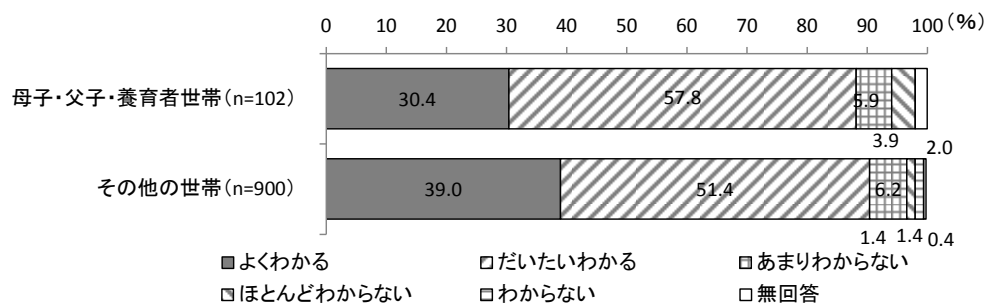
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「よくわかる」と回答した割合が高く、「だいたいわかる」と回答した割合が低い。



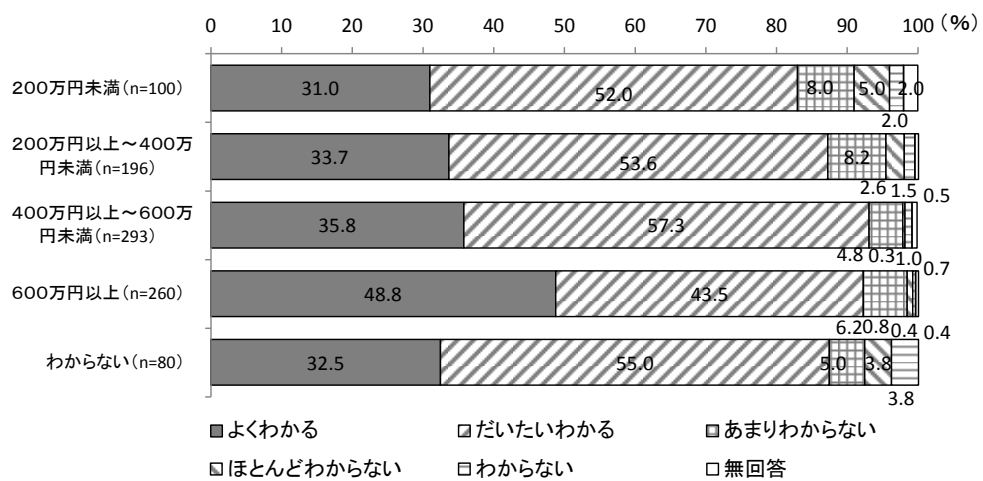
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「だいたいわかる」と回答した割合が高く、「よくわかる」と回答した割合が低い。



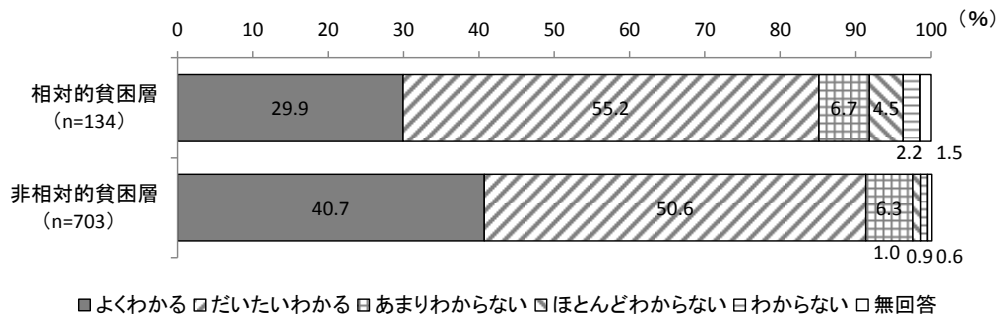
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「よくわかる」と回答した割合が低い。



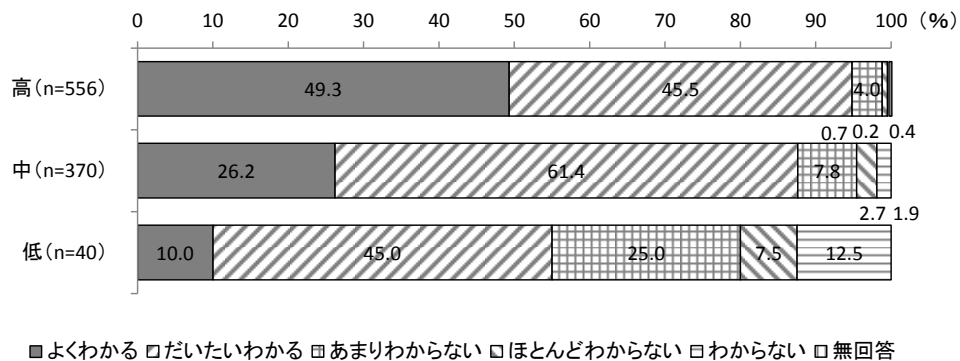
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「よくわかる」と回答した割合は低い。



■ 自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「よくわかる」または「だいたいわかる」と回答した割合が高く、「あまりわからない」または「ほとんどわからない」と回答した割合が低い。



■ 可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 4.07 であるのに対し、600 万円以上では 4.40 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	わからない	無回答	得点
全体	1003	383	522	62	17	13	6	4.25
	100	38.2	52	6.2	1.7	1.3	0.6	
200万円未満	100	31	52	8	5	2	2	4.07
	100	31	52	8	5	2	2	
200万円以上～ 400万円未満	196	66	105	16	5	3	1	4.16
	100	33.7	53.6	8.2	2.6	1.5	0.5	
400万円以上～ 600万円未満	293	105	168	14	1	3	2	4.27
	100	35.8	57.3	4.8	0.3	1	0.7	
600万円以上	260	127	113	16	2	1	1	4.40
	100	48.8	43.5	6.2	0.8	0.4	0.4	
わからない	80	26	44	4	3	3	-	4.09
	100	32.5	55	5	3.8	3.8	-	

※得点は、「よくわかる」：5点、「だいたいわかる」：4点、「あまりわからない」：3点、「ほとんどわからない」：2点、「わからない」：1点としたときの加重平均値

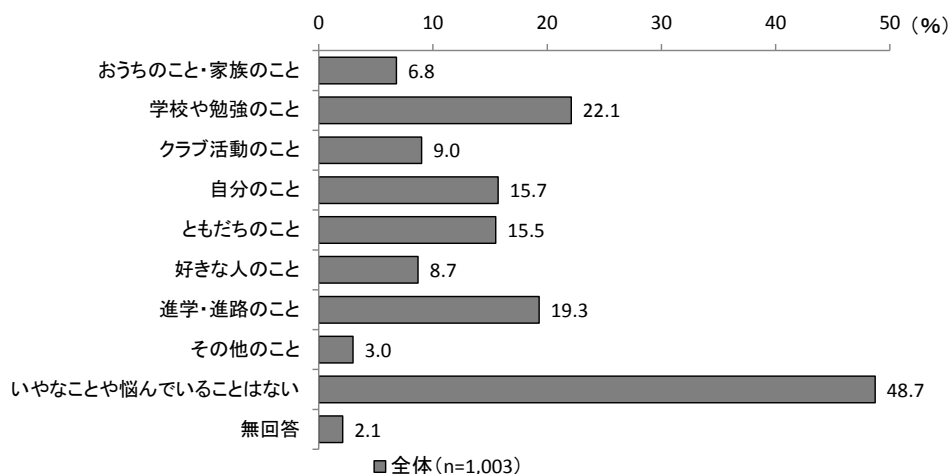
※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

問 20 あなたは、いやなことや悩んでいることがありますか。

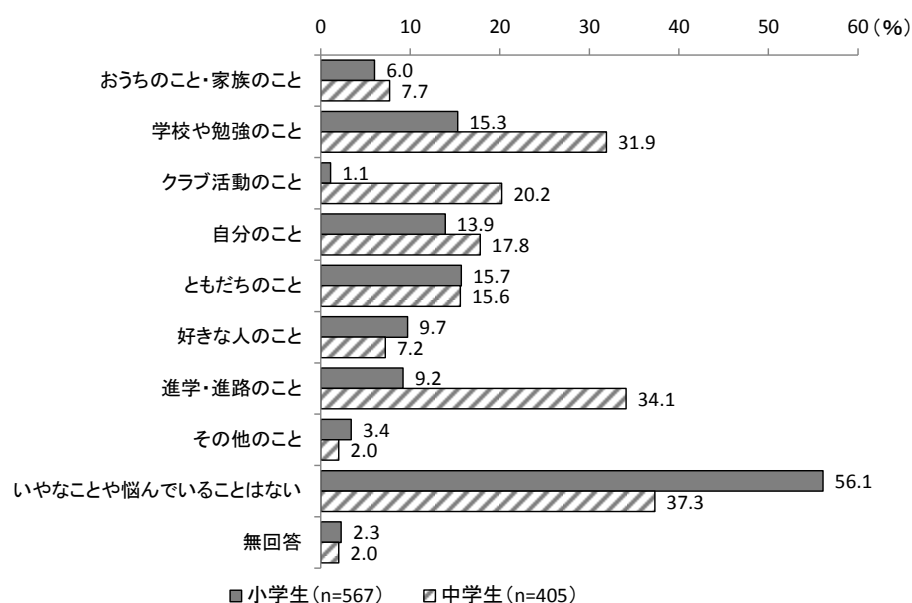
(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合が 48.7%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」が 22.1%となっている。



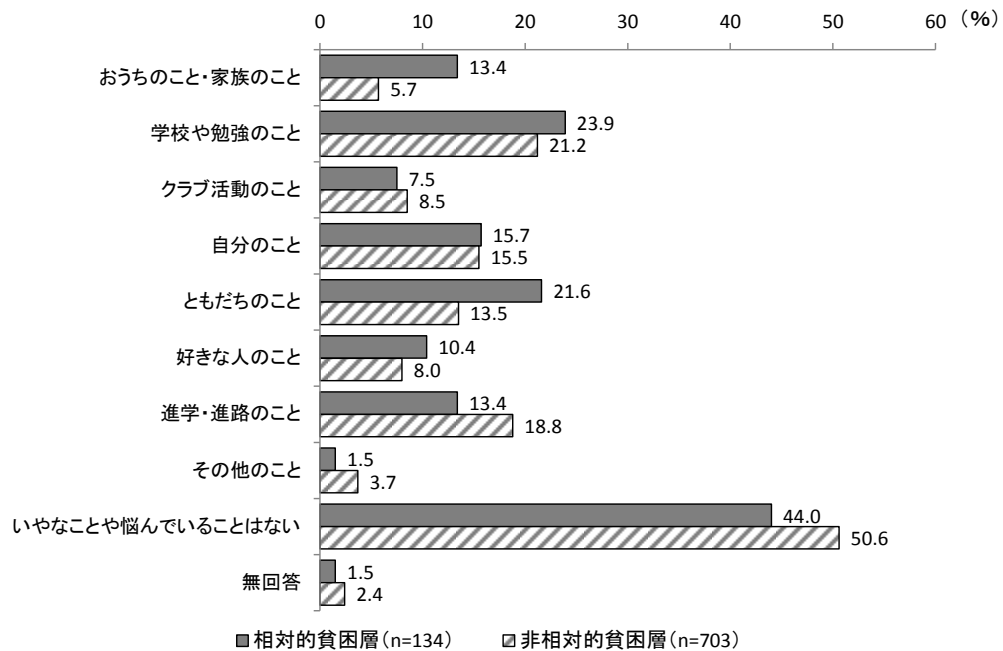
■ 学校種別

小学生では中学生と比べて、「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合が高く、「学校や勉強のこと」「クラブ活動のこと」「進学・進路のこと」と回答した割合が低い。



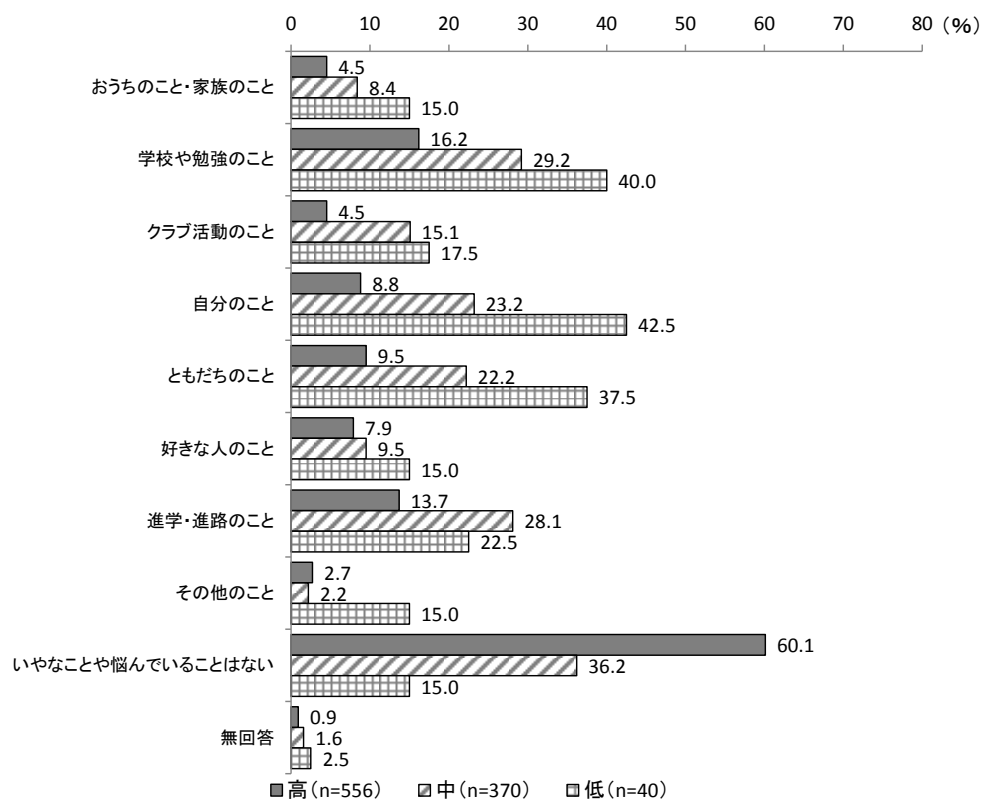
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「おうちのこと・家族のこと」「友だちのこと」と回答した割合が高く、「進学・進路のこと」「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合が高く、「学校や勉強のこと」「クラブ活動のこと」「自分のこと」「ともだちのこと」「進学・進路のこと」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

子どもの自己肯定感との関係は次のことがあげられる。

割合が高い項目		選択肢
学校や勉強のこと	⇒	・頑張れば、成果が出せる(あてはまらない)
自分のこと		・不安に感じることはない(あてはまらない)
ともだちのこと	⇒	・孤独を感じることはない(あてはまらない)
学校や勉強のこと		・自分は価値のある人間だと思う(あてはまらない)
自分のこと		・自分には良い所がある(あてはまらない)
		・孤独を感じることはない(あてはまらない)
		・自分の将来が楽しみだ(あてはまらない)
ともだちのこと		・自分は価値のある人間だと思う(あてはまらない)
		・孤独を感じることはない(あてはまらない)
進学・進路のこと		・孤独を感じることはない(あてはまらない)
いやなことや悩んでいることはない		・不安に感じることはない(あてはまる)

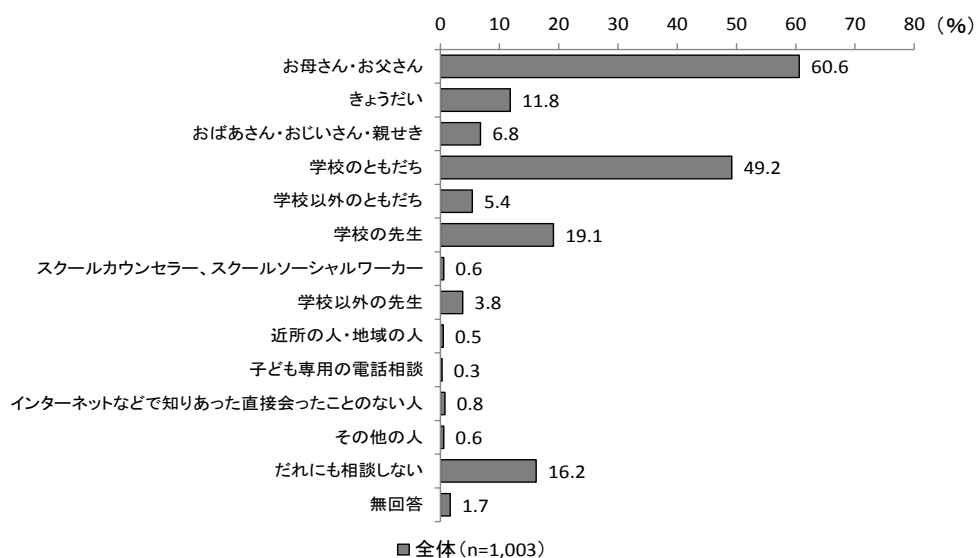
割合が低い項目		選択肢
いやなことや悩んでいることはない	⇒	・頑張れば、成果が出せる(あてはまらない)
		・不安に感じることはない(あてはまらない)
		・自分は価値のある人間だと思う(あてはまらない)
		・自分には良い所がある(あてはまらない)
		・孤独を感じることはない(あてはまらない)
		・自分の将来は楽しみだ(あてはまらない)

		おうちのこと・家族のこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩んでいることはない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=905)	6.2	21.1	8.4	14.6	14.6	9.0	18.9	2.7	50.8	1.5
	あてはまらない(n=82)	11.0	35.4	15.9	29.3	28.0	7.3	24.4	7.3	26.8	2.4
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=714)	5.0	20.3	7.4	11.6	11.3	7.3	17.4	2.7	54.2	1.5
	あてはまらない(n=266)	10.2	27.4	13.2	26.7	26.7	13.2	24.8	4.1	34.2	1.9
自分には良いところがある	あてはまる(n=823)	5.6	20.9	8.5	13.4	14.0	8.7	18.3	2.6	51.6	1.0
	あてはまらない(n=158)	11.4	29.1	11.4	29.1	24.7	9.5	24.7	5.7	34.8	3.8
不安に感じることはない	あてはまる(n=613)	3.8	15.7	4.9	9.0	9.1	5.4	15.0	2.6	62.0	1.1
	あてはまらない(n=368)	10.9	32.6	15.8	27.2	26.1	14.4	26.4	3.5	27.4	2.4
孤独を感じることはない	あてはまる(n=744)	4.8	17.7	6.0	11.7	10.2	7.9	16.0	2.8	56.5	1.5
	あてはまらない(n=238)	11.8	36.1	18.1	28.6	32.8	11.3	29.8	3.8	25.6	1.7
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=804)	5.5	20.3	8.2	12.9	13.7	8.7	17.2	2.5	52.5	1.5
	あてはまらない(n=183)	12.0	31.1	12.6	28.4	24.6	9.3	29.0	5.5	32.2	2.2

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

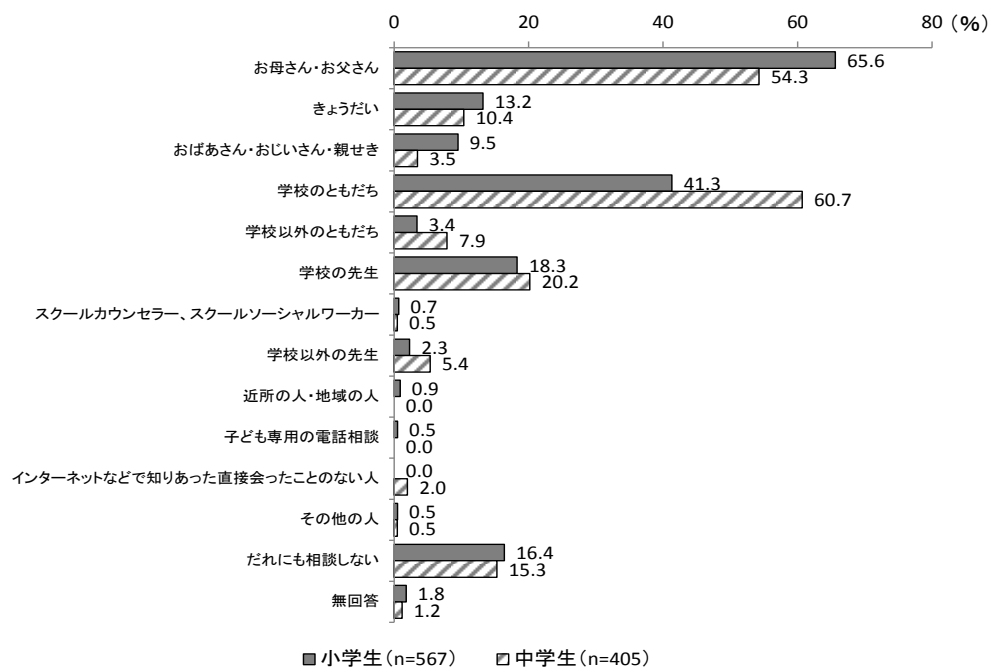
問 21 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「お母さん・お父さん」と回答した割合が 60.6%と最も高く、次いで「学校のともだち」が 49.2%となっている。



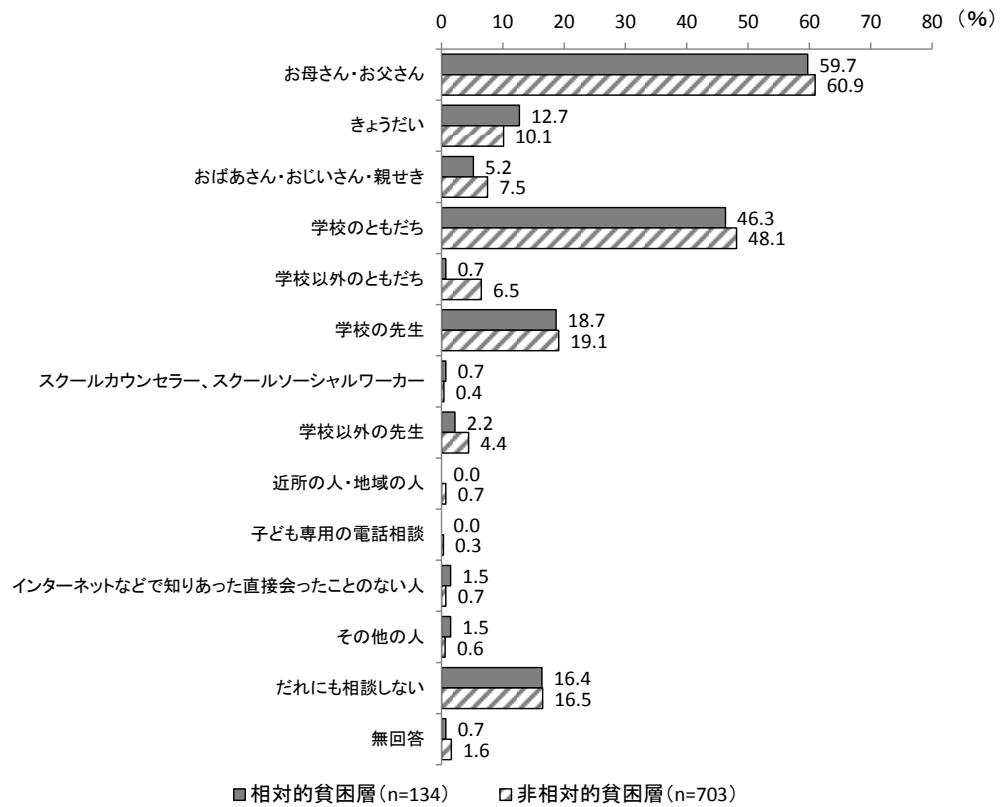
■ 学校種別

小学生では中学生と比べて、「お母さん・お父さん」と回答した割合が高く、「学校のともだち」と回答した割合が低い。



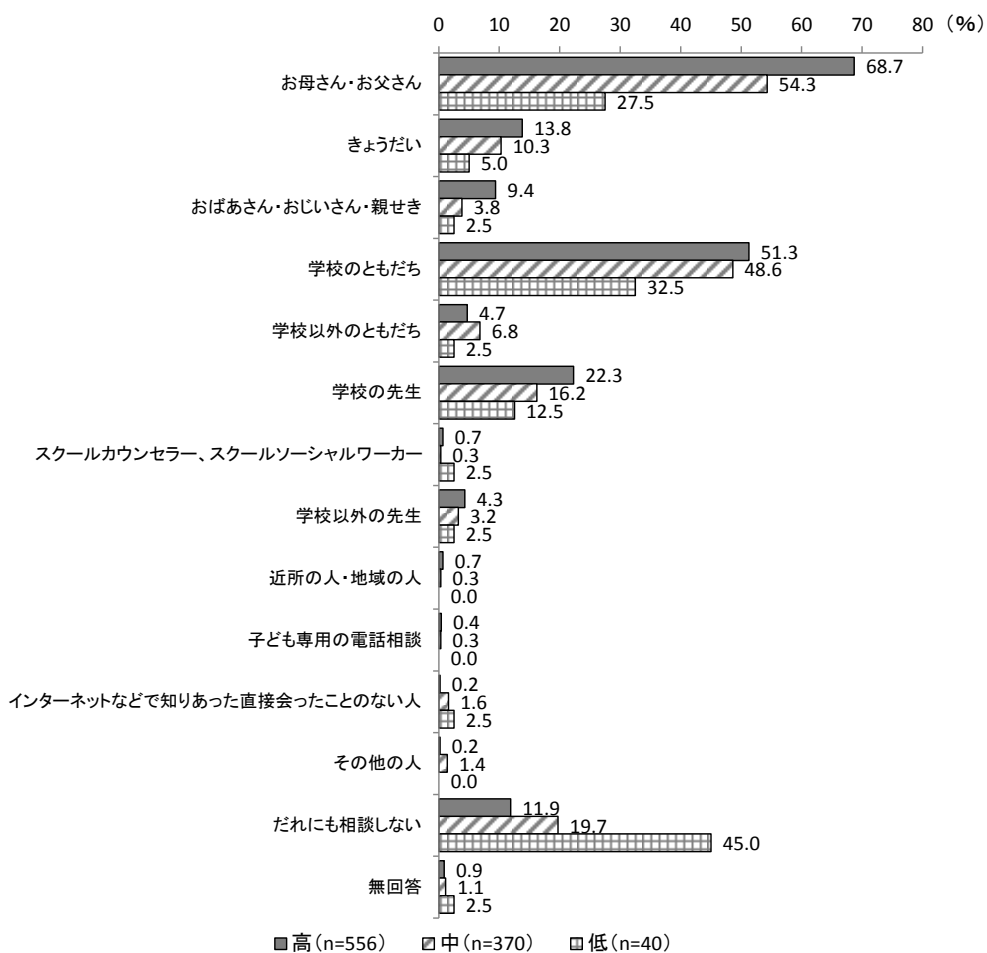
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「学校以外のともだち」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「お母さん・お父さん」「学校の先生」と回答した割合が高く、「だれにも相談しない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

子どもの自己肯定感との関係は次のことがあげられる。

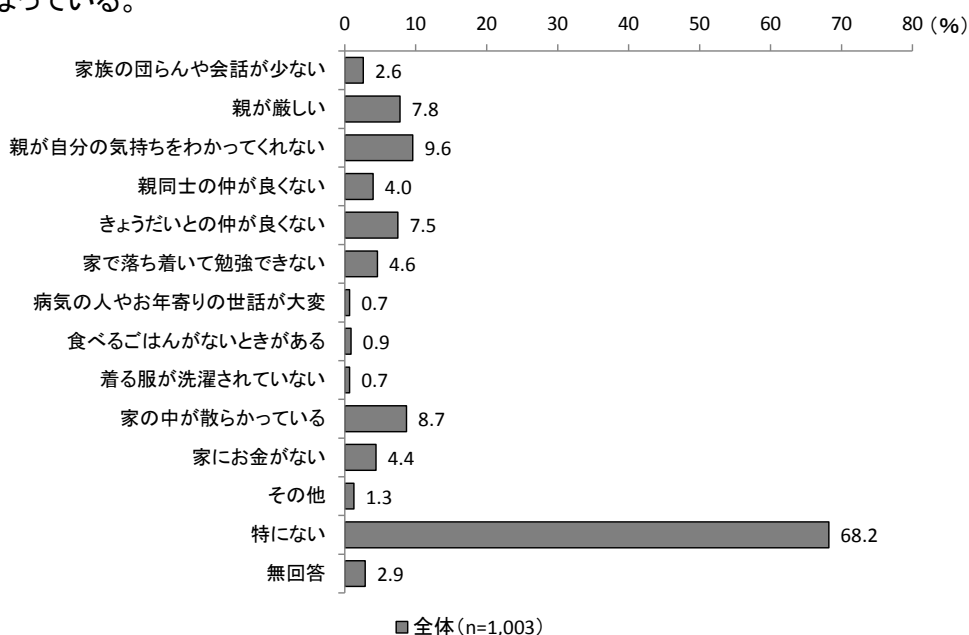
割合が高い項目		選択肢
だれにも相談しない	⇒	・頑張れば、成果が出せる(あてはまらない) ・自分は価値のある人間だと思う(あてはまらない) ・自分には良いところがある(あてはまらない)
割合が低い項目		選択肢
お母さん・お父さん 学校のともだち	⇒	・頑張れば、成果が出せる(あてはまらない) ・自分は価値のある人間だと思う(あてはまらない) ・自分には良いところがある(あてはまらない)

		お母さん・お父さん	きょうだい	おばあさん・おじいさん・親せき	学校のともだち	学校以外のともだち	学校の先生	スクールソーシャルワーカー	学校以外の先生	近所の人・地域の人	子ども専用の電話相談	インターネットなどで知りあった直接会ったことのない人	その他の人	だれにも相談しない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる (n=905)	63.8	12.7	7.5	50.5	5.5	19.9	0.7	4.0	0.6	0.3	0.9	0.7	14.5	1.0
	あてはまらない (n=82)	30.5	3.7	-	39.0	4.9	13.4	-	2.4	-	-	-	-	34.1	3.7
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる (n=714)	66.0	13.9	7.4	53.9	5.7	20.7	0.6	4.2	0.7	0.3	0.7	0.3	11.6	1.3
	あてはまらない (n=266)	48.5	7.1	5.6	38.3	4.9	15.4	0.8	3.0	-	0.4	1.1	1.5	27.8	0.8
自分には良いところがある	あてはまる (n=823)	65.2	13.0	7.4	51.8	5.3	21.1	0.5	4.0	0.6	0.4	0.7	0.5	13.0	0.9
	あてはまらない (n=158)	41.1	7.0	4.4	38.0	5.7	10.8	1.3	2.5	-	-	1.3	1.3	32.3	1.9
不安に感じることはない	あてはまる (n=613)	63.9	12.2	9.3	48.5	5.1	19.7	0.5	4.9	0.8	0.5	0.5	0.5	15.7	1.0
	あてはまらない (n=368)	56.3	11.4	2.7	51.4	6.0	19.0	0.8	2.2	-	-	1.4	0.8	16.8	1.6
孤独を感じることはない	あてはまる (n=744)	62.9	13.0	7.5	50.8	5.1	19.5	0.5	4.2	0.5	0.4	0.7	0.5	15.7	1.1
	あてはまらない (n=238)	55.9	8.8	5.0	45.0	6.7	19.3	0.8	2.5	0.4	-	1.3	0.8	17.2	1.7
自分の将来が楽しみだ	あてはまる (n=804)	65.5	12.4	7.8	51.6	5.5	21.1	0.6	4.0	0.5	0.2	0.6	0.7	12.4	1.0
	あてはまらない (n=183)	41.5	9.8	2.7	39.9	4.9	11.5	0.5	3.3	0.5	0.5	1.6	-	32.8	1.6

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

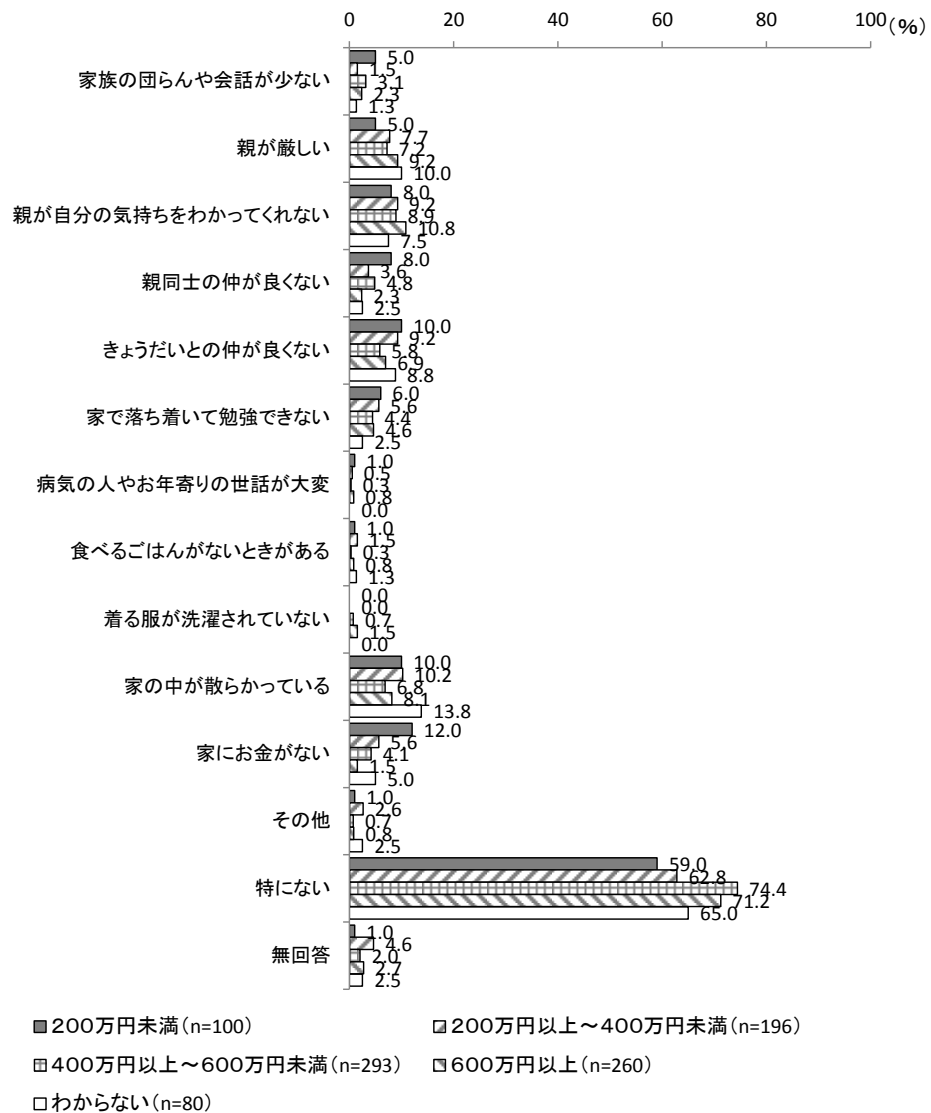
問 22 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることはありますか。 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「特にない」と回答した割合が 68.2%と最も高く、次いで「親が自分の気持ちをわかってくれない」が 9.6%となっている。



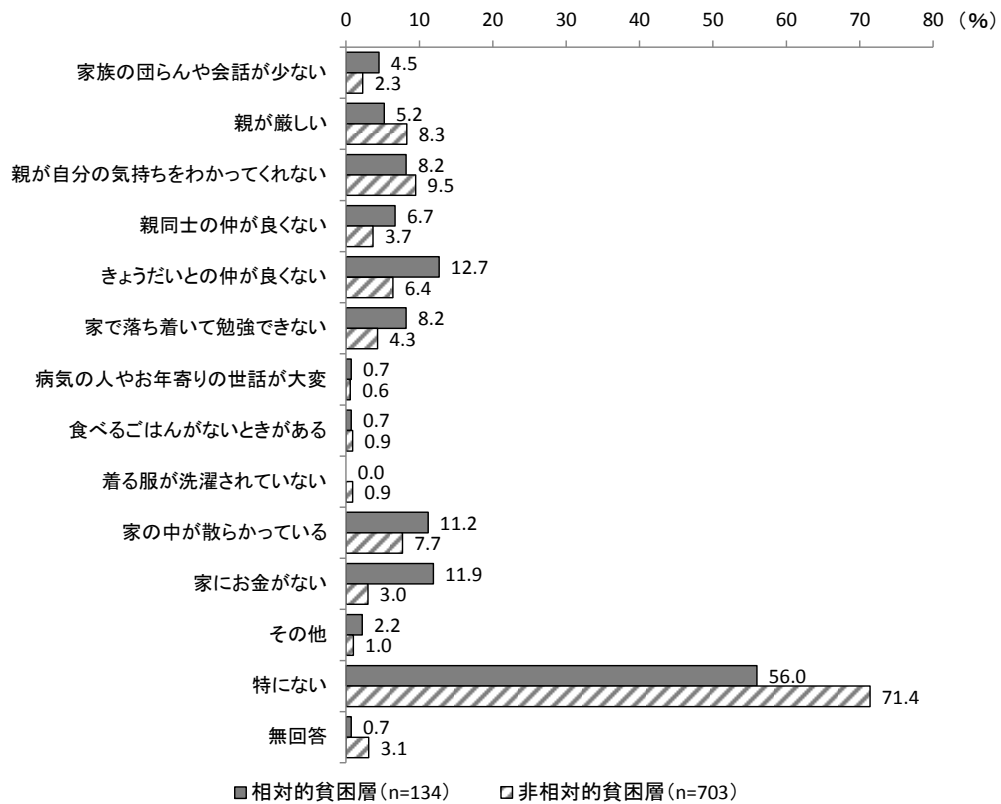
■可処分所得別

400万円以上ではその他の可処分所得区分と比べて、「特にない」と回答した割合が高い。



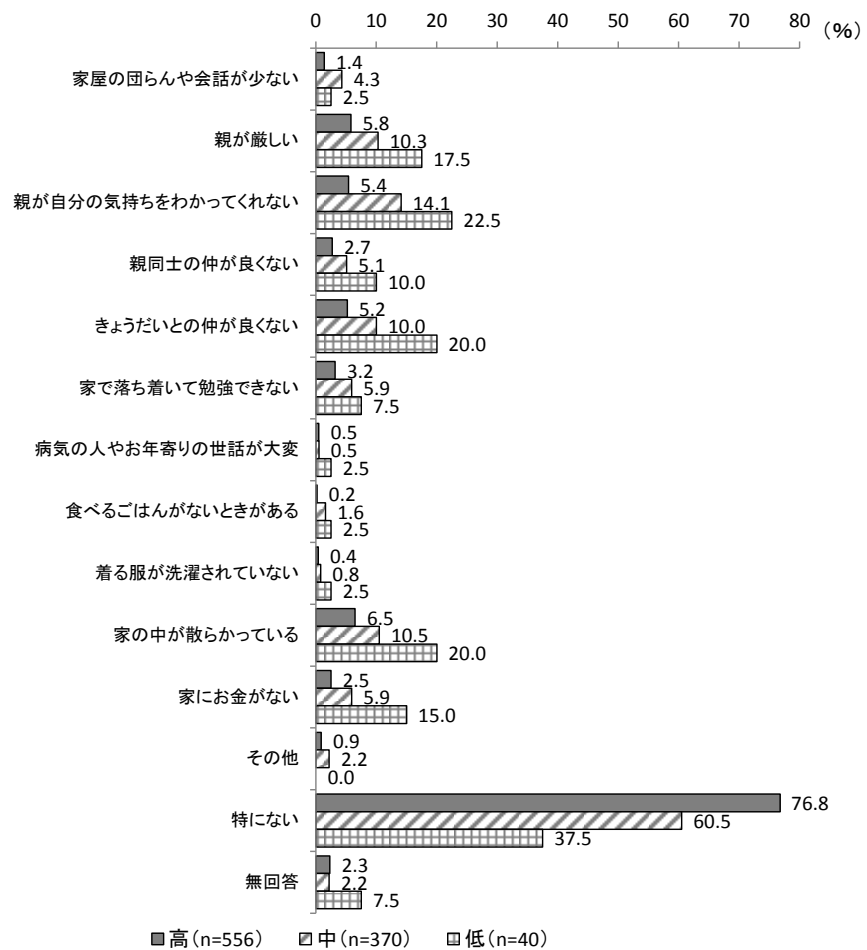
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「きょうだいとの仲が良くない」「家にお金がない」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合は低い。



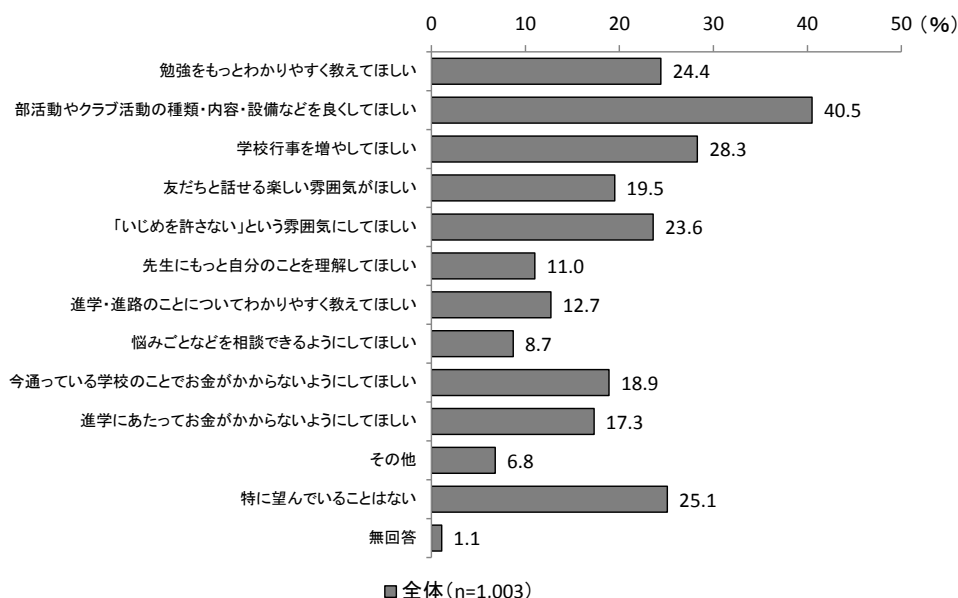
■ 自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「特にない」と回答した割合が高く、「親が自分の気持ちをわかってくれない」と回答した割合が低い。



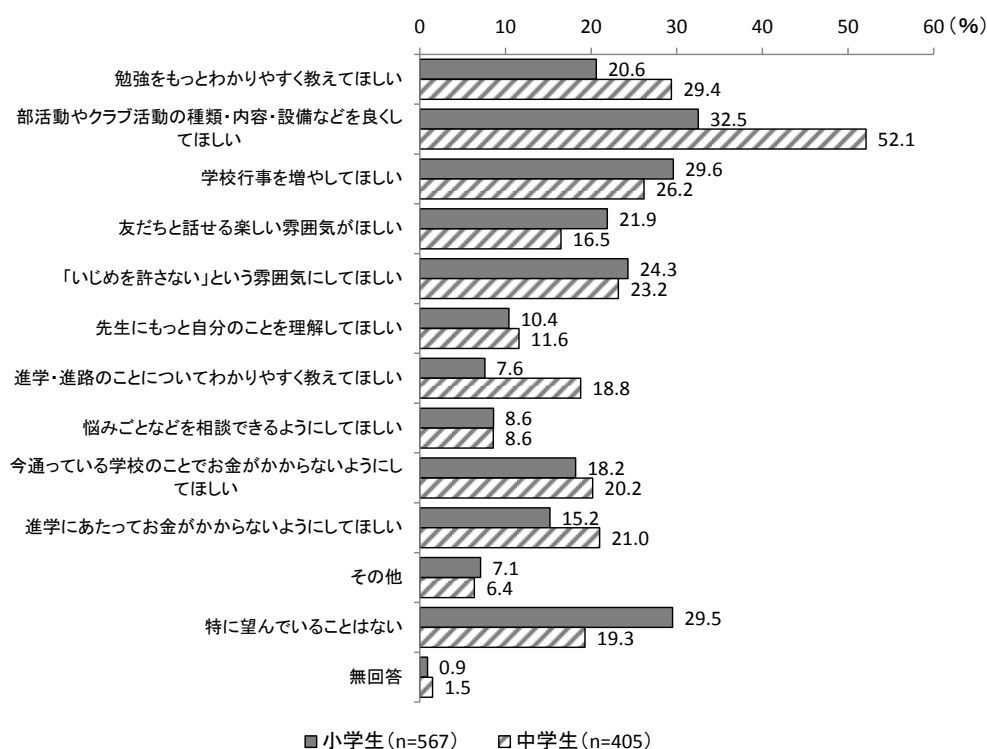
問 23 あなたは、学校のことについて、何か望んでいることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい」と回答した割合が 40.5%と最も高く、次いで「学校行事を増やしてほしい」が 28.3%となっている。



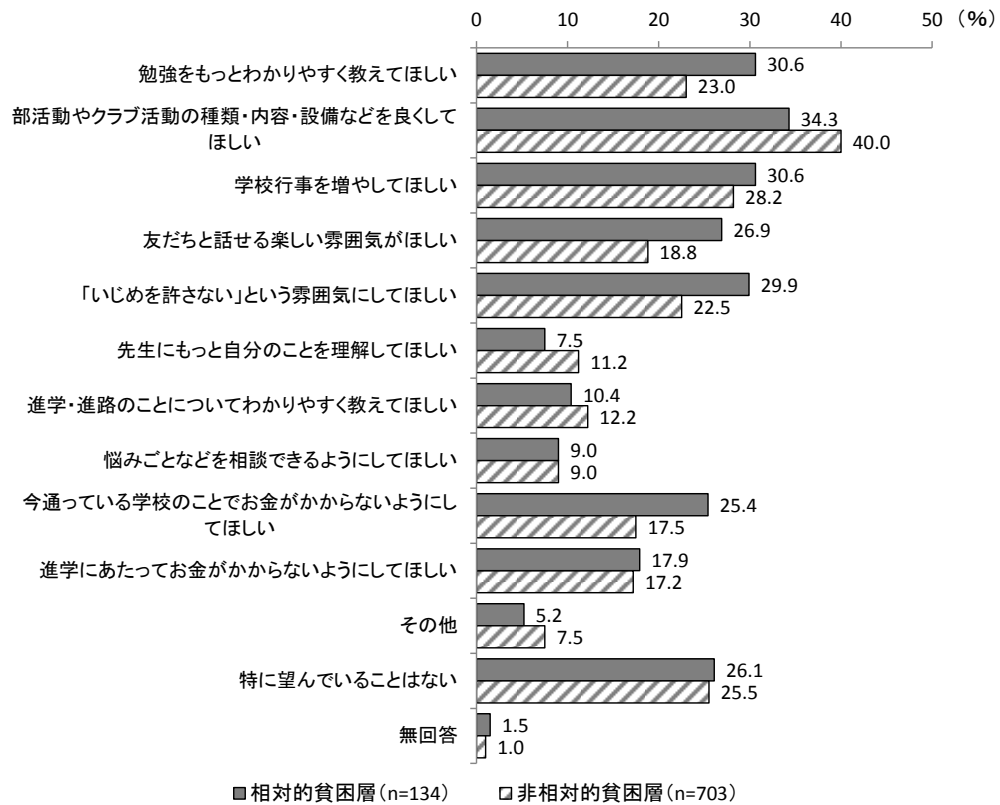
■ 学校種別

小学生では中学生と比べて「特に望んでいることはない」と回答した割合が高く、「部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい」「進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい」と回答した割合が低い。



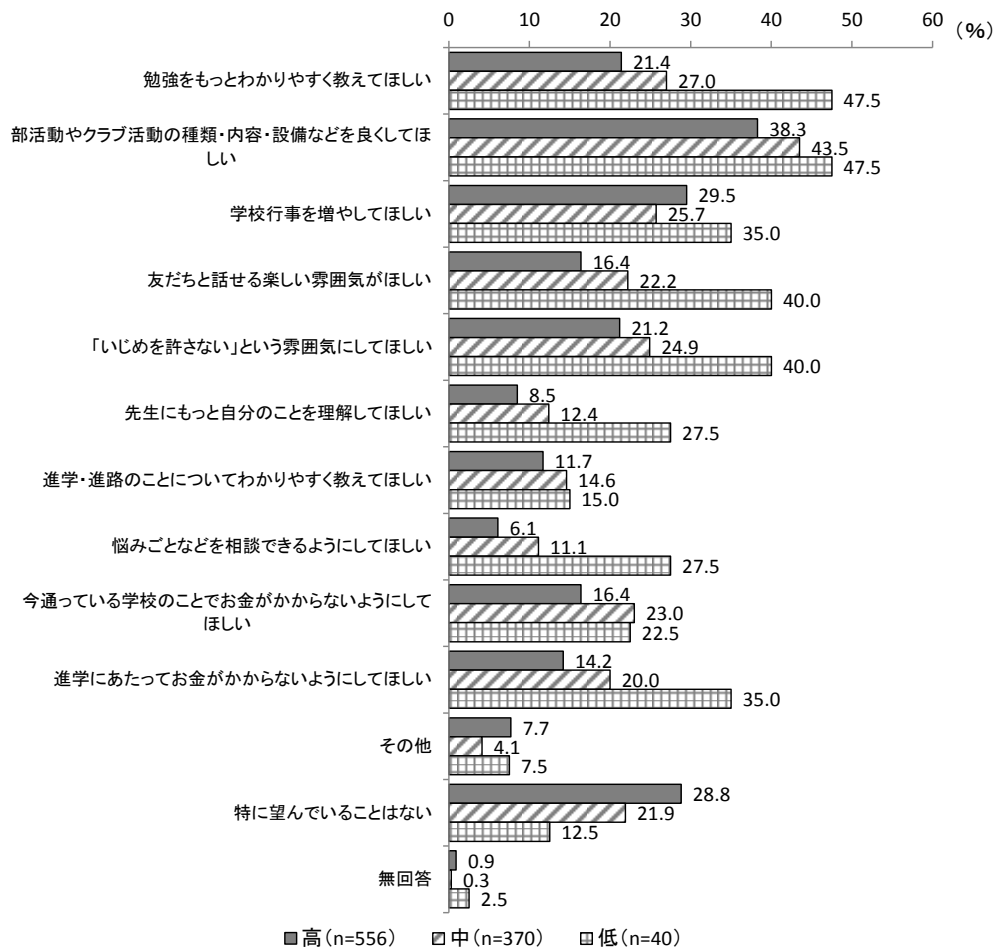
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「勉強をもっとわかりやすく教えてほしい」「友だちと話せる楽しい雰囲気してほしい」「いじめを許さない」という雰囲気にしてほしい」「今通っている学校のことでお金がかからないようにしてほしい」と回答した割合が高く、「部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

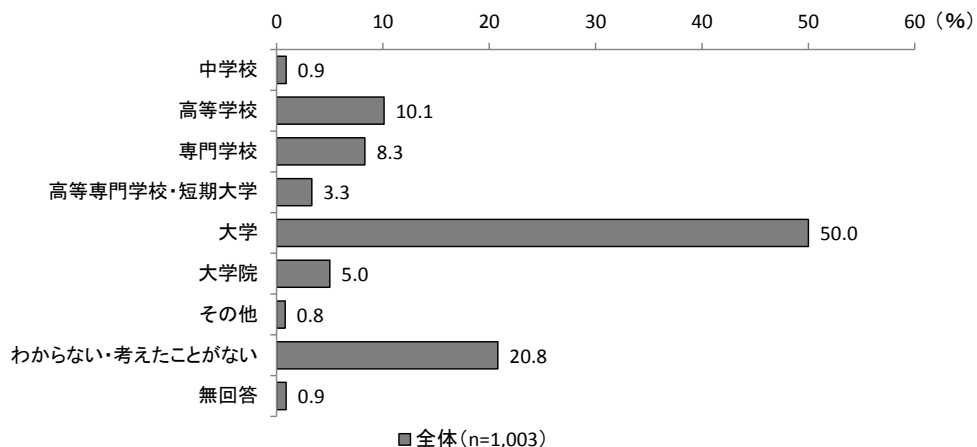
自己肯定感が高では中・低と比べて、「特に望んでいることはない」と回答した割合が高く、「勉強をもっとわかりやすく教えてほしい」「部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい」「悩みごとなどを相談できるようにしてほしい」「今通っている学校のことでお金がかからないようにしてほしい」「通学にあたってお金がかからないようにしてほしい」と回答した割合が低い。



問 24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

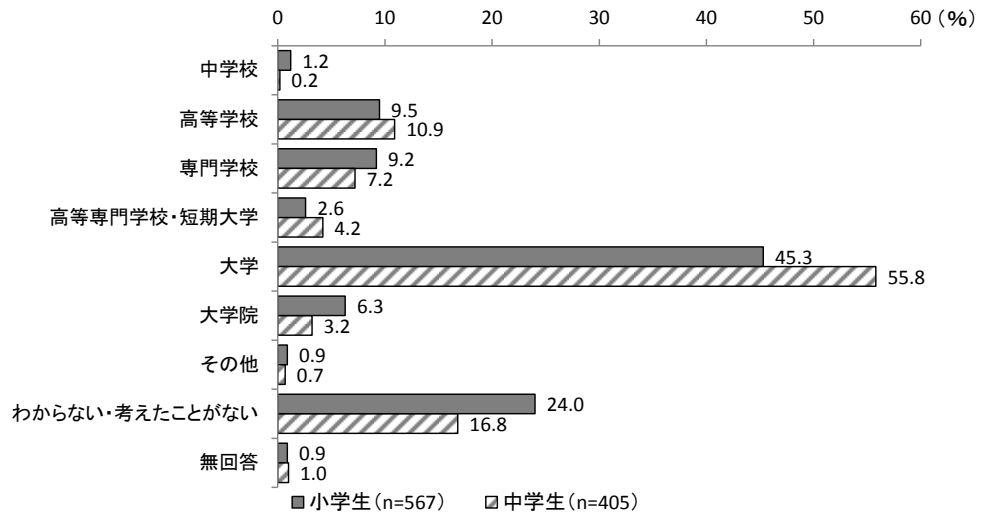
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「大学」と回答した割合が 50.0%と最も高く、次いで「わからない・考えたことがない」が 20.8%となっている。



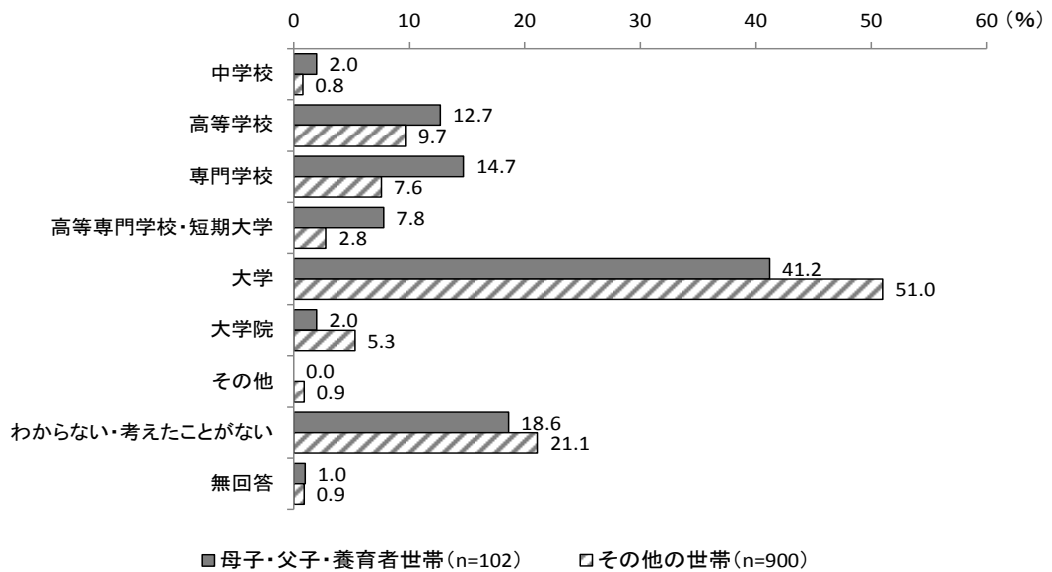
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「大学」と回答した割合が低い。



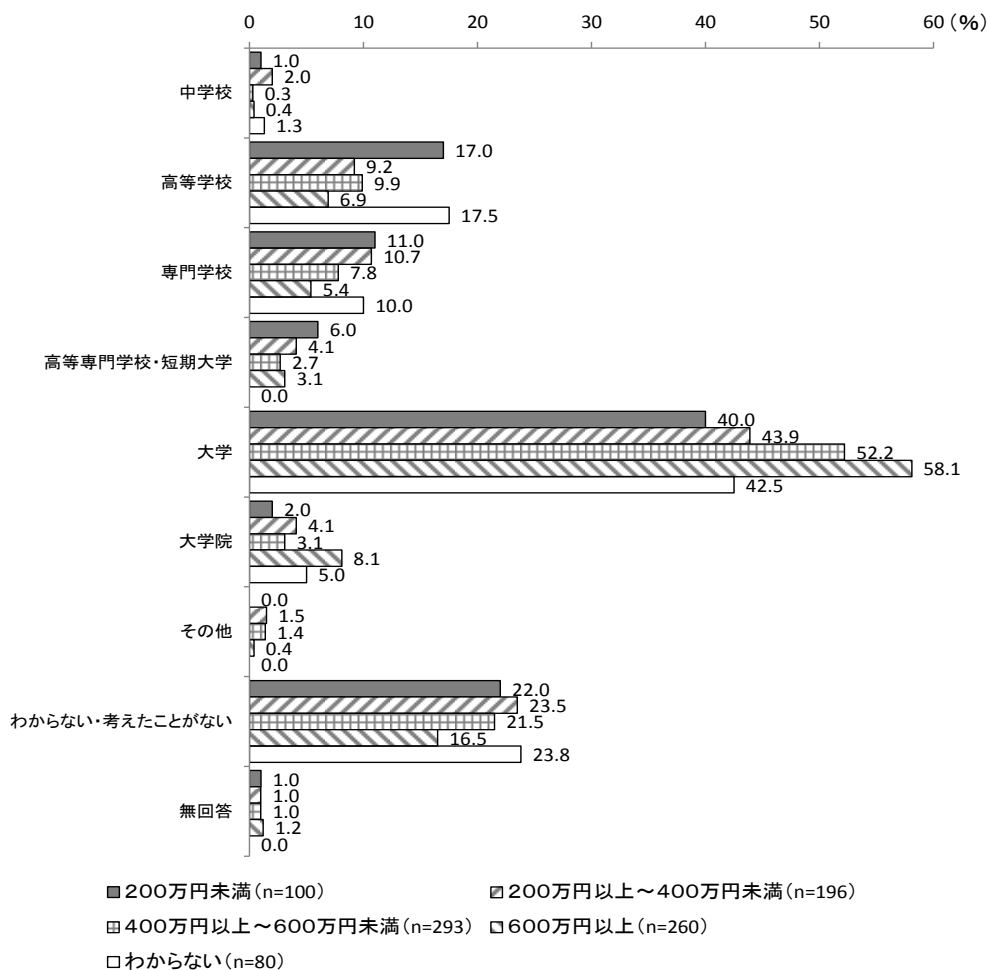
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「大学」と回答した割合が低い。



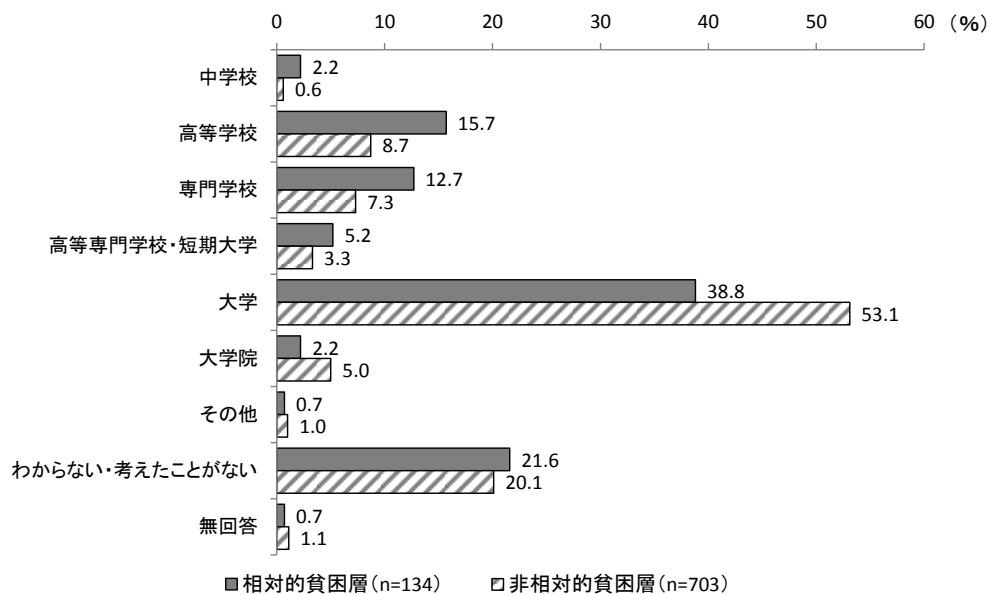
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「大学」と回答した割合が低い。



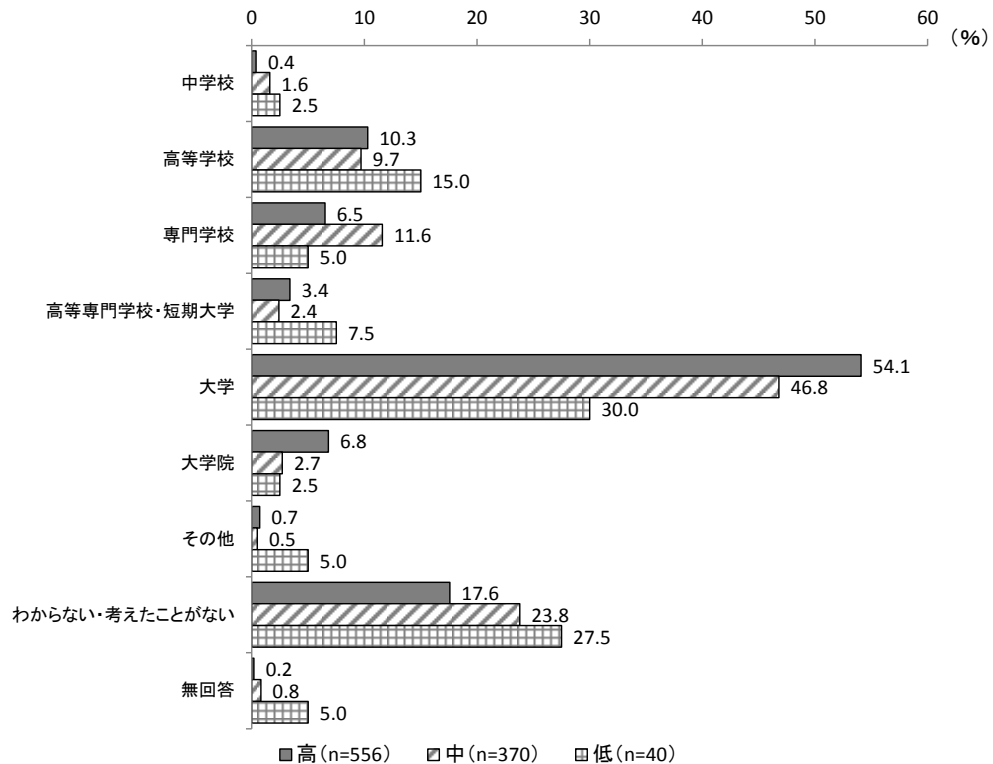
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「高等学校」「専門学校」と回答した割合が高く、「大学」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「大学」と回答した割合が高く、「わからない・考えたことがない」と回答した割合が低い。



■保護者の進学希望別（保護者問 14）

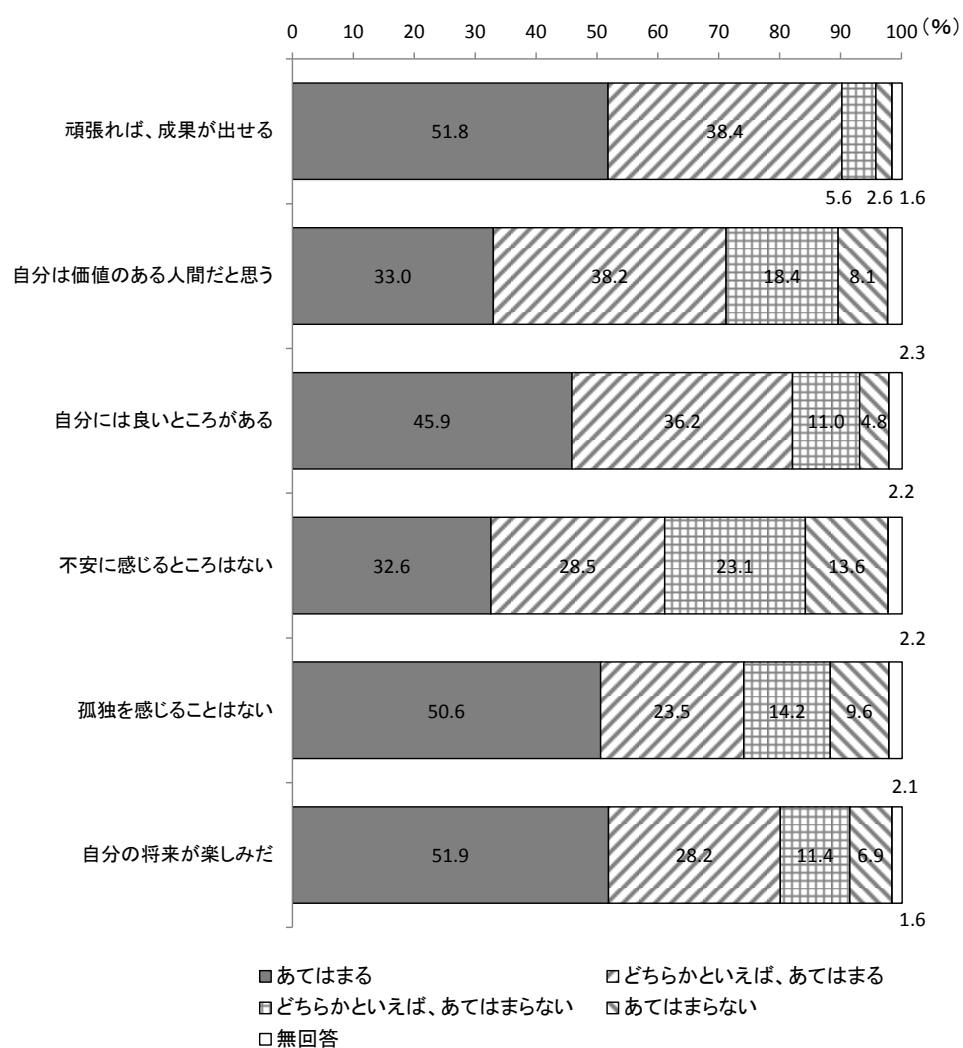
保護者の進学希望が高等学校では「高等学校」と回答した割合が高く、「大学」と回答した割合が低い。また、保護者の進学希望が大学では「大学」と回答した割合が高い。

	中学校	高等学校	専門学校	大学 高等専門学校・短期	大学	大学院	その他	わからない・考えたことがない	無回答
中学校 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校 (n=99)	2.0	33.3	13.1	4.0	20.2	1.0	0.0	26.3	0.0
短大 (n=31)	3.2	0.0	16.1	32.3	19.4	3.2	3.2	22.6	0.0
大学 (n=726)	0.6	6.7	4.5	2.1	60.1	4.8	0.8	19.1	1.2
大学院 (n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	42.3	0.0	7.7	0.0
専修学校・各種学校 (n=54)	3.7	14.8	38.9	1.9	13.0	1.9	0.0	25.9	0.0
その他 (n=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0
わからない (n=32)	0.0	21.9	6.3	3.1	28.1	3.1	0.0	37.5	0.0
特になし (n=16)	0.0	12.5	31.3	0.0	25.0	0.0	0.0	31.3	0.0
無回答 (n=11)	0.0	9.1	27.3	9.1	27.3	0.0	0.0	27.3	0.0

問 25 あなたは、自分自身のことをどう思いますか。
(それぞれ1つに○を付けてください)

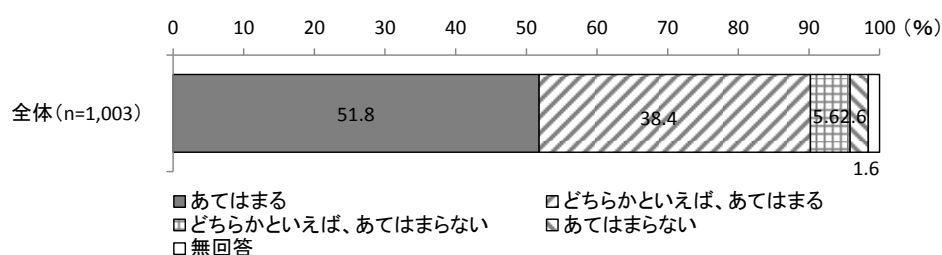
【一覧】

「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、「頑張れば、成果が出せる」の90.2%が最も高く、次いで「自分には良いところがある」(82.1%)、「自分の将来が楽しみだ」(80.1%)の順となっている。



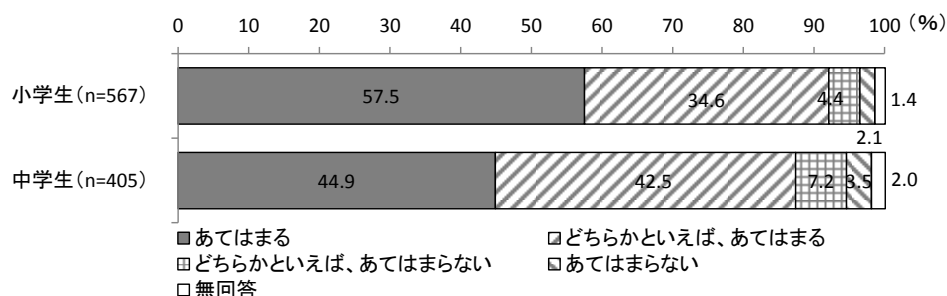
【頑張れば、成果が出せる】

「あてはまる」と回答した割合が 51.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」が 38.4%となっている。



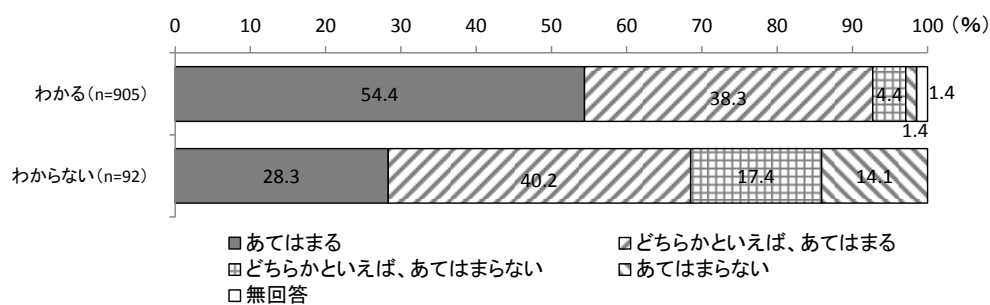
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「あてはまる」と回答した割合が高い。



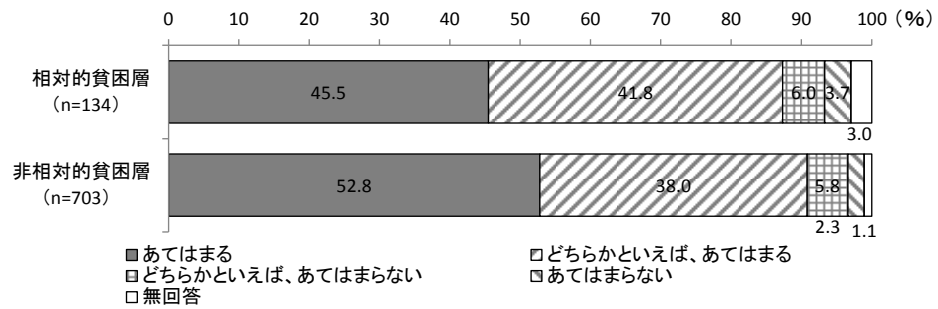
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



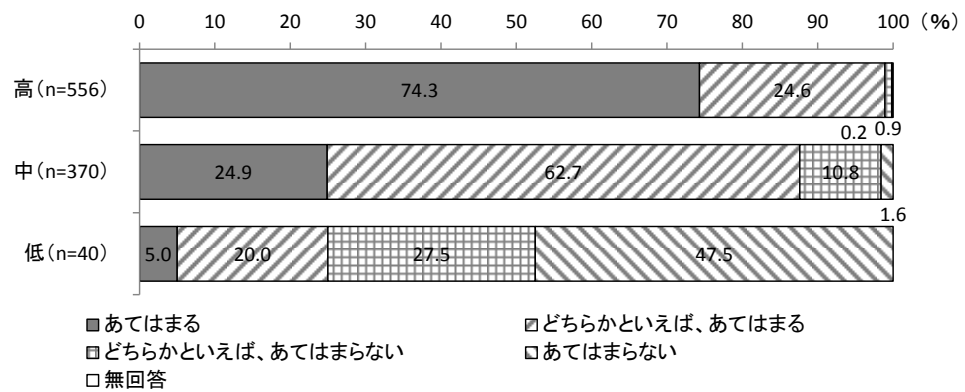
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■朝食摂取別（子ども問 8）

朝食摂取と「頑張れば、成果が出せる」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=926)	52.9	38.6	5.3	2.1	1.2
週に4～5回 (n=23)	39.1	39.1	13.0	4.3	4.3
週に2～3回 (n=29)	41.4	34.5	10.3	10.3	3.4
週に1回程度 (n=7)	28.6	42.9	—	28.6	—
食べない (n=9)	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1

■夕食摂取別（子ども問 9）

夕食摂取と「頑張れば、成果が出せる」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=986)	52.0	38.3	5.7	2.5	1.4
週に4～5回 (n=2)	50.0	50.0	—	—	—
週に2～3回 (n=2)	—	50.0	—	50.0	—
週に1回程度 (n=0)	—	—	—	—	—
食べない (n=0)	—	—	—	—	—

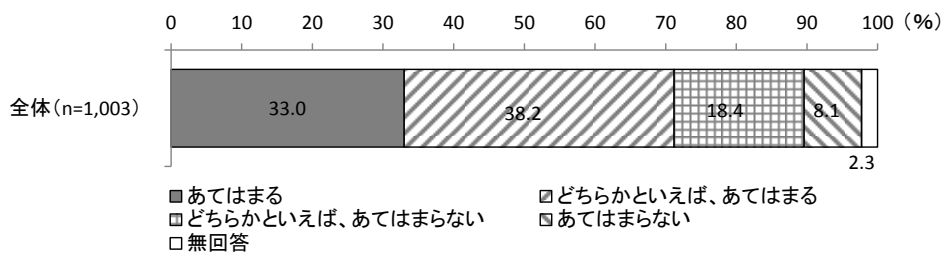
■子どもの悩み別（子ども問 20）

子どもの悩みと「頑張れば、成果が出せる」との関係は次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
おうちのこと・家族のこと (n=68)	41.2	41.2	10.3	2.9	4.4
学校や勉強のこと (n=222)	42.3	43.7	7.7	5.4	0.9
クラブ活動のこと (n=90)	42.2	42.2	8.9	5.6	1.1
自分のこと (n=157)	39.5	44.6	10.2	5.1	0.6
ともだちのこと (n=155)	45.8	39.4	9.0	5.8	—
好きな人のこと (n=87)	52.9	40.2	3.4	3.4	—
進学・進路のこと (n=194)	44.8	43.3	8.2	2.1	1.5
その他のこと (n=30)	43.3	36.7	6.7	13.3	—
いやなことや悩んでいることはない (n=488)	60.5	33.8	3.9	0.6	1.2

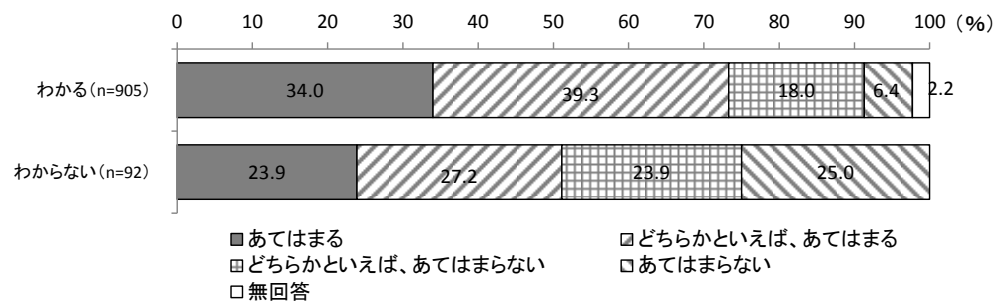
【自分は価値のある人間だと思う】

「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が 38.2%と最も高く、次いで「あてはまる」が 33.0%となっている。



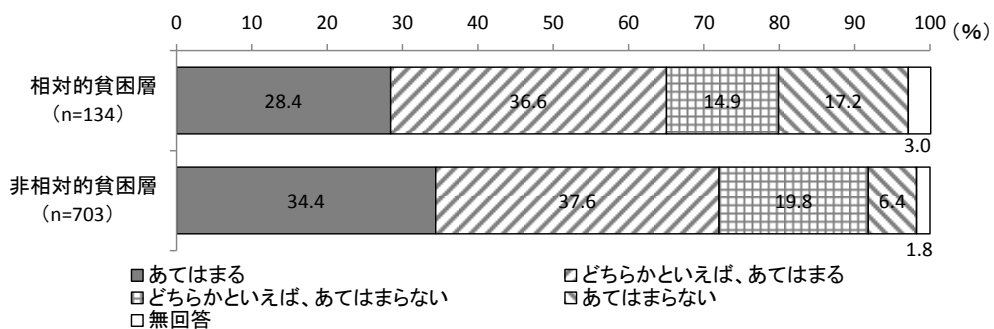
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



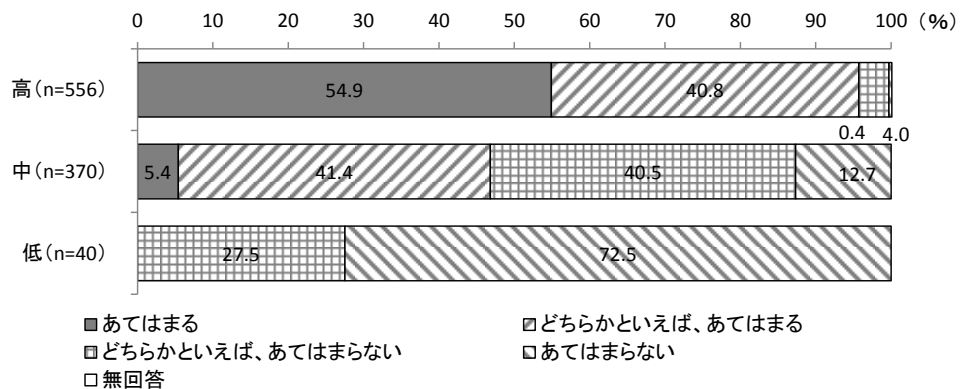
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■朝食摂取別（子ども問 8）

朝食摂取と「自分は価値のある人間だと思う」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=926)	34.1	39.1	17.9	7.0	1.8
週に4～5回 (n=23)	17.4	17.4	30.4	30.4	4.3
週に2～3回 (n=29)	27.6	24.1	27.6	17.2	3.4
週に1回程度 (n=7)	14.3	42.9	14.3	28.6	—
食べない (n=9)	—	44.4	22.2	22.2	11.1

■夕食摂取別（子ども問 9）

夕食摂取と「自分は価値のある人間だと思う」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=986)	33.4	38.0	18.5	8.1	2.0
週に4～5回 (n=2)	—	100.0	—	—	—
週に2～3回 (n=2)	—	—	50.0	50.0	—
週に1回程度 (n=0)	—	—	—	—	—
食べない (n=0)	—	—	—	—	—

■子どもの悩み別（子ども問 20）

おうちのこと・家族のこと・クラブ活動のこと・自分のこと・ともだちのこと・好きな人のことでは「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が高く、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
おうちのこと・家族のこと(n=68)	17.6	35.3	26.5	13.2	7.4
学校や勉強のこと(n=222)	26.1	39.2	19.8	13.1	1.8
クラブ活動のこと(n=90)	21.1	37.8	27.8	11.1	2.2
自分のこと(n=157)	17.2	35.7	26.8	18.5	1.9
ともだちのこと(n=155)	21.9	30.3	30.3	15.5	1.9
好きな人のこと(n=87)	29.9	29.9	23.0	17.2	—
進学・進路のこと(n=194)	27.3	36.6	23.2	10.8	2.1
その他のこと(n=30)	23.3	40.0	20.0	16.7	—
いやなことや悩んでいることはない(n=488)	38.7	40.6	15.4	3.3	2.0

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.80 であるのに対し、600 万円以上では 3.09 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答	得点
全体	1003	331	383	185	81	23	2.98
	100	33	38.2	18.4	8.1	2.3	
200万円未満	100	30	34	17	16	3	2.80
	100	30	34	17	16	3	
200万円以上～400万円未満	196	59	80	38	15	4	2.95
	100	30.1	40.8	19.4	7.7	2	
400万円以上～600万円未満	293	95	106	67	20	5	2.96
	100	32.4	36.2	22.9	6.8	1.7	
600万円以上	260	99	98	39	18	6	3.09
	100	38.1	37.7	15	6.9	2.3	
わからない	80	24	29	16	8	3	2.90
	100	30	36.3	20	10	3.8	

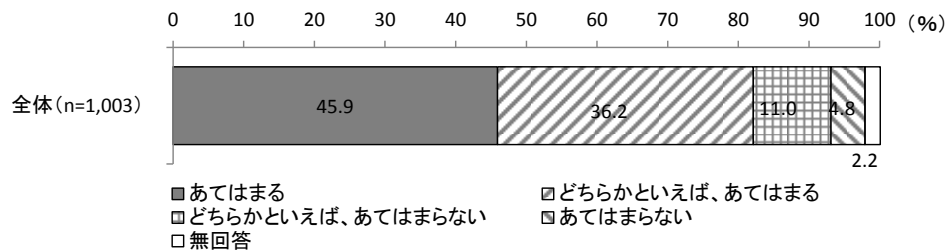
※得点は、「あてはまる」：4点、「どちらかといえば、あてはまる」：3点、「どちらかといえば、あてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

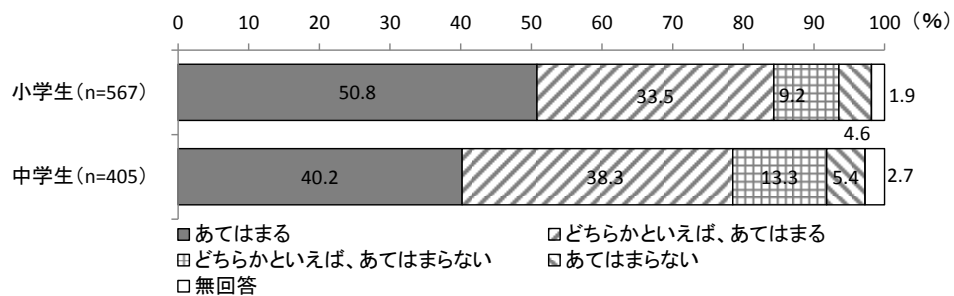
【自分には良いところがある】

「あてはまる」と回答した割合が 45.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」が 36.2%となっている。



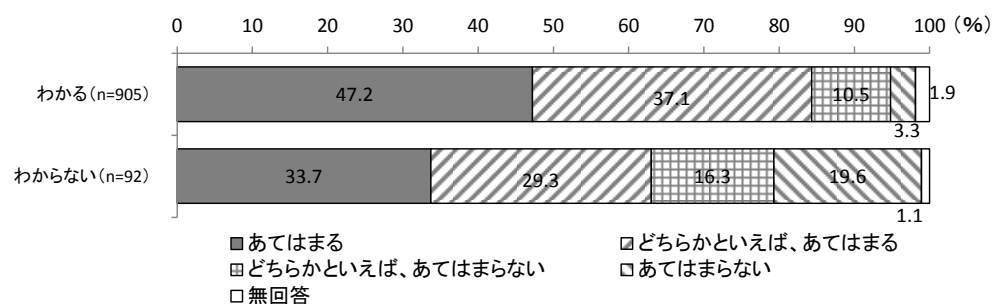
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「あてはまる」と回答した割合が高い。



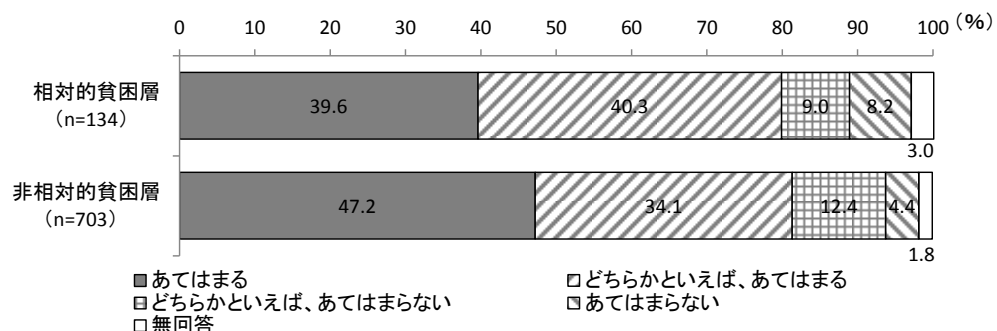
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



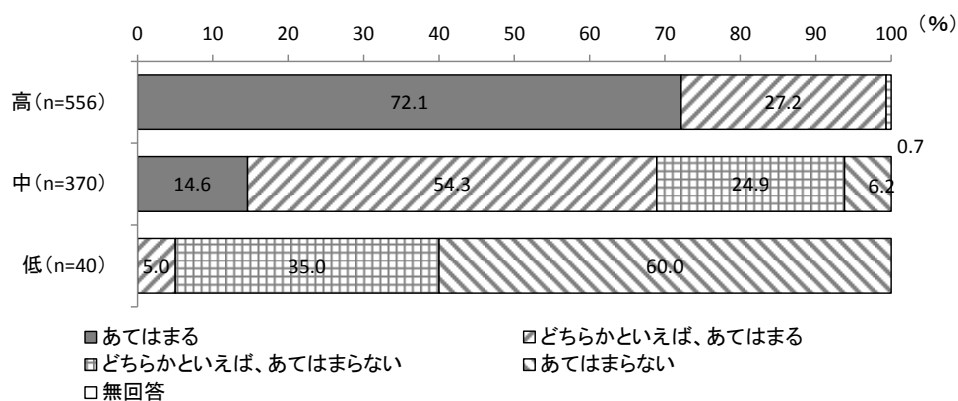
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が高く、「あてはまる」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■朝食摂取別（子ども問 8）

朝食摂取と「自分には良いところがある」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=926)	47.3	36.1	10.5	4.3	1.8
週に4～5回 (n=23)	17.4	39.1	30.4	8.7	4.3
週に2～3回 (n=29)	37.9	34.5	13.8	10.3	3.4
週に1回程度 (n=7)	14.3	57.1	—	28.6	—
食べない (n=9)	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1

■夕食摂取別（子ども問 9）

夕食摂取と「自分には良いところがある」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=986)	46.0	36.1	11.1	4.8	2.0
週に4～5回 (n=2)	100.0	—	—	—	—
週に2～3回 (n=2)	—	50.0	—	50.0	—
週に1回程度 (n=0)	—	—	—	—	—
食べない (n=0)	—	—	—	—	—

■子どもの悩み別（子ども問 20）

おうちのこと・自分のことでは「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が高く、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
おうちのこと・家族のこと(n=68)	33.8	33.8	16.2	10.3	5.9
学校や勉強のこと(n=222)	43.2	34.2	11.7	9.0	1.8
クラブ活動のこと(n=90)	25.6	52.2	11.1	8.9	2.2
自分のこと(n=157)	35.0	35.0	17.2	12.1	0.6
ともだちのこと(n=155)	36.8	37.4	15.5	9.7	0.6
好きな人のこと(n=87)	44.8	37.9	6.9	10.3	—
進学・進路のこと(n=194)	40.7	37.1	14.9	5.2	2.1
その他のこと(n=30)	30.0	40.0	3.3	26.7	—
いやなことや悩んでいることはない(n=488)	52.3	34.8	9.0	2.3	1.6

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 3.15 であるのに対し、600 万円以上では 3.32 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答	得点
全体	1003 100	460 45.9	363 36.2	110 11	48 4.8	22 2.2	3.26
200万円未満	100 100	41 41	37 37	12 12	7 7	3 3	3.15
200万円以上～ 400万円未満	196 100	80 40.8	82 41.8	22 11.2	8 4.1	4 2	3.22
400万円以上～ 600万円未満	293 100	133 45.4	104 35.5	35 11.9	16 5.5	5 1.7	3.23
600万円以上	260 100	134 51.5	78 30	31 11.9	11 4.2	6 2.3	3.32
わからない	80 100	35 43.8	32 40	6 7.5	4 5	3 3.8	3.27

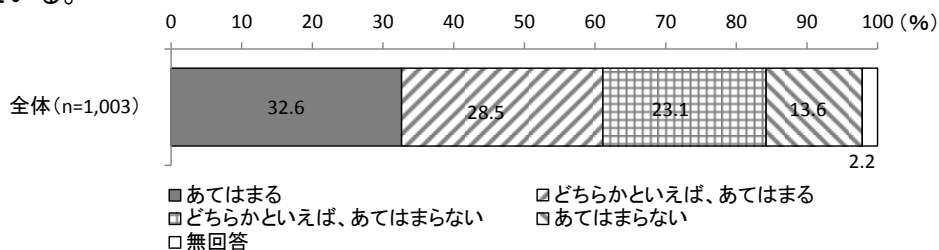
※得点は、「あてはまる」：4点、「どちらかといえば、あてはまる」：3点、「どちらかといえば、あてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

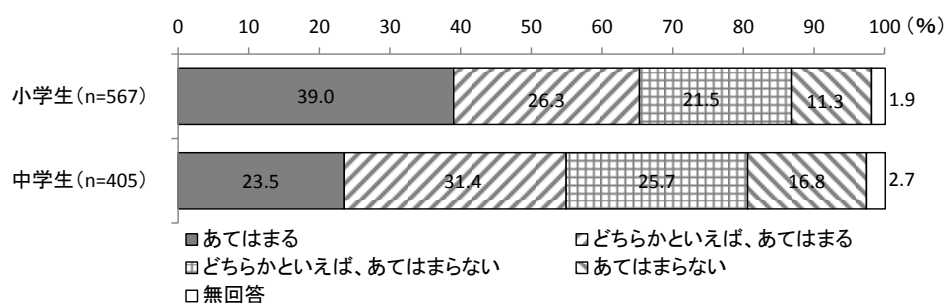
【不安に感じるところはない】

「あてはまる」と回答した割合が 32.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」が 28.5%となっている。



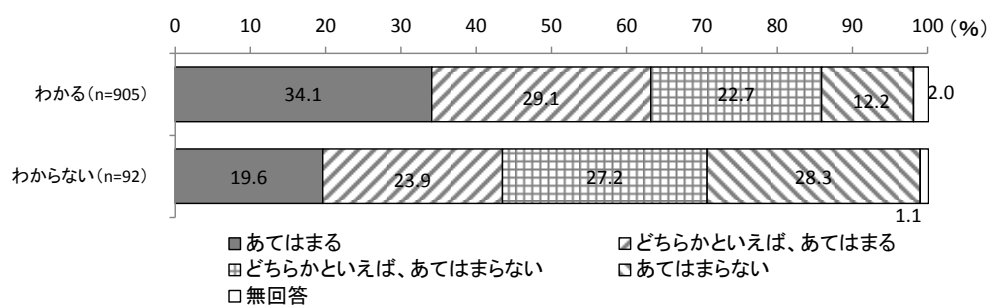
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「あてはまる」と回答した割合が高い。



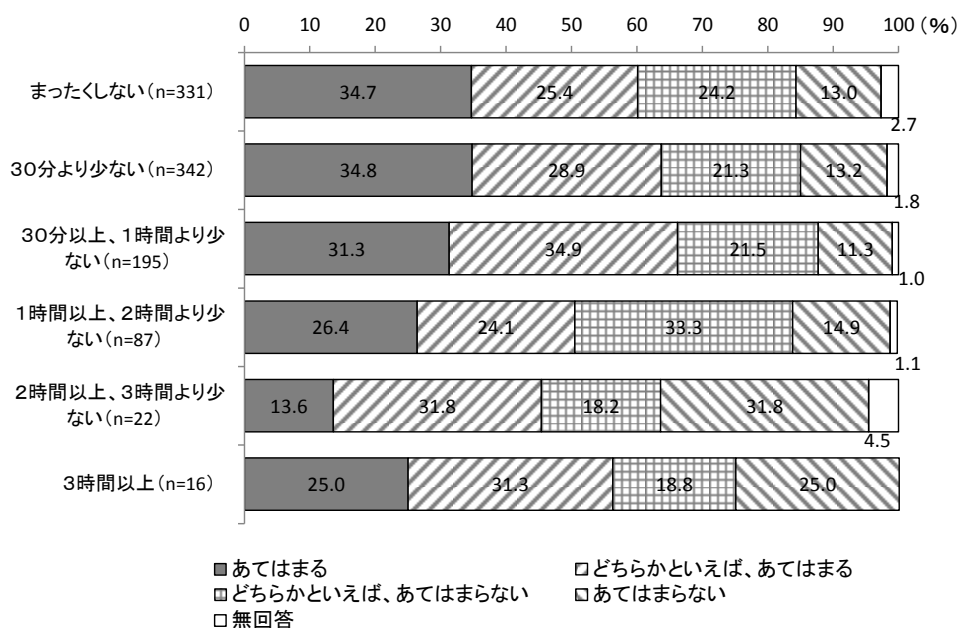
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



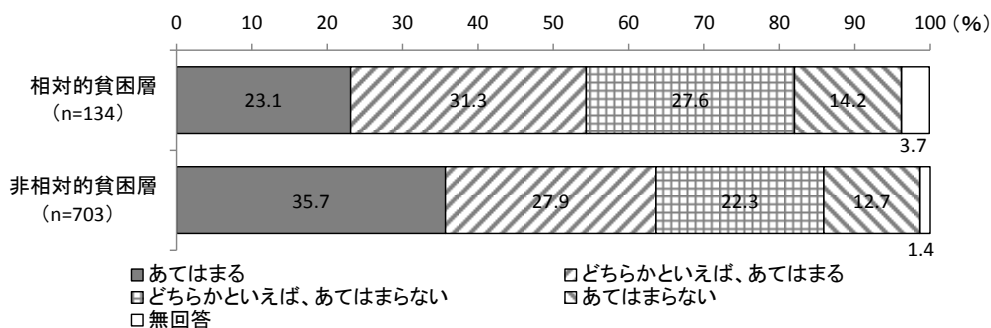
■読書時間別

2時間以上、3時間より少ないでは他の読書時間区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



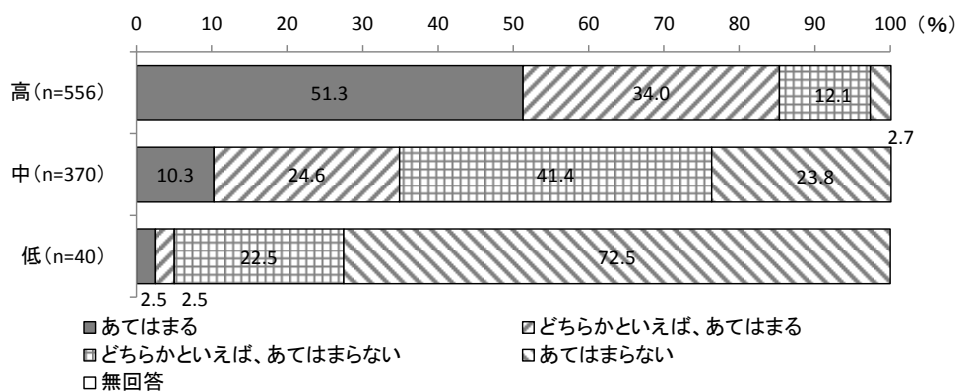
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「どちらかといえば、あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■朝食摂取別（子ども問 8）

朝食摂取と「不安に感じる場所はない」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=926)	32.6	29.5	22.7	13.4	1.8
週に4～5回 (n=23)	17.4	26.1	39.1	13.0	4.3
週に2～3回 (n=29)	44.8	6.9	27.6	17.2	3.4
週に1回程度 (n=7)	28.6	28.6	14.3	28.6	-
食べない (n=9)	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1

■夕食摂取別（子ども問 9）

夕食摂取と「不安に感じる場所はない」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=986)	32.5	28.6	23.1	13.8	2.0
週に4～5回 (n=2)	50.0	-	50.0	-	-
週に2～3回 (n=2)	100.0	-	-	-	-
週に1回程度 (n=0)	-	-	-	-	-
食べない (n=0)	-	-	-	-	-

■子どもの悩み別（子ども問 20）

おうちのこと・家族のこと・学校や勉強のこと・クラブ活動のこと・自分のこと・ともだちのこと・好きな人のこと・進学・進路のことでは「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が高く、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

いやなことや悩んでいることはないでは、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が低い。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
おうちのこと・家族のこと(n=68)	10.3	23.5	38.2	20.6	7.4
学校や勉強のこと(n=222)	16.2	27.0	27.9	26.1	2.7
クラブ活動のこと(n=90)	13.3	20.0	37.8	26.7	2.2
自分のこと(n=157)	12.7	22.3	35.0	28.7	1.3
ともだちのこと(n=155)	18.1	18.1	34.8	27.1	1.9
好きな人のこと(n=87)	16.1	21.8	36.8	24.1	1.1
進学・進路のこと(n=194)	17.5	29.9	27.3	22.7	2.6
その他のこと(n=30)	23.3	30.0	16.7	26.7	3.3
いやなことや悩んでいることはない(n=488)	46.9	30.9	14.5	6.1	1.4

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.64 であるのに対し、600 万円以上では 2.95 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答	得点
全体	1003 100	327 32.6	286 28.5	232 23.1	136 13.6	22 2.2	2.82
200万円未満	100 100	22 22	31 31	31 31	13 13	3 3	2.64
200万円以上～ 400万円未満	196 100	65 33.2	58 29.6	44 22.4	24 12.2	5 2.6	2.86
400万円以上～ 600万円未満	293 100	93 31.7	82 28	77 26.3	36 12.3	5 1.7	2.81
600万円以上	260 100	105 40.4	71 27.3	44 16.9	37 14.2	3 1.2	2.95
わからない	80 100	19 23.8	20 25	18 22.5	18 22.5	5 6.3	2.53

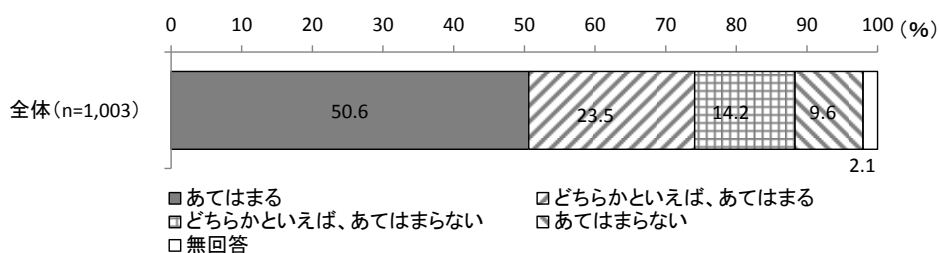
※得点は、「あてはまる」：4点、「どちらかといえば、あてはまる」：3点、「どちらかといえば、あてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

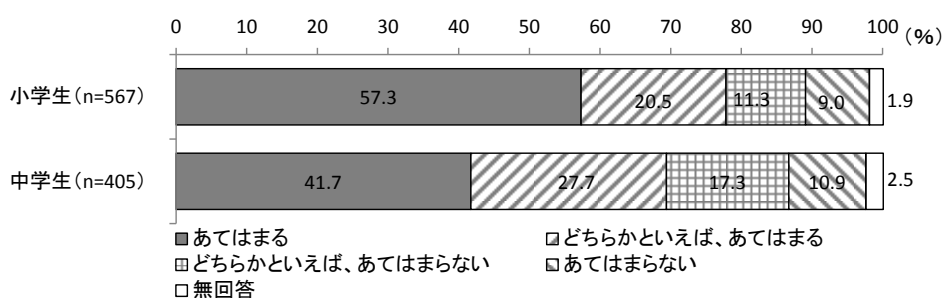
【孤独を感じることはない】

「あてはまる」と回答した割合が 50.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」が 23.5%となっている。



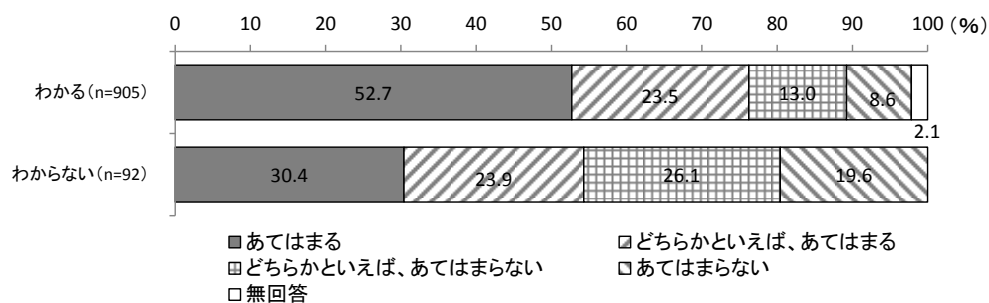
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「あてはまる」と回答した割合が高い。



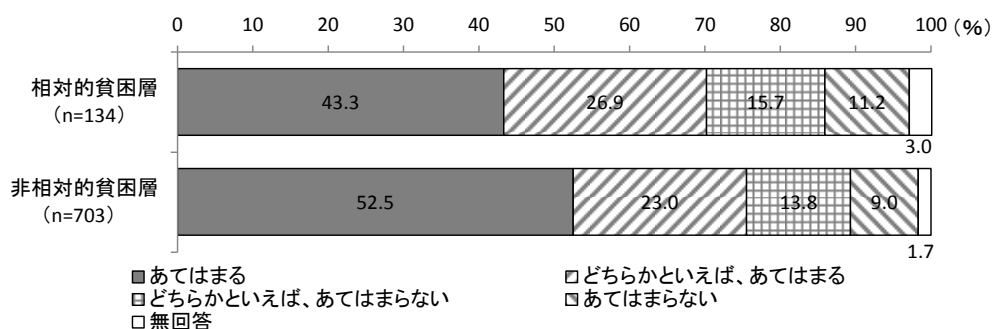
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



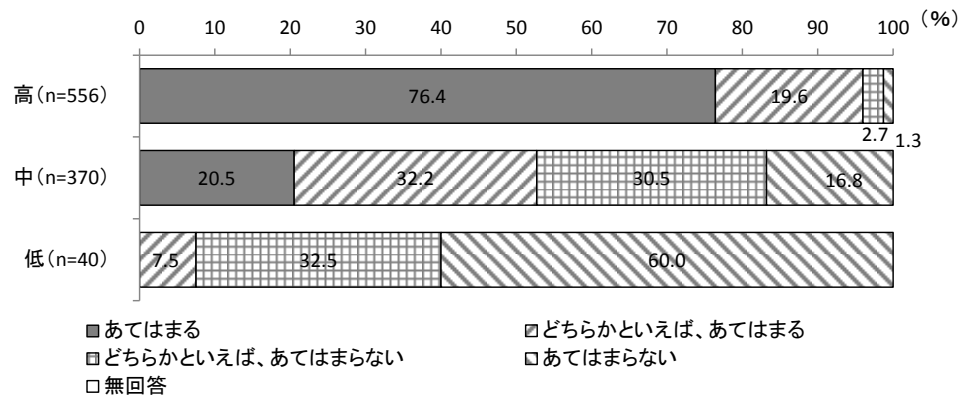
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」と回答した割合は低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■朝食摂取別（子ども問 8）

朝食摂取と「孤独を感じることはない」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=926)	51.3	23.7	13.8	9.5	1.7
週に4～5回 (n=23)	39.1	26.1	21.7	8.7	4.3
週に2～3回 (n=29)	55.2	20.7	10.3	10.3	3.4
週に1回程度 (n=7)	28.6	28.6	14.3	28.6	-
食べない (n=9)	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1

■夕食摂取別（子ども問 9）

夕食摂取と「孤独を感じることはない」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=986)	50.8	23.6	14.1	9.5	1.9
週に4～5回 (n=2)	50.0	50.0	-	-	-
週に2～3回 (n=2)	-	-	-	100.0	-
週に1回程度 (n=0)	-	-	-	-	-
食べない (n=0)	-	-	-	-	-

■子どもの悩み別（子ども問 20）

おうちのこと・家族のこと・学校や勉強のこと・クラブ活動のこと・自分のこと・ともだちのこと・進学・進路のことでは「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が高く、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

いやなことや悩んでいることはないでは、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が低い。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
おうちのこと・家族のこと(n=68)	32.4	20.6	25.0	16.2	5.9
学校や勉強のこと(n=222)	32.4	27.0	23.0	15.8	1.8
クラブ活動のこと(n=90)	23.3	26.7	26.7	21.1	2.2
自分のこと(n=157)	25.5	29.9	28.7	14.6	1.3
ともだちのこと(n=155)	27.7	21.3	29.7	20.6	0.6
好きな人のこと(n=87)	37.9	29.9	18.4	12.6	1.1
進学・進路のこと(n=194)	32.5	28.9	25.3	11.3	2.1
その他のこと(n=30)	36.7	33.3	16.7	13.3	-
いやなことや悩んでいることはない(n=488)	65.0	21.1	6.6	5.9	1.4

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 3.04 であるのに対し、600 万円以上では 3.29 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答	得点
全体	1003	508	236	142	96	21	3.18
	100	50.6	23.5	14.2	9.6	2.1	
200万円未満	100	44	24	18	11	3	3.04
	100	44	24	18	11	3	
200万円以上～400万円未満	196	90	52	34	15	5	3.14
	100	45.9	26.5	17.3	7.7	2.6	
400万円以上～600万円未満	293	150	69	38	33	3	3.16
	100	51.2	23.5	13	11.3	1	
600万円以上	260	147	56	29	22	6	3.29
	100	56.5	21.5	11.2	8.5	2.3	
わからない	80	38	19	9	11	3	3.09
	100	47.5	23.8	11.3	13.8	3.8	

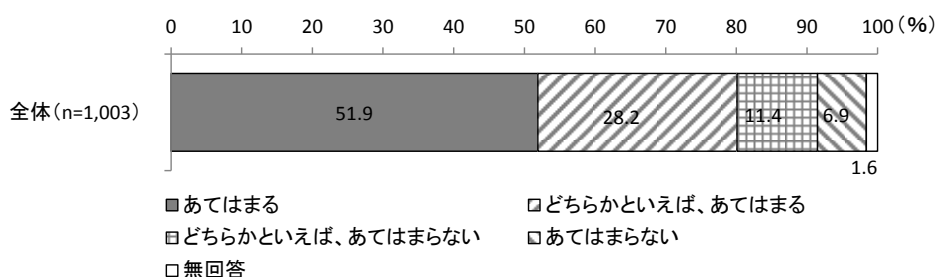
※得点は、「あてはまる」：4点、「どちらかといえば、あてはまる」：3点、「どちらかといえば、あてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

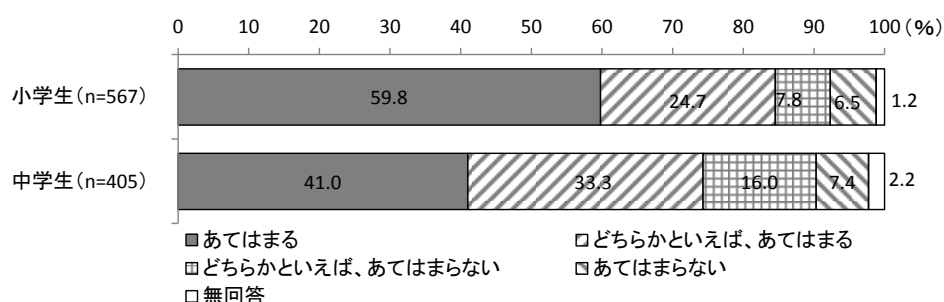
【自分の将来が楽しみだ】

「あてはまる」と回答した割合が 51.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」が 28.2%となっている。



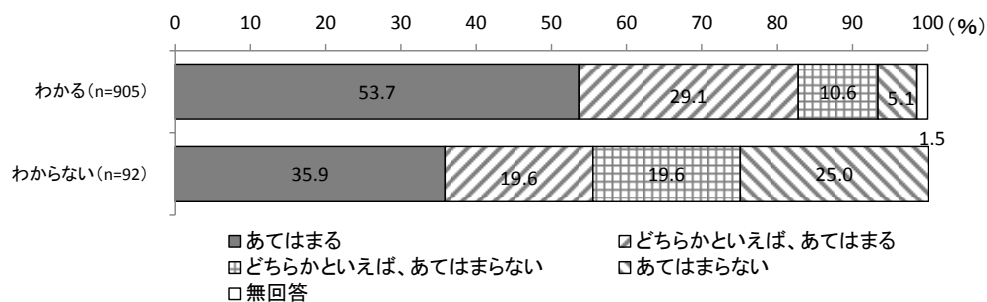
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「あてはまる」と回答した割合が高い。



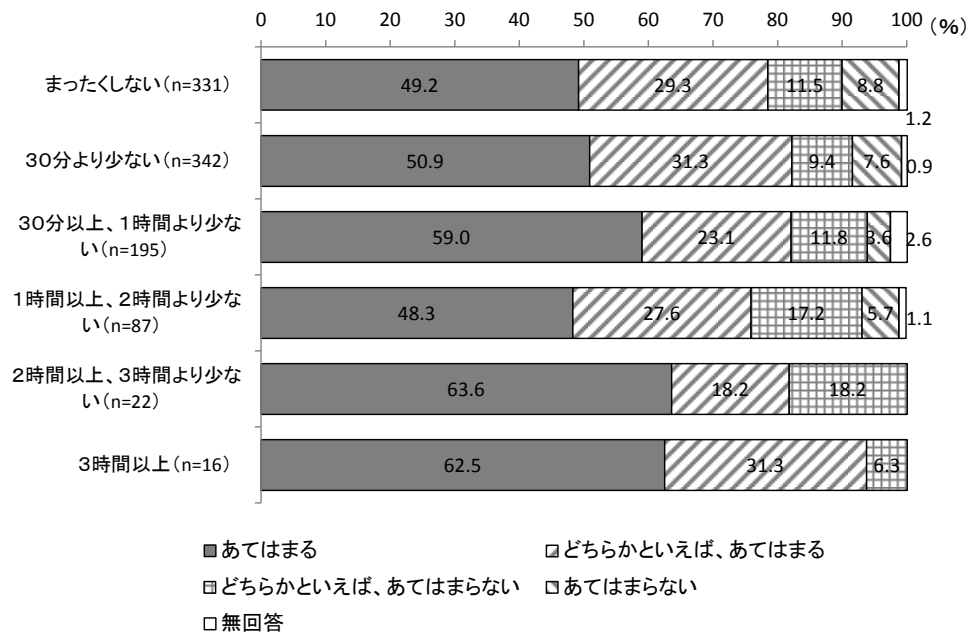
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



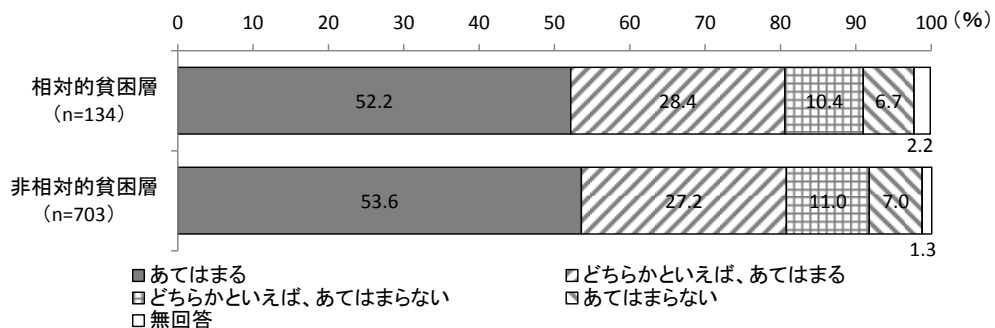
■読書時間別（子ども問 18）

3時間以上では他の読書時間区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高い。



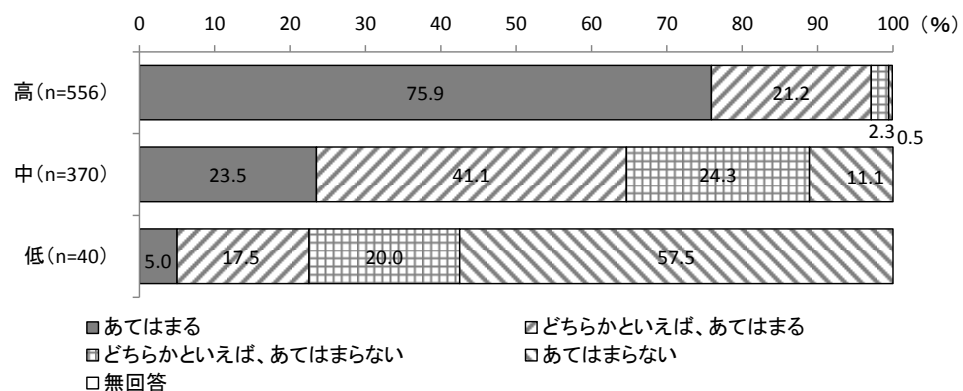
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■朝食摂取別（子ども問 8）

朝食摂取と「自分の将来が楽しみだ」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=926)	52.8	28.7	11.1	6.0	1.3
週に4～5回 (n=23)	34.8	34.8	17.4	8.7	4.3
週に2～3回 (n=29)	55.2	17.2	3.4	20.7	3.4
週に1回程度 (n=7)	28.6	—	28.6	42.9	—
食べない (n=9)	44.4	—	33.3	22.2	—

■夕食摂取別（子ども問 9）

夕食摂取と「自分の将来が楽しみだ」との関係は、次のとおりである。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
毎日・ほぼ毎日 (n=986)	52.2	28.1	11.5	6.8	1.4
週に4～5回 (n=2)	100.0	—	—	—	—
週に2～3回 (n=2)	50.0	—	—	50.0	—
週に1回程度 (n=0)	—	—	—	—	—
食べない (n=0)	—	—	—	—	—

■子どもの悩み別（子ども問 20）

おうちのこと・自分のことでは「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が高く、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

ともだちのことでは、「どちらかといえば、あてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
おうちのこと・家族のこと(n=68)	38.2	26.5	17.6	14.7	2.9
学校や勉強のこと(n=222)	41.9	31.5	14.0	11.7	0.9
クラブ活動のこと(n=90)	31.1	42.2	16.7	8.9	1.1
自分のこと(n=157)	33.8	32.5	21.0	12.1	0.6
ともだちのこと(n=155)	34.8	36.1	16.8	12.3	—
好きな人のこと(n=87)	49.4	31.0	16.1	3.4	—
進学・進路のこと(n=194)	38.1	33.0	18.0	9.3	1.5
その他のこと(n=30)	43.3	23.3	23.3	10.0	—
いやなことや悩んでいることはない(n=488)	62.9	23.6	8.0	4.1	1.4

問 26 自由意見

■意見一覧

大項目		小項目	件数
1	経験してみて良かった事 (120 件)	1 クラブ活動について	17
		2 進学や勉強について	31
		3 先の将来・なりたい職業について	8
		4 課外活動について(スポーツ／文化・芸術)	29
		5 人間関係について	27
		6 学校や先生・授業に対して	3
		7 その他	5
2	今現在興味がある事 (129 件)	1 クラブ活動について	7
		2 進学や勉強について	12
		3 先の将来・なりたい職業について	8
		4 課外活動について(スポーツ／文化・芸術)	82
		5 人間関係について	13
		6 学校や先生・授業に対して	5
		7 その他	2
3	これからやってみたい事 (204 件)	1 クラブ活動について	17
		2 進学や勉強について	34
		3 先の将来・なりたい職業について	91
		4 課外活動について(スポーツ／文化・芸術)	47
		5 人間関係について	7
		6 学校や先生・授業に対して	5
		7 その他	3
4	その他 (87 件)	1 人間関係について	9
		2 このアンケートについて	11
		3 学校や先生・授業に対して	32
		4 不明	35

■意見抜粋

【経験してみて良かった事】

- ・クラブ活動の美術部で絵を書くのが楽しかったから。クラブに入ってよかった。
- ・塾へ行き始めてから、勉強が嫌じゃなくなった。
- ・お父さんが建築家で、お父さんの仕事を一回だけ手伝ったことがあり、おばあちゃんの家の松の木をきって
いて楽しかったの、これは、いい経験になったなあと思いました。
- ・地域のスポーツクラブに入って、自分の目標ができたこと。
- ・友達といっぱい遊んだことが良かった。
- ・職場体験・校外学習などの学校行事。
- ・意外と規則正しい生活をしていることが分かった。これからも、健康に生活をしていきたいです。

【今現在興味がある事】

- ・今は、料理作り、手芸、器械体操に興味があります。
- ・今、興味がある教科は、算数です。塾へ行っていて、そのおかげで算数に興味を、もつことができてよかった
です。次からは、国語が、できるようにめあてをもってやっていきたいと思っています。

- ・わたしが、今興味あることは、建築士です。未来に役に立てるよう、人のことを考え、優しく対応できるよう、がんばります。
- ・今、僕は、サッカーに夢中です。サッカーしているときが一番楽しいです。
- ・私は実際人見知りで、人と顔を合わせるのも好きではないですが、ネットの友達と話すのは楽しくて好きです。
- ・今私は読書に興味があります。さくらタイムという朝の時間に本を読みますが、みんな真剣に読むと、心が落ち着いた状態のまま授業に入れていると思うので続けてほしいです。

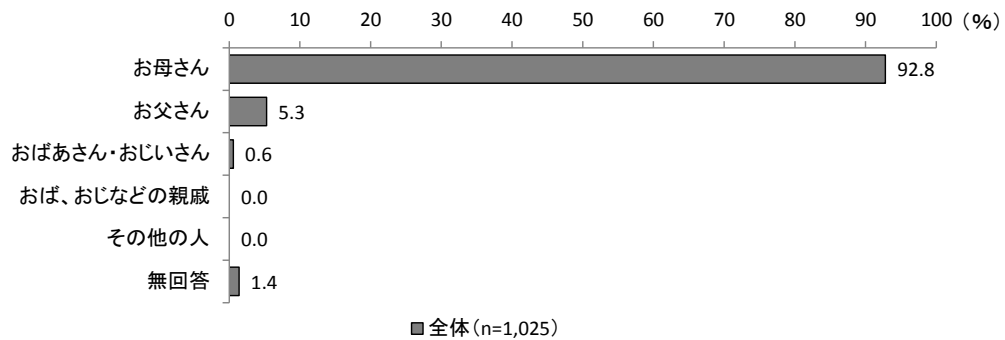
【これからやってみたい事】

- ・部活にもっと専念してドラムがうまくなりたい。
- ・学校では、テストの点数が全体的にもう少しがんばったら点数がもっと良くなると思うので、これからもっと自分が納得いく点数の生活ができるよう、しっかり勉強していきたいと思います。
- ・私は、将来はお医者さんになりたいと思っています。それも、研究医で、ガンのことを研究したいです。そして、薬を開発して、多くの人々を助けたいです。もう一つの目的は、お金を稼いで、お世話になった家族を旅行につれて行ってあげることです。この夢が実現するかわからないけど、頑張っていきたいです。
- ・もっといろんなスポーツを経験したい。例えばスキーなどのウィンタースポーツ、オリンピック競技になった野球やアーチェリーなど。
- ・これからやってみたいことは、友達と買い物にいったり、家で遊んだりすること。
- ・もっといろんなスポーツを学校の授業でしてみたいです。

3 保護者編

問1 お子さんから見たあなたの関係について教えてください。（1つだけに○）

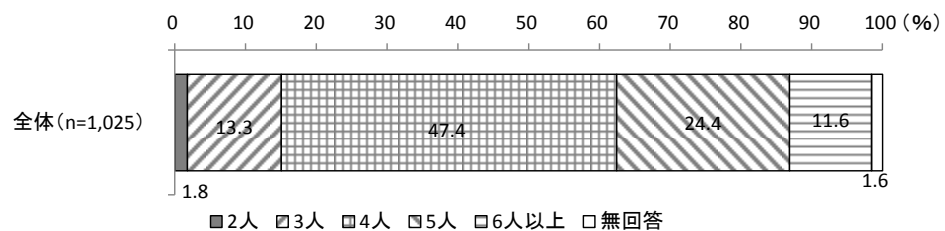
保護者の回答者は母が多い。



問2 世帯の人数を教えてください。また、同居している家族をお答えください。

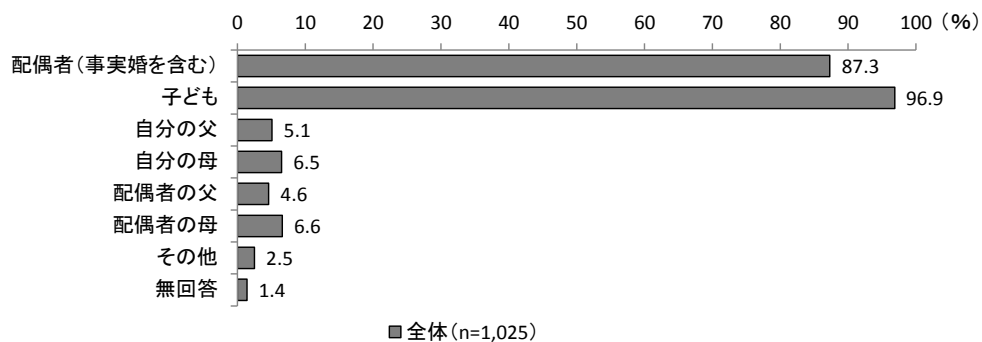
【世帯人数】

「4人」と回答した割合が 47.4%と最も高く、次いで「5人」が 24.4%となっている。



【同居家族】

「子ども」と回答した割合が 96.9%と最も高く、次いで「配偶者（事実婚を含む）」が 87.3%となっている。

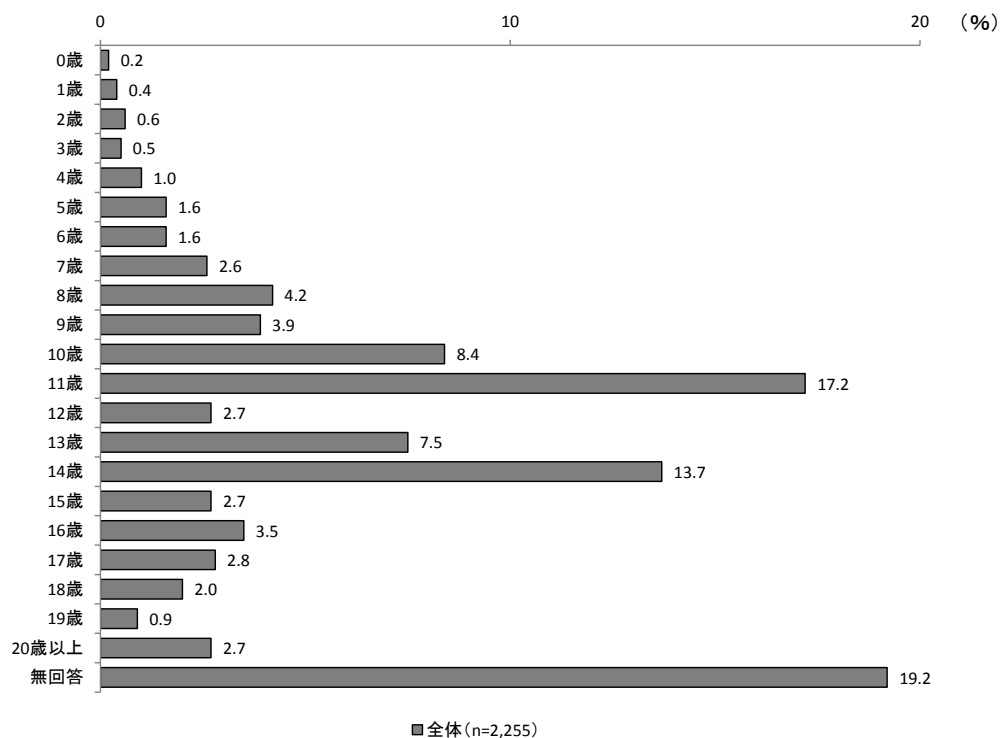


問3 すべての子どもさんの「年齢」と「性別」「同居・別居別」「就学状況」を教えてください。（○または◎をそれぞれ1つ）。

※回答があった子どもを積み上げて集計

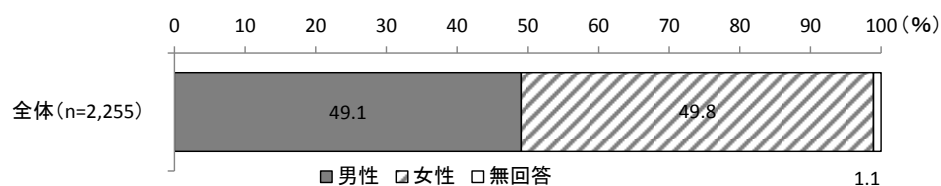
※○は在学中、◎は卒業を意味する。

【年齢】



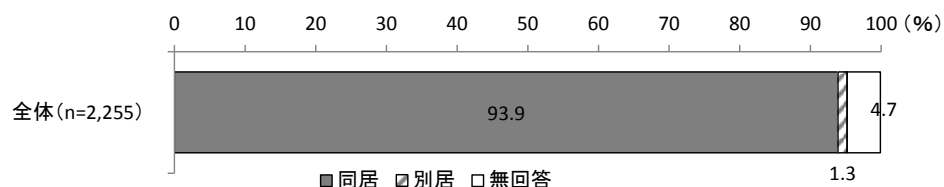
【性別】

「男性」と回答した割合が 49.1%、「女性」と回答した割合が 49.8%となっている。



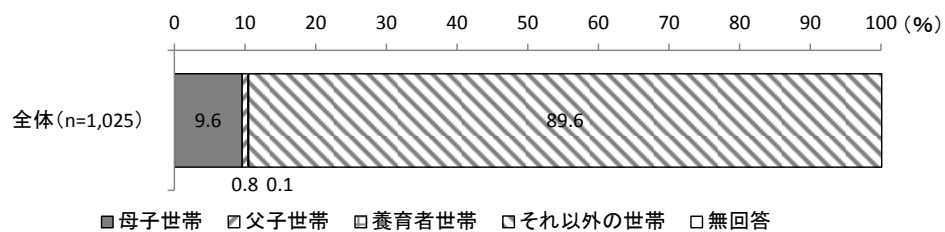
【同居・別居】

「同居」と回答した割合が 93.9%、「別居」と回答した割合が 1.3%となっている。



問4 あなたのご家庭の世帯状況は、次のどれにあてはまりますか。
(1つだけに○)

「それ以外の世帯」と回答した割合が 89.6%と最も高く、次いで「母子家庭」が 9.6%となっている。



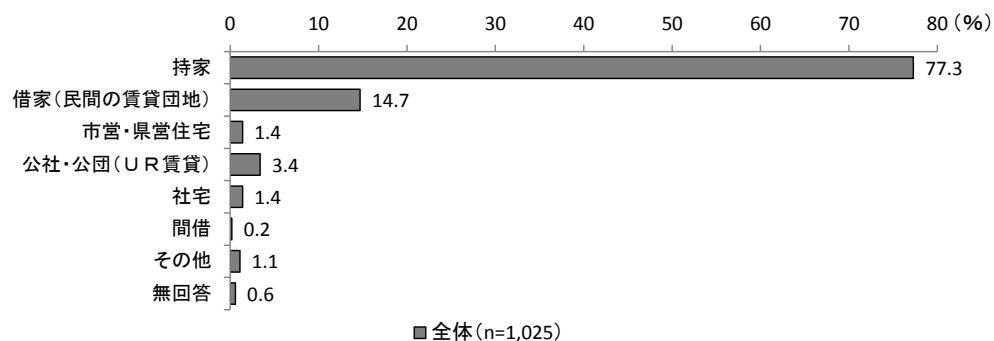
問5 あなたのお住まいの小中学校区についてお答えください。（1つだけに○）

中学校区にした場合、「伏見中学校区」と回答した割合が 10.4%と最も高く、次いで「三笠中学校区」が 10.3%となっている。

中学校区	人数	割合	順位
春日中学校区 (済美小学校、大安寺小学校、済美南小学校)	91	8.9	3
三笠中学校区 (椿井小学校、大宮小学校、大安寺西小学校、佐保川小学校)	106	10.3	2
若草中学校区 (鼓阪小学校、佐保小学校、鼓阪北小学校)	27	2.6	16
伏見中学校区 (伏見小学校、あやめ池小学校、西大寺北小学校)	107	10.4	1
富雄中学校区 (富雄北小学校、鳥見小学校)	52	5.1	9
都南中学校区 (東市小学校、辰市小学校、明治小学校、帯解小学校)	52	5.1	9
田原中学校区 (田原小学校)	3	0.3	21
興東館柳生中学校区 (柳生小学校、興東小学校)	7	0.7	20
登美ヶ丘中学校区 (鶴舞小学校、平城西小学校)	41	4.0	11
平城西中学校区 (右京小学校、神功小学校)	32	3.1	13
二名中学校区 (青和小学校、二名小学校)	82	8.0	5
京西中学校区 (六条小学校、伏見南小学校)	86	8.4	4
富雄南中学校区 (富雄南小学校、三唯小学校)	78	7.6	6
平城中学校区 (平城小学校)	32	3.1	13
飛鳥中学校区 (飛鳥小学校)	34	3.3	12
登美ヶ丘北中学校区 (登美ヶ丘小学校、東登美ヶ丘小学校)	58	5.7	7
都跡中学校区 (都跡小学校)	21	2.0	17
平城東中学校区 (朱雀小学校、佐保台小学校、左京小学校)	54	5.3	8
月ヶ瀬中学校区 (月ヶ瀬小学校)	16	1.6	19
都祁中学校区 (笠松小学校、都祁小学校、吐山小学校、六郷小学校)	28	2.7	15
富雄第三中学校区 (富雄第三小学校)	17	1.7	18
無回答	1	0.1	
全体	1,025	100.0	

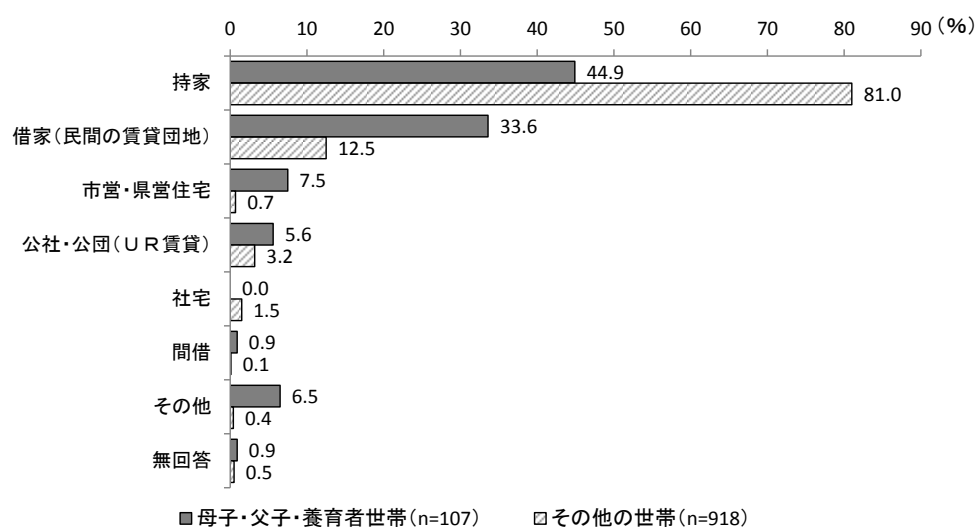
問6 あなたのお住まいについてお答えください。（1つだけに○）

「持家」と回答した割合が77.3%と最も高く、次いで「借家（民間の賃貸団地）」が14.7%となっている。



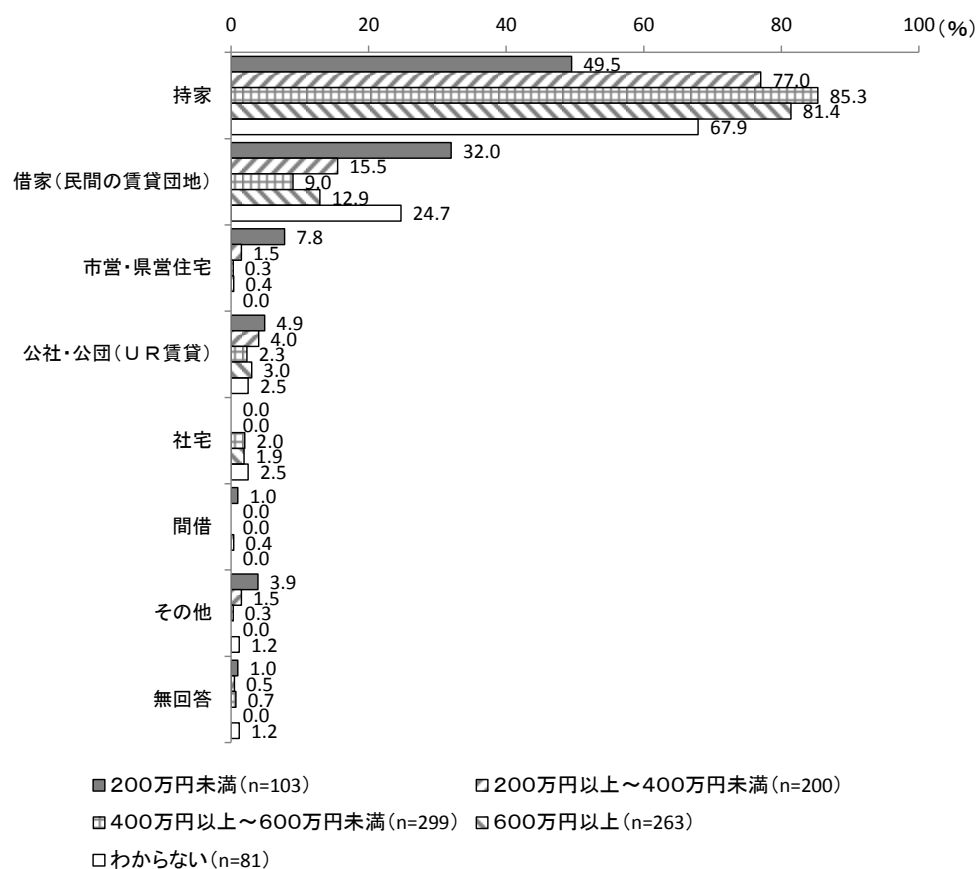
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「借家（民間の賃貸団地）」「市営・県営住宅」と回答した割合が高く、「持家」と回答した割合が低い。



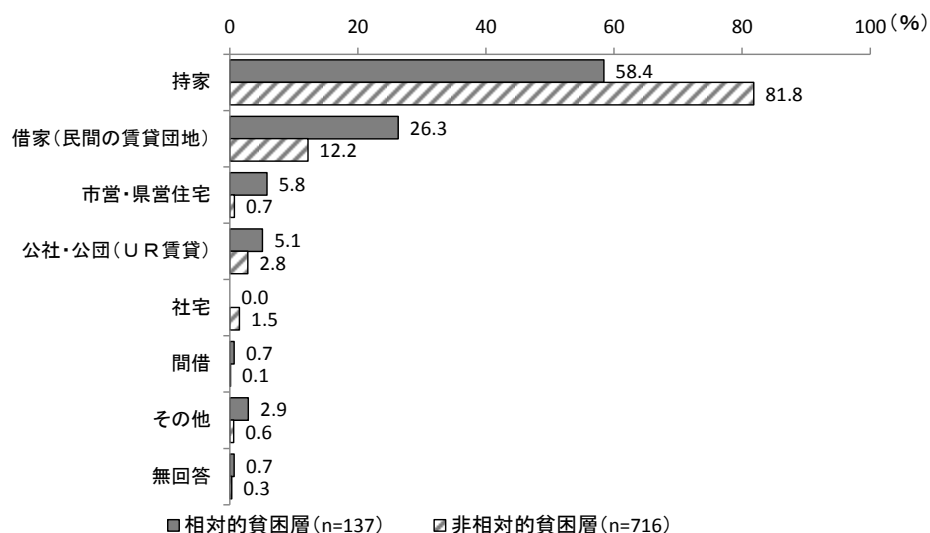
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「借家(民間の賃貸団地)」と回答した割合が高く、「持家」と回答した割合が低い。



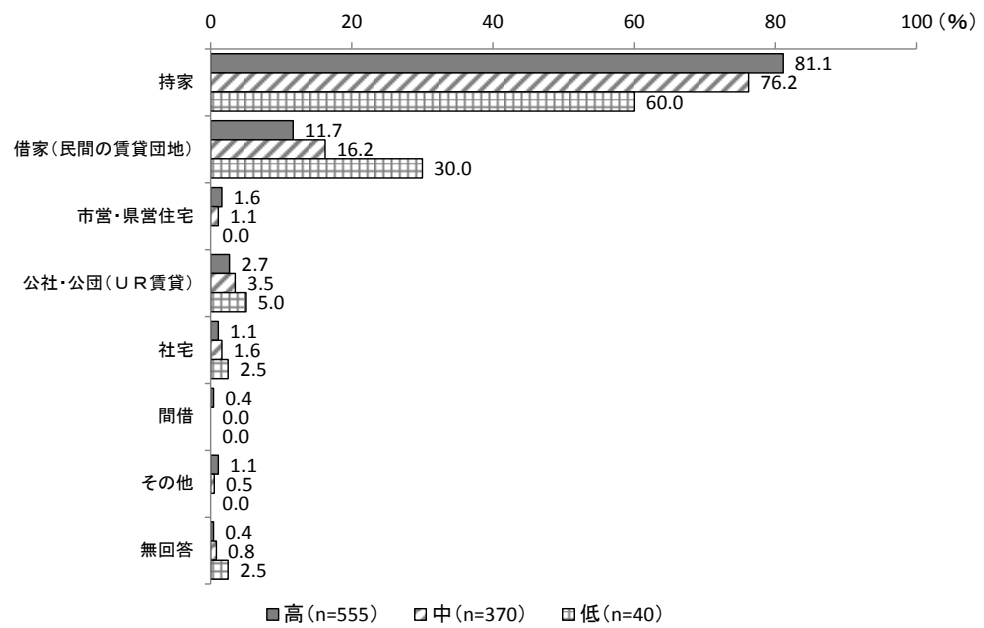
■(非)相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「借家(民間の賃貸団地)」市営・県営住宅」と回答した割合が高く、「持家」と回答した割合が低い。



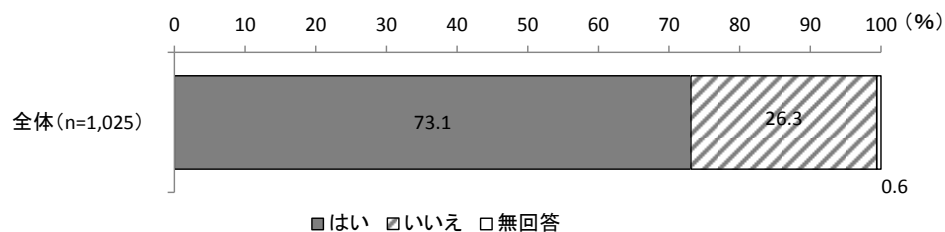
■自己肯定感別

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「持家」と回答した割合が高く、「借家（民間の賃貸団地）」と回答した割合が低い。



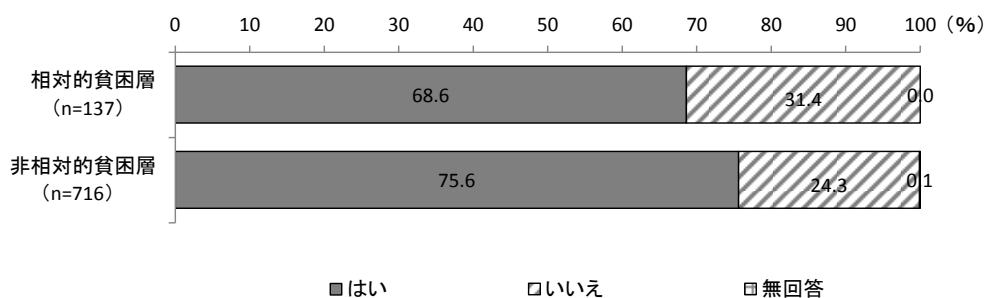
問7 住まいの近く（おおむね 30 分以内で行き来できる範囲）に、子どもを預かってもらえる親族や友人・知人などがいますか。（1つだけに○）

「はい」と回答した割合が 73.1%、「いいえ」が 26.3%となっている。



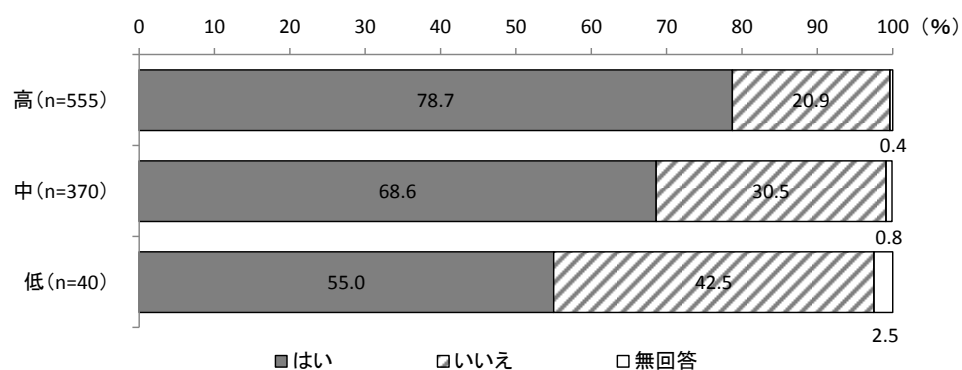
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「いいえ」と回答した割合が高く、「はい」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「はい」と回答した割合が高く、「いいえ」と回答した割合が低い。

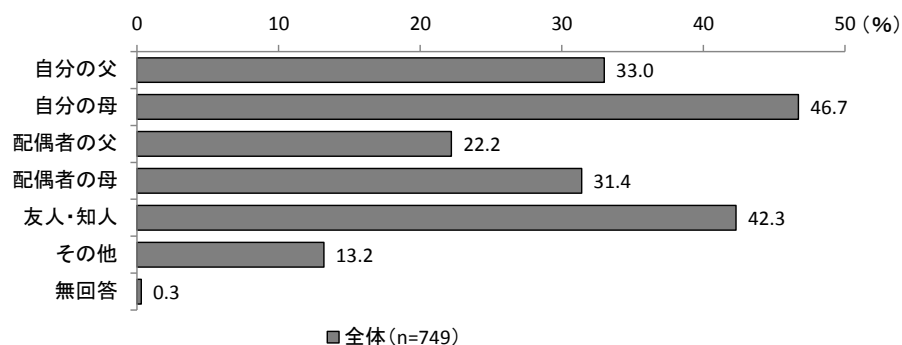


問 7-1 問7で「1 はい」と答えた方におたずねします。

子どもを預かってもらえる親族や友人・知人はどなたですか。

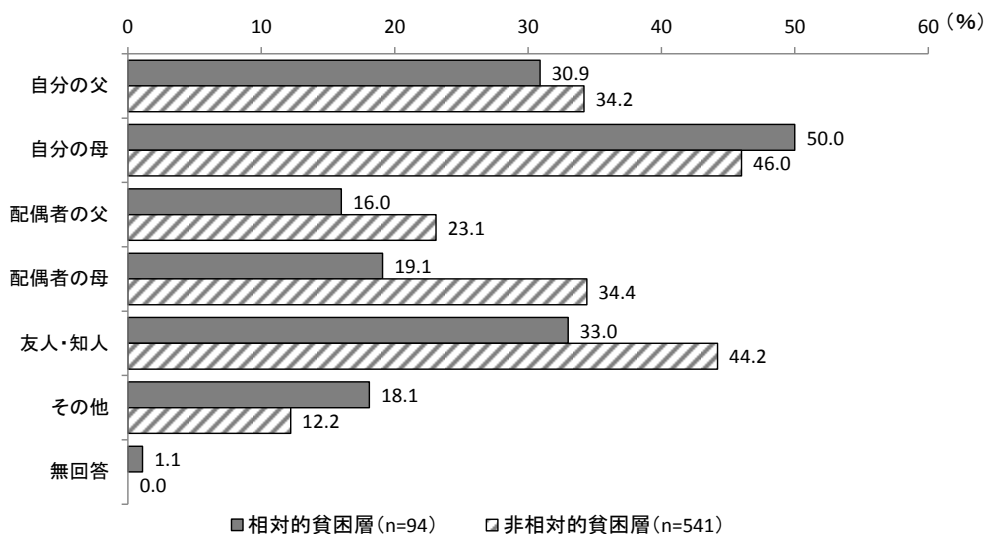
(あてはまるものすべてに○)

「自分の母」と回答した割合が 46.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が 42.3%となっている。



■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「配偶者の父」「配偶者の母」「友人・知人」と回答した割合が低い。



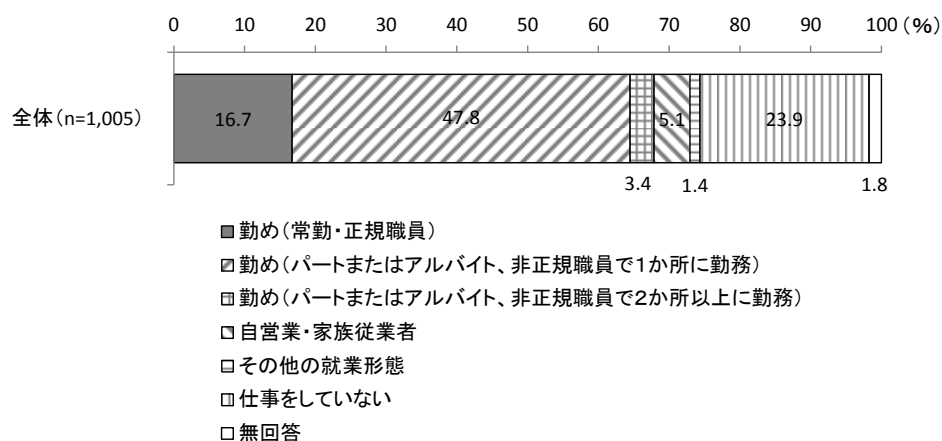
問8 現在の就業状況についておたずねします。（それぞれ1つに○）

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

※ひとり親の方はあなたの状況を教えてください。

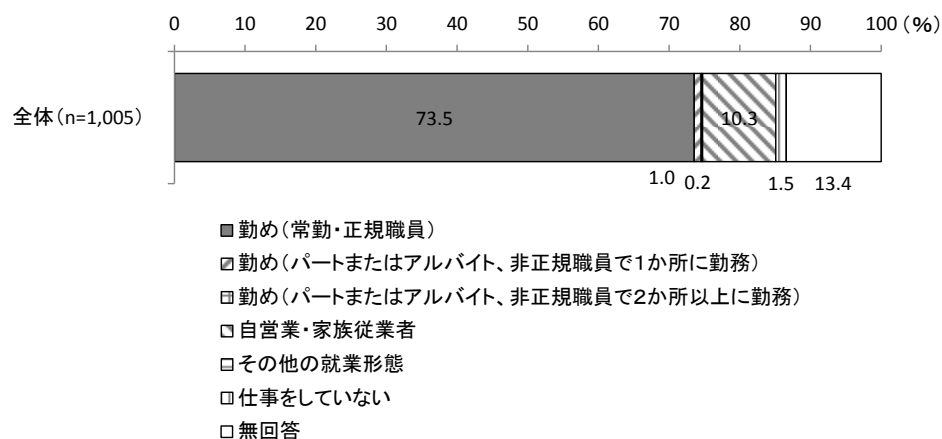
【お母さんの就業状況】

「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と回答した割合が47.8%と最も高く、次いで「仕事をしていない」が23.9%となっている。



【お父さんの就業状況】

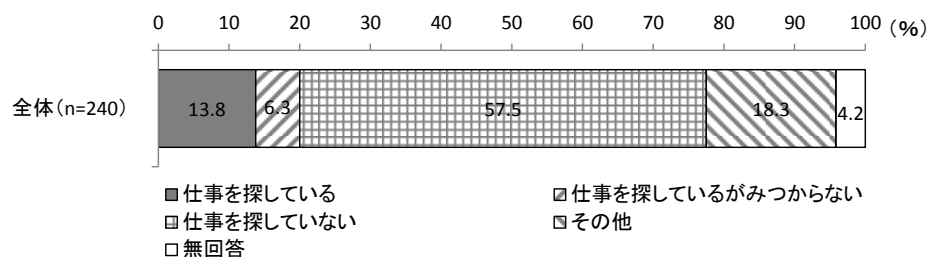
「勤め（常勤・正規職員）」と回答した割合が73.5%と最も高く、次いで「自営業・家族従業者」が10.3%となっている。



問8-1 問8で「6 仕事をしていない」と答えた方におたずねします。
「仕事をしていない」理由をお聞かせください。（それぞれ1つに○）

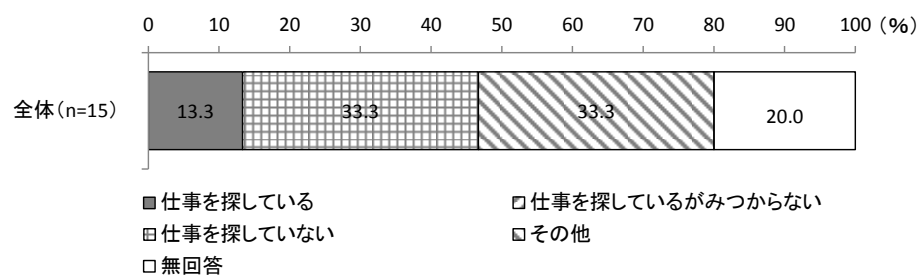
【お母さん】

「仕事を探していない」と回答した割合が57.5%と最も高く、次いで「仕事を探している」が13.8%となっている。



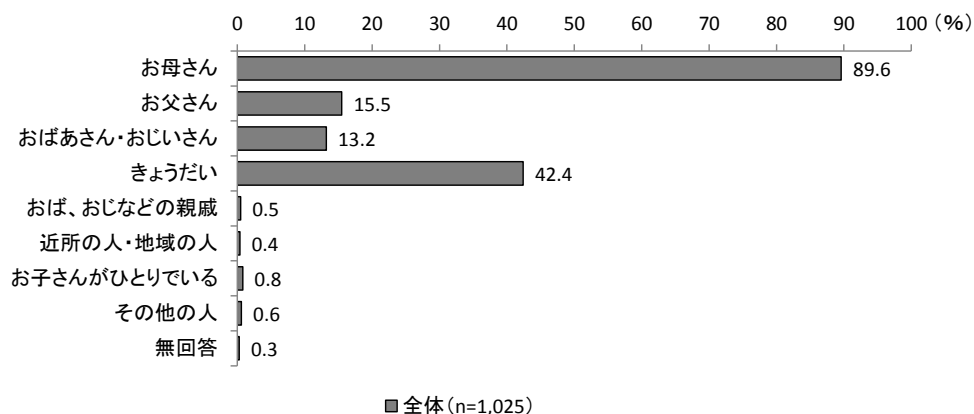
【お父さん】

「仕事を探していない」と回答した割合が33.3%と最も高く、次いで「仕事を探している」が13.3%となっている。



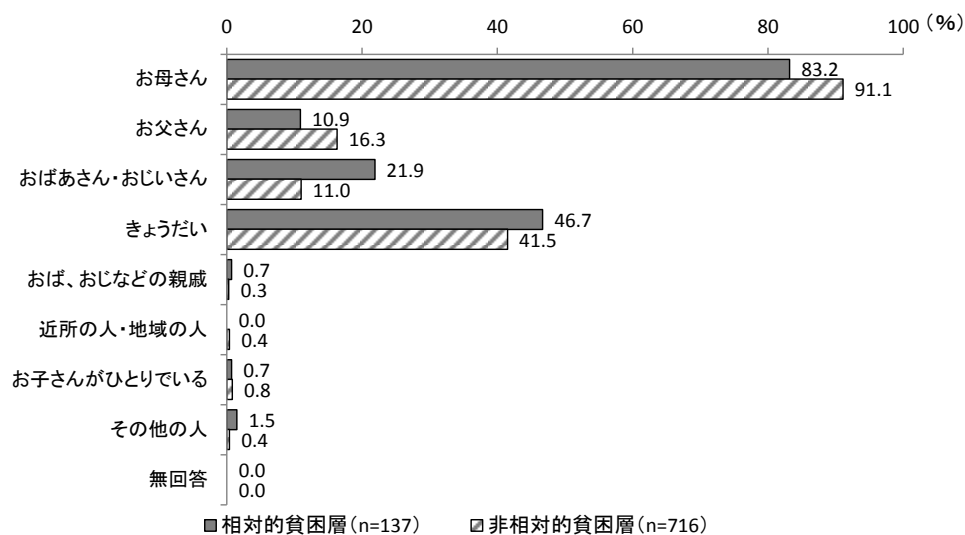
問9 お子さんが家にいるとき、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

「お母さん」と回答した割合が 89.6%と最も高く、次いで「きょうだい」が 42.4%となっている。



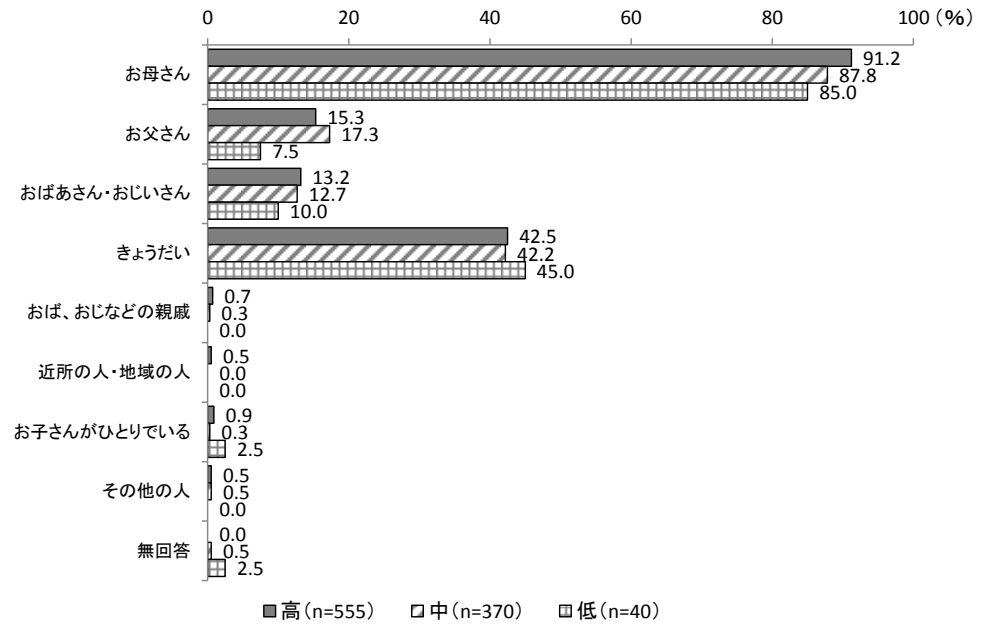
■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「おばあさん・おじいさん」「きょうだい」と回答した割合が高く、「お母さん」「お父さん」と回答した割合が低い。



■ 自己肯定感別

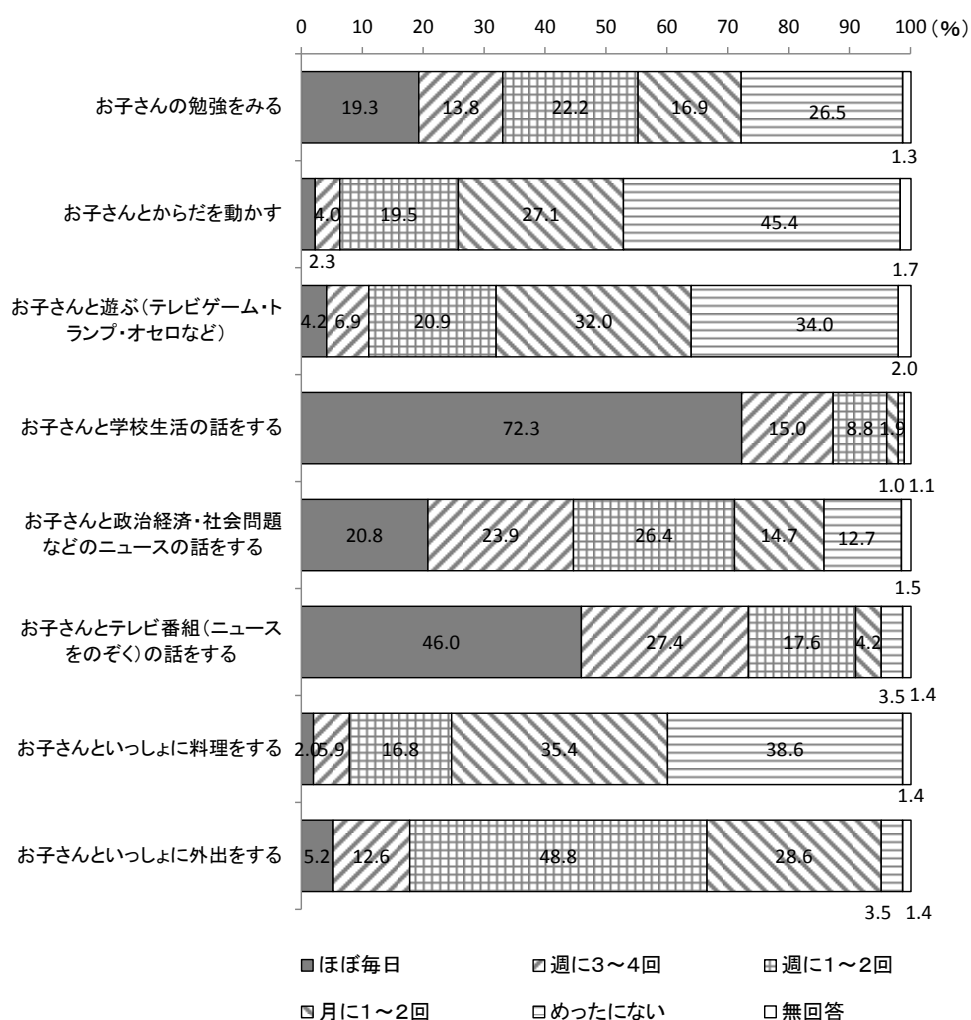
自己肯定感が低では、高・中と比べて、「お父さん」と回答した割合が低い。



問 10 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(それぞれ1つに○)

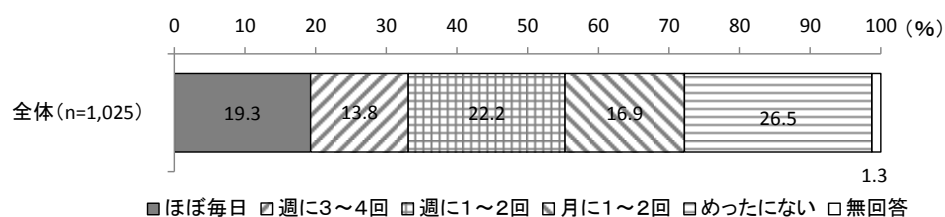
【一覧】

「ほぼ毎日」と回答した割合は、「お子さんと学校生活の話をする」の72.3%が最も高く、次いで「お子さんとテレビ番組(ニュースをのぞく)の話をする」(46.0%)、「お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする」(20.8%)の順となっている。



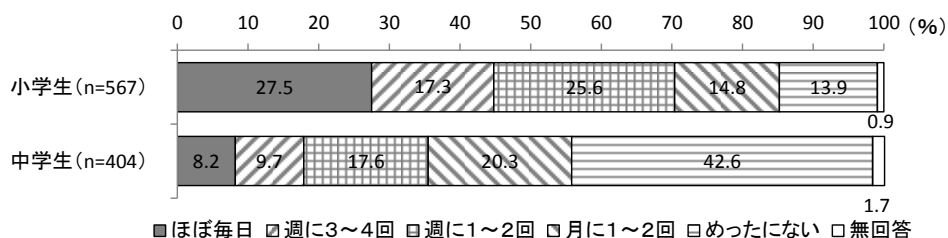
【お子さんの勉強をみる】

「めったにない」と回答した割合が 26.5%と最も高く、次いで「週に1～2回」が 22.2%となっている。



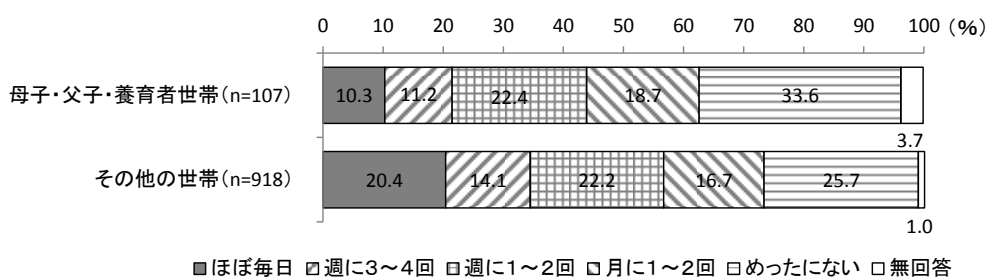
■学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が高く、「めったにない」と回答した割合が低い。



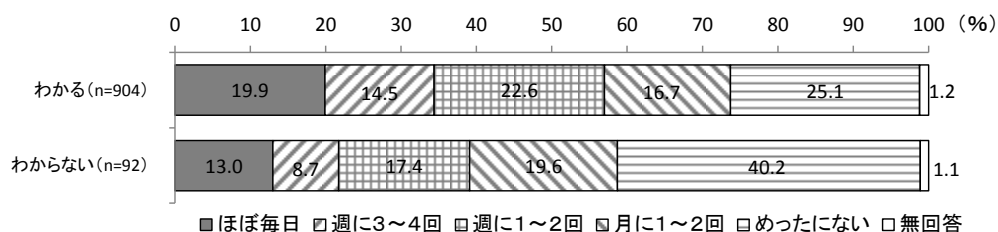
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「めったにない」と回答した割合が高く、「ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



■子どもの授業理解度別

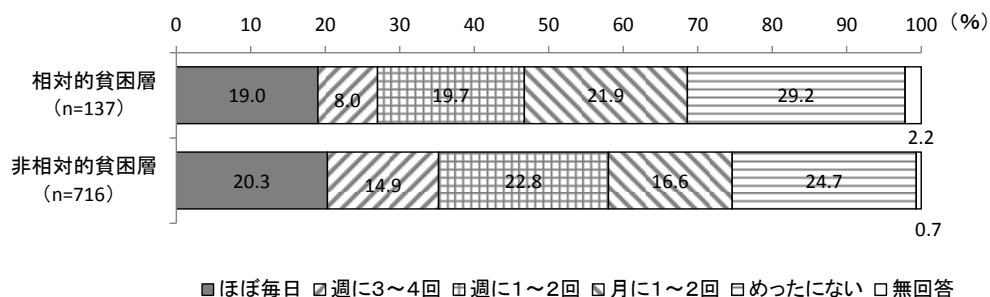
わかるではわからないと比べて、「めったにない」と回答した割合が低い。



※子ども用調査票 問19で選択肢1「よくわかる」、選択肢2「だいたいわかる」と回答した層を【わかる】、選択肢3「あまりわからない」、選択肢4「ほとんどわからない」、選択肢5「わからない」を回答した層を【わからない】と分類した。

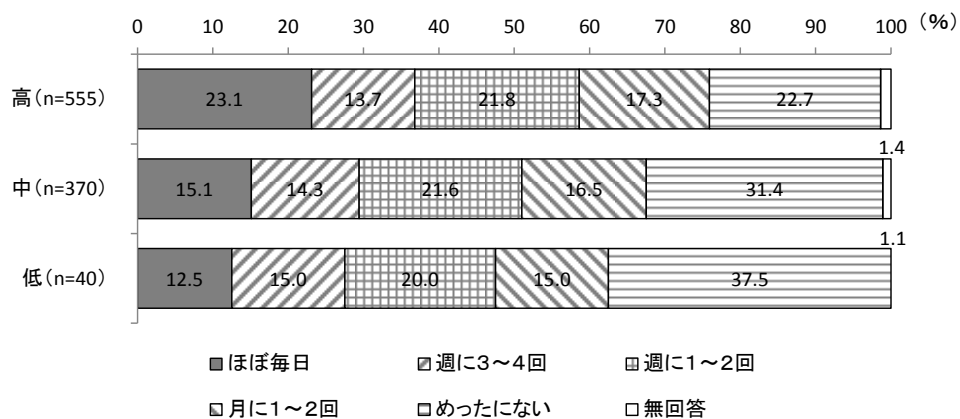
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「月に1~2回」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が高く、「めったにない」と回答した割合が低い。



■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.62 であるのに対し、400 万円以上～600 万円未満では 2.92、600 万円以上では 2.90 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答	得点
全体	1025 100	198 19.3	141 13.8	228 22.2	173 16.9	272 26.5	13 1.3	2.82
200万円未満	103 100	19 18.4	8 7.8	20 19.4	22 21.4	31 30.1	3 2.9	2.62
200万円以上～ 400万円未満	200 100	43 21.5	24 12	38 19	38 19	55 27.5	2 1	2.81
400万円以上～ 600万円未満	299 100	55 18.4	54 18.1	68 22.7	51 17.1	69 23.1	2 0.7	2.92
600万円以上	263 100	56 21.3	34 12.9	65 24.7	39 14.8	67 25.5	2 0.8	2.90
わからない	81 100	8 9.9	11 13.6	17 21	10 12.3	34 42	1 1.2	2.36

※得点は、「ほぼ毎日」：5点、「週に3～4回」：4点、「週に1～2回」：3点、「月に1～2回」：2点、「めったにない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では 2.44、その他の世帯では 2.87 である。

	全体	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答	得点
全 体	1025 100	198 19.3	141 13.8	228 22.2	173 16.9	272 26.5	13 1.3	2.82
母子・父子・養育 者世帯	107 100	11 10.3	12 11.2	24 22.4	20 18.7	36 33.6	4 3.7	2.44
その他の世帯	918 100	187 20.4	129 14.1	204 22.2	153 16.7	236 25.7	9 1	2.87

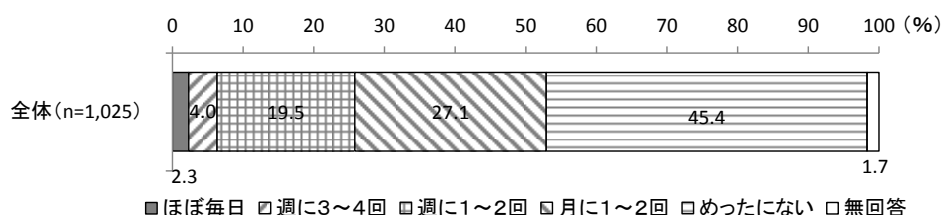
※得点は、「ほぼ毎日」：5点、「週に3～4回」：4点、「週に1～2回」：3点、「月に1～2回」：2点、「めったにない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

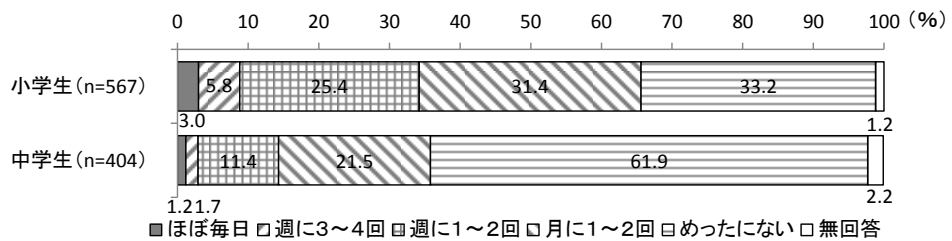
【お子さんとからだを動かす】

「めったにない」と回答した割合が 45.4%と最も高く、次いで「月に1～2回」が 27.1%となっている。



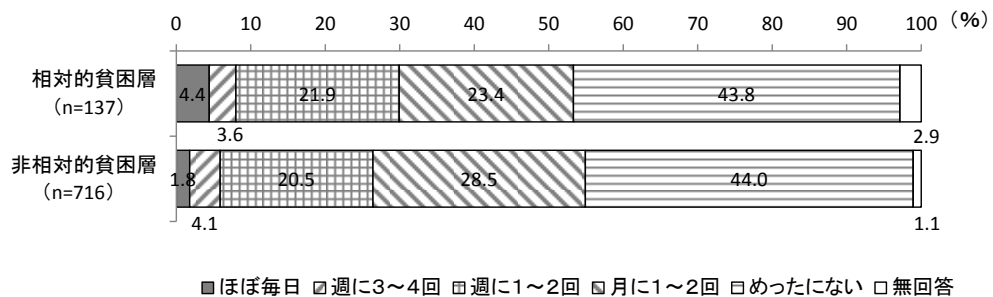
■学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「週に1～2回」と回答した割合が高く、「めったにない」と回答した割合が低い。



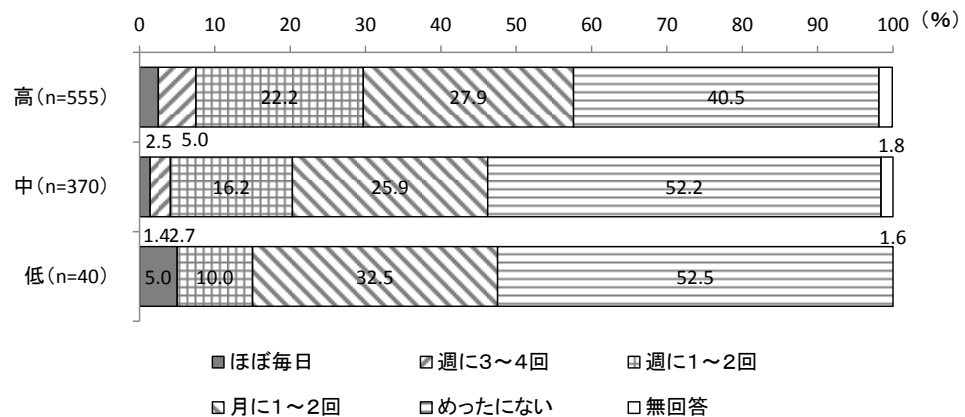
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「月に1～2回」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「めったにない」と回答した割合が低い。



■可処分所得別（得点化）

200万円未満では得点が2.05であるのに対し、600万円以上では1.82と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答	得点
全体	1025 100	24 2.3	41 4	200 19.5	278 27.1	465 45.4	17 1.7	1.89
200万円未満	103 100	5 4.9	5 4.9	22 21.4	26 25.2	42 40.8	3 2.9	2.05
200万円以上～ 400万円未満	200 100	5 2.5	9 4.5	39 19.5	55 27.5	88 44	4 2	1.92
400万円以上～ 600万円未満	299 100	6 2	12 4	64 21.4	96 32.1	119 39.8	2 0.7	1.96
600万円以上	263 100	4 1.5	9 3.4	54 20.5	61 23.2	131 49.8	4 1.5	1.82
わからない	81 100	3 3.7	3 3.7	10 12.3	20 24.7	44 54.3	1 1.2	1.76

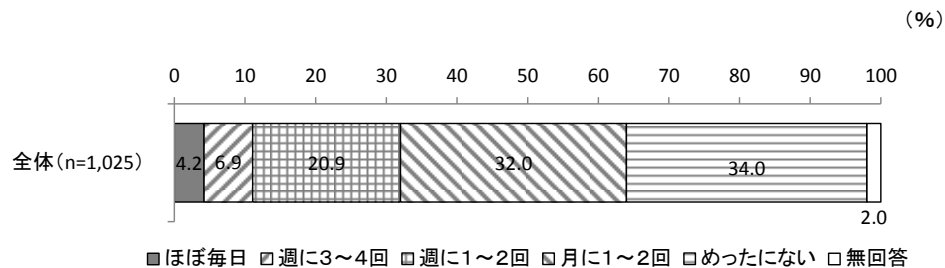
※得点は、「ほぼ毎日」：5点、「週に3～4回」：4点、「週に1～2回」：3点、「月に1～2回」：2点、「めったにない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

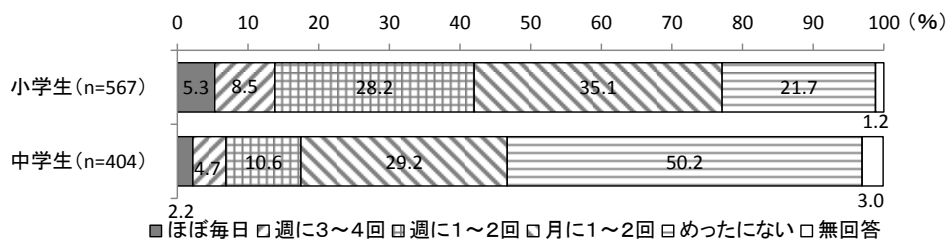
【お子さんと遊ぶ（テレビゲーム・トランプ・オセロなど）】

「めったにない」と回答した割合が34.0%と最も高く、次いで「月に1～2回」が32.0%となっている。



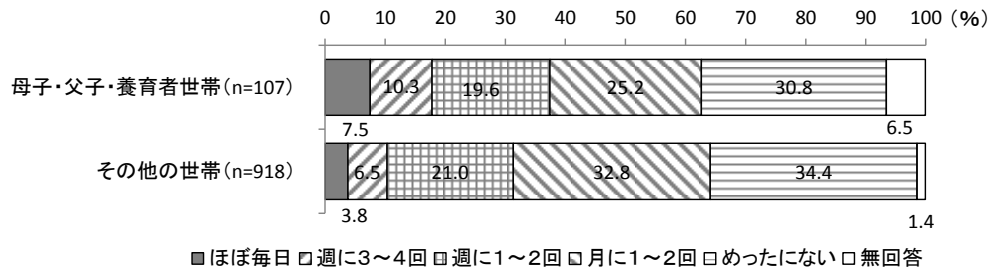
■学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「週に1～2回」と回答した割合が高く、「めったにない」と回答した割合が低い。



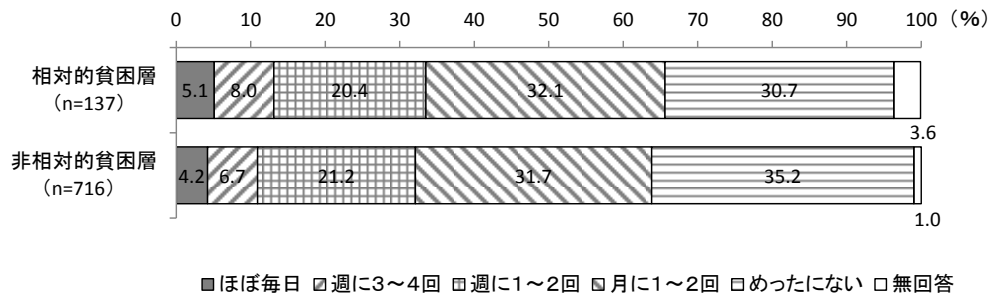
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「ほぼ毎日」または「週に3～4回」と回答した割合が高い。



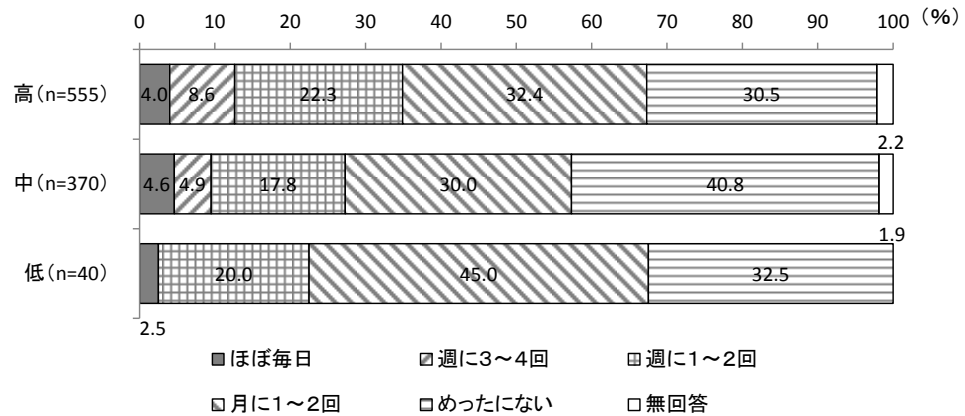
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



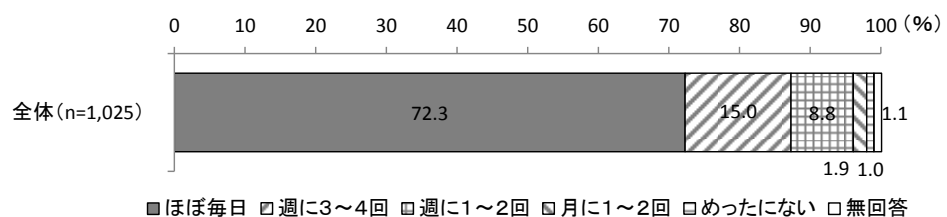
■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「月に1～2回」と回答した割合が高い。



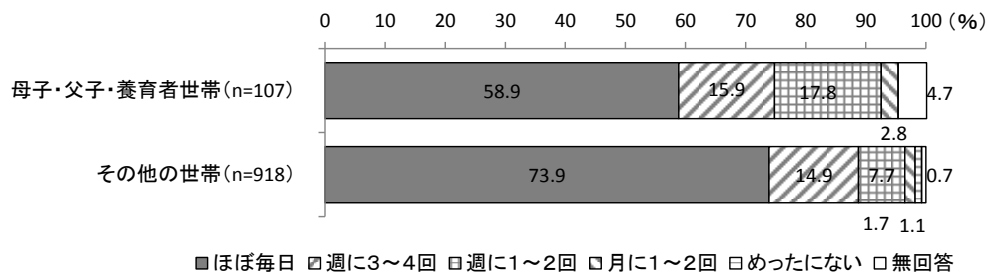
【お子さんと学校生活の話をする】

「ほぼ毎日」と回答した割合が72.3%と最も高く、次いで「週に3～4回」が15.0%となっている。



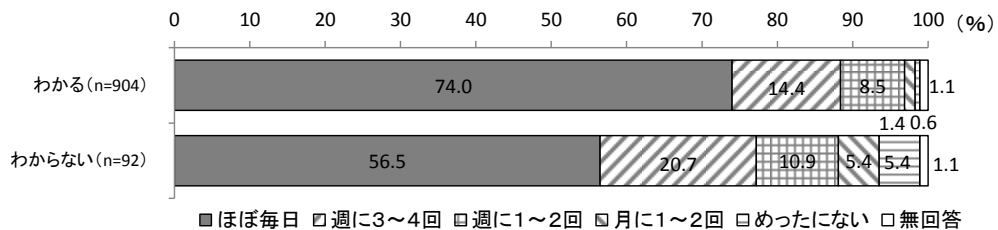
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「週に1～2回」と回答した割合が高く、「ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



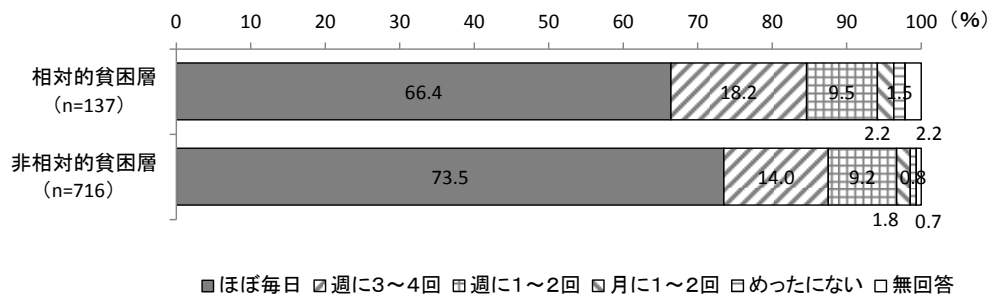
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が高い。



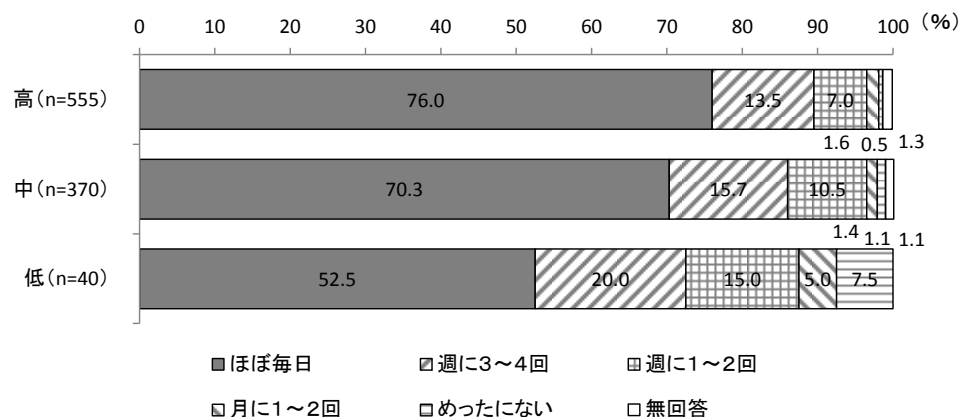
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 4.46 であるのに対し、600 万円以上では 4.63 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答	得点
全体	1025 100	741 72.3	154 15	90 8.8	19 1.9	10 1	11 1.1	4.57
200万円未満	103 100	66 64.1	19 18.4	11 10.7	3 2.9	1 1	3 2.9	4.46
200万円以上～ 400万円未満	200 100	141 70.5	28 14	22 11	4 2	3 1.5	2 1	4.52
400万円以上～ 600万円未満	299 100	218 72.9	41 13.7	29 9.7	6 2	2 0.7	3 1	4.58
600万円以上	263 100	197 74.9	41 15.6	19 7.2	3 1.1	2 0.8	1 0.4	4.63
わからない	81 100	63 77.8	11 13.6	5 6.2	1 1.2	1 1.2	－ －	4.65

※得点は、「ほぼ毎日」：5点、「週に3～4回」：4点、「週に1～2回」：3点、「月に1～2回」：2点、「めったにない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では 4.37、その他の世帯では 4.60 である。

	全体	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答	得点
全 体	1025 100	741 72.3	154 15	90 8.8	19 1.9	10 1	11 1.1	4.57
母子・父子・養育者世帯	107 100	63 58.9	17 15.9	19 17.8	3 2.8		5 4.7	4.37
その他の世帯	918 100	678 73.9	137 14.9	71 7.7	16 1.7	10 1.1	6 0.7	4.60

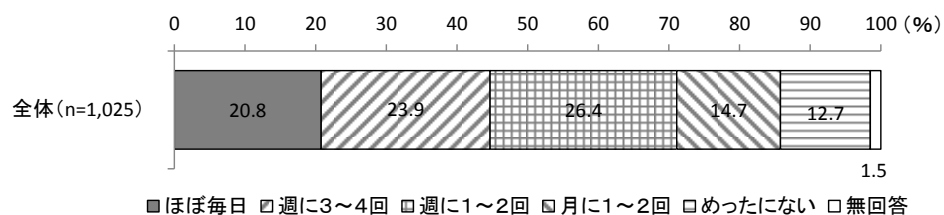
※得点は、「ほぼ毎日」：5点、「週に3～4回」：4点、「週に1～2回」：3点、「月に1～2回」：2点、「めったにない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

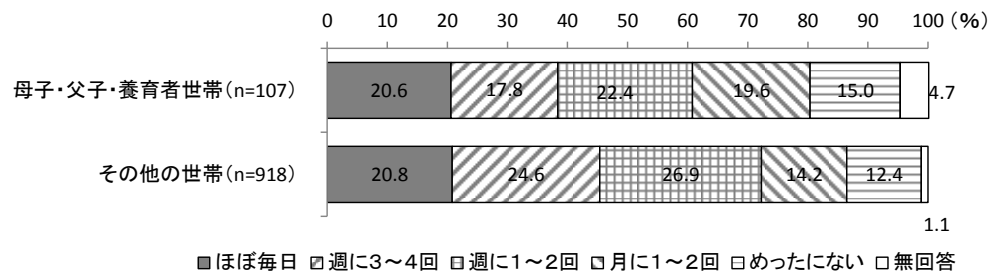
【お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする】

「週に1～2回」と回答した割合が 26.4%と最も高く、次いで「週に3～4回」が 23.9%となっている。



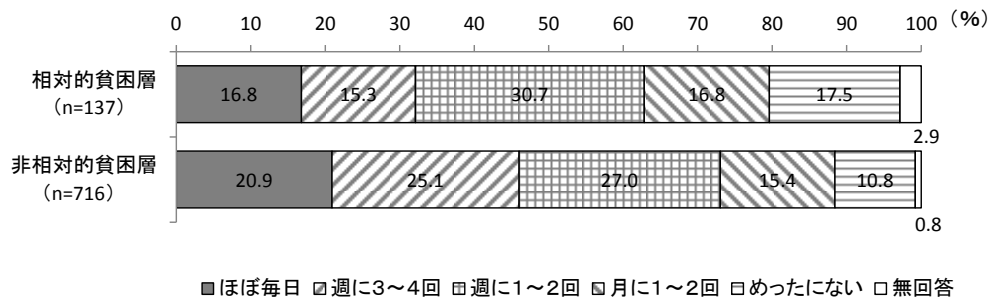
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「週に3～4回」または「週に1～2回」と回答した割合が低い。



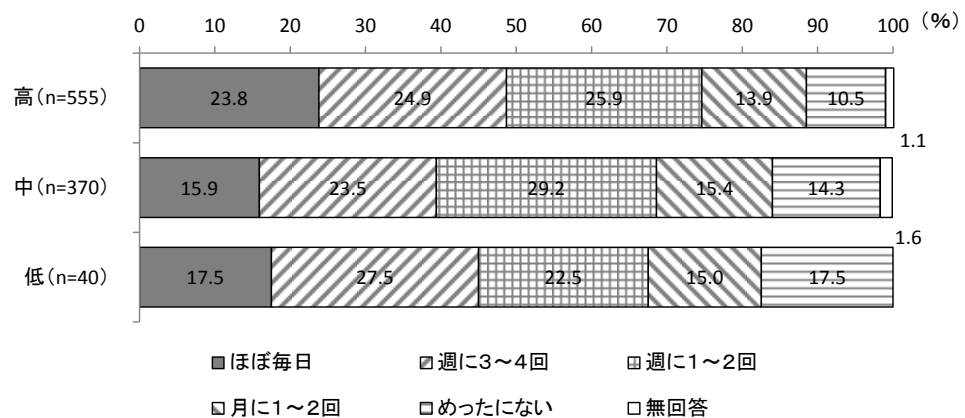
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「めったにない」と回答した割合が高く、「週に3～4回」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が高い。



■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.93 であるのに対し、600 万円以上では 3.43 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答	得点
全体	1025 100	213 20.8	245 23.9	271 26.4	151 14.7	130 12.7	15 1.5	3.26
200万円未満	103 100	16 15.5	16 15.5	31 30.1	19 18.4	18 17.5	3 2.9	2.93
200万円以上～ 400万円未満	200 100	33 16.5	50 25	52 26	32 16	31 15.5	2 1	3.11
400万円以上～ 600万円未満	299 100	60 20.1	72 24.1	86 28.8	44 14.7	34 11.4	3 1	3.27
600万円以上	263 100	64 24.3	67 25.5	69 26.2	38 14.4	22 8.4	3 1.1	3.43
わからない	81 100	19 23.5	24 29.6	15 18.5	9 11.1	13 16	1 1.2	3.34

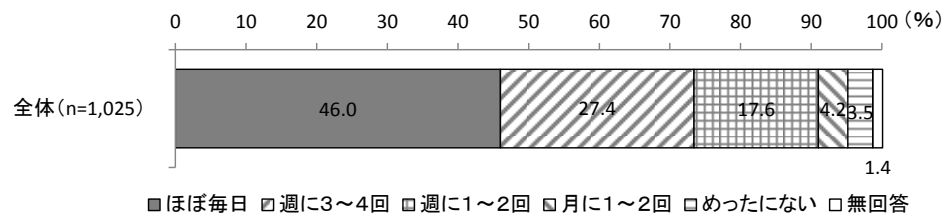
※得点は、「ほぼ毎日」：5点、「週に3～4回」：4点、「週に1～2回」：3点、「月に1～2回」：2点、「めったにない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

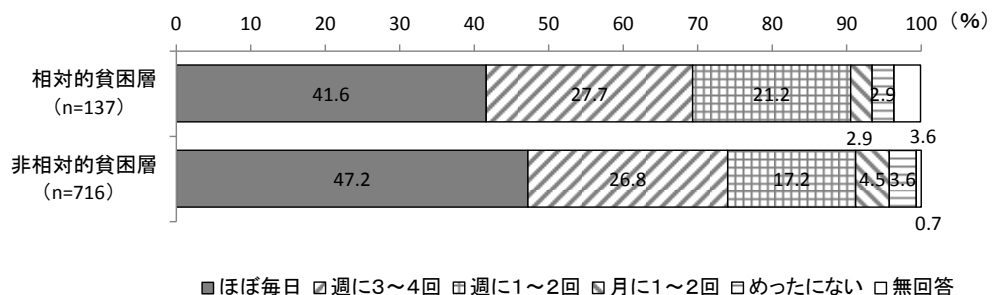
【お子さんとテレビ番組（ニュースをのぞく）の話をする】

「ほぼ毎日」と回答した割合が 46.0%と最も高く、次いで「週に3～4回」が 27.4%となっている。



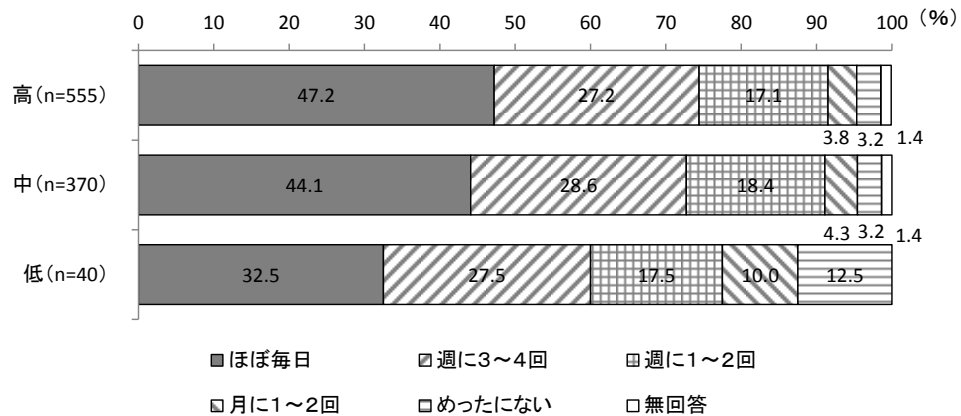
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



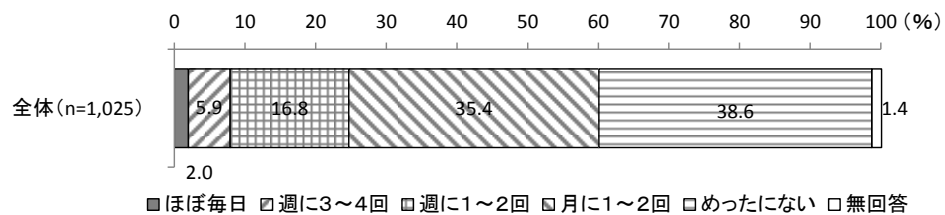
■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「ほぼ毎日」と回答した割合が低い。



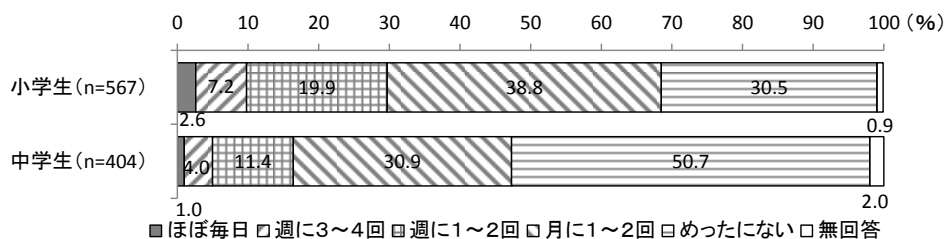
【お子さんといっしょに料理をする】

「めったにない」と回答した割合が 38.6%と最も高く、次いで「月に1~2回」が 35.4%となっている。



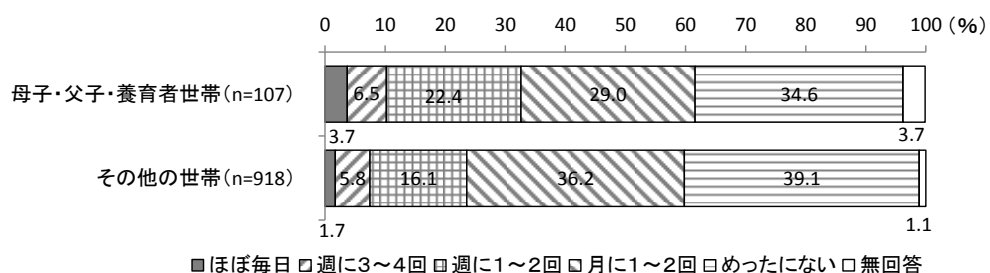
■学校種別

小学生では中学生と比べて、「めったにない」と回答した割合が低い。



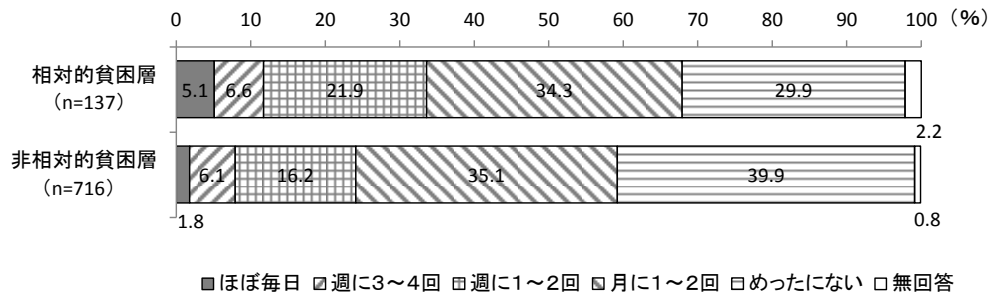
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「週に1~2回」と回答した割合が高く、「月に1~2回」と回答した割合が低い。



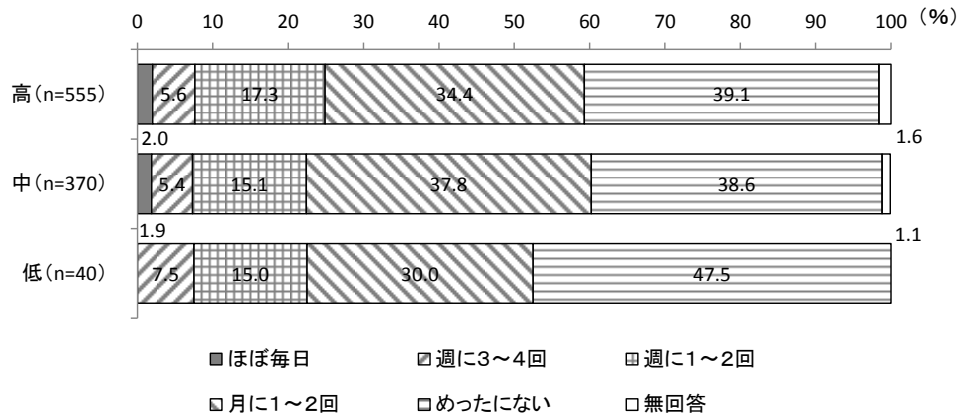
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「週に1～2回」と回答した割合が高く、「めったにない」と回答した割合が低い。



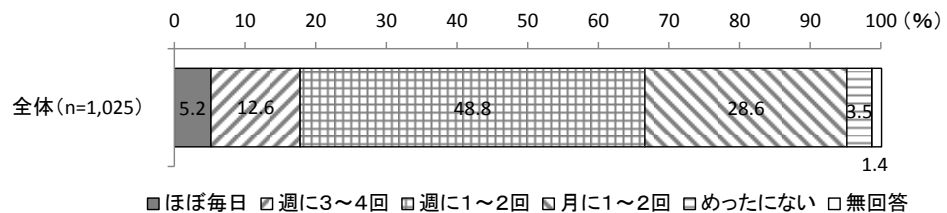
■ 自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「めったにない」と回答した割合が高い。



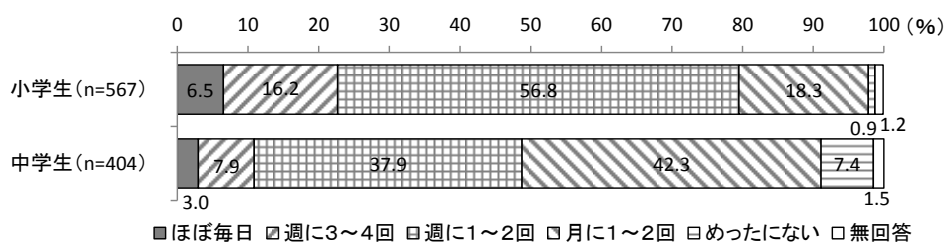
【お子さんといっしょに外出をする】

「週に1～2回」と回答した割合が 48.8%と最も高く、次いで「月に1～2回」が 28.6%となっている。



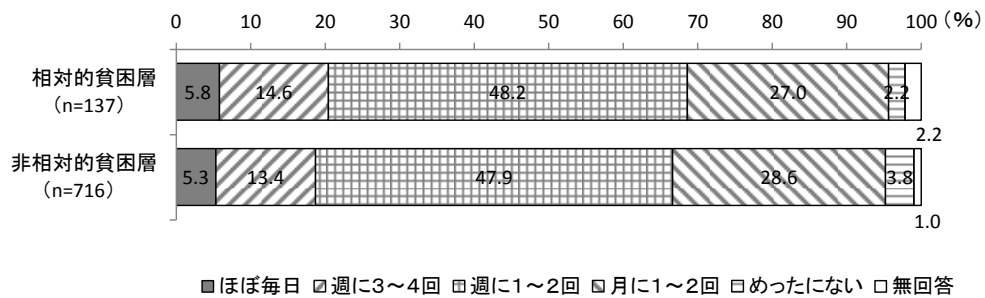
■ 学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「週に1～2回」と回答した割合が高く、「月に1～2回」と回答した割合が低い。



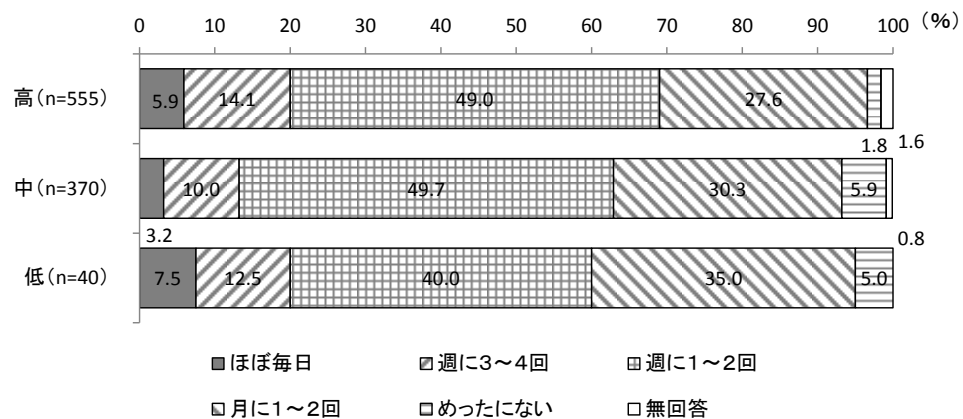
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



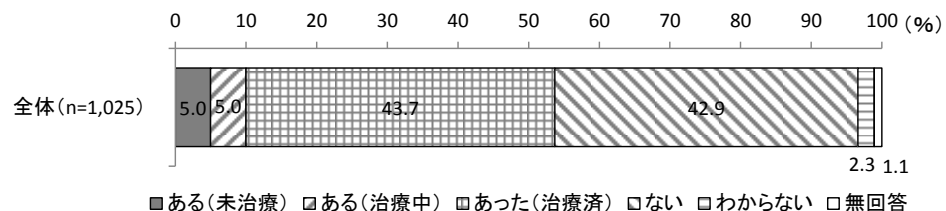
■ 自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「週に1～2回」と回答した割合が低い。



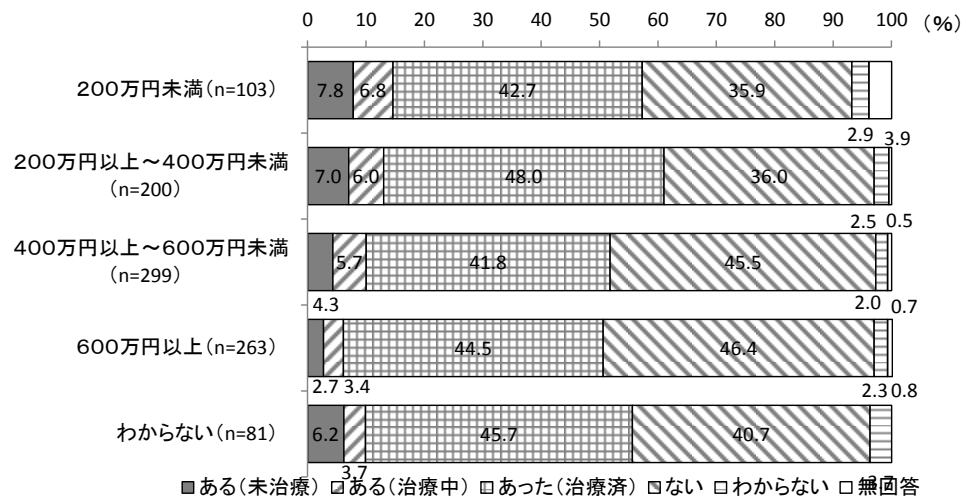
問 11 お子さんに、むし歯はありますか。（1つだけに○）

「あった（治療済）」と回答した割合が 43.7%と最も高く、次いで「ない」が 42.9%となっている。



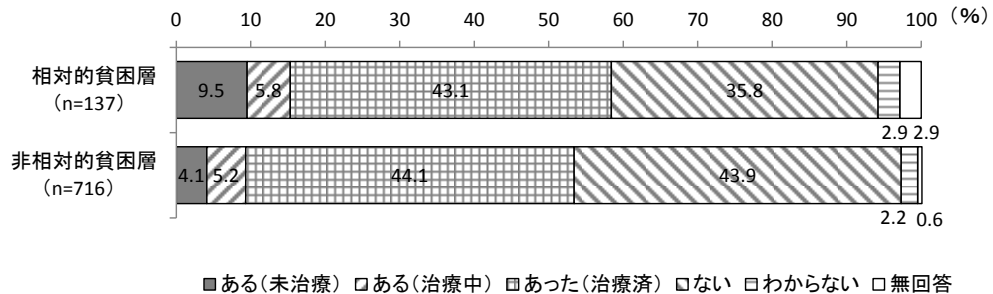
■可処分所得別

400 万円以上ではその他の可処分所得区分と比べて、「ない」と回答した割合が高い。



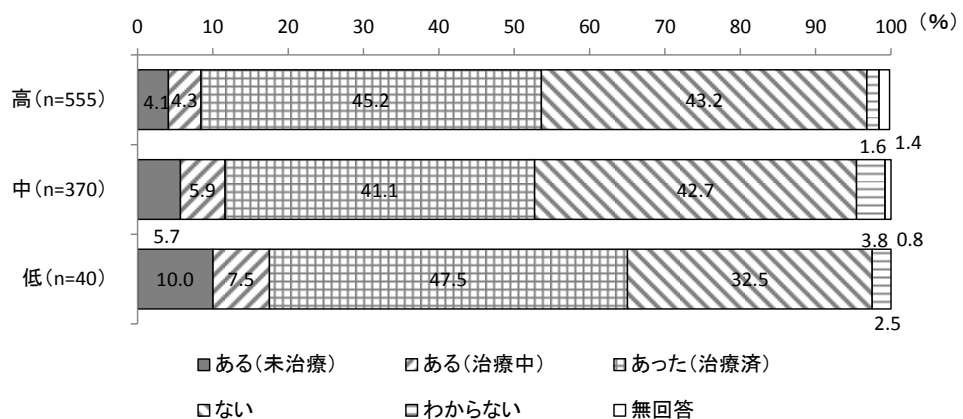
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「ある(未治療)」と回答した割合が高く、「ない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「ない」と回答した割合が低い。



■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 1.85 であるのに対し、600 万円以上では 1.61 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	ある (未治療)	ある (治療中)	あった (治療済)	ない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	51 5	51 5	448 43.7	440 42.9	24 2.3	11 1.1	1.71
200万円未満	103 100	8 7.8	7 6.8	44 42.7	37 35.9	3 2.9	4 3.9	1.85
200万円以上～ 400万円未満	200 100	14 7	12 6	96 48	72 36	5 2.5	1 0.5	1.84
400万円以上～ 600万円未満	299 100	13 4.3	17 5.7	125 41.8	136 45.5	6 2	2 0.7	1.68
600万円以上	263 100	7 2.7	9 3.4	117 44.5	122 46.4	6 2.3	2 0.8	1.61
わからない	81 100	5 6.2	3 3.7	37 45.7	33 40.7	3 3.7	— —	1.74

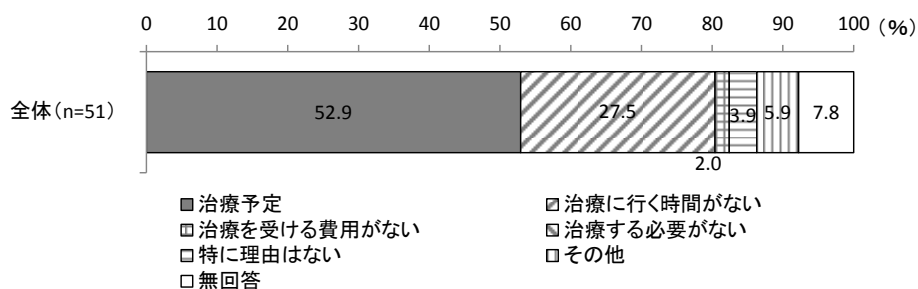
※得点は、「ある(未治療)」: 4点、「ある(治療中)」: 3点、「あった(治療済)」: 2点、「ない」: 1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段: 数量、下段: 割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

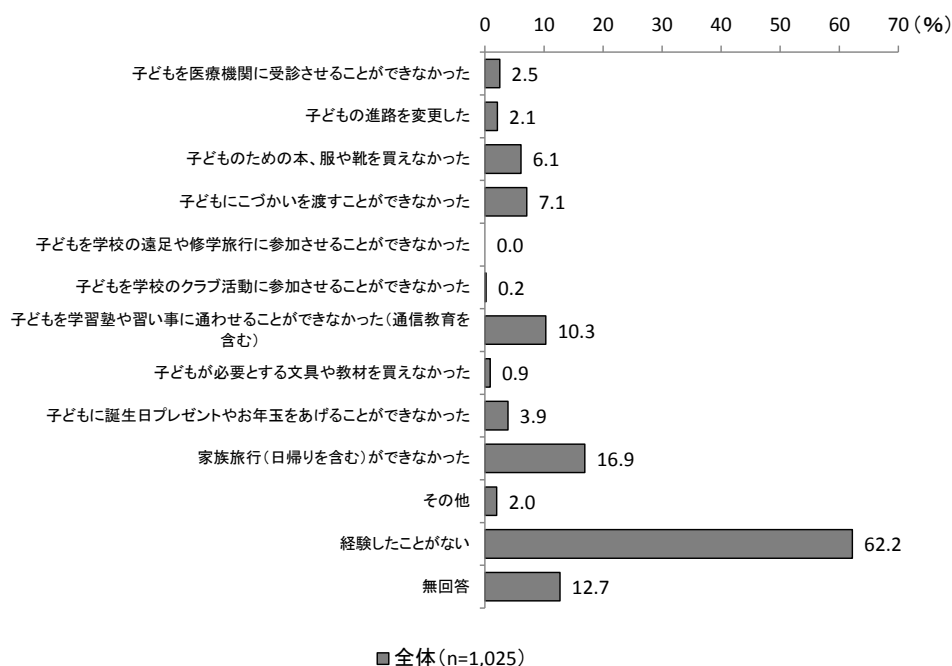
問 11-1 問 11 で「1 ある（未治療）」と答えた方におたずねします。 治療していない理由は何ですか。（1つだけに○）

「治療予定」と回答した割合が 52.9%と最も高く、次いで「治療に行く時間がない」が 27.5%となっている。



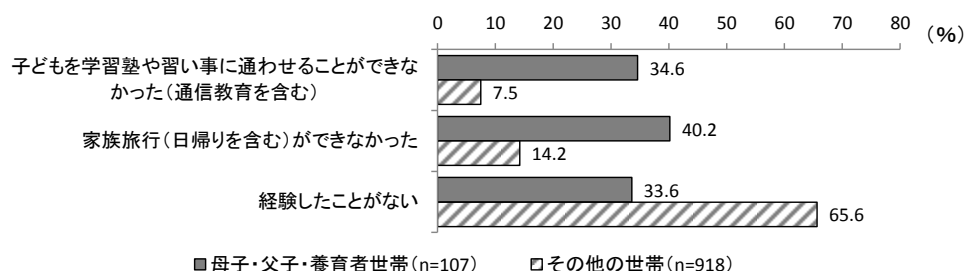
問 12 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「経験したことがない」と回答した割合が 62.2%と最も高く、次いで「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」が 16.9%となっている。



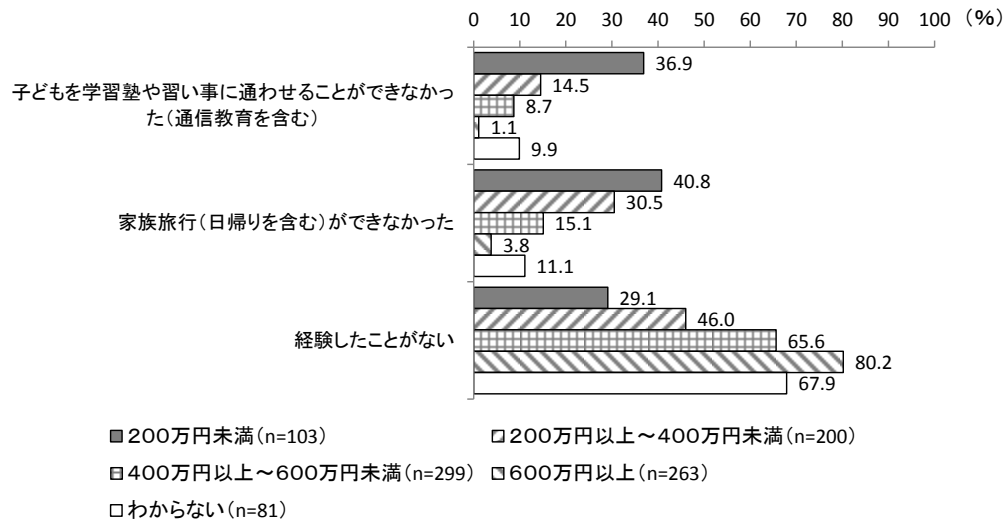
■ 家庭類型別（上位3項目）

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）」「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」と回答した割合が高く、「経験したことがない」と回答した割合が低い。



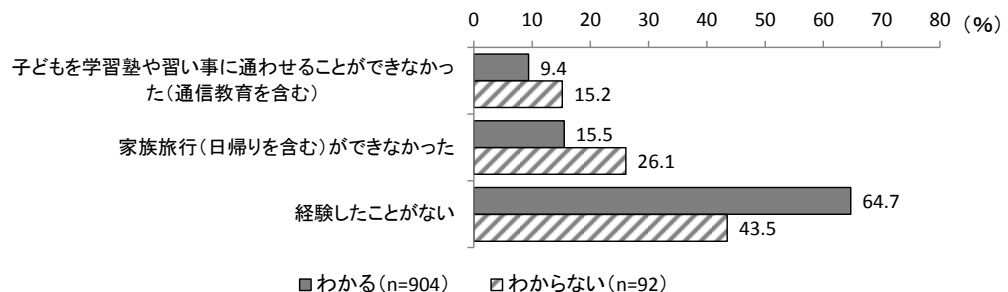
■可処分所得別（上位3項目）

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）」「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」と回答した割合が高く、「経験したことがない」と回答した割合が低い。



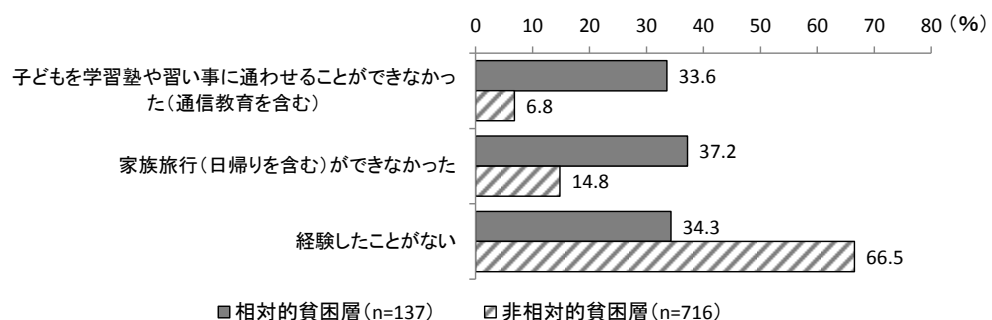
■子どもの授業理解度別（上位3項目）

わかるではわからないと比べて「経験したことがない」と回答した割合が高く、「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」と回答した割合が低い。



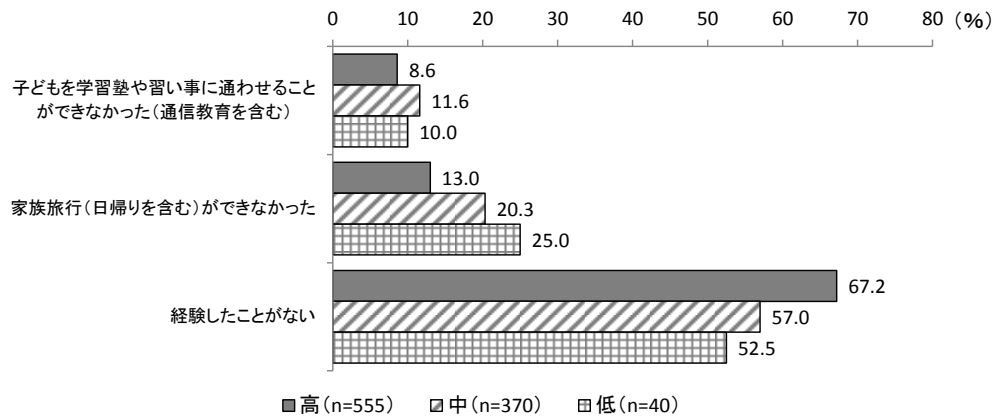
■（非）相対的貧困層別（上位3項目）

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）」「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」と回答した割合が高く、「経験したことがない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別（上位3項目）

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「経験したことがない」と回答した割合が高い。



■自己肯定感別（保護者問 20）

自己肯定感との関係は次のことがあげられる。

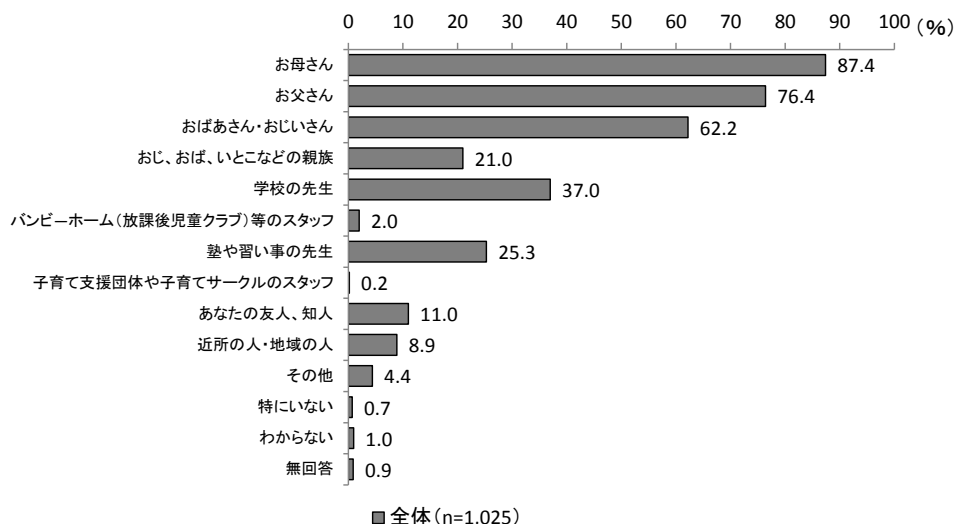
割合が高い項目		選択肢
子どもにこづかいを渡すことができなかった	⇒	・今の生活はつらいことの方が多い
子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった(通信教育を含む)	⇒	・今の生活はつらいことの方が多い
家族旅行(日帰りを含む)ができなかった		・現在、自分の生活は充実していない
		・将来に希望を持っていない
		・ありのままの自分を認めてくれる人がいない
	⇒	・今の生活はつらいことの方が多い
		・働いても働いても生活が楽にならない
		・いろんなプレッシャーに押しつぶされそうな気持ちになる
		・どこまでがんばればよいかわからない

		子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもの進路を変更した	子どものための本、服や靴を買えなかった	子どもにこづかいを渡すことができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった	子どもを学校のクラブ活動に参加させることができなかった	子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった(通信教育を含む)	子どもが必要とする文具や教材を買えなかった	子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった	家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	その他	経験したことがない	無回答
全体	全体	2.5	2.1	6.1	7.1	－	0.2	10.3	0.9	3.9	16.9	2.0	62.2	12.7
現在、自分の生活は充実している	あてはまる(n=770)	1.7	0.9	4.2	4.2	－	0.1	8.1	0.5	2.2	13.0	1.4	68.7	12.5
	あてはまらない(n=219)	5.9	5.5	13.2	16.4	－	0.5	19.2	2.3	9.6	31.5	4.6	39.3	13.7
将来に希望を持っている	あてはまる(n=651)	1.7	1.4	4.3	3.1	－	－	6.5	0.9	1.8	11.4	1.1	70.4	13.2
	あてはまらない(n=298)	4.4	3.0	9.4	14.4	－	0.7	18.5	1.0	8.1	28.5	4.0	45.3	12.8
ありのままの自分を認めてくれる人がいる	あてはまる(n=827)	2.1	1.6	5.1	5.0	－	0.1	8.5	0.6	2.4	14.4	1.7	65.4	13.2
	あてはまらない(n=139)	4.3	4.3	11.5	15.8	－	0.7	19.4	2.2	11.5	28.8	4.3	46.8	10.1
今の生活はつらいことの方が多い	あてはまる(n=225)	7.6	4.4	14.2	18.2	－	0.4	22.2	2.7	11.1	33.3	5.3	40.9	10.7
	あてはまらない(n=759)	1.1	1.3	3.6	3.4	－	0.1	6.9	0.4	1.7	12.0	1.2	68.8	13.3
働いても働いても生活が楽にならない	あてはまる(n=358)	5.6	4.5	13.4	15.9	－	0.3	19.8	1.7	9.5	34.4	4.7	38.3	12.6
	あてはまらない(n=595)	0.7	0.5	1.8	1.2	－	－	4.7	0.3	0.7	6.9	0.5	75.8	13.1
仕事と子育てで、心身ともに余裕がない	あてはまる(n=337)	5.3	3.9	12.2	13.4	－	－	19.6	2.4	7.7	29.7	3.9	41.5	15.4
	あてはまらない(n=646)	1.2	1.2	3.1	3.7	－	0.3	5.7	0.2	2.2	10.4	1.2	72.8	11.1
いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうな気持ちになる	あてはまる(n=309)	4.5	3.6	12.0	13.9	－	0.3	17.2	2.3	8.4	26.9	3.9	49.2	12.0
	あてはまらない(n=681)	1.8	1.3	3.8	4.3	－	0.1	7.3	0.3	2.1	12.6	1.2	67.7	13.1
いつもまわりの人の目が気になる	あてはまる(n=248)	5.6	3.2	10.1	10.9	－	0.4	14.5	2.0	6.0	24.6	3.6	52.4	12.5
	あてはまらない(n=743)	1.5	1.6	4.6	5.5	－	0.1	8.9	0.4	3.0	14.3	1.6	65.4	12.8
どこまでがんばればよいのかわからない	あてはまる(n=298)	5.4	4.0	12.1	14.4	－	0.3	16.8	2.3	7.7	29.5	3.7	45.0	12.8
	あてはまらない(n=670)	1.5	1.2	3.6	3.7	－	0.1	7.9	0.3	2.2	11.9	1.5	69.0	12.7

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

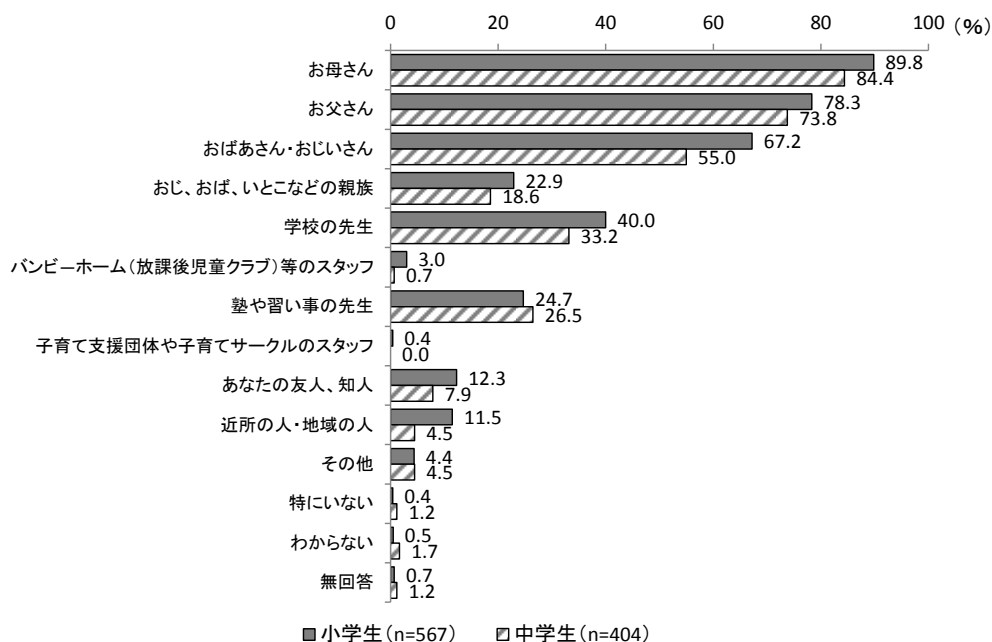
**問 13 あなたから見て、お子さんが頼りにしていると思われる大人がいますか。
(あてはまるものすべてに○)**

「お母さん」と回答した割合が 87.4%と最も高く、次いで「お父さん」が 76.4%となっている。



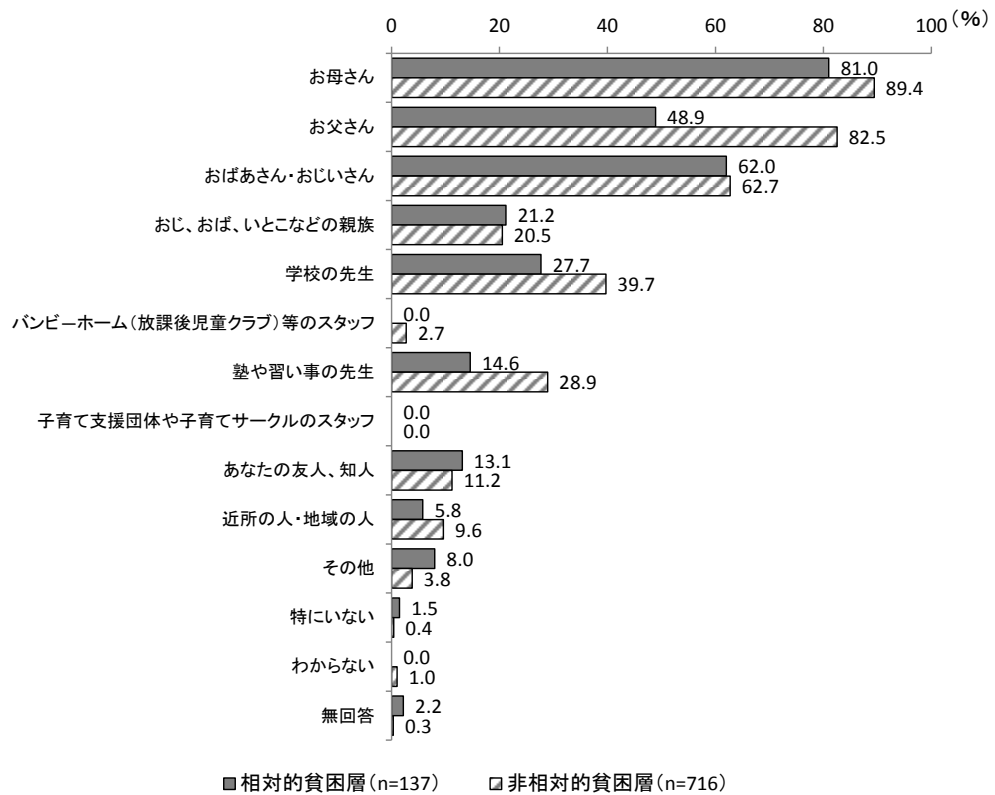
■ 学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「おばあさん・おじいさん」と回答した割合が高い。



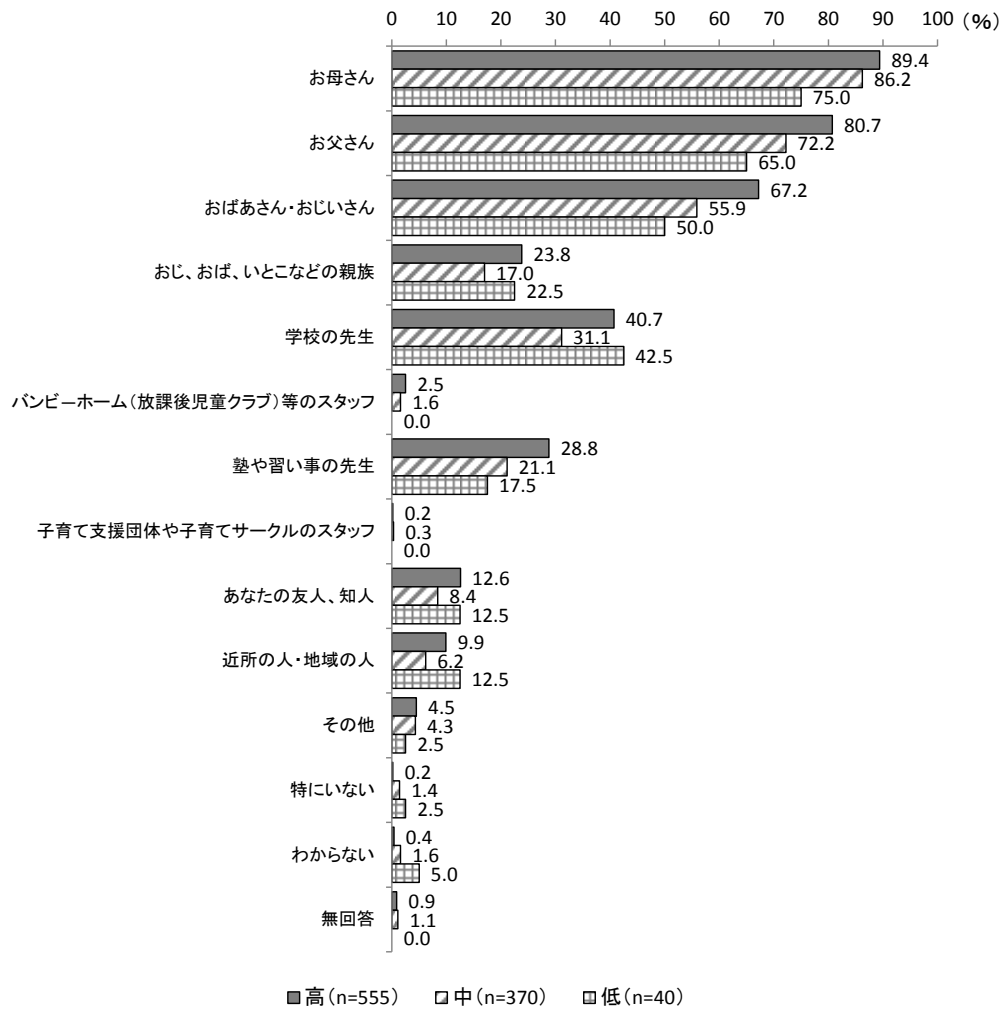
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「お母さん」「お父さん」「学校の先生」「塾や習い事の先生」と回答した割合が低い。



■ 自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「お母さん」「お父さん」「おばあさん・おじいさん」と回答した割合が低い。



■子どもの相談相手別（子ども問 21）

子どもの相談相手が学校の先生では、他の子どもの相談相手と比べて「学校の先生」と回答した割合が高い。

	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	族	おじ、おば、いとこなどの親	学校の先生	クラブ等（放課後児童）	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特になし	わからない	無回答
お母さん・お父さん (n=608)	90.0	77.1	66.1	21.9	37.8	1.6	25.0	0.2	12.3	9.4	4.4	0.3	0.8	1.2	
きょうだい (n=118)	89.8	81.4	65.3	23.7	35.6	2.5	23.7	1.7	15.3	11.9	4.2	-	2.5	2.5	
おばあさん・おじいさん・親せき (n=68)	85.3	70.6	82.4	36.8	35.3	2.9	19.1	-	10.3	7.4	2.9	-	1.5	1.5	
学校のともだち (n=493)	86.4	75.3	64.5	22.5	40.8	1.2	27.6	0.4	13.8	9.3	4.7	0.6	1.0	1.4	
学校以外のともだち (n=54)	88.9	79.6	59.3	16.7	37.0	3.7	40.7	-	14.8	11.1	5.6	1.9	-	1.9	
学校の先生 (n=192)	87.5	76.0	64.1	22.4	53.1	-	27.1	-	13.0	7.8	3.1	-	0.5	2.1	
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー (n=6)	100.0	83.3	50.0	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	
学校以外の先生 (n=38)	89.5	92.1	52.6	23.7	52.6	2.6	65.8	-	18.4	7.9	2.6	-	-	-	
近所の人・地域の人 (n=5)	100.0	100.0	60.0	60.0	80.0	20.0	60.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-	
子ども専用の電話相談 (n=3)	100.0	66.7	33.3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	
インターネットなどで知りあった直接会ったことのない人 (n=8)	87.5	62.5	50.0	25.0	37.5	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	
その他の人 (n=6)	50.0	33.3	33.3	16.7	50.0	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	
だれにも相談しない (n=161)	88.2	80.7	56.5	20.5	32.3	4.3	28.6	-	8.7	6.8	3.7	1.2	0.6	-	

■自己肯定感別（保護者問 20）

自己肯定感との関係は次のことがあげられる。

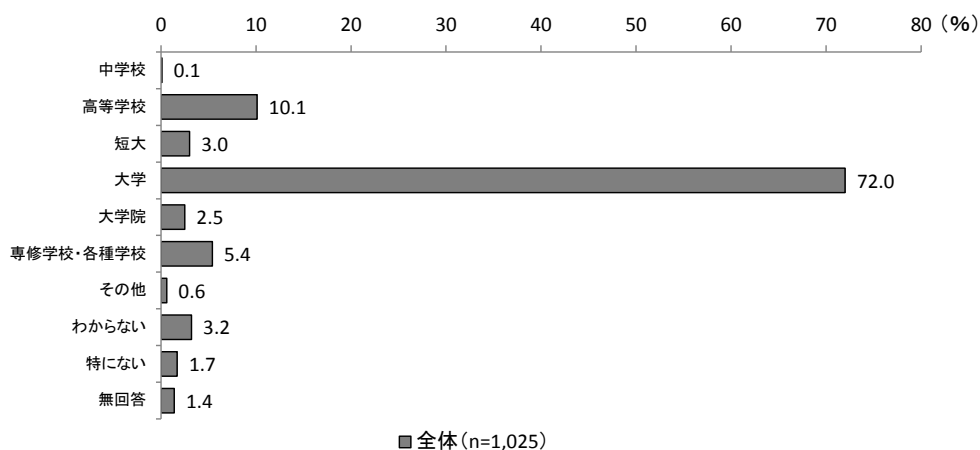
割合が低い項目	選択肢
お母さん	⇒ ・ありのままの自分を認めてくれる人がいない
お父さん	
おばあさん・おじいさん	
学校の先生	
お父さん	⇒ ・現在、自分の生活は充実していない
	⇒ ・将来に希望を持っていない
	⇒ ・今の生活はつらいことの方が多い
	⇒ ・働いても働いても生活が楽にならない
	⇒ ・いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうになる
	⇒ ・どこまでがんばればよいのかわからない

		お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	親族	おじ、おば、いとこなどの	学校の先生	児童クラブ等のスタッフ	バンビーホーム（放課後	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特にいない	わからない	無回答
現在、自分の生活は充実している	あてはまる (n=770)	90.3	82.5	65.7	23.6	39.4	2.5	27.5	0.3	11.9	9.9	4.2	0.5	0.5	0.8		
	あてはまらない (n=219)	79.0	58.4	53.4	13.2	29.7	0.5	19.6	—	9.1	5.9	5.5	0.9	1.4	0.5		
将来に希望を持っている	あてはまる (n=651)	90.6	84.3	67.7	24.1	41.3	2.3	28.7	0.3	12.0	10.4	4.8	—	0.3	0.9		
	あてはまらない (n=298)	82.2	63.1	53.7	16.4	29.2	1.7	19.5	—	10.4	5.7	3.0	2.3	1.3	0.3		
ありのままの自分を認めてくれる人がいる	あてはまる (n=827)	90.8	81.4	65.4	22.7	39.8	2.3	26.8	0.2	12.0	9.3	4.4	0.2	0.4	0.6		
	あてはまらない (n=139)	72.7	56.1	48.9	13.7	20.1	0.7	16.5	—	7.9	7.2	5.0	3.6	1.4	1.4		
今の生活はつらいことの方が 多い	あてはまる (n=225)	80.9	59.1	58.7	16.4	29.8	1.8	19.6	0.4	11.1	5.8	5.3	1.8	1.3	—		
	あてはまらない (n=759)	89.5	81.9	64.7	23.1	39.1	2.1	27.3	0.1	11.3	9.9	4.3	0.4	0.7	0.8		
働いても働いても生活が楽にならない	あてはまる (n=358)	83.2	62.8	60.9	18.7	28.8	2.0	18.4	0.3	10.3	9.2	4.7	0.8	1.4	0.8		
	あてはまらない (n=595)	90.9	85.4	65.2	22.9	41.0	2.2	30.1	0.2	11.4	8.7	3.7	0.7	0.5	0.7		
仕事と子育てで、心身ともに余裕がない	あてはまる (n=337)	83.4	68.0	60.5	16.9	31.8	3.6	22.3	0.3	11.9	7.7	4.5	0.9	0.9	0.6		
	あてはまらない (n=646)	90.2	81.1	63.9	23.4	39.3	1.2	26.6	0.2	11.0	9.6	4.5	0.6	0.9	0.8		
いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうな気持ちになる	あてはまる (n=309)	80.9	64.4	61.2	18.8	31.7	2.3	22.3	0.3	8.7	6.5	5.8	1.3	1.3	1.0		
	あてはまらない (n=681)	90.5	82.4	63.3	22.6	39.1	1.9	26.7	0.1	12.2	10.1	3.8	0.4	0.9	0.6		
いつもまわりの人の目が気になる	あてはまる (n=248)	83.9	70.6	63.7	18.1	33.9	1.2	24.2	0.4	9.7	8.1	4.8	1.2	1.2	0.8		
	あてはまらない (n=743)	89.4	79.1	62.7	22.6	38.0	2.3	25.4	0.1	11.7	9.0	4.3	0.4	0.7	0.7		
どこまでがんばればよいかわからない	あてはまる (n=298)	82.2	65.1	61.1	18.5	31.2	1.7	24.2	0.3	10.7	6.4	6.0	1.3	1.0	0.7		
	あてはまらない (n=670)	90.4	82.1	63.3	22.7	39.4	2.1	25.8	0.1	11.0	10.1	3.7	0.4	0.7	0.7		

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

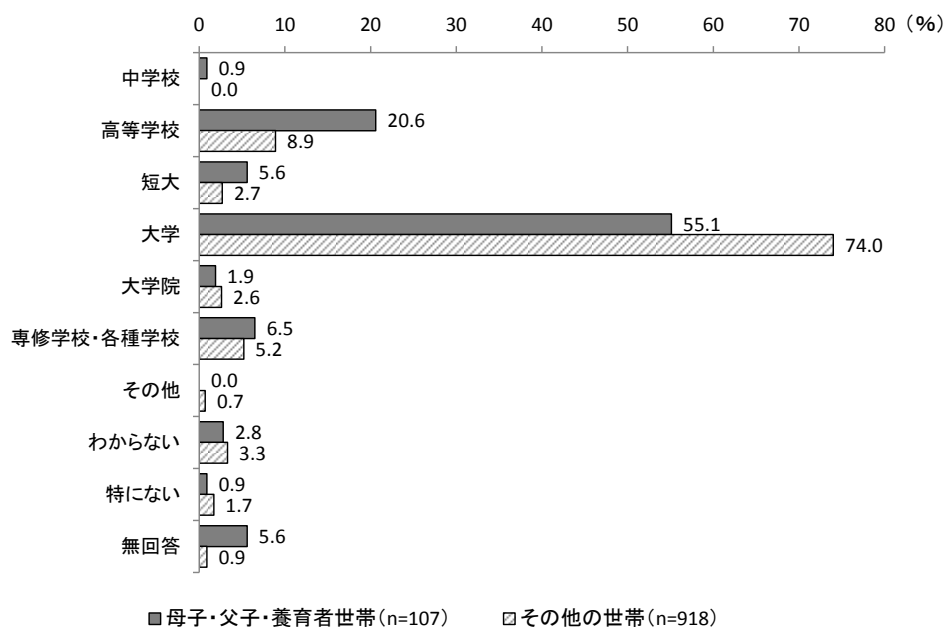
問 14 お子さんの進学は、希望としては、どこまでを考えていますか。
(1つだけに○)

「大学」と回答した割合が 72.0%と最も高く、次いで「高等学校」が 10.1%となっている。



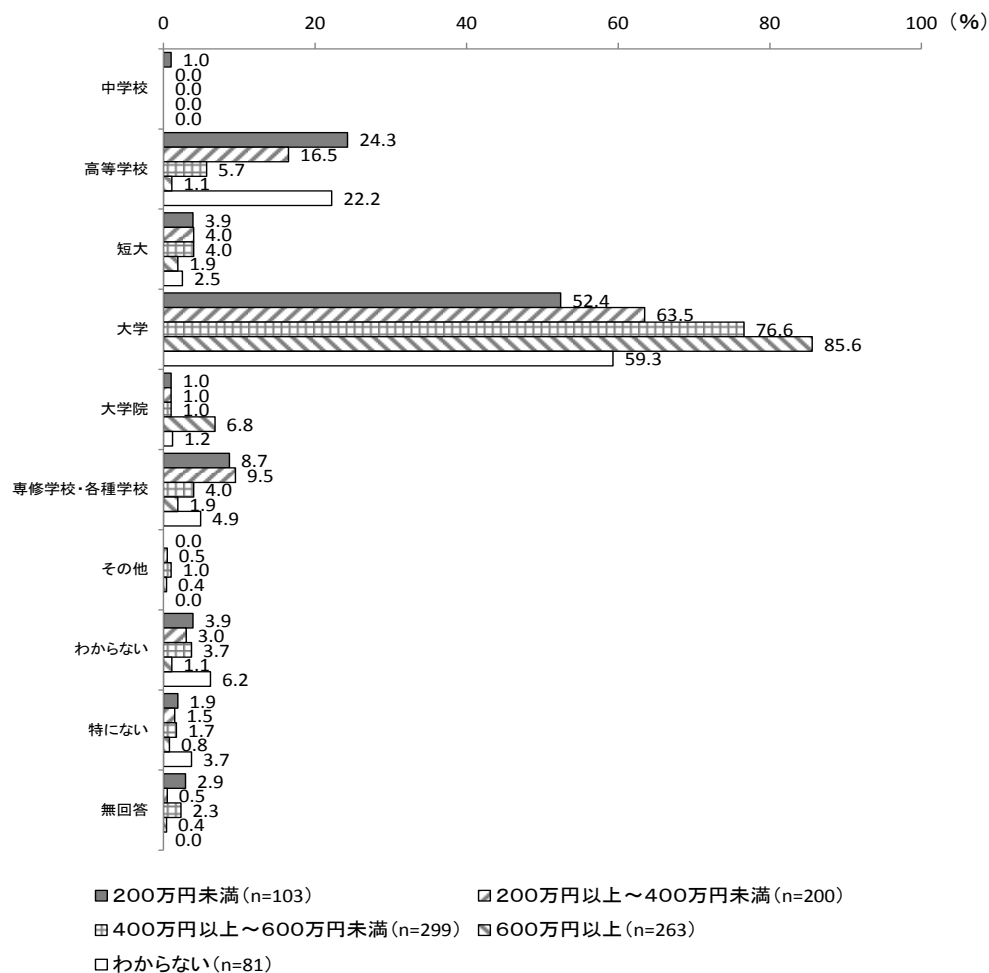
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「高等学校」と回答した割合が高く、「大学」と回答した割合が低い。



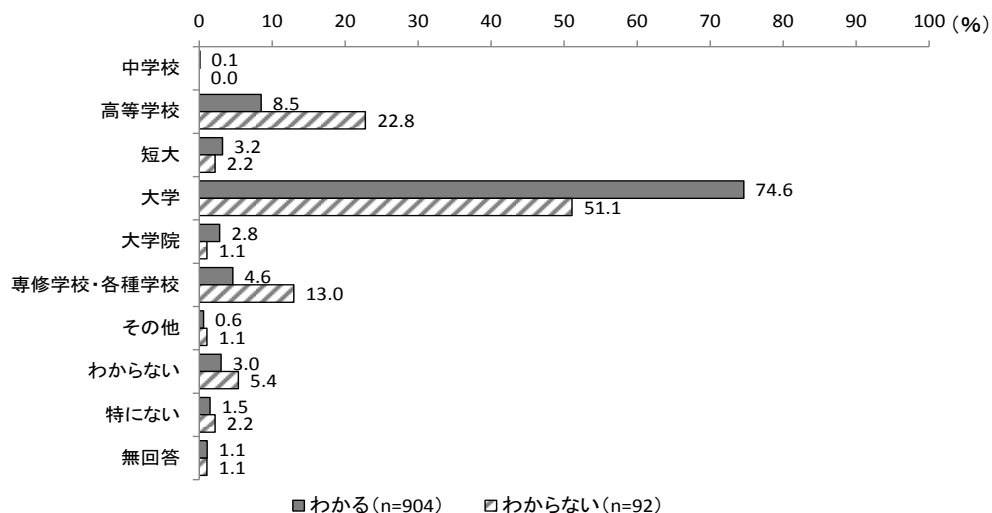
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「高等学校」と回答した割合が高く、「大学」と回答した割合が低い。



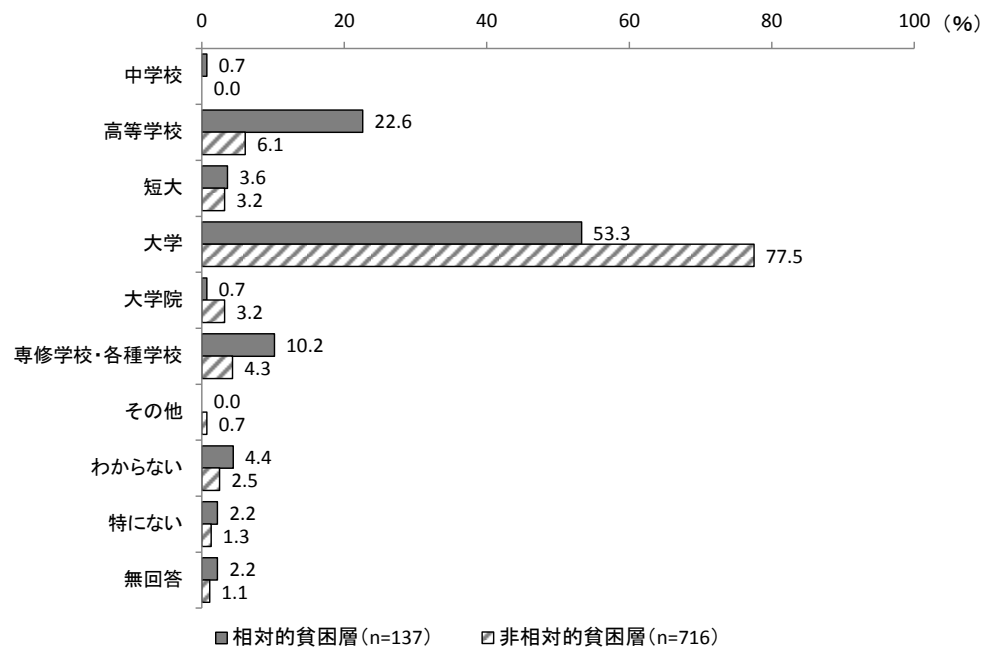
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「大学」と回答した割合が高く、「高等学校」と回答した割合が低い。



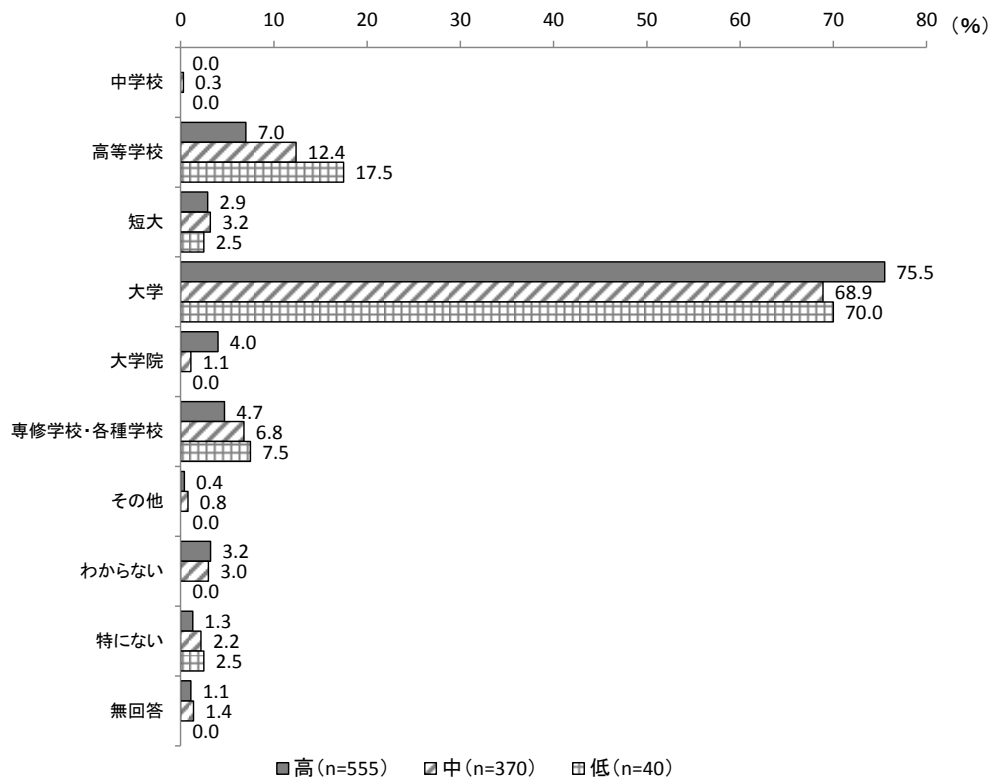
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「高等学校」「専修学校・各種学校」と回答した割合が高く、「大学」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

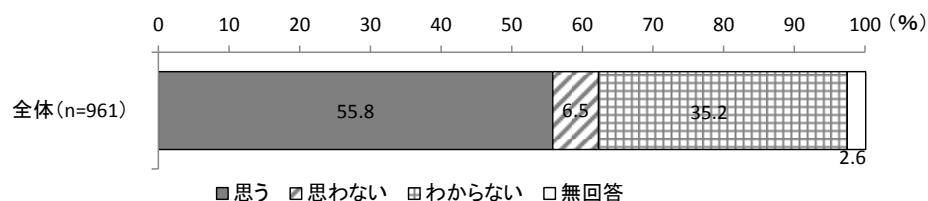
自己肯定感が低では、高・中と比べて、「高等学校」と回答した割合が高い。



問 14-1 問 14 で「1 中学校」「2 高等学校」「3 短大」「4 大学」「5 大学院」「6 専修学校・各種学校」「7 その他」と答えた方におたずねします。

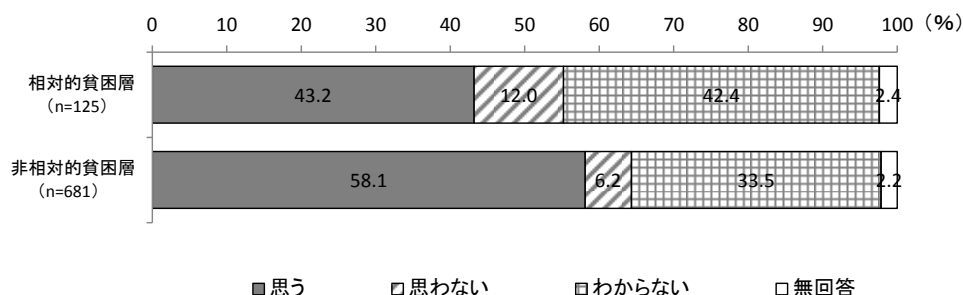
あなたは、お子さんが問 14 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「思う」と回答した割合が 55.8%と最も高く、次いで「わからない」が 35.2%となっている。



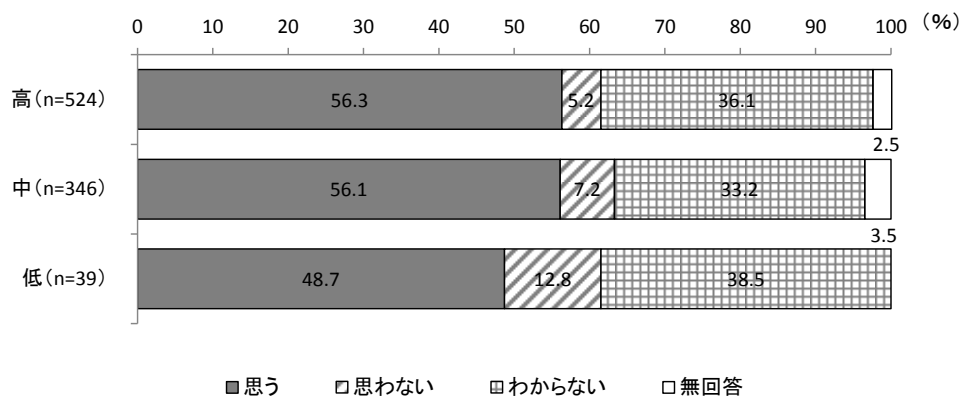
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「思わない」「わからない」と回答した割合が高く、「思う」と回答した割合が低い。



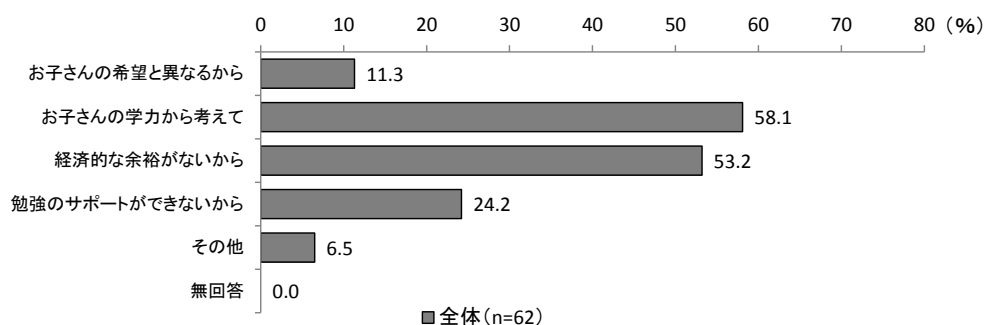
■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「思う」と回答した割合が低い。



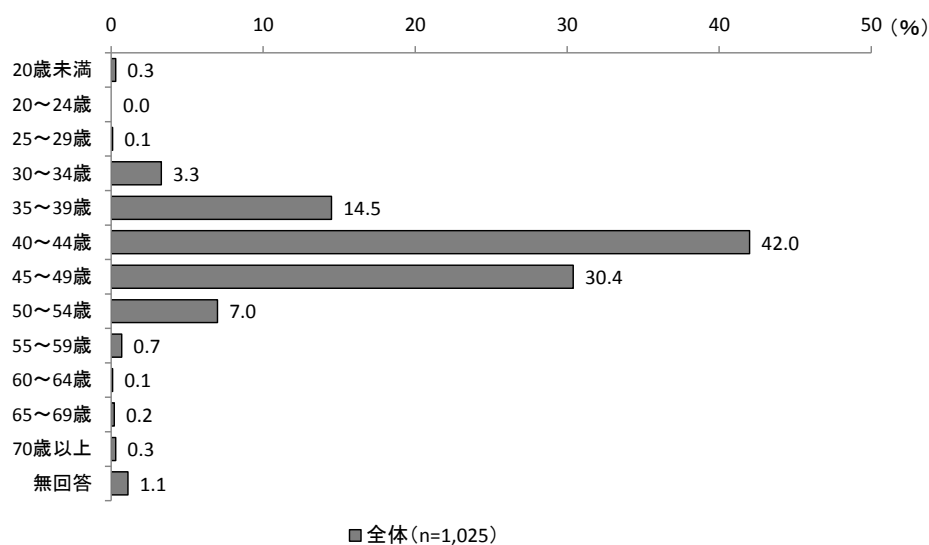
問 14-2 問 14-1 で「2 思わない」と答えた方におたずねします。
その理由について教えてください（あてはまるものすべてに○）

「お子さんの学力から考えて」と回答した割合が 58.1%と最も高く、次いで「経済的な余裕がないから」が 53.2%となっている。



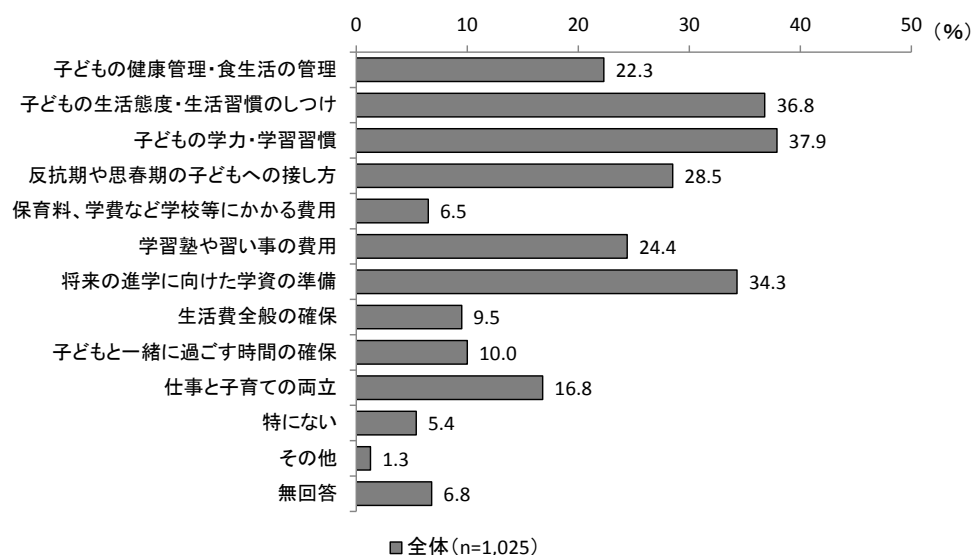
問 15 あなたの年齢は現在おいくつですか。（1つだけに○）

「40～44 歳」と回答した割合が 42.0%と最も高く、次いで「45～49 歳」が 30.4%となっている。



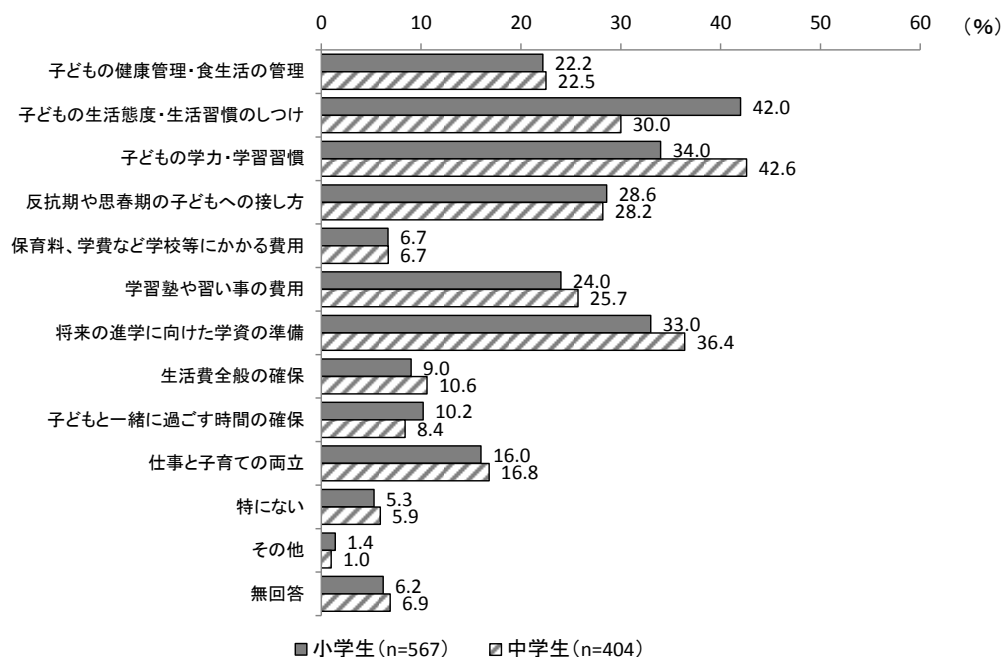
問 16 子育てをしていて特に大変だと感じることは何ですか。（○は3つまで）

「子どもの学力・学習習慣」と回答した割合が 37.9%と最も高く、次いで「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」が 36.8%となっている。



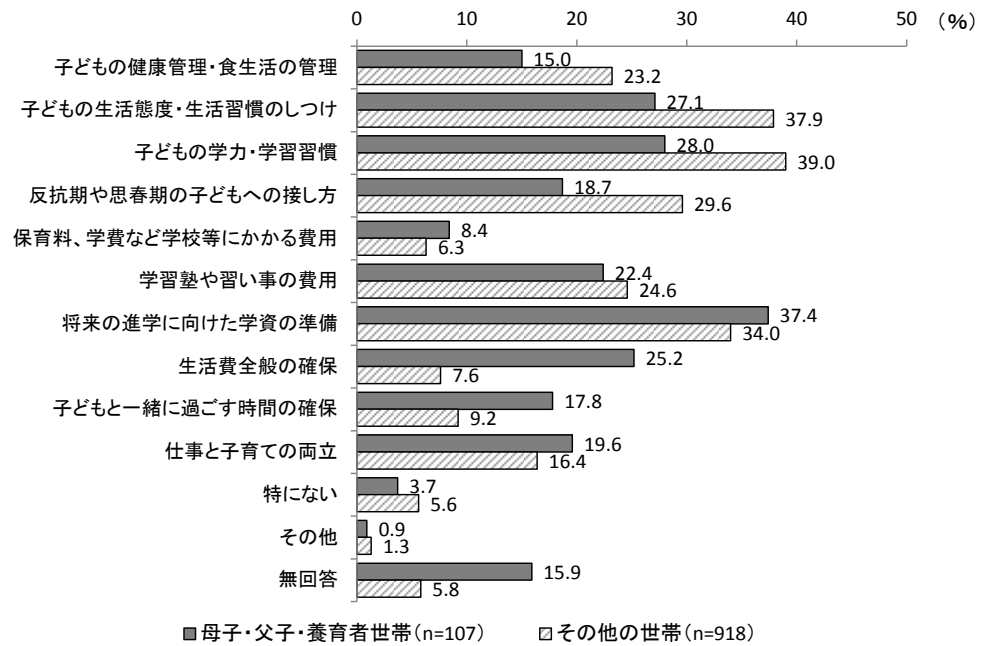
■ 学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」と回答した割合が高い。



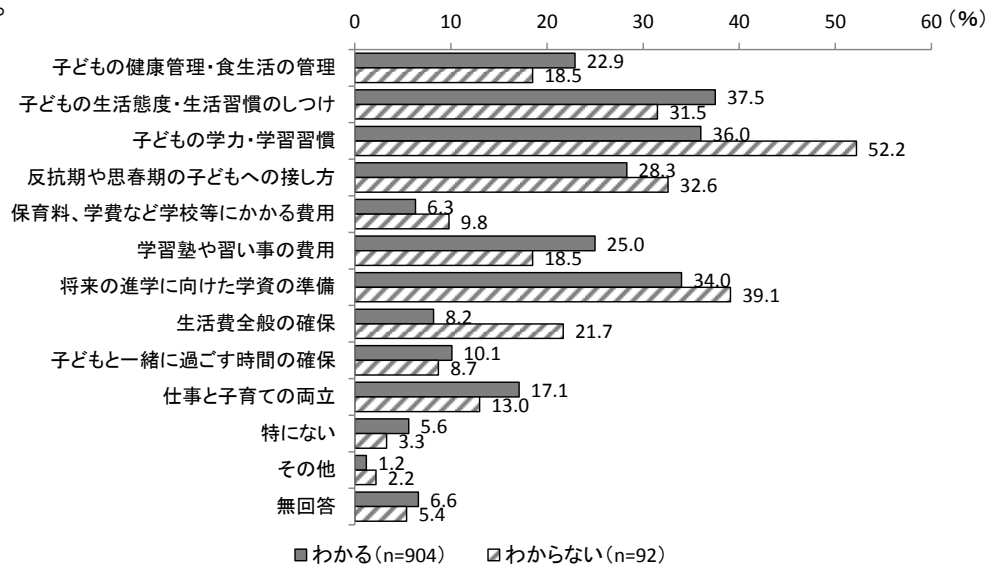
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「生活費全般の確保」と回答した割合が高い。



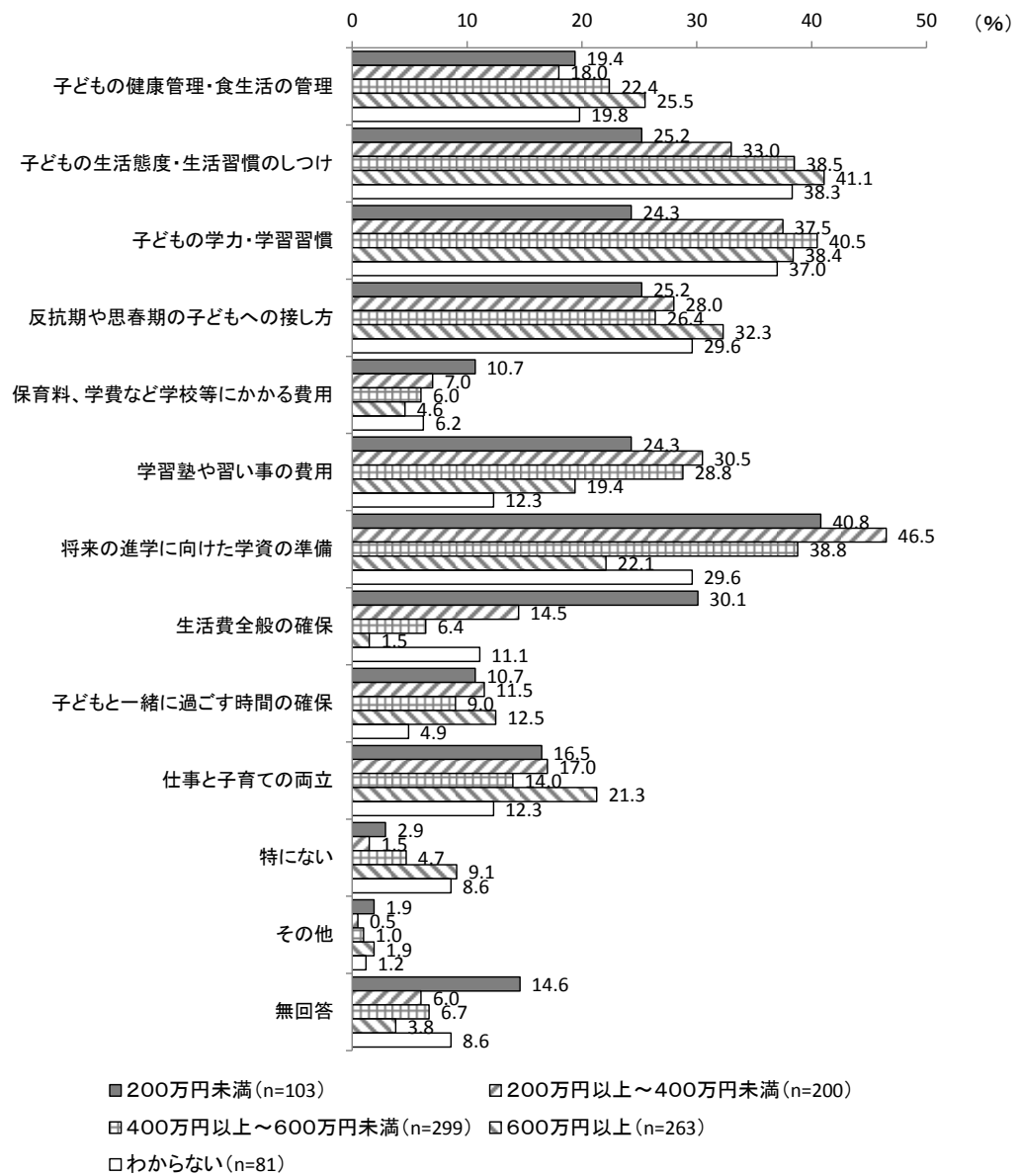
■子どもの授業理解度別

わかるではわからないと比べて、「子どもの学力・学習習慣」「生活費全般の確保」と回答した割合が低い。



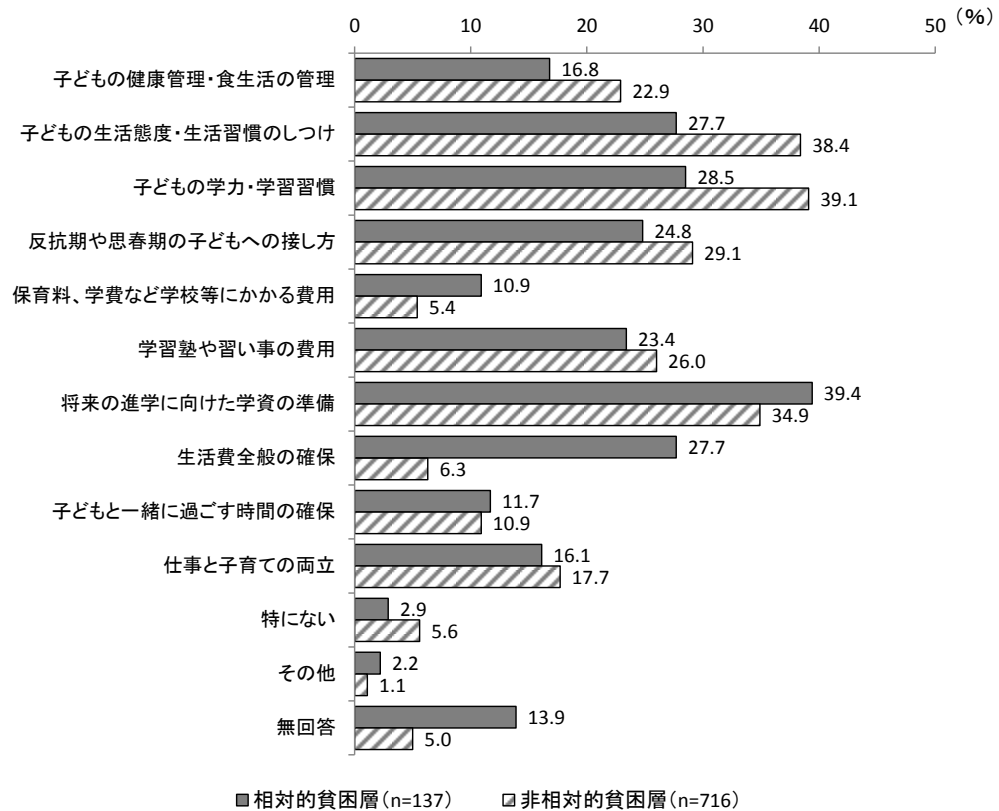
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「生活費全般の確保」と回答した割合が高い。



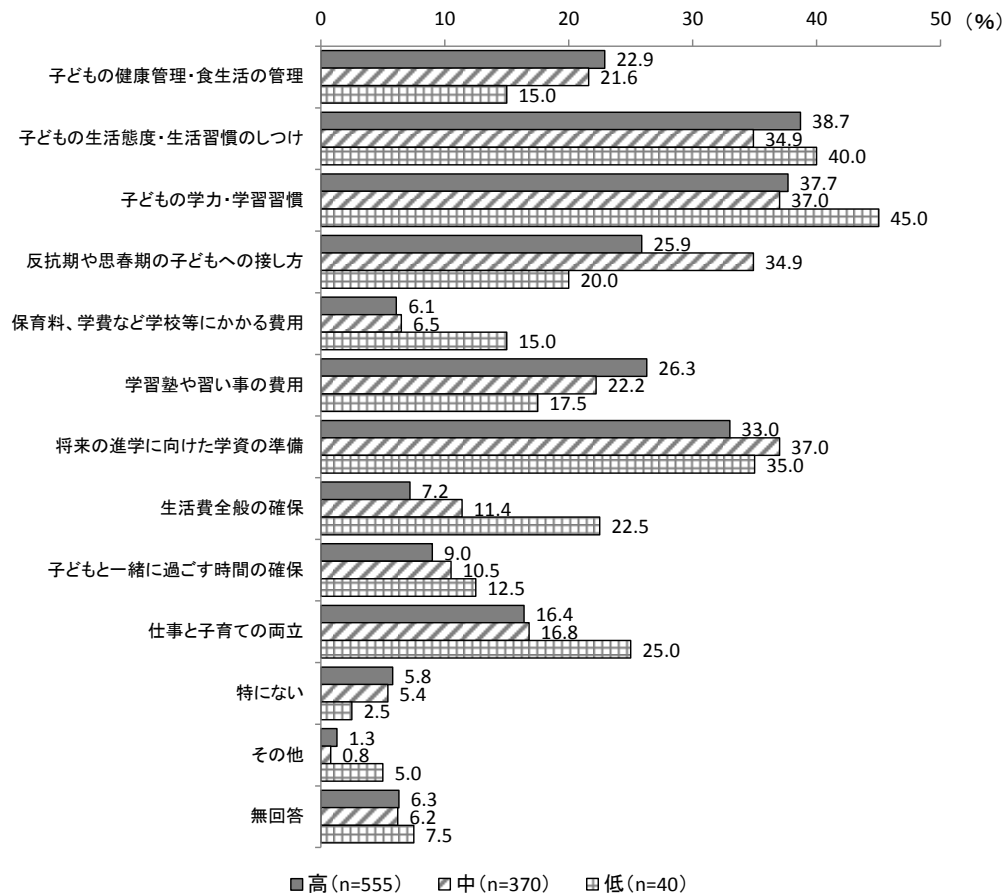
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「保育料、学費など学校等にかかる費用」「生活費全般の確保」と回答した割合が高く、「子どもの健康管理・食生活の管理」「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」「子どもの学力・学習習慣」と回答した割合が低い。



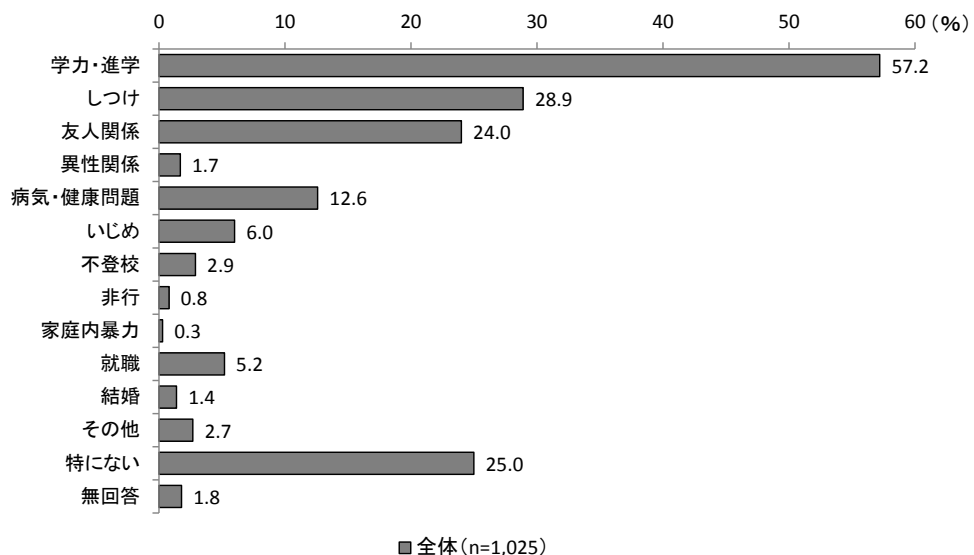
■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「子どもの学力・学習習慣」「保育料、学費など学校等にかかる費用」「生活費全般の確保」「仕事と子育ての両立」と回答した割合が高く、「子どもの健康管理・食生活の管理」「学習塾や習い事の費用」と回答した割合が低い。



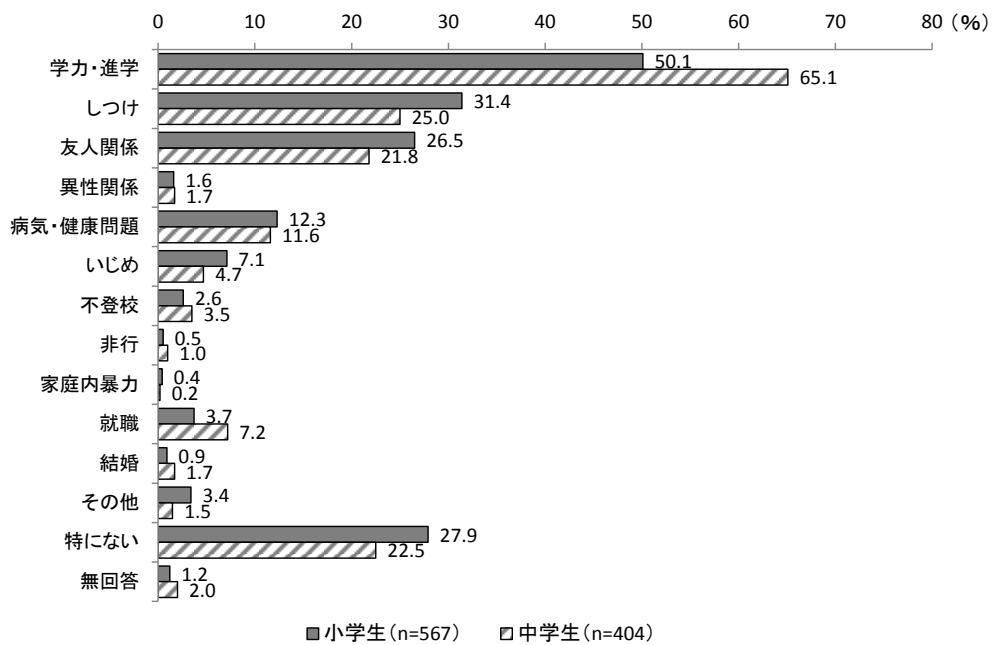
問 17 お子さんに関する次のような悩みはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

「学力・進学」と回答した割合が 57.2%と最も高く、次いで「しつけ」が 28.9%となっている。



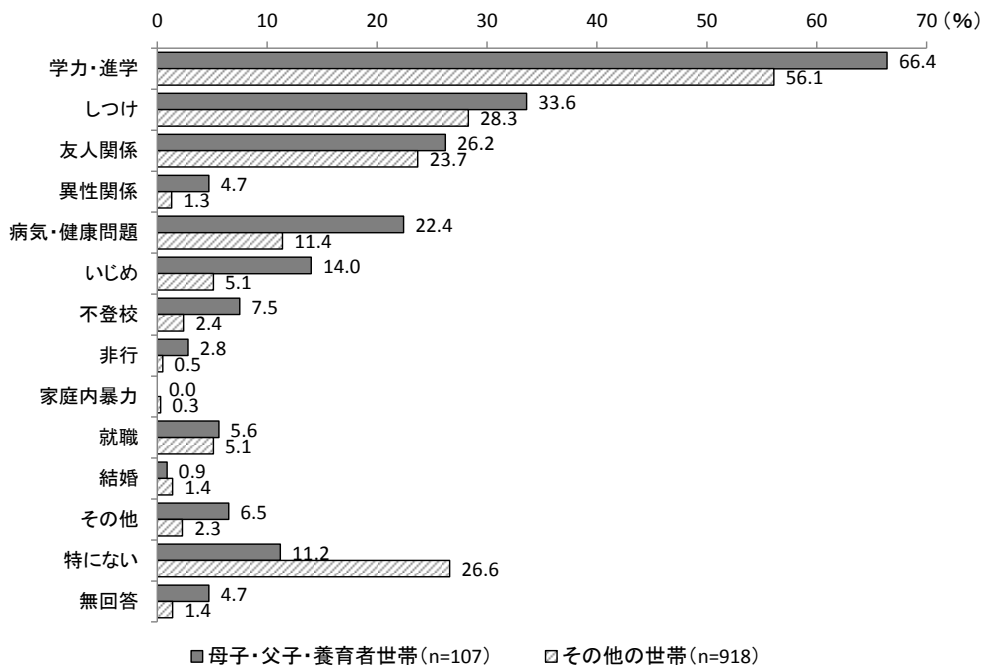
■学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「学力・進学」と回答した割合が低い。



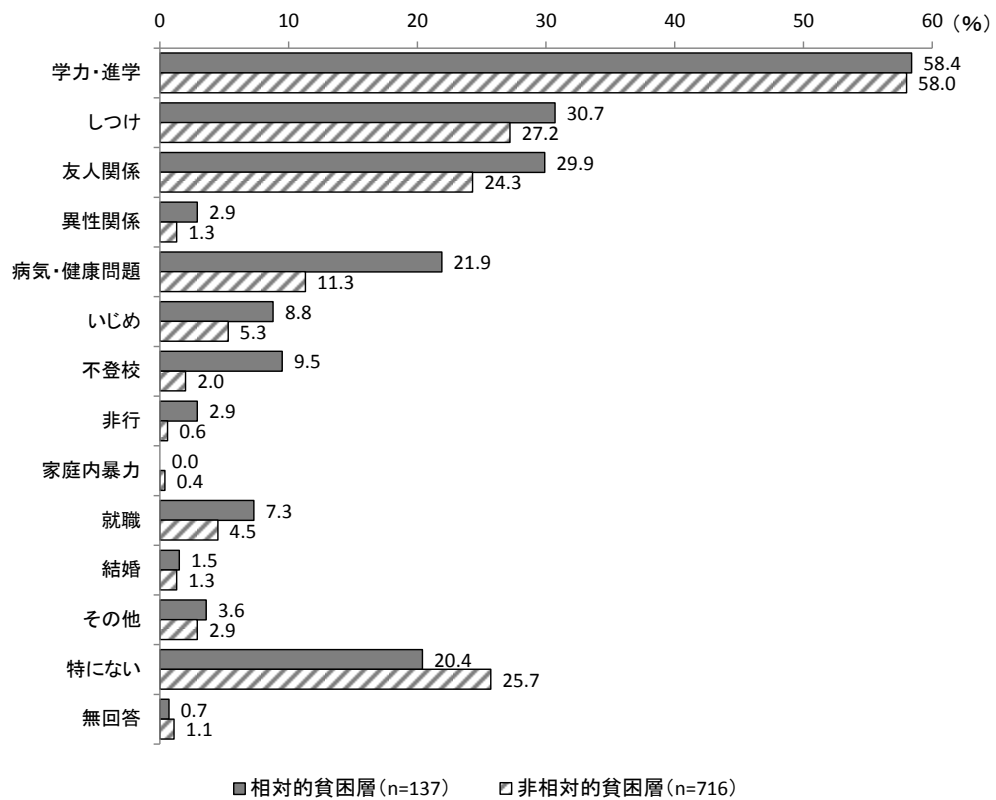
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「病気・健康問題」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合が低い。



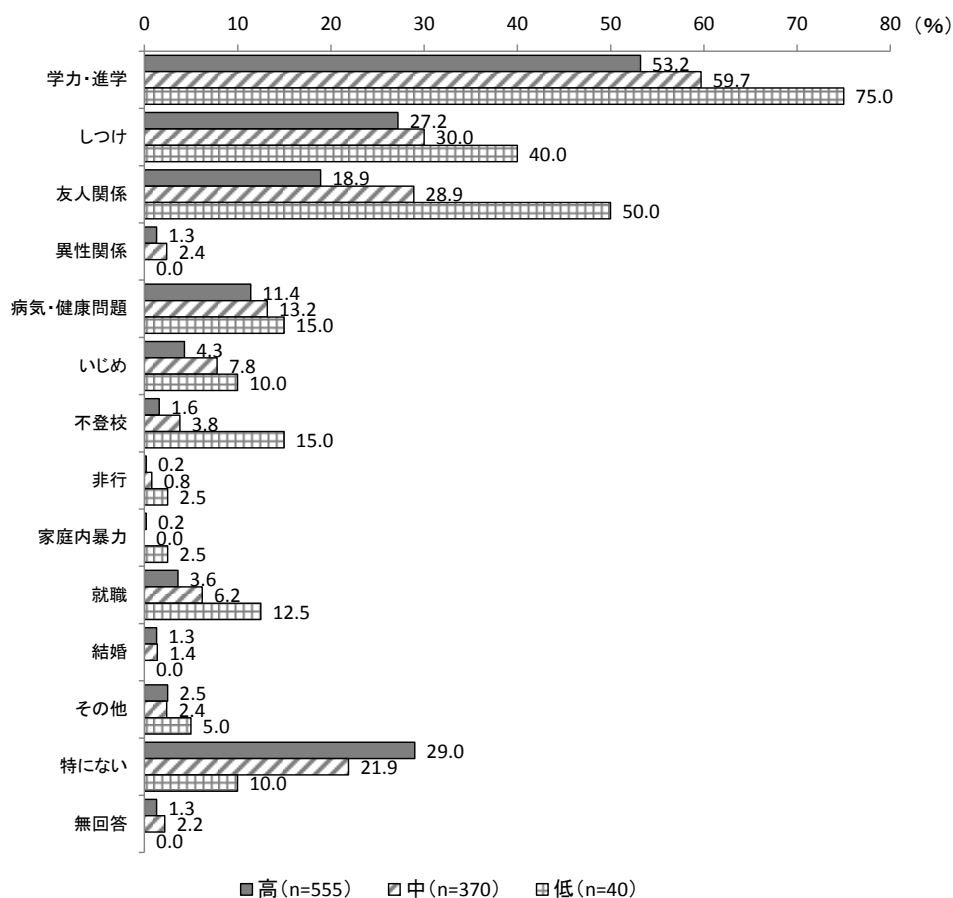
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「友人関係」「病気・健康問題」「不登校」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「学力・進学」「しつけ」「友人関係」「不登校」「就職」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合が低い。



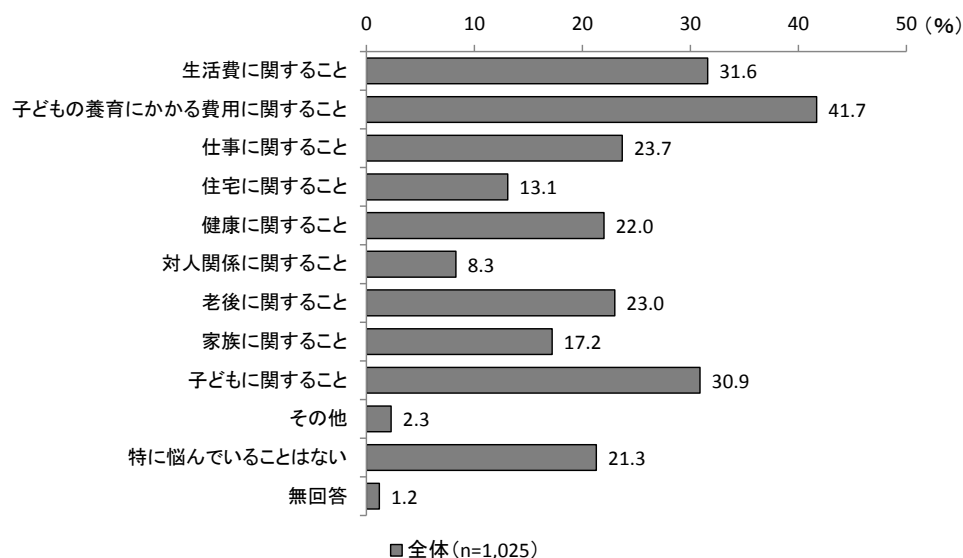
■子どもの悩み別（子ども問 20）

学校や勉強のことでは「学力・進学」、自分のことでは「しつけ」「友人関係」、ともだちのことでは「友人関係」と回答した割合が高い。また、いやなことや悩んでいることはないでは「学力・進学」と回答した割合が低い。

	学力・進学	しつけ	友人関係	異性関係	病気・健康問題	いじめ	不登校	非行	家庭内暴力	就職	結婚	その他
おうちのこと・家族のこと (n=68)	64.7	44.1	39.7	4.4	17.6	4.4	10.3	2.9	1.5	5.9	-	5.9
学校や勉強のこと (n=222)	68.5	30.2	30.2	2.3	16.2	7.7	7.7	0.9	0.5	6.3	-	5.0
クラブ活動のこと (n=90)	63.3	17.8	31.1	3.3	8.9	4.4	4.4	1.1	1.1	8.9	1.1	2.2
自分のこと (n=157)	65.0	42.0	37.6	2.5	14.6	7.0	5.1	1.3	0.6	5.7	0.6	3.2
ともだちのこと (n=155)	61.3	36.8	45.2	1.3	15.5	11.0	7.7	1.9	1.3	5.8	1.3	3.2
好きな人のこと (n=87)	62.1	39.1	34.5	1.1	19.5	8.0	3.4	3.4	1.1	4.6	-	1.1
進学・進路のこと (n=194)	62.4	31.4	24.7	2.1	12.4	4.6	4.1	-	-	6.2	-	2.6
その他のこと (n=30)	63.3	20.0	20.0	-	16.7	3.3	3.3	3.3	3.3	-	-	-
いやなことや悩んでいることはない (n=487)	52.4	25.5	19.7	1.6	10.3	5.1	1.0	0.4	0.2	4.1	1.8	2.1
無回答 (n=21)	71.4	38.1	28.6	-	28.6	14.3	4.8	4.8	-	-	-	-

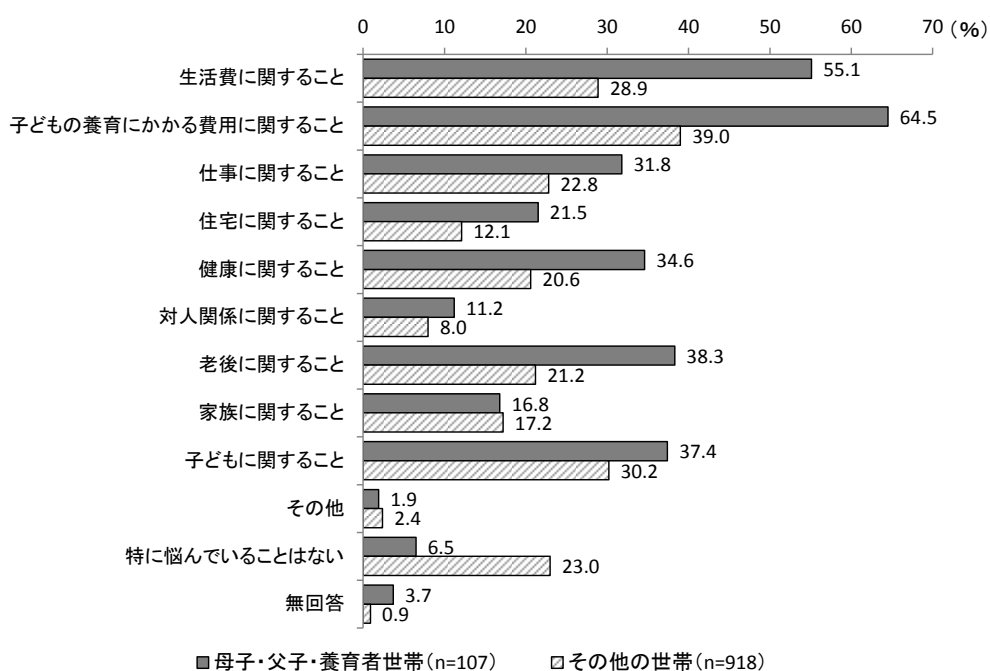
問 18 あなたは、現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの養育にかかる費用に関すること」と回答した割合が41.7%と最も高く、次いで「生活費に関すること」が31.6%となっている。



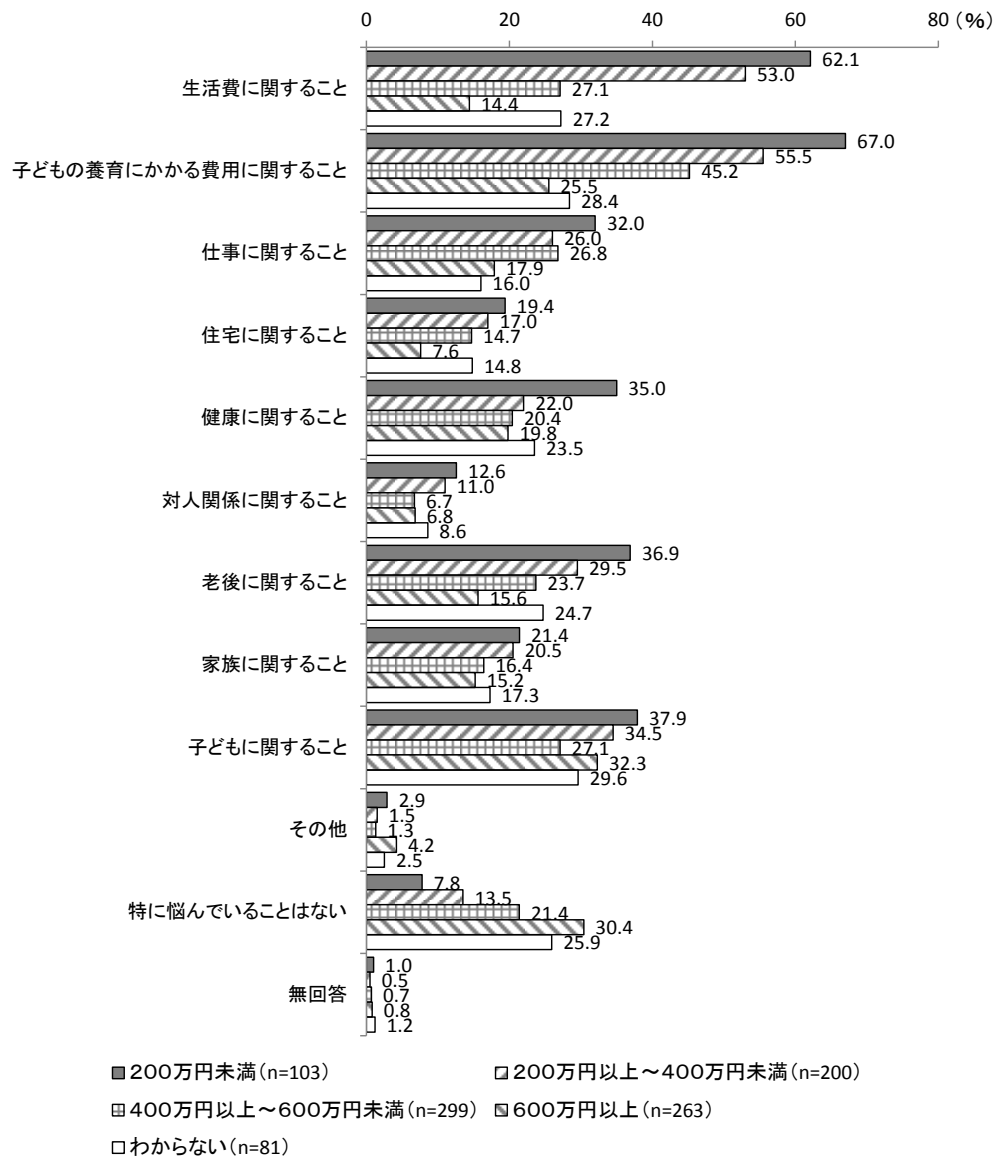
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「健康に関すること」「老後に関すること」と回答した割合が高く、「特に悩んでいることはない」と回答した割合が低い。



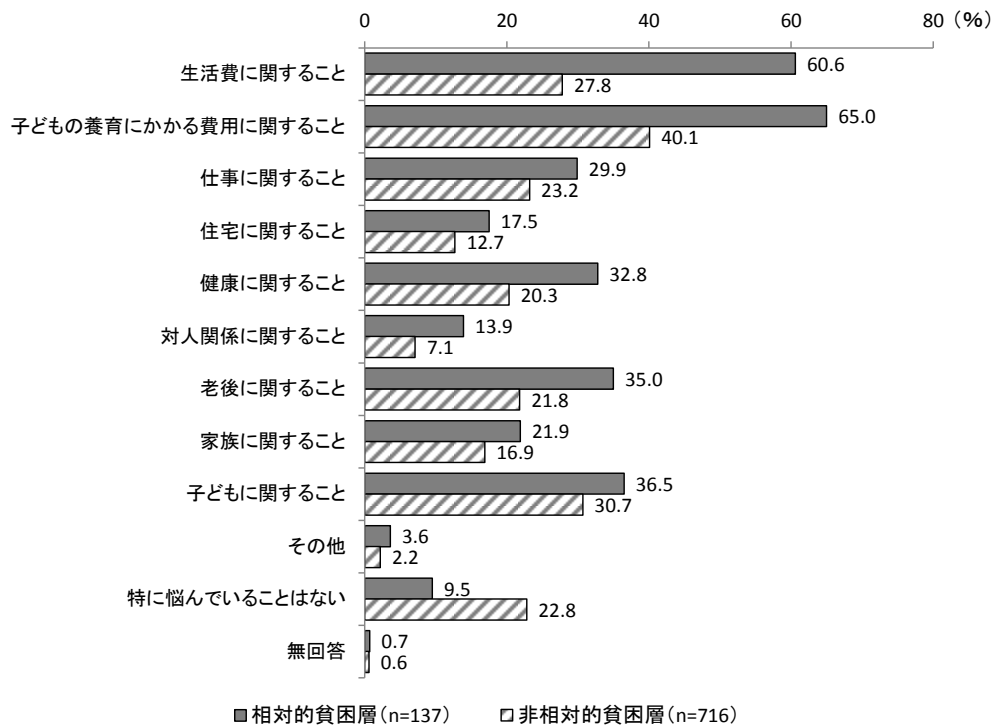
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「健康に関すること」「老後に関すること」と回答した割合が高く、「特に悩んでいることはない」と回答した割合が低い。



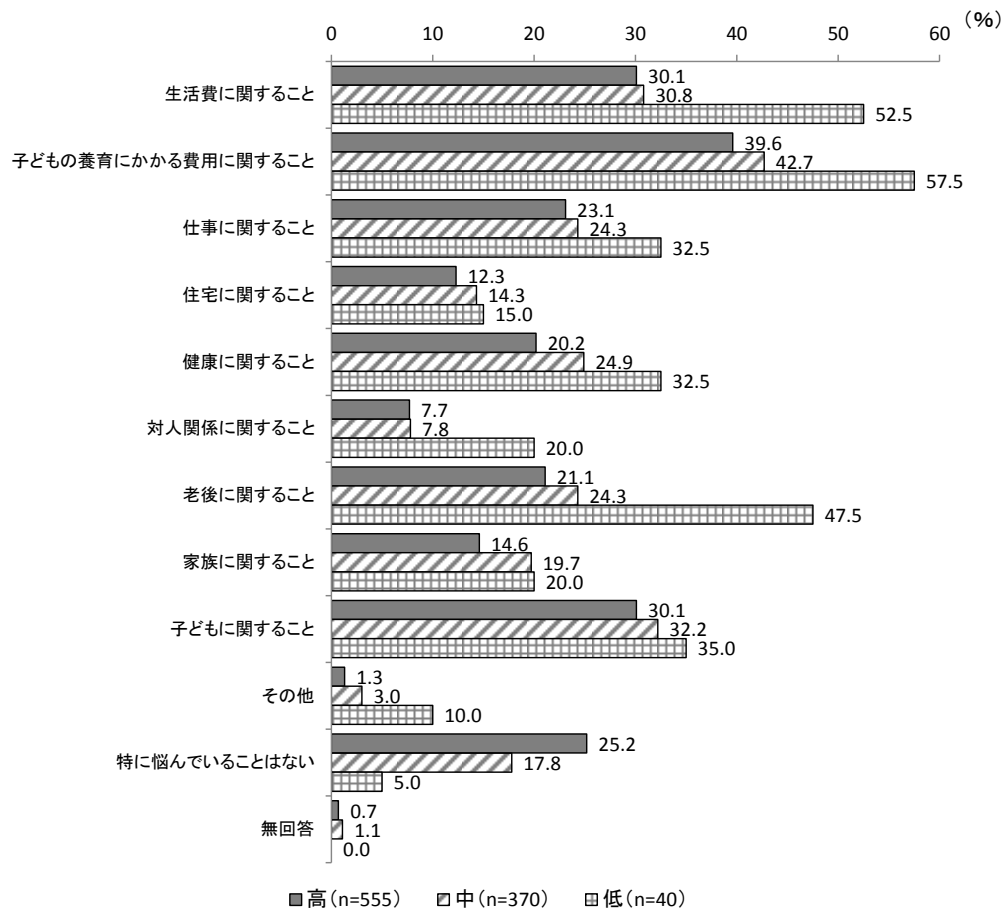
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「仕事に関すること」「健康に関すること」「対人関係に関すること」「老後に関すること」「家族に関すること」「子どもに関すること」と回答した割合が高く、「特に悩んでいることはない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「生活に費に関すること」「子どもの養育に関すること」「仕事に関すること」「健康に関すること」「対人関係に関すること」「老後に関すること」と回答した割合が高く、「特に悩んでいることはない」と回答した割合が低い。



■親の経験別（保護者問 21）

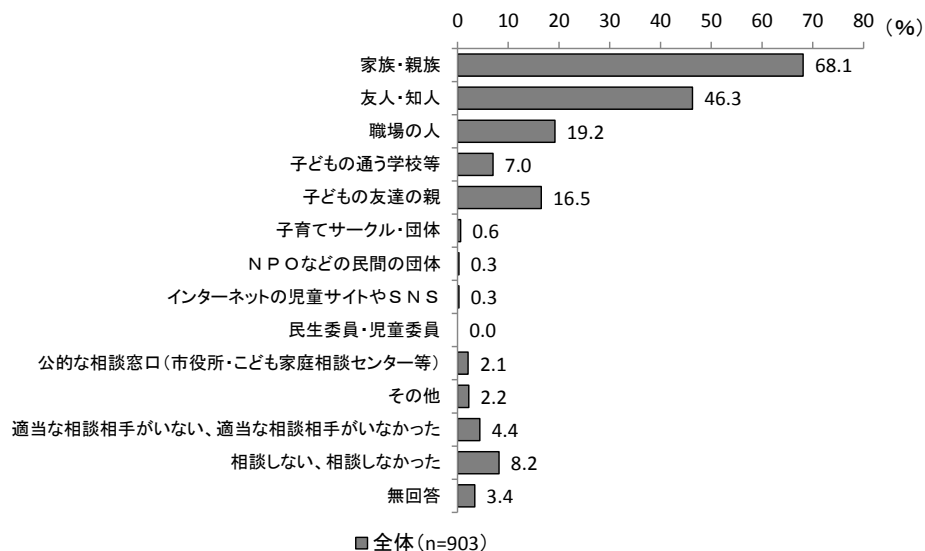
親の経験との関係は次のことがあげられる。

割合が高い項目		選択肢
生活費に関すること	⇒	・両親が離婚した経験がある
子どもの養育にかかる費用のこと	⇒	・家庭内の事情により、親と離れて暮らした経験がある
老後に関すること	⇒	・成人する前に父または母が亡くなった経験がある
仕事に関すること	⇒	・家庭内の事情により、親と離れて暮らした経験がある
		・家庭内の事情により、親と離れて暮らした経験がある
割合が低い項目		選択肢
子どもに関すること	⇒	・成人する前に父または母が亡くなった経験がある
特に悩んでいることはない	⇒	・家庭内の事情により、親と離れて暮らした経験がある

		生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
あなたの両親が離婚した	経験したことがある (n=109)	44.0	55.0	28.4	17.4	22.9	10.1	27.5	20.2	33.0	1.8	15.6	1.8
	経験したことはない (n=896)	29.9	40.3	23.4	12.7	22.2	7.9	22.7	17.2	30.7	2.2	22.2	0.7
あなたが成人する前に父または母が亡くなった	経験したことがある (n=56)	32.1	41.1	26.8	12.5	28.6	12.5	33.9	8.9	19.6	3.6	28.6	1.8
	経験したことはない (n=951)	31.5	42.1	23.9	13.2	22.0	8.0	22.6	18.0	31.7	2.1	21.0	0.7
家庭内の事情により、親と離れて暮らしたことがある	経験したことがある (n=91)	45.1	56.0	34.1	16.5	28.6	16.5	37.4	14.3	36.3	3.3	12.1	1.1
	経験したことはない (n=913)	30.0	40.4	23.0	12.9	21.7	7.3	21.7	17.9	30.4	2.1	22.5	0.8
親から暴力をふるわれたことがある	経験したことがある (n=113)	38.1	49.6	32.7	18.6	38.9	14.2	33.6	21.2	39.8	5.3	15.0	—
	経験したことはない (n=889)	30.5	40.9	22.8	12.6	20.1	7.4	21.7	17.1	29.8	1.8	22.4	0.9
親に暴力をふるったことがある	経験したことがある (n=34)	41.2	38.2	29.4	20.6	41.2	20.6	44.1	17.6	44.1	—	14.7	—
	経験したことはない (n=969)	31.1	42.0	23.8	13.0	21.6	7.7	22.4	17.5	30.5	2.3	21.8	0.8
親と疎遠になっている(なっていた)	経験したことがある (n=107)	43.9	52.3	33.6	23.4	30.8	18.7	34.6	24.3	41.1	3.7	12.1	0.9
	経験したことはない (n=899)	29.9	40.6	22.9	12.0	21.4	7.1	21.7	16.7	29.9	2.0	22.6	0.8

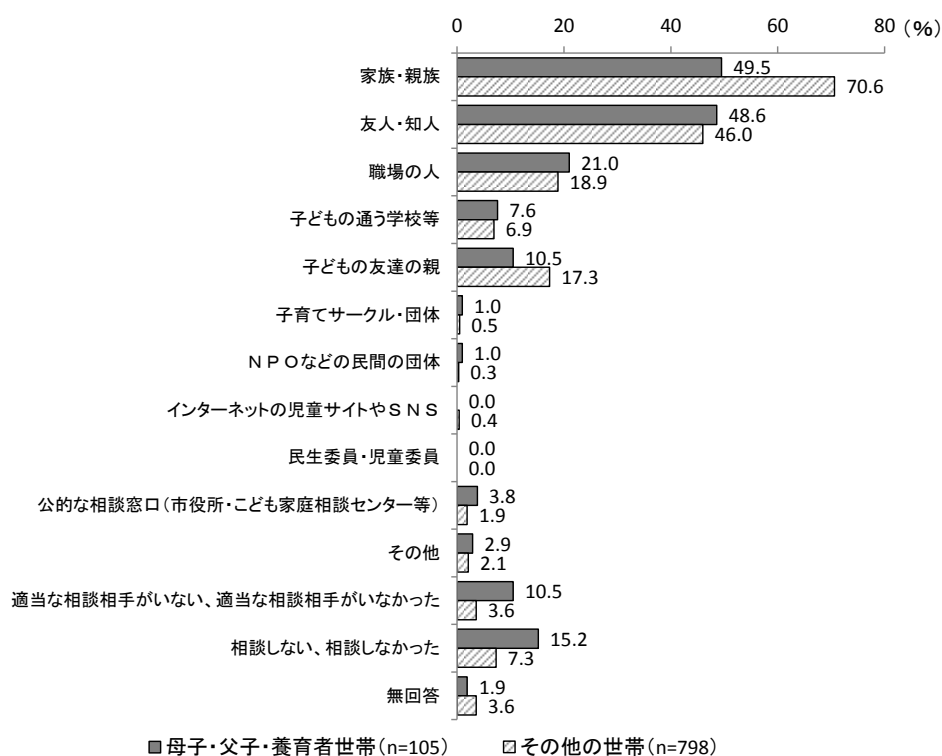
問 19 あなたは、問 17・18 の悩みをどなた（どこ）に相談されていますか。（されましたか。）（あてはまるものすべてに○）

「家族・親族」と回答した割合が 68.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が 46.3%となっている。



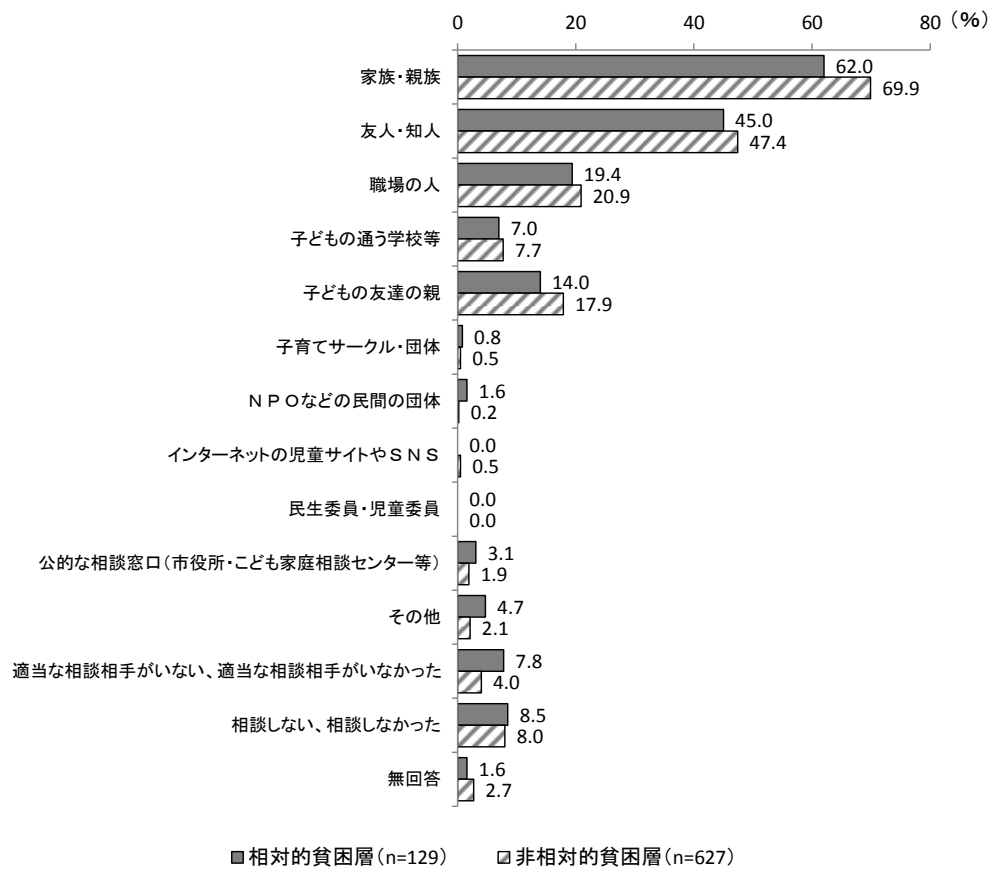
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「『適当な相談相手がいらない、適当な相談相手がいなかった』または『相談しない、相談しなかった』」と回答した割合が高く、「家族・親族」と回答した割合が低い。



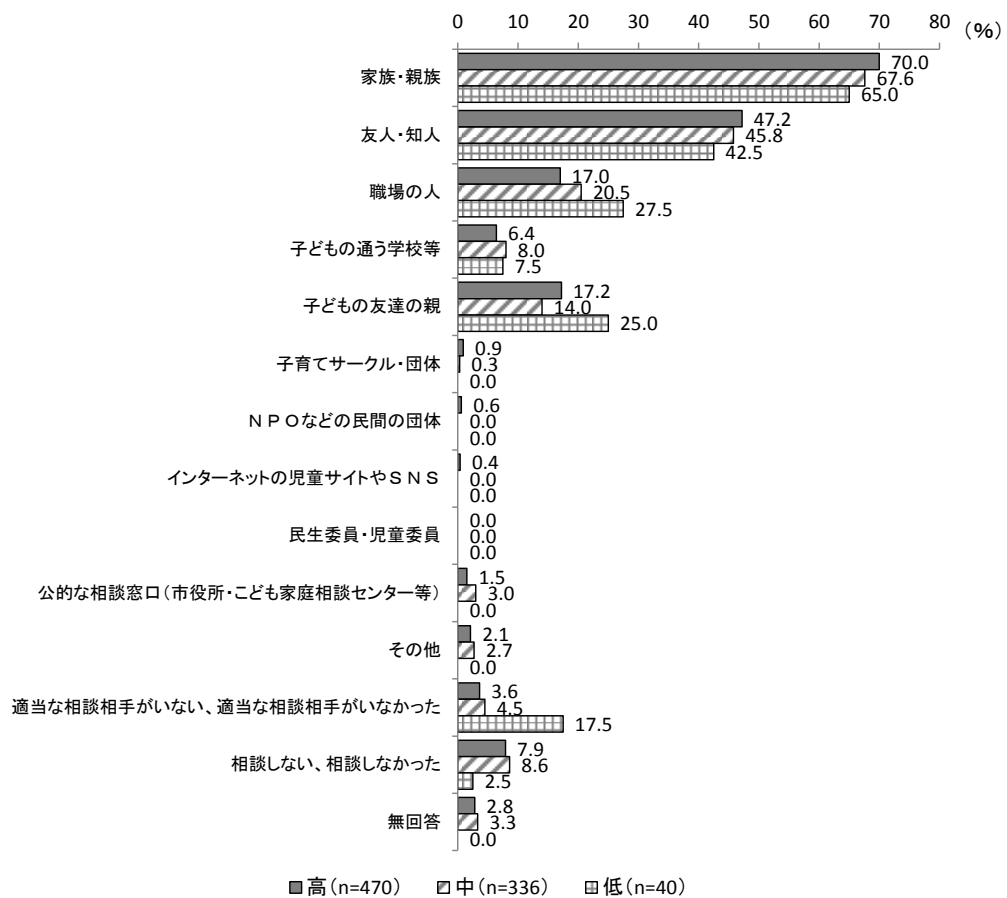
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「家族・親族」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

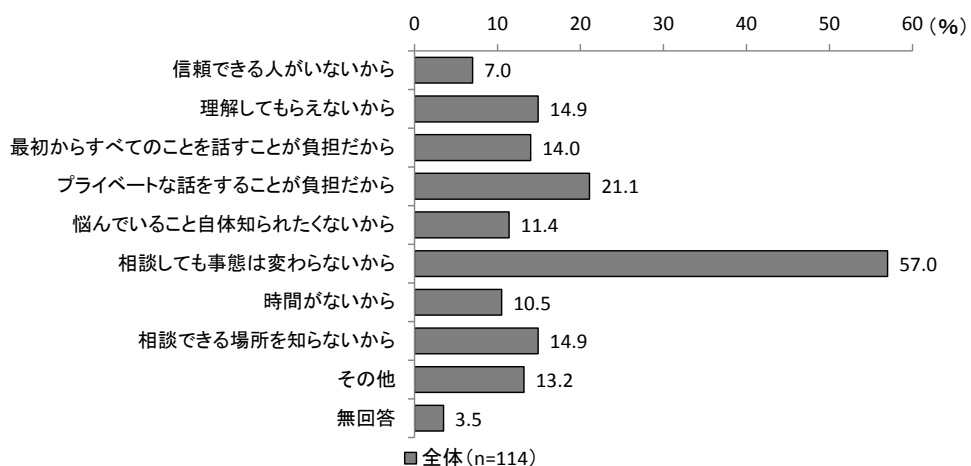
自己肯定感が低では、高・中と比べて、「職場の人」「子どもの友達の親」「適当な相談相手がい
ない、適当な相談相手がいなかった」と回答した割合が高い。



**問 19-1 問 19 で「12 適当な相談相手がいらない」「13 相談しない、相談しな
かった」と答えた方におたずねします。**

その理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

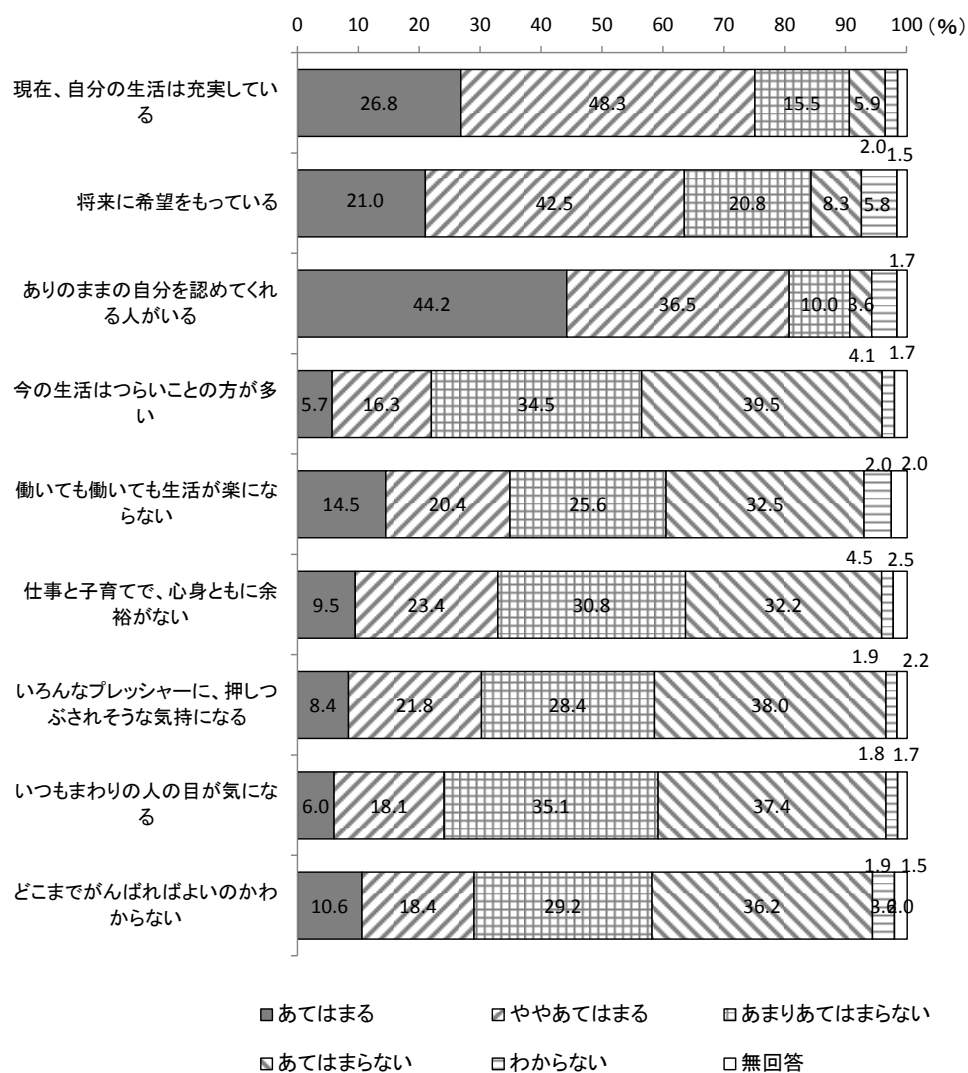
「相談しても事態は変わらない」と回答した割合が 57.0%と最も高く、次いで「プライベートな話を
することが負担だから」が 21.1%となっている。



問 20 あなたの現在の生活意識について教えてください。（それぞれ1つに○）

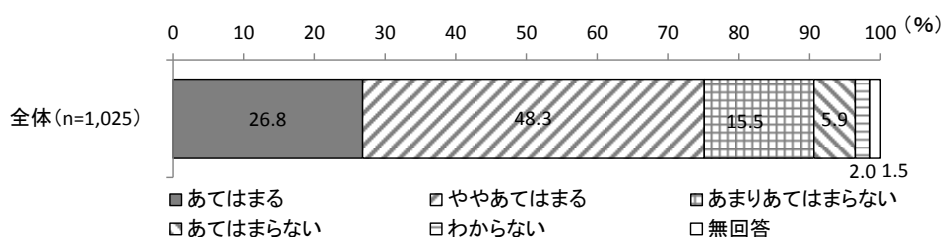
【一覧】

「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合は、「ありのままの自分を認めてくれる人がある」が80.7%と最も高く、次いで「現在、自分の生活は充実している」が75.1%となっている。



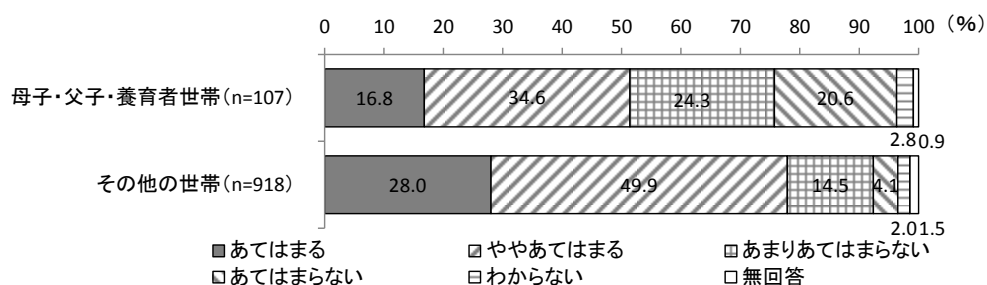
【現在、自分の生活は充実している】

「ややあてはまる」と回答した割合が 48.3%と最も高く、次いで「あてはまる」が 26.8%となっている。



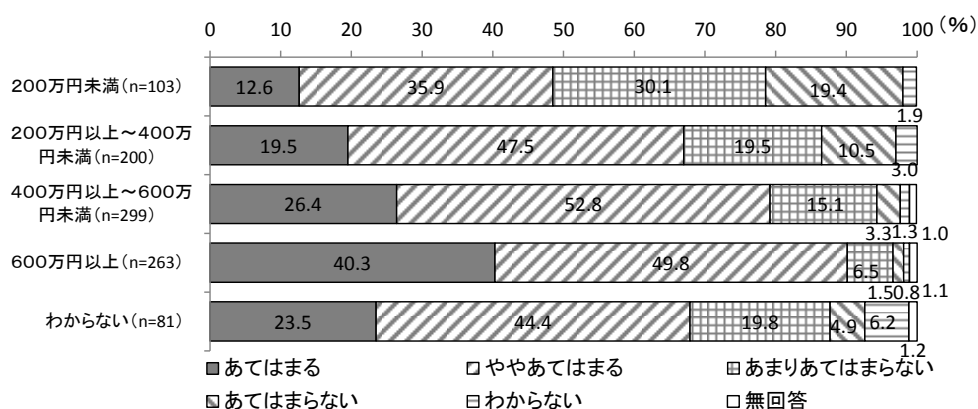
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



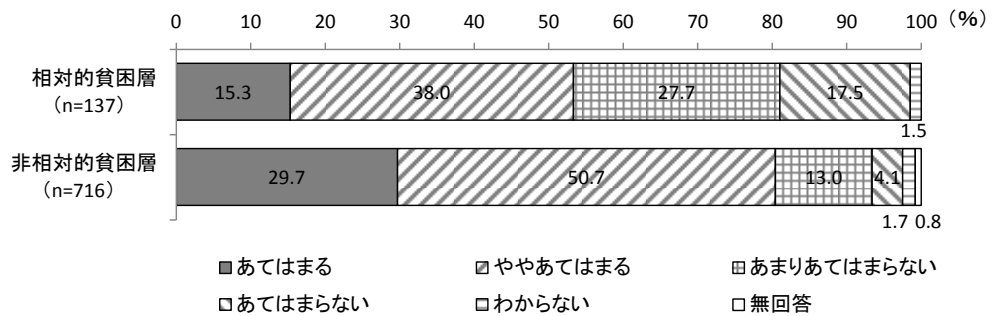
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



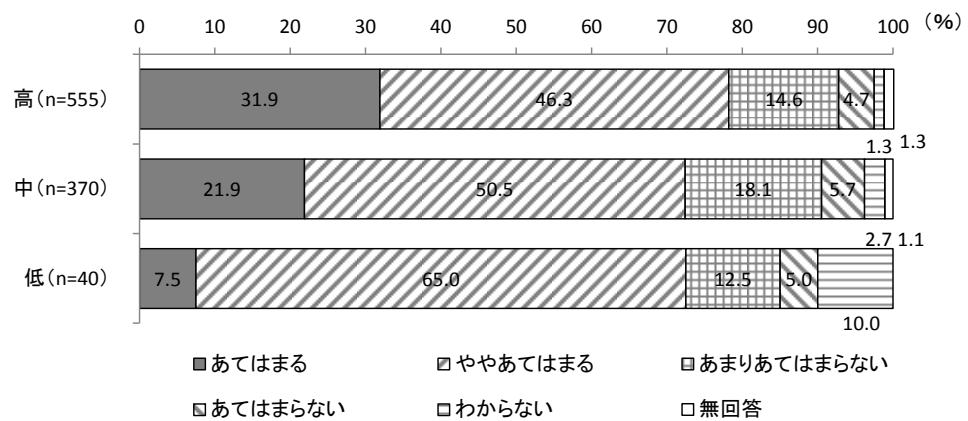
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あてはまる」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

子どもの自己肯定感と「現在、自分の生活は充実している」との関係は、次のとおりである。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	28.5	47.5	15.4	5.3	2.0	1.3
	あてはまらない(n=82)	12.2	58.5	20.7	4.9	3.7	0.0
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	30.3	46.0	15.6	5.3	1.7	1.1
	あてはまらない(n=266)	19.2	55.6	15.8	4.9	3.4	1.1
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	29.1	46.8	15.6	5.6	1.5	1.5
	あてはまらない(n=158)	16.5	57.6	17.1	3.2	5.7	0.0
不安に感じるところはない	あてはまる(n=612)	30.1	46.2	15.0	5.2	2.1	1.3
	あてはまらない(n=368)	22.3	52.2	17.1	4.9	2.2	1.4
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	29.3	47.4	15.1	5.4	1.7	1.1
	あてはまらない(n=238)	20.2	51.3	18.1	5.5	3.4	1.7
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	28.9	46.8	15.4	5.7	1.7	1.4
	あてはまらない(n=183)	18.6	55.2	18.0	3.8	3.8	0.5

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.43 であるのに対し、600 万円以上では 3.31 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	275 26.8	495 48.3	159 15.5	60 5.9	21 2	15 1.5	3.00
200万円未満	103 100	13 12.6	37 35.9	31 30.1	20 19.4	2 1.9	－	2.43
200万円以上～ 400万円未満	200 100	39 19.5	95 47.5	39 19.5	21 10.5	6 3	－	2.78
400万円以上～ 600万円未満	299 100	79 26.4	158 52.8	45 15.1	10 3.3	4 1.3	3 1	3.05
600万円以上	263 100	106 40.3	131 49.8	17 6.5	4 1.5	2 0.8	3 1.1	3.31
わからない	81 100	19 23.5	36 44.4	16 19.8	4 4.9	5 6.2	1 1.2	2.93

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.50、その他の世帯では3.05である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	275 26.8	495 48.3	159 15.5	60 5.9	21 2	15 1.5	3.00
母子・父子・養育者世帯	107 100	18 16.8	37 34.6	26 24.3	22 20.6	3 2.8	1 0.9	2.50
その他の世帯	918 100	257 28	458 49.9	133 14.5	38 4.1	18 2	14 1.5	3.05

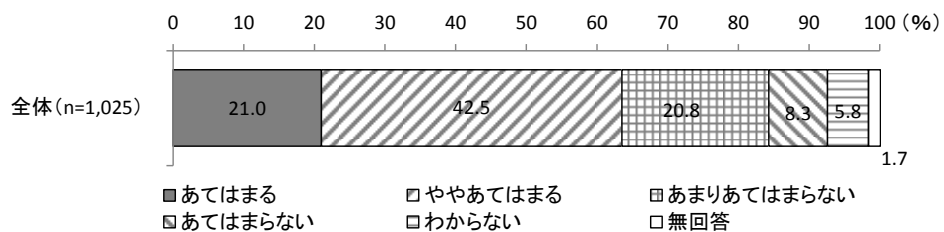
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

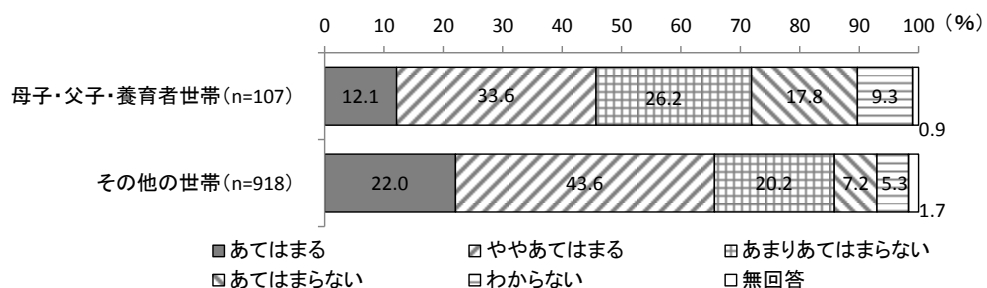
【将来に希望をもっている】

「ややあてはまる」と回答した割合が42.5%と最も高く、次いで「あてはまる」が21.0%となっている。



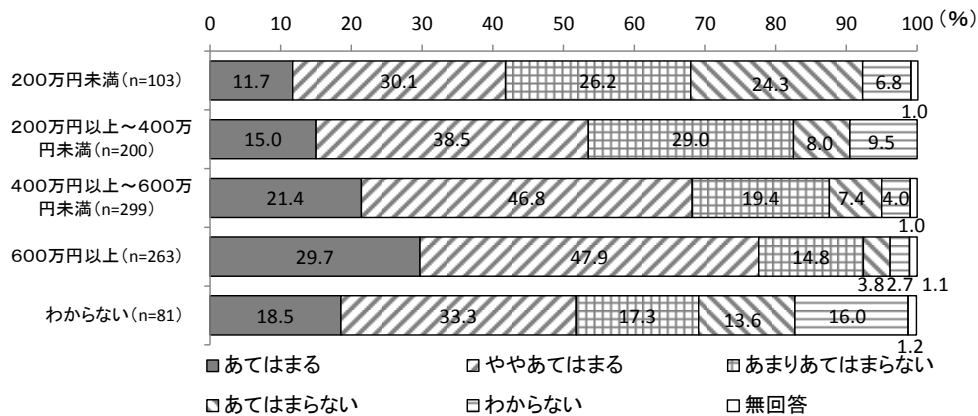
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



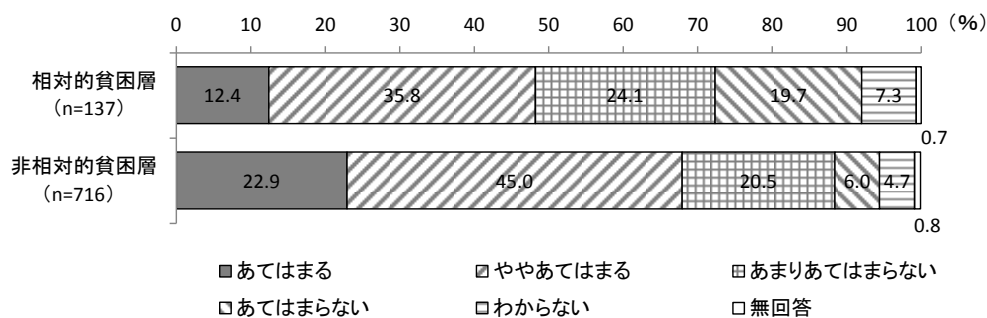
■ 可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



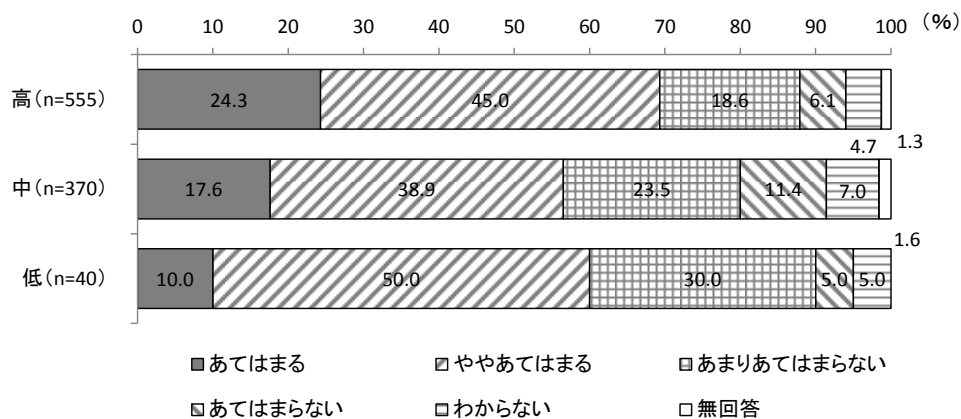
■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



■ 自己肯定感別

自己肯定感が高では、中・低と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

自分は価値のある人間だと思うでは、自分は価値のある人間だと思わないと比べて「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。また、頑張れば、成果が出せるでは頑張れば成果が出せないと比べて「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	21.6	42.8	20.1	8.1	5.9	1.5
	あてはまらない(n=82)	13.4	45.1	30.5	8.5	2.4	0.0
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	23.1	43.8	19.9	6.7	5.0	1.4
	あてはまらない(n=266)	15.4	41.0	23.3	12.0	7.1	1.1
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	23.2	42.3	19.6	7.9	5.2	1.7
	あてはまらない(n=158)	8.9	45.6	28.5	9.5	7.6	0.0
不安に感じるところはない	あてはまる(n=612)	22.5	43.8	19.6	6.9	5.9	1.3
	あてはまらない(n=368)	18.2	41.6	23.4	10.1	4.9	1.9
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	22.2	44.0	19.8	7.0	5.9	1.1
	あてはまらない(n=238)	16.8	39.5	24.8	11.8	4.6	2.5
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	23.3	42.2	19.9	8.2	4.9	1.5
	あてはまらない(n=183)	10.4	45.4	26.2	8.2	8.7	1.1

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.32 であるのに対し、600 万円以上では 3.08 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025	215	436	213	85	59	17	2.82
	100	21	42.5	20.8	8.3	5.8	1.7	
200万円未満	103	12	31	27	25	7	1	2.32
	100	11.7	30.1	26.2	24.3	6.8	1	
200万円以上～400万円未満	200	30	77	58	16	19	—	2.67
	100	15	38.5	29	8	9.5	—	
400万円以上～600万円未満	299	64	140	58	22	12	3	2.87
	100	21.4	46.8	19.4	7.4	4	1	
600万円以上	263	78	126	39	10	7	3	3.08
	100	29.7	47.9	14.8	3.8	2.7	1.1	
わからない	81	15	27	14	11	13	1	2.69
	100	18.5	33.3	17.3	13.6	16	1.2	

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.45、その他の世帯では2.87である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	215 21	436 42.5	213 20.8	85 8.3	59 5.8	17 1.7	2.82
母子・父子・養育者世帯	107 100	13 12.1	36 33.6	28 26.2	19 17.8	10 9.3	1 0.9	2.45
その他の世帯	918 100	202 22	400 43.6	185 20.2	66 7.2	49 5.3	16 1.7	2.87

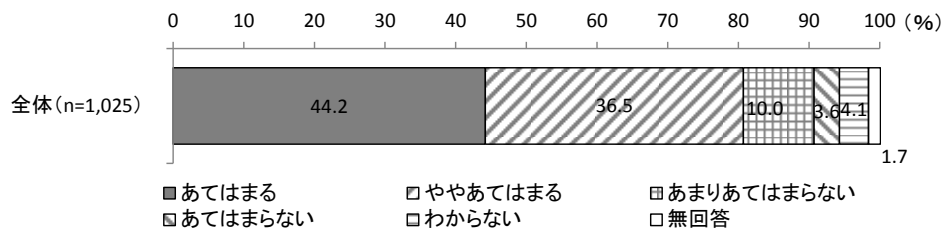
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

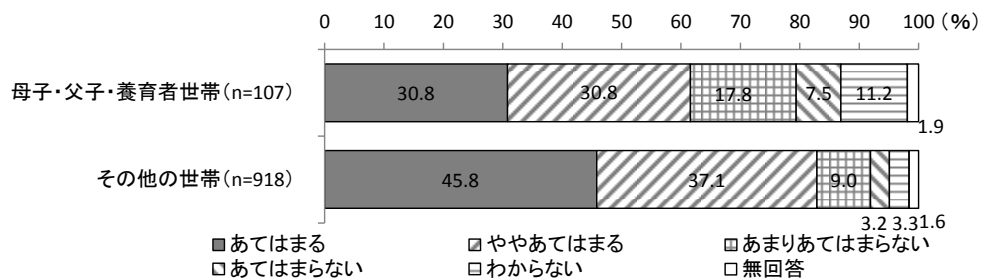
【ありのままの自分を認めてくれる人がある】

「あてはまる」と回答した割合が44.2%と最も高く、次いで「ややあてはまる」が36.5%となっている。



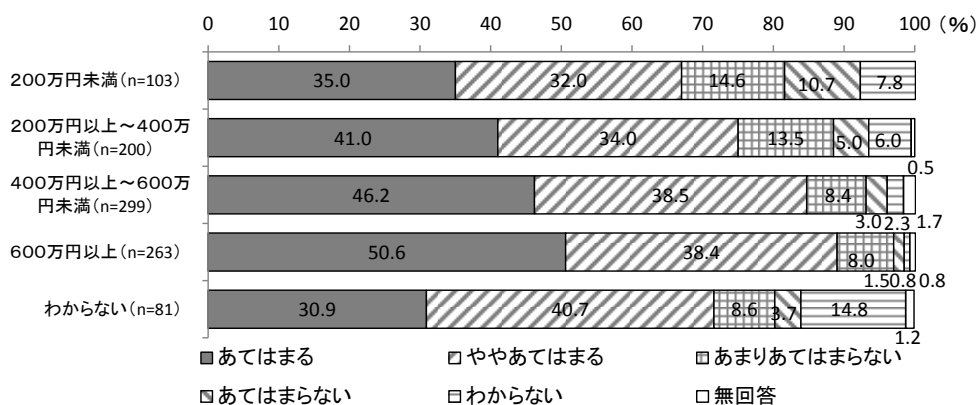
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



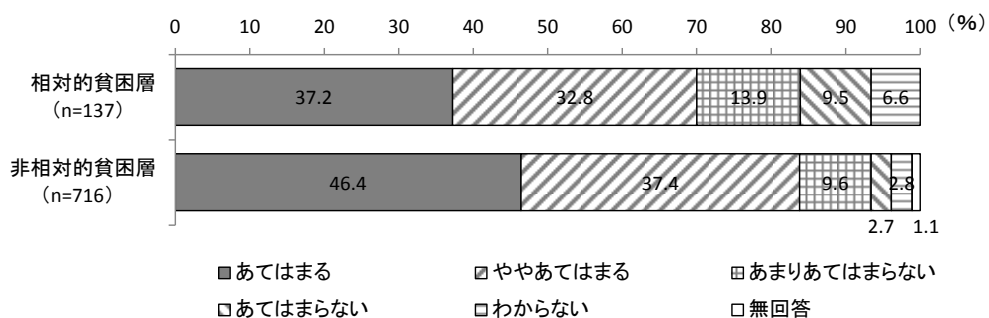
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



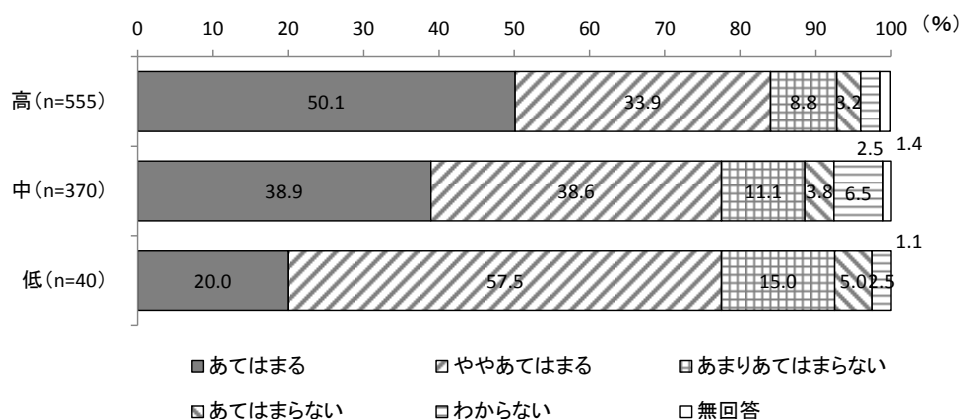
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では、高・中と比べて、「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あてはまる」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

自分は価値のある人間だと思うでは自分は価値のある人間だと思わないと比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904) あてはまらない(n=82)	44.9 40.2	36.4 36.6	9.5 15.9	3.5 4.9	4.1 2.4	1.5 0.0
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713) あてはまらない(n=266)	48.2 35.0	35.5 39.5	7.4 16.9	3.4 4.1	4.2 3.4	1.3 1.1
自分には良いところがある	あてはまる(n=822) あてはまらない(n=158)	46.6 34.2	35.5 41.1	8.6 17.1	3.5 3.8	4.0 3.8	1.7 0.0
不安に感じるところはない	あてはまる(n=612) あてはまらない(n=368)	48.9 37.5	33.2 42.1	9.6 10.1	3.6 3.5	3.1 5.4	1.6 1.4
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743) あてはまらない(n=238)	46.7 37.0	35.5 39.9	9.3 12.2	3.5 4.2	3.8 4.6	1.2 2.1
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803) あてはまらない(n=183)	47.3 32.2	34.7 43.2	8.7 16.4	3.9 2.7	3.7 4.9	1.6 0.5

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.99 であるのに対し、600 万円以上では 3.40 と可処分所得が高いほど得点が高い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	453 44.2	374 36.5	102 10	37 3.6	42 4.1	17 1.7	3.29
200万円未満	103 100	36 35	33 32	15 14.6	11 10.7	8 7.8	— —	2.99
200万円以上～ 400万円未満	200 100	82 41	68 34	27 13.5	10 5	12 6	1 0.5	3.19
400万円以上～ 600万円未満	299 100	138 46.2	115 38.5	25 8.4	9 3	7 2.3	5 1.7	3.33
600万円以上	263 100	133 50.6	101 38.4	21 8	4 1.5	2 0.8	2 0.8	3.40
わからない	81 100	25 30.9	33 40.7	7 8.6	3 3.7	12 14.8	1 1.2	3.18

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.98、その他の世帯では3.32である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	453 44.2	374 36.5	102 10	37 3.6	42 4.1	17 1.7	3.29
母子・父子・養育者世帯	107 100	33 30.8	33 30.8	19 17.8	8 7.5	12 11.2	2 1.9	2.98
その他の世帯	918 100	420 45.8	341 37.1	83 9	29 3.2	30 3.3	15 1.6	3.32

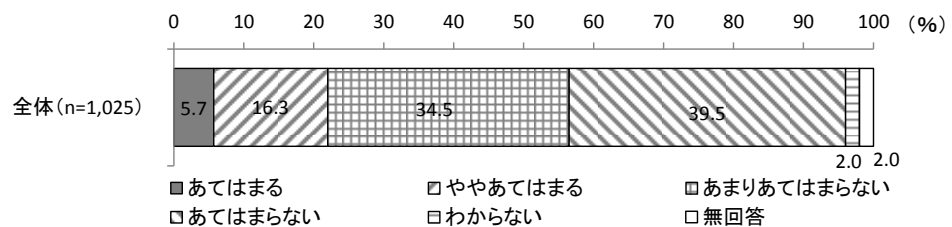
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

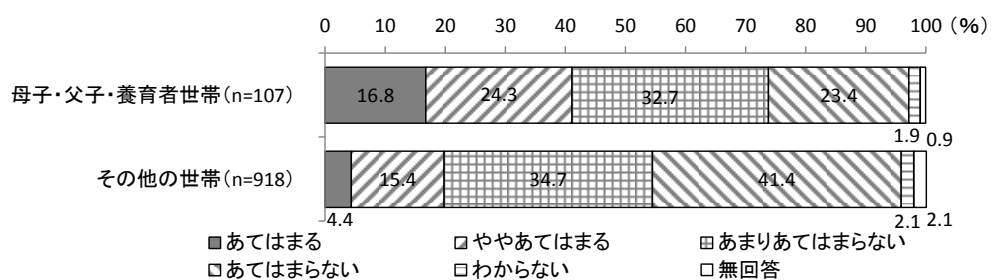
【今の生活はつらいことの方が多い】

「あてはまらない」と回答した割合が39.5%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が34.5%となっている。



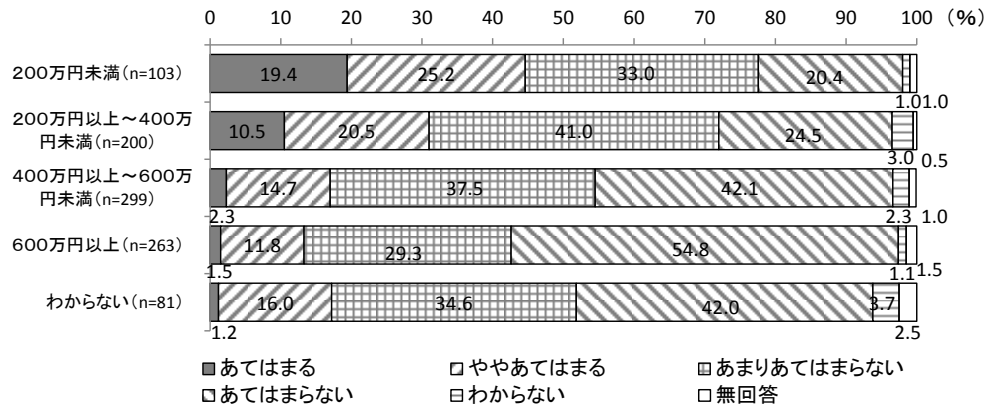
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



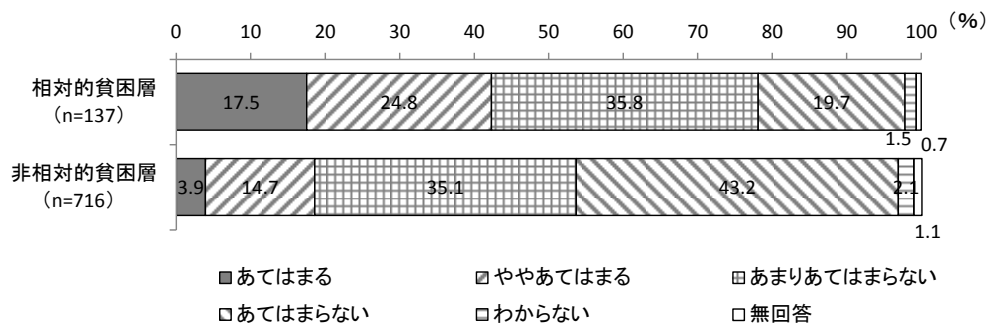
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



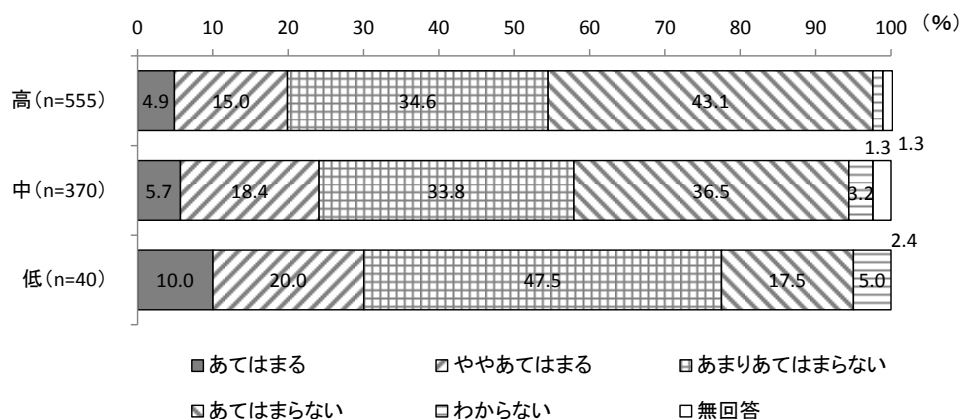
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

子どもの自己肯定感と「今の生活はつらいことの方が多い」との関係は、次のとおりである。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	5.2	16.5	34.6	39.7	2.2	1.8
	あてはまらない(n=82)	8.5	14.6	35.4	39.0	1.2	1.2
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	5.3	15.4	33.8	41.9	2.1	1.4
	あてはまらない(n=266)	6.0	18.8	37.2	33.5	2.3	2.3
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	5.4	15.9	34.2	40.8	1.9	1.8
	あてはまらない(n=158)	6.3	18.4	38.0	32.9	3.2	1.3
不安に感じるところはない	あてはまる(n=612)	5.2	15.4	34.5	41.5	1.8	1.6
	あてはまらない(n=368)	5.4	17.9	35.1	36.7	2.7	2.2
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	5.5	15.2	35.0	41.2	1.7	1.3
	あてはまらない(n=238)	5.9	19.3	34.0	34.5	3.4	2.9
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	5.6	16.2	34.2	40.2	2.0	1.7
	あてはまらない(n=183)	5.5	17.5	36.1	36.6	2.7	1.6

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.45 であるのに対し、600 万円以上では 1.59 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	58 5.7	167 16.3	354 34.5	405 39.5	21 2	20 2	1.88
200万円未満	103 100	20 19.4	26 25.2	34 33	21 20.4	1 1	1 1	2.45
200万円以上～ 400万円未満	200 100	21 10.5	41 20.5	82 41	49 24.5	6 3	1 0.5	2.18
400万円以上～ 600万円未満	299 100	7 2.3	44 14.7	112 37.5	126 42.1	7 2.3	3 1	1.76
600万円以上	263 100	4 1.5	31 11.8	77 29.3	144 54.8	3 1.1	4 1.5	1.59
わからない	81 100	1 1.2	13 16	28 34.6	34 42	3 3.7	2 2.5	1.75

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.36、その他の世帯では1.82である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	58 5.7	167 16.3	354 34.5	405 39.5	21 2	20 2	1.88
母子・父子・養育者世帯	107 100	18 16.8	26 24.3	35 32.7	25 23.4	2 1.9	1 0.9	2.36
その他の世帯	918 100	40 4.4	141 15.4	319 34.7	380 41.4	19 2.1	19 2.1	1.82

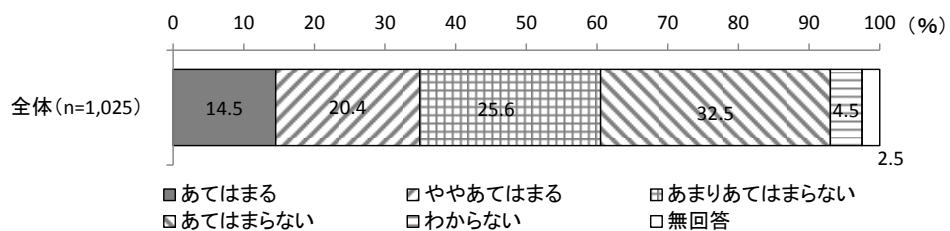
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

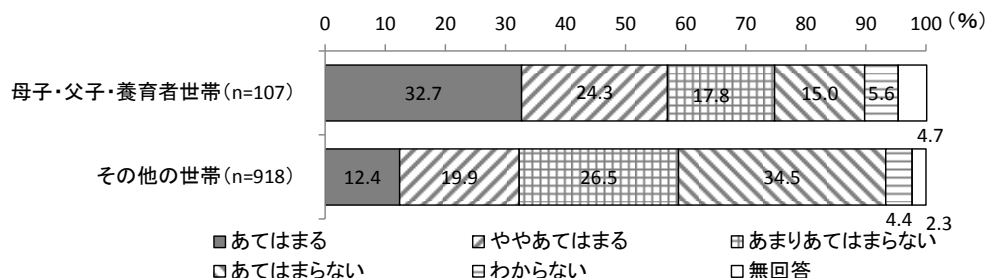
【働いても働いても生活が楽にならない】

「あてはまらない」と回答した割合が32.5%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が25.6%となっている。



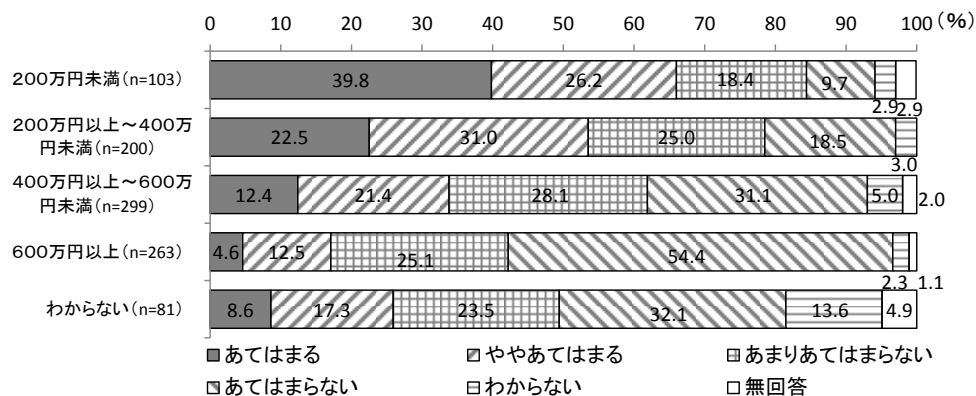
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



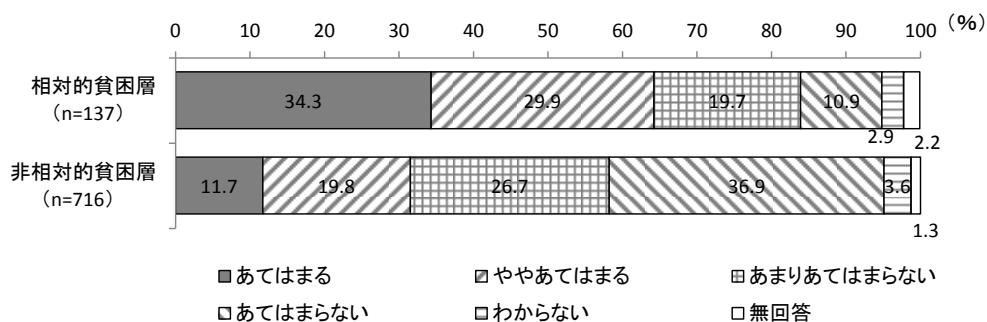
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



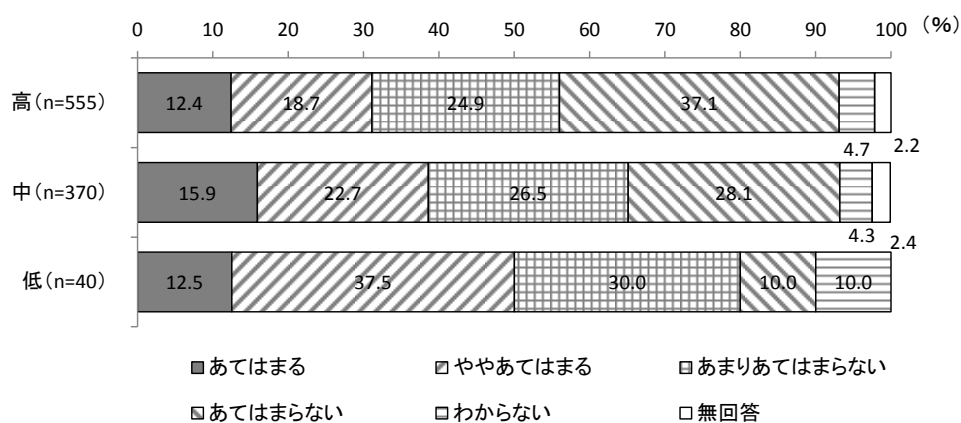
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・小と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

頑張れば、成果が出せる、自分は価値のある人間だと思う、孤独を感じることはないでは、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高い。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	13.8	20.0	25.3	33.8	4.6	2.3
	あてはまらない(n=82)	15.9	29.3	29.3	18.3	4.9	2.4
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	12.9	18.9	24.4	36.7	4.8	2.2
	あてはまらない(n=266)	16.9	26.3	29.7	20.7	4.5	1.9
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	13.7	19.5	24.7	34.8	4.7	2.6
	あてはまらない(n=158)	15.2	27.2	31.6	20.3	4.4	1.3
不安に感じることはない	あてはまる(n=612)	12.6	20.3	24.3	35.8	4.4	2.6
	あてはまらない(n=368)	15.8	22.0	27.4	27.4	5.2	2.2
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	12.9	19.5	26.2	34.3	4.7	2.3
	あてはまらない(n=238)	17.6	24.8	23.5	26.9	4.6	2.5
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	14.6	20.7	25.3	32.8	4.5	2.2
	あてはまらない(n=183)	12.6	21.3	27.3	30.6	5.5	2.7

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点値が 3.02 であるのに対し、600 万円以上では 1.66 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	149 14.5	209 20.4	262 25.6	333 32.5	46 4.5	26 2.5	2.18
200万円未満	103 100	41 39.8	27 26.2	19 18.4	10 9.7	3 2.9	3 2.9	3.02
200万円以上～ 400万円未満	200 100	45 22.5	62 31	50 25	37 18.5	6 3	－ －	2.59
400万円以上～ 600万円未満	299 100	37 12.4	64 21.4	84 28.1	93 31.1	15 5	6 2	2.16
600万円以上	263 100	12 4.6	33 12.5	66 25.1	143 54.4	6 2.3	3 1.1	1.66
わからない	81 100	7 8.6	14 17.3	19 23.5	26 32.1	11 13.6	4 4.9	2.03

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.83、その他の世帯では2.11である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	149 14.5	209 20.4	262 25.6	333 32.5	46 4.5	26 2.5	2.18
母子・父子・養育者世帯	107 100	35 32.7	26 24.3	19 17.8	16 15	6 5.6	5 4.7	2.83
その他の世帯	918 100	114 12.4	183 19.9	243 26.5	317 34.5	40 4.4	21 2.3	2.11

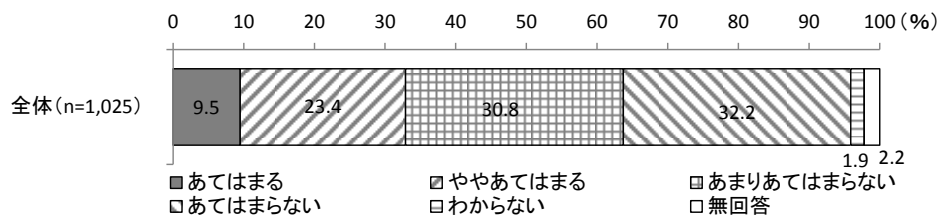
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

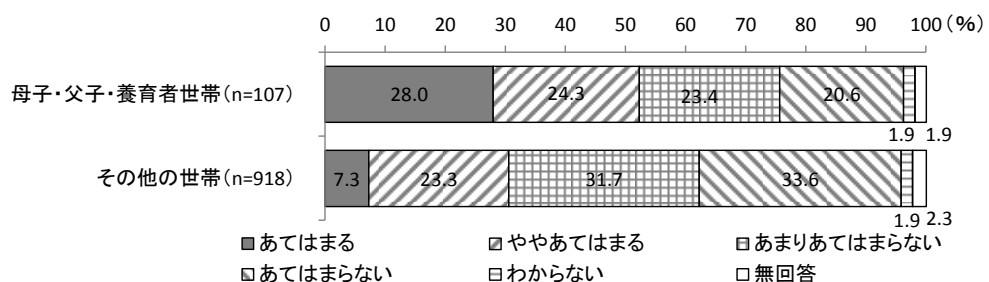
【仕事と子育てで、心身ともに余裕がない】

「あてはまらない」と回答した割合が32.2%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が30.8%となっている。



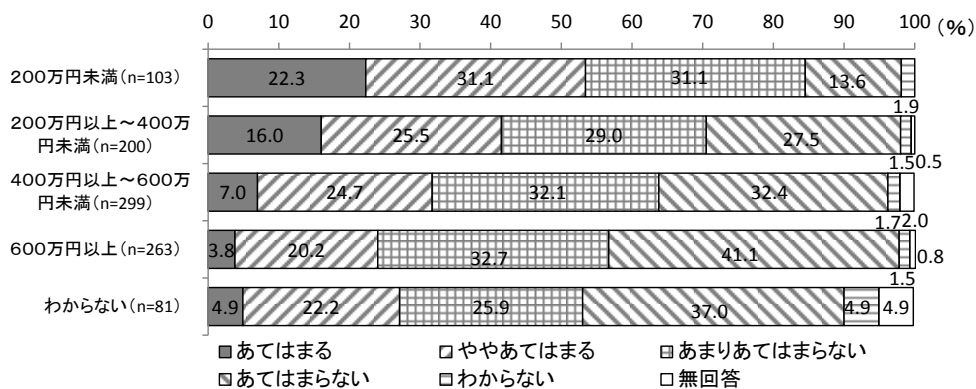
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



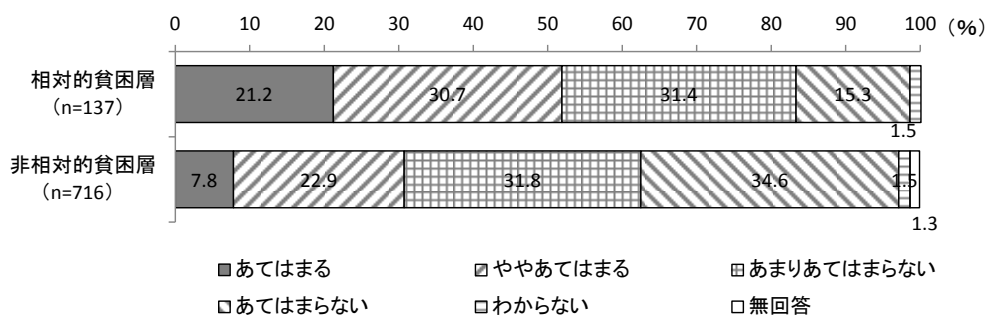
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



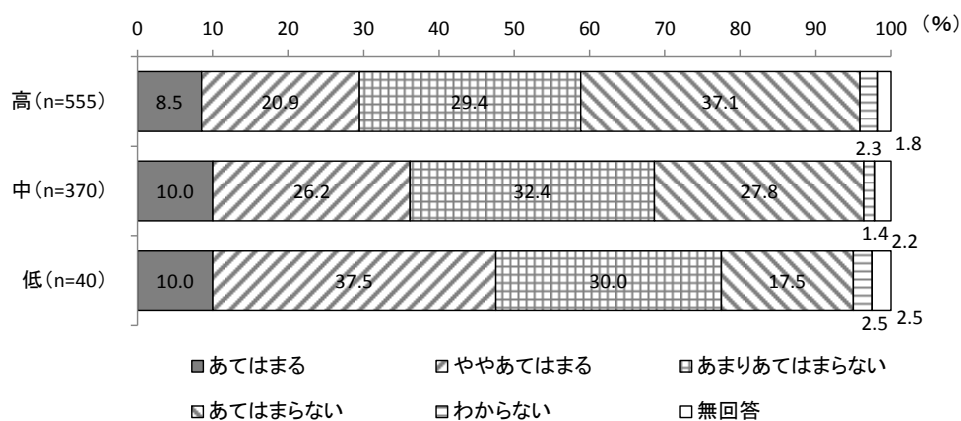
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が高では中・小と比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高く、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

孤独を感じることはないでは孤独を感じることがあると比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高い。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	9.5	22.9	30.3	33.4	1.9	2.0
	あてはまらない(n=82)	8.5	30.5	31.7	24.4	2.4	2.4
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	8.7	22.2	29.2	36.0	2.2	1.7
	あてはまらない(n=266)	11.3	27.4	33.8	23.7	1.1	2.6
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	9.6	23.0	29.2	33.9	2.1	2.2
	あてはまらない(n=158)	7.6	26.6	36.7	26.6	1.3	1.3
不安に感じることはない	あてはまる(n=612)	7.8	21.1	29.4	37.6	2.1	2.0
	あてはまらない(n=368)	11.1	27.7	32.3	24.7	1.6	2.4
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	8.6	21.9	30.4	35.4	1.9	1.7
	あてはまらない(n=238)	11.8	28.2	30.7	24.4	2.1	2.9
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	9.8	22.9	30.6	32.5	2.0	2.1
	あてはまらない(n=183)	8.2	26.2	29.5	32.8	1.6	1.6

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.63 であるのに対し、600 万円以上では 1.86 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	97 9.5	240 23.4	316 30.8	330 32.2	19 1.9	23 2.2	2.11
200万円未満	103 100	23 22.3	32 31.1	32 31.1	14 13.6	2 1.9	— —	2.63
200万円以上～ 400万円未満	200 100	32 16	51 25.5	58 29	55 27.5	3 1.5	1 0.5	2.31
400万円以上～ 600万円未満	299 100	21 7	74 24.7	96 32.1	97 32.4	5 1.7	6 2	2.07
600万円以上	263 100	10 3.8	53 20.2	86 32.7	108 41.1	4 1.5	2 0.8	1.86
わからない	81 100	4 4.9	18 22.2	21 25.9	30 37	4 4.9	4 4.9	1.95

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.62、その他の世帯では2.05である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	97 9.5	240 23.4	316 30.8	330 32.2	19 1.9	23 2.2	2.11
母子・父子・養育者世帯	107 100	30 28	26 24.3	25 23.4	22 20.6	2 1.9	2 1.9	2.62
その他の世帯	918 100	67 7.3	214 23.3	291 31.7	308 33.6	17 1.9	21 2.3	2.05

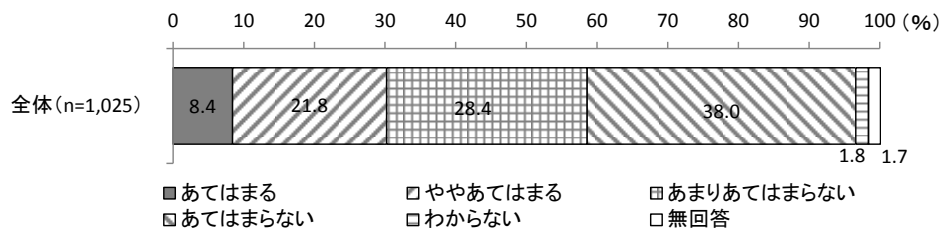
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

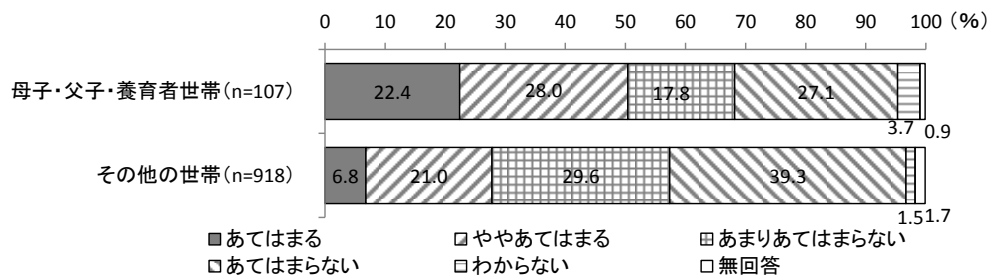
【いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうな気持ちになる】

「あてはまらない」と回答した割合が38.0%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が28.4%となっている。



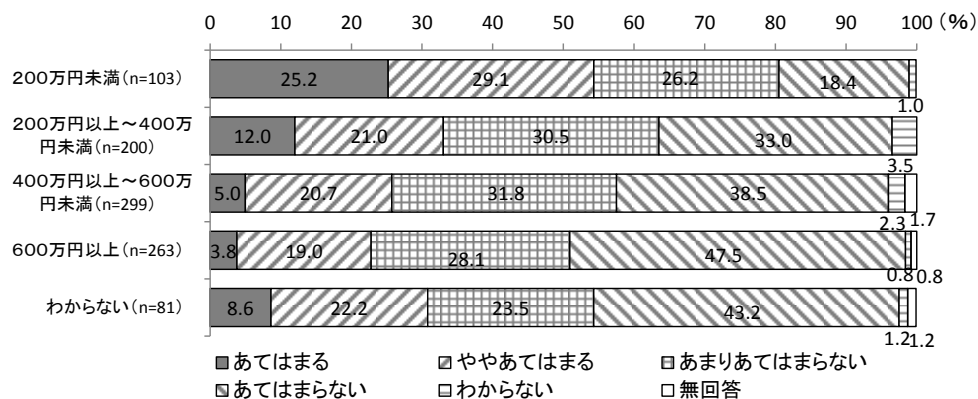
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



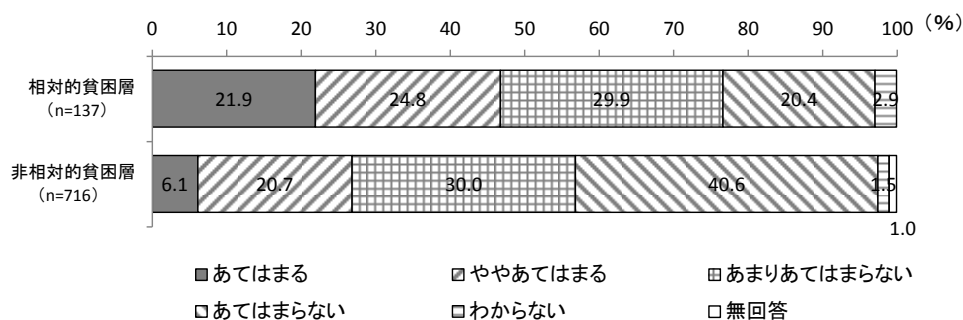
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



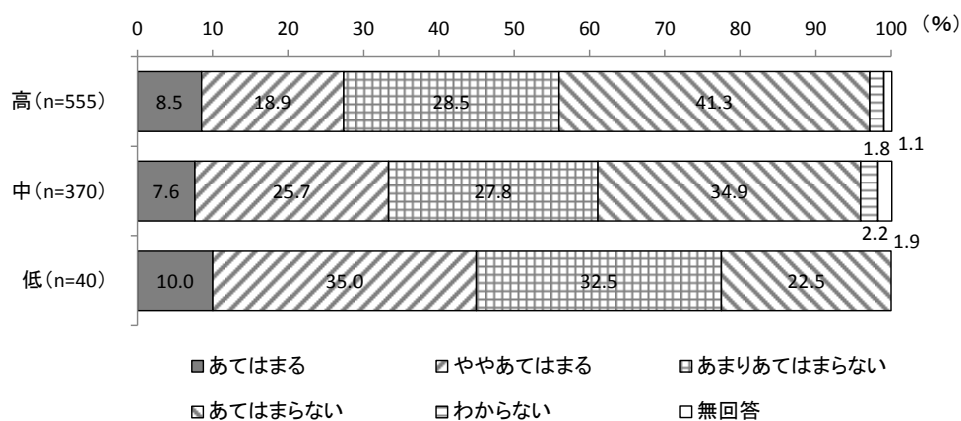
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

孤独を感じることはないでは孤独を感じることがあると比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高い。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	8.2	21.6	29.0	37.9	2.0	1.3
	あてはまらない(n=82)	8.5	28.0	23.2	37.8	0.0	2.4
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	8.1	21.0	27.6	40.1	1.8	1.3
	あてはまらない(n=266)	8.6	25.2	30.5	32.3	1.9	1.5
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	8.8	21.7	28.1	37.8	2.1	1.6
	あてはまらない(n=158)	5.7	24.1	31.0	38.0	0.6	0.6
不安に感じる場所はない	あてはまる(n=612)	7.0	20.8	27.8	40.8	2.1	1.5
	あてはまらない(n=368)	9.8	24.2	29.6	33.4	1.4	1.6
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	7.8	20.2	28.5	40.6	1.6	1.2
	あてはまらない(n=238)	10.1	27.3	28.6	29.4	2.5	2.1
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	8.7	21.2	28.5	38.6	1.7	1.2
	あてはまらない(n=183)	6.6	26.2	28.4	34.4	2.2	2.2

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.62 であるのに対し、600 万円以上では 1.79 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025	86	223	291	390	18	17	2.01
	100	8.4	21.8	28.4	38	1.8	1.7	
200万円未満	103	26	30	27	19	1	—	2.62
	100	25.2	29.1	26.2	18.4	1	—	
200万円以上～400万円未満	200	24	42	61	66	7	—	2.12
	100	12	21	30.5	33	3.5	—	
400万円以上～600万円未満	299	15	62	95	115	7	5	1.92
	100	5	20.7	31.8	38.5	2.3	1.7	
600万円以上	263	10	50	74	125	2	2	1.79
	100	3.8	19	28.1	47.5	0.8	0.8	
わからない	81	7	18	19	35	1	1	1.96
	100	8.6	22.2	23.5	43.2	1.2	1.2	

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.48、その他の世帯では1.95である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全 体	1025 100	86 8.4	223 21.8	291 28.4	390 38	18 1.8	17 1.7	2.01
母子・父子・養育者世帯	107 100	24 22.4	30 28	19 17.8	29 27.1	4 3.7	1 0.9	2.48
その他の世帯	918 100	62 6.8	193 21	272 29.6	361 39.3	14 1.5	16 1.7	1.95

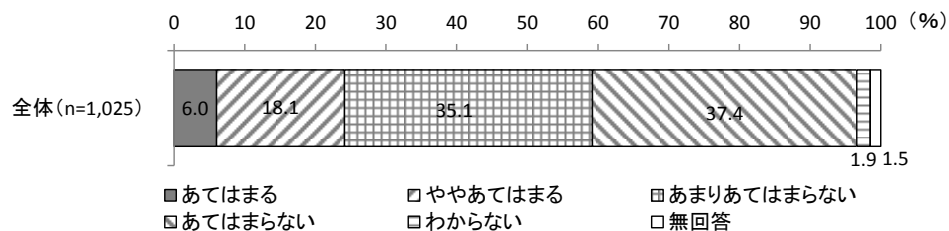
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

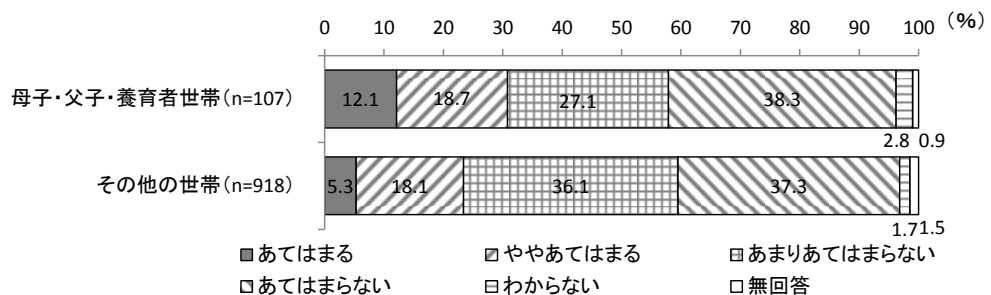
【いつもまわりの人の目が気になる】

「あてはまらない」と回答した割合が37.4%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が35.1%となっている。



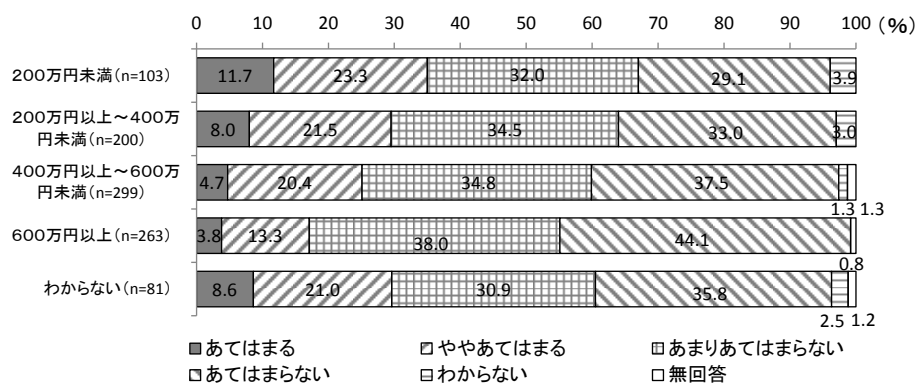
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」と回答した割合が低い。



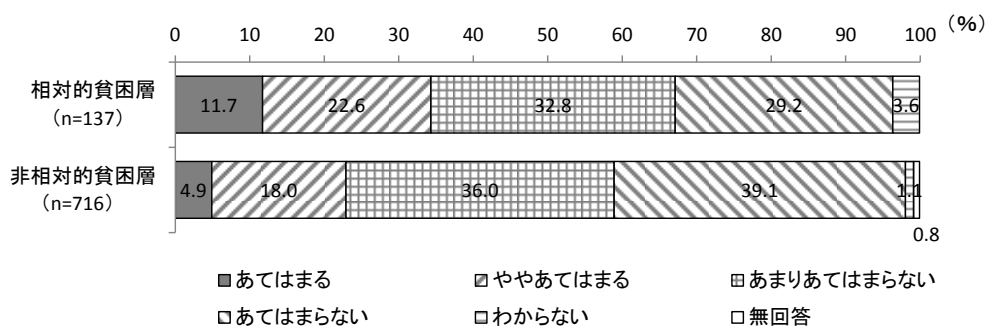
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



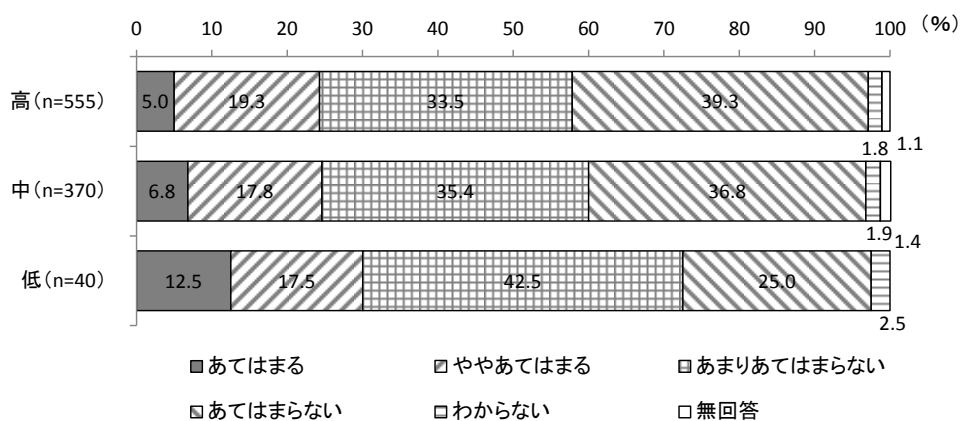
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

子どもの自己肯定感と「いつもまわりの人の目が気になる」との関係は、次のとおりである。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	5.9	18.3	35.0	37.8	1.9	1.2
	あてはまらない(n=82)	8.5	22.0	32.9	32.9	2.4	1.2
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	5.3	18.2	34.4	38.7	2.2	1.1
	あてはまらない(n=266)	8.3	19.5	35.7	34.6	0.8	1.1
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	6.1	18.2	34.5	37.6	2.1	1.5
	あてはまらない(n=158)	6.3	20.9	36.7	35.4	0.6	0.0
不安に感じるところはない	あてはまる(n=612)	5.1	18.8	33.3	39.2	2.3	1.3
	あてはまらない(n=368)	7.3	18.5	37.0	34.8	1.1	1.4
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	5.5	18.8	33.2	39.6	1.7	1.1
	あてはまらない(n=238)	8.4	17.2	39.9	30.7	2.1	1.7
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	5.6	18.7	34.7	37.7	2.0	1.2
	あてはまらない(n=183)	8.7	18.0	34.4	36.1	1.6	1.1

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.18 であるのに対し、600 万円以上では 1.77 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	62 6	186 18.1	360 35.1	383 37.4	19 1.9	15 1.5	1.93
200万円未満	103 100	12 11.7	24 23.3	33 32	30 29.1	4 3.9	－	2.18
200万円以上～ 400万円未満	200 100	16 8	43 21.5	69 34.5	66 33	6 3	－	2.05
400万円以上～ 600万円未満	299 100	14 4.7	61 20.4	104 34.8	112 37.5	4 1.3	4 1.3	1.92
600万円以上	263 100	10 3.8	35 13.3	100 38	116 44.1	－	2 0.8	1.77
わからない	81 100	7 8.6	17 21	25 30.9	29 35.8	2 2.5	1 1.2	2.03

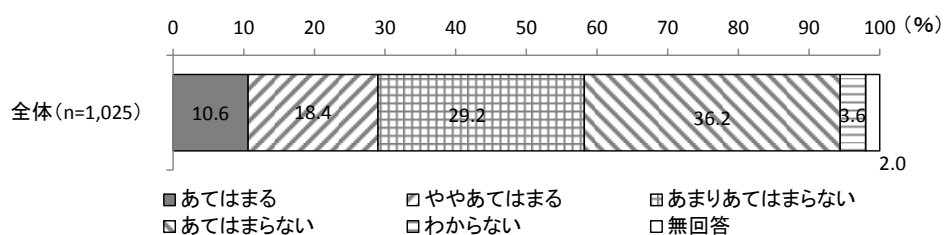
※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

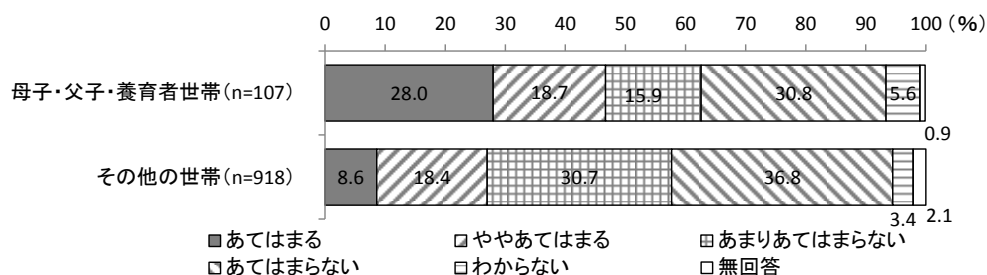
【どこまでがんばればよいのかわからない】

「あてはまらない」と回答した割合が 36.2%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が 29.2%となっている。



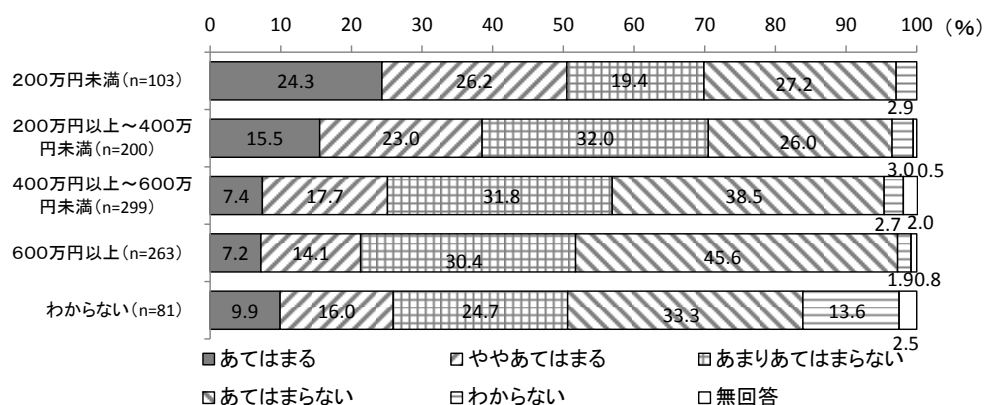
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



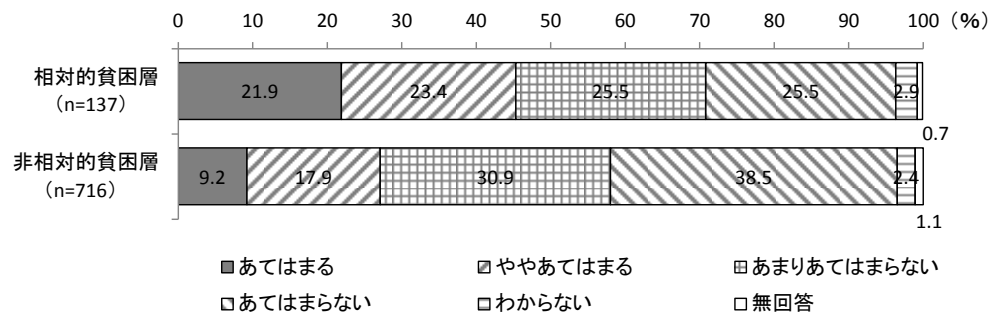
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



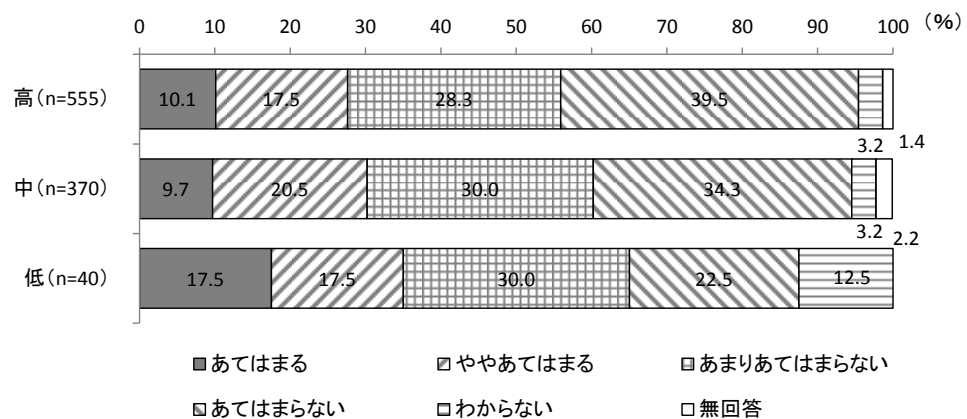
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合が高く、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が低い。



■子どもの自己肯定感別（子ども問 25）

孤独を感じることはないでは孤独を感じることがあると比べて、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した割合が高い。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる(n=904)	10.1	18.7	29.0	37.2	3.5	1.5
	あてはまらない(n=82)	14.6	18.3	30.5	28.0	4.9	3.7
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる(n=713)	9.3	17.8	29.7	38.3	3.4	1.5
	あてはまらない(n=266)	13.9	20.7	27.4	32.0	4.1	1.9
自分には良いところがある	あてはまる(n=822)	10.2	18.2	29.3	36.6	3.6	1.9
	あてはまらない(n=158)	11.4	20.3	29.1	35.4	3.2	0.6
不安に感じることはない	あてはまる(n=612)	9.6	16.5	29.2	39.5	3.1	2.0
	あてはまらない(n=368)	11.4	22.3	28.5	31.8	4.3	1.6
孤独を感じることはない	あてはまる(n=743)	10.0	17.4	29.9	38.2	3.0	1.6
	あてはまらない(n=238)	12.2	22.7	26.9	30.7	5.5	2.1
自分の将来が楽しみだ	あてはまる(n=803)	10.6	18.1	29.3	36.9	3.6	1.6
	あてはまらない(n=183)	10.4	21.3	28.4	33.9	3.8	2.2

※自己肯定感が低い部分については、斜字で示している。

■可処分所得別（得点化）

200 万円未満では得点が 2.49 であるのに対し、600 万円以上では 1.82 と可処分所得が高いほど得点が低い傾向である。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	無回答	得点
全体	1025 100	109 10.6	189 18.4	299 29.2	371 36.2	37 3.6	20 2	2.04
200万円未満	103 100	25 24.3	27 26.2	20 19.4	28 27.2	3 2.9	－ －	2.49
200万円以上～ 400万円未満	200 100	31 15.5	46 23	64 32	52 26	6 3	1 0.5	2.29
400万円以上～ 600万円未満	299 100	22 7.4	53 17.7	95 31.8	115 38.5	8 2.7	6 2	1.94
600万円以上	263 100	19 7.2	37 14.1	80 30.4	120 45.6	5 1.9	2 0.8	1.82
わからない	81 100	8 9.9	13 16	20 24.7	27 33.3	11 13.6	2 2.5	2.03

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

■家庭類型別（得点化）

母子・父子・養育者世帯では2.47、その他の世帯では1.99である。

	全 体	あ て は ま る	や や あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い	わ か ら な い	無 回 答	得 点
全 体	1025 100	109 10.6	189 18.4	299 29.2	371 36.2	37 3.6	20 2	2.04
母子・父子・養育 者世帯	107 100	30 28	20 18.7	17 15.9	33 30.8	6 5.6	1 0.9	2.47
その他の世帯	918 100	79 8.6	169 18.4	282 30.7	338 36.8	31 3.4	19 2.1	1.99

※得点は、「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点としたときの加重平均値

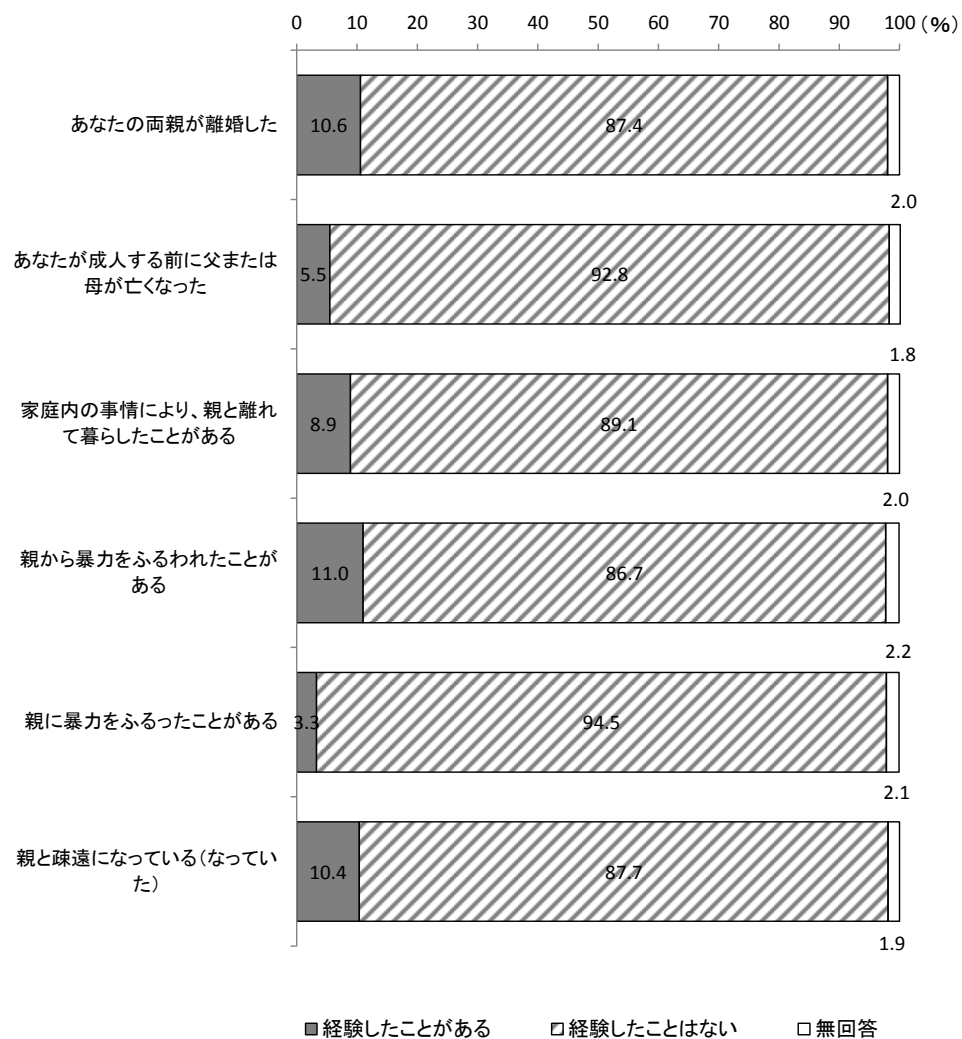
※選択肢項目は、上段：数量、下段：割合

※最も回答割合が高い選択肢を白字に黒の網掛け、2番目・3番目に回答割合が高い選択肢にも濃い網掛け、薄い網掛けをしている。

問 21 あなた自身の、家族との関わりについてお答えください。（それぞれ1つに○）

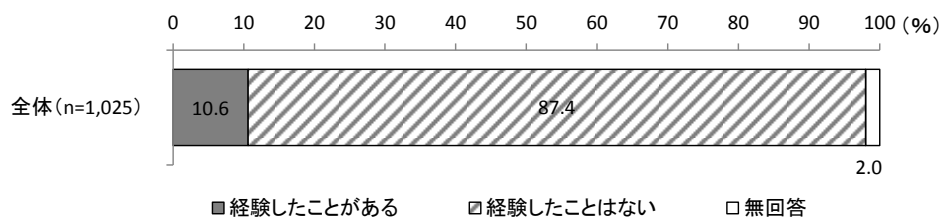
【一覧】

「経験したことがある」と回答した割合は、「親から暴力をふるわれたことがある」が11.0%と最も高く、次いで「あなたの両親が離婚した」が10.6%となっている。



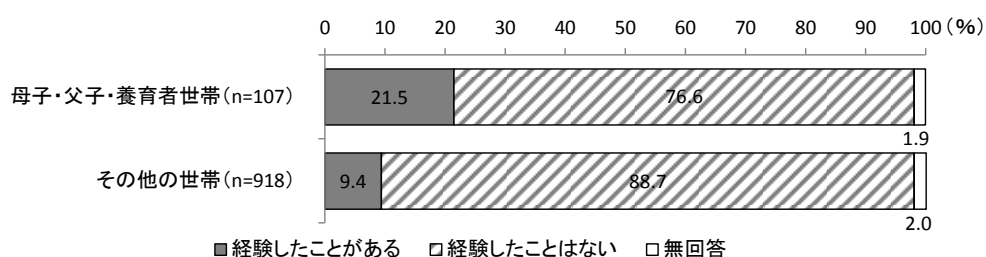
【あなたの両親が離婚した】

「経験したことがある」と回答した割合が 10.6%、「経験したことはない」が 87.4%となっている。



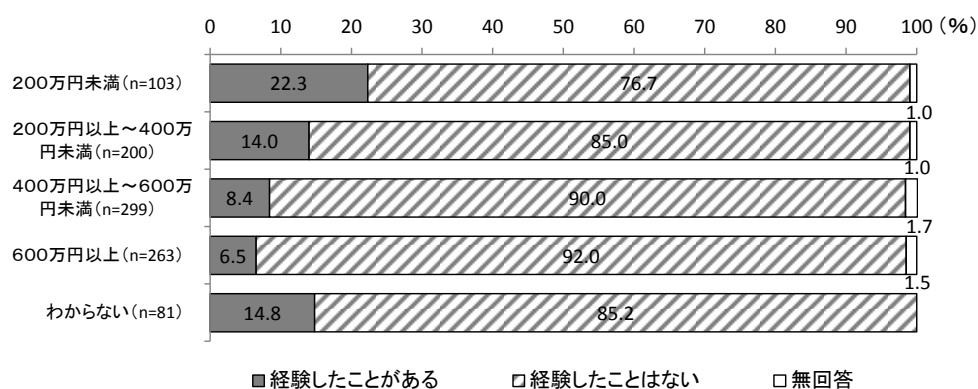
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



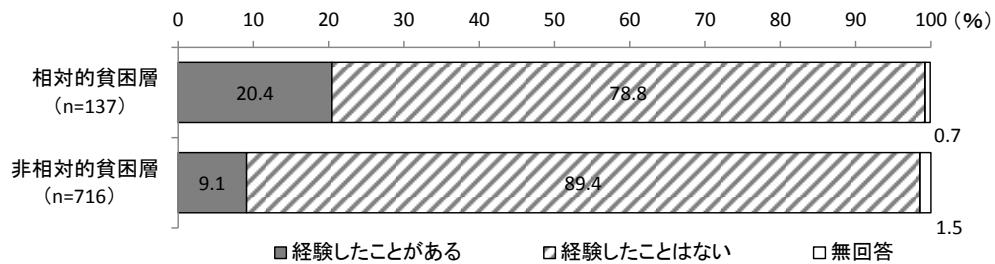
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことがない」と回答した割合が低い。



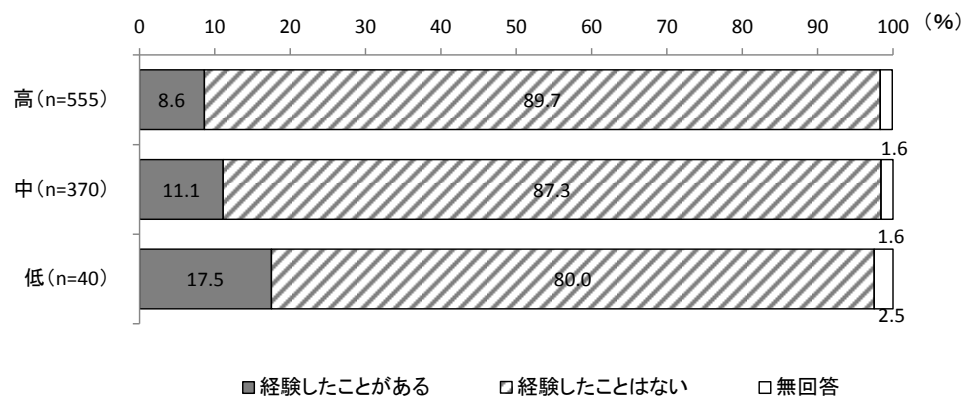
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



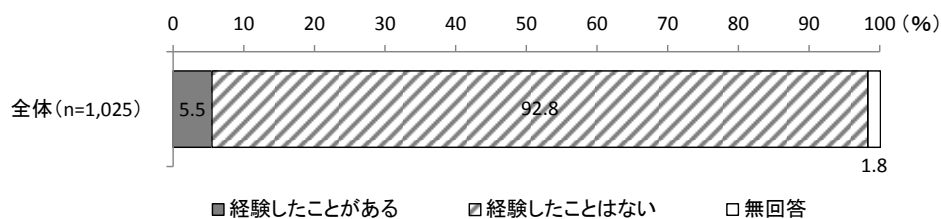
■親の悩み別（保護者問 18）

親の悩みと「あなたの両親が離婚した」との関係は、次のとおりである。

	経験したことがある	経験したことはない	無回答
生活費に関すること (n=324)	14.8	82.7	2.5
子どもの養育にかかる費用に関すること (n=427)	14.1	84.5	1.4
仕事に関すること (n=243)	12.8	86.4	0.8
住宅に関すること (n=134)	14.2	85.1	0.7
健康に関すること (n=226)	11.1	88.1	0.9
対人関係に関すること (n=85)	12.9	83.5	3.5
老後に関すること (n=236)	12.7	86.0	1.3
家族に関すること (n=176)	12.5	87.5	0.0
子どもに関すること (n=317)	11.4	86.8	1.9
その他 (n=24)	8.3	83.3	8.3
特に悩んでいることはない (n=218)	7.8	91.3	0.9

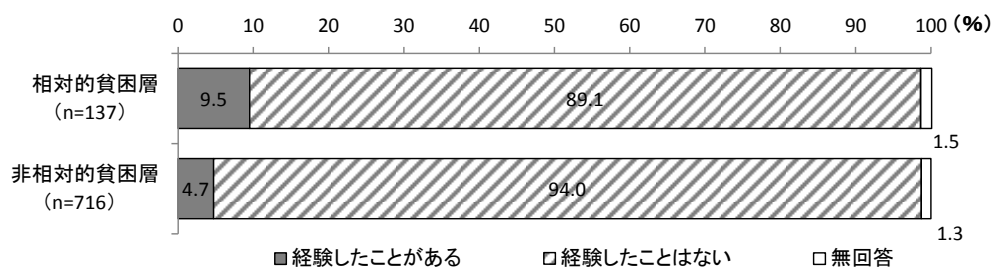
【あなたが成人する前に父または母が亡くなった】

「経験したことがある」と回答した割合が 5.5%、「経験したことはない」が 92.8%となっている。



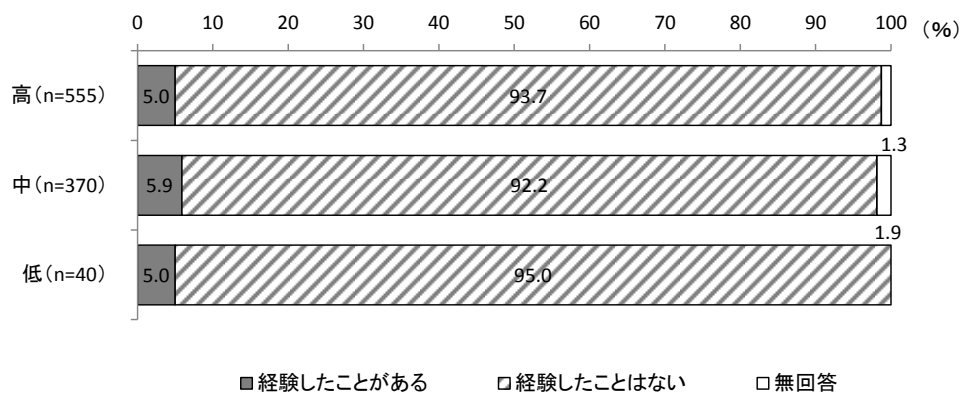
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



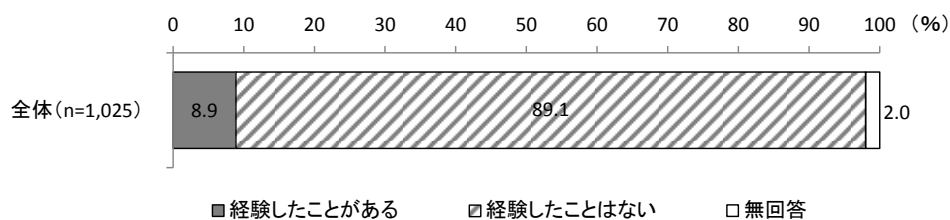
■自己肯定感別

自己肯定感別では、あまり違いはみられない。



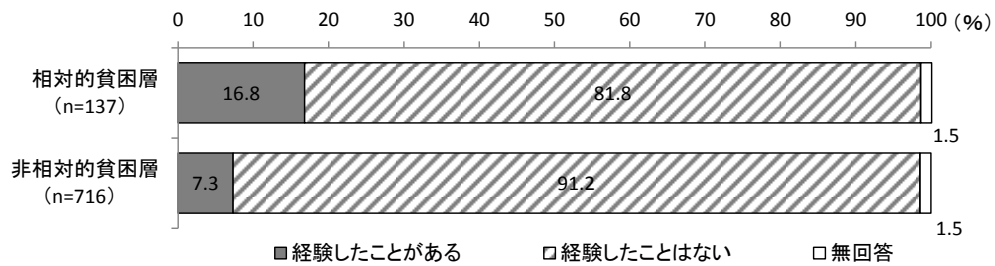
【家庭内の事情により、親と離れて暮らしたことがある】

「経験したことがある」と回答した割合が 8.9%、「経験したことはない」が 89.1%となっている。



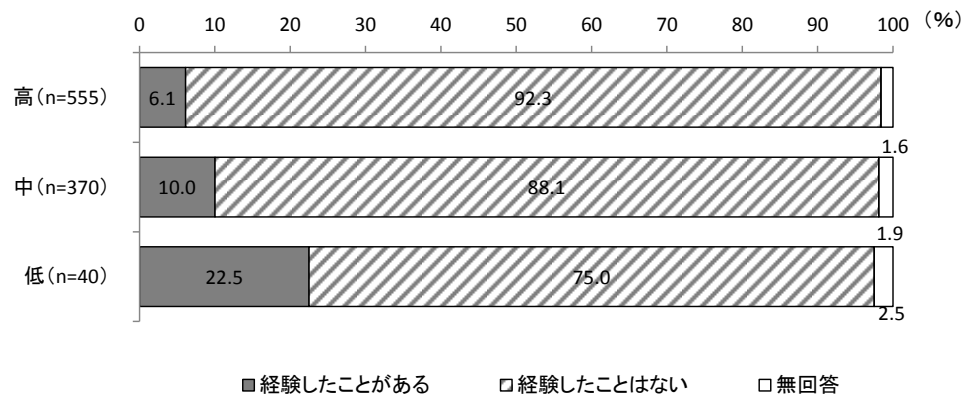
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



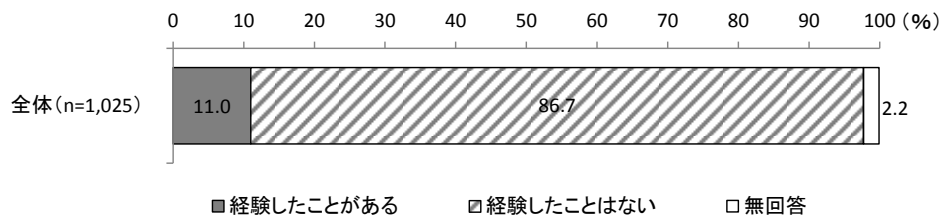
■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



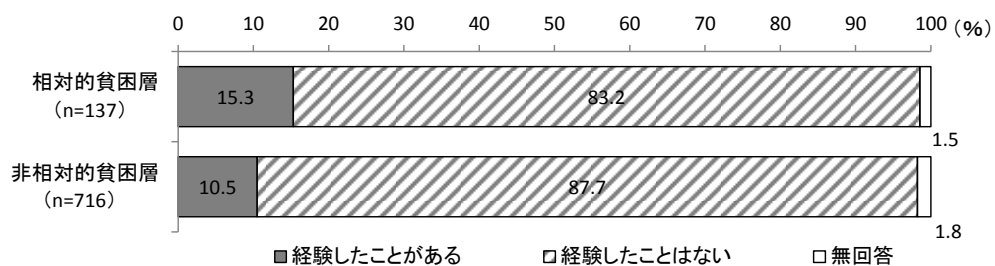
【親から暴力をふるわれたことがある】

「経験したことがある」と回答した割合が 11.0%、「経験したことはない」が 86.7%となっている。



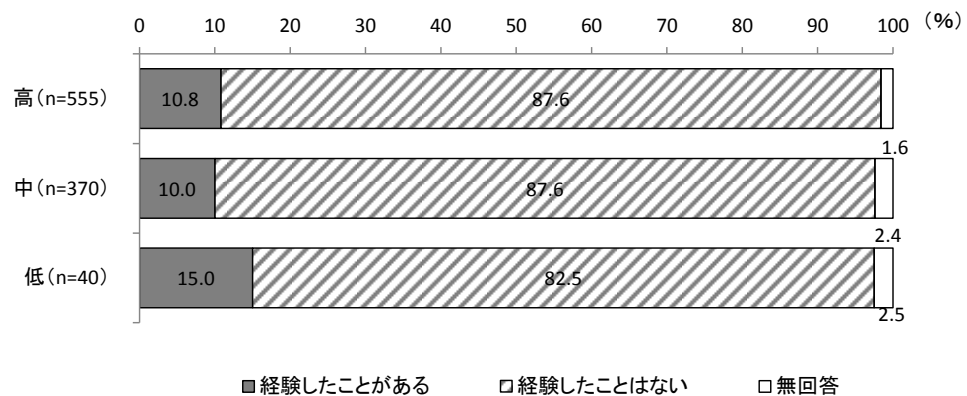
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



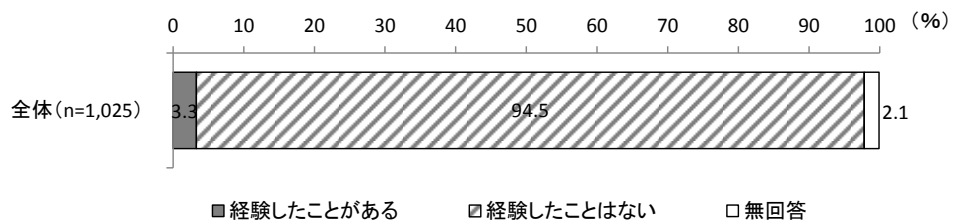
■ 自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



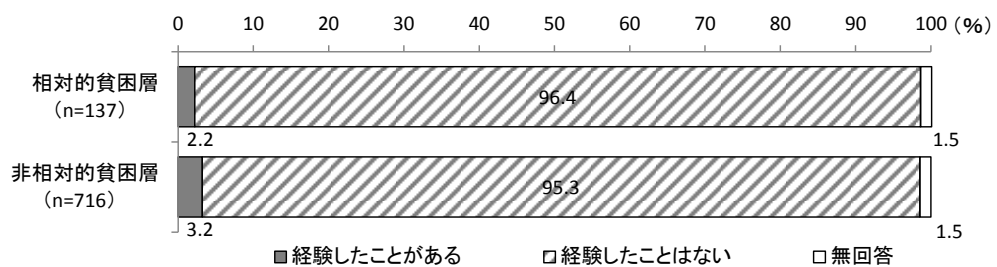
【親に暴力をふるったことがある】

「経験したことがある」と回答した割合が 3.3%、「経験したことはない」が 94.5%となっている。



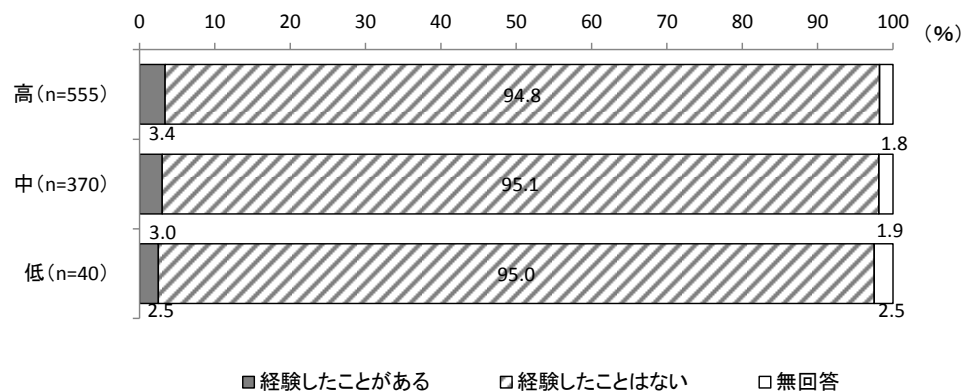
■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



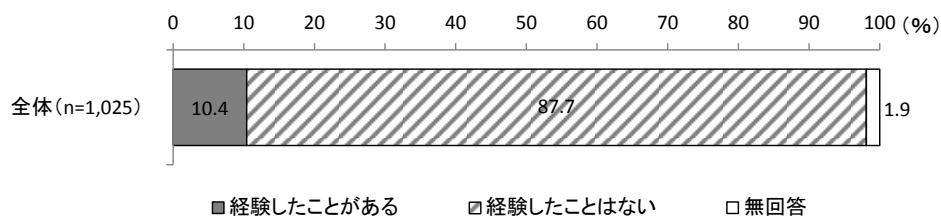
■ 自己肯定感別

自己肯定感別では、あまり違いはみられない。



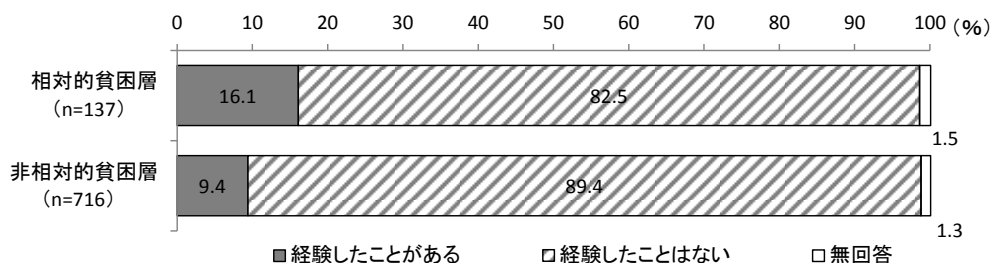
【親と疎遠になっている（なっていた）】

「経験したことがある」と回答した割合が 10.4%、「経験したことはない」が 87.7%となっている。



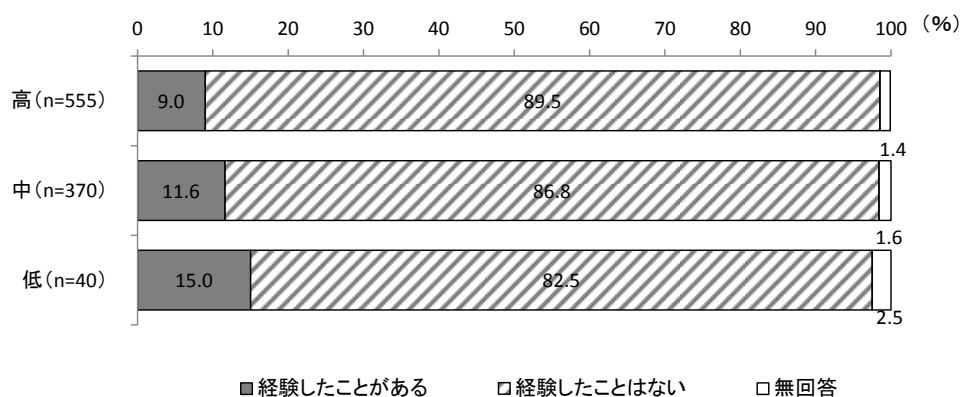
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「経験したことがある」と回答した割合が高く、「経験したことはない」と回答した割合が低い。



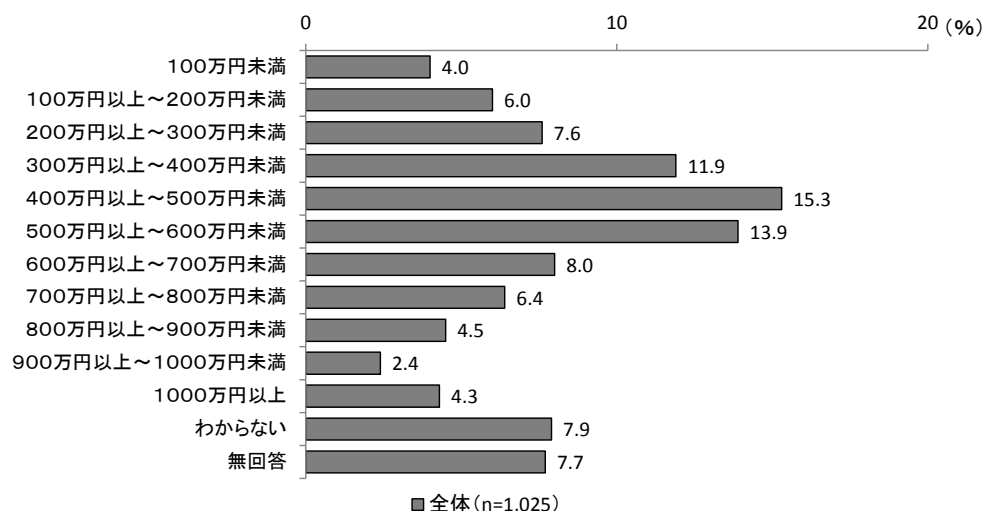
■自己肯定感別

自己肯定感別では、あまり違いはみられない。



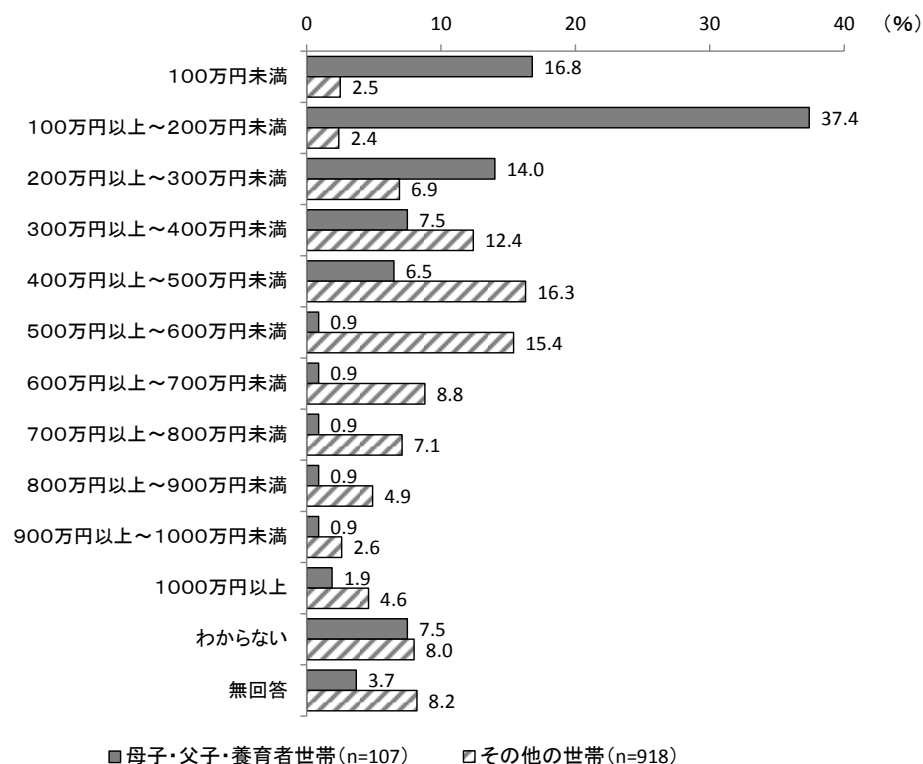
問 22 前年（平成 27 年）のあなたの世帯の手取り収入（いわゆる可処分所得）の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額で教えてください。（1つだけに○）

「400 万円以上～500 万円未満」と回答した割合が 15.3%と最も高く、次いで「500 万円以上～600 万円未満」が 13.9%となっている。



■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「100 万円未満」「100 万円以上～200 万円未満」と回答した割合が高く、「400 万円以上」と回答した割合が低い。



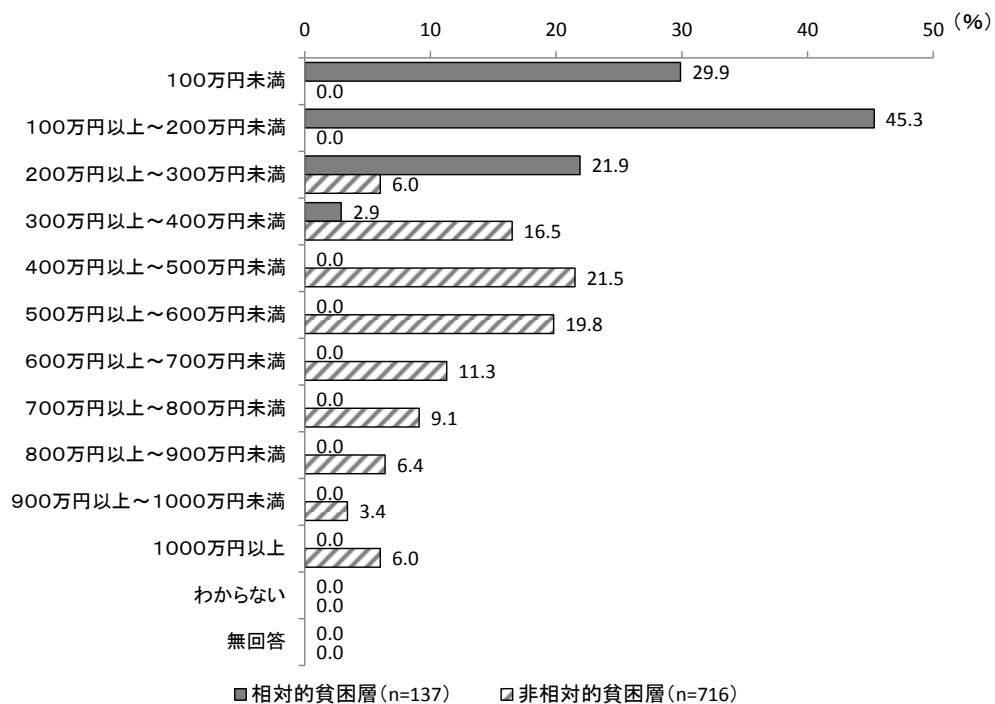
■世帯人数別

2人では他の世帯人数と比べて、「100万円未満」「100万円以上～200万円未満」と回答した割合が高い。

	100万円未満	100万円以上～200万円未満	200万円以上～300万円未満	300万円以上～400万円未満	400万円以上～500万円未満	500万円以上～600万円未満	600万円以上～700万円未満	700万円以上～800万円未満	800万円以上～900万円未満	900万円以上～1000万円未満	1000万円以上	わからない
2人(n=18)	16.7	50.0	5.6	16.7	5.6	—	—	—	—	—	—	5.6
3人(n=136)	5.9	12.5	13.2	8.1	16.9	11.8	8.8	2.9	4.4	—	4.4	4.4
4人(n=486)	2.9	3.5	4.9	13.4	16.9	16.3	8.2	8.0	5.8	2.9	2.7	7.6
5人(n=250)	4.8	3.6	9.2	11.2	12.8	12.8	8.0	5.6	3.2	3.6	8.4	8.8
6人以上(n=119)	3.4	8.4	5.9	12.6	13.4	12.6	7.6	6.7	3.4	0.8	2.5	10.9

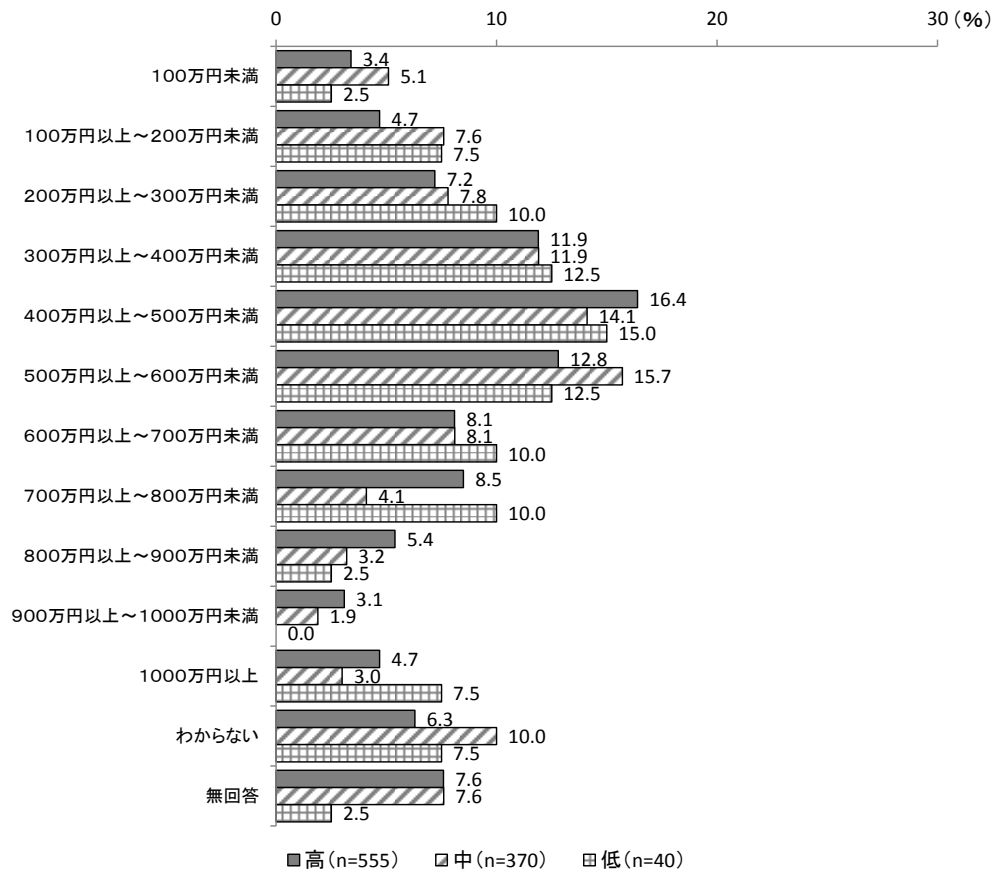
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、300万円未満の選択肢で回答した割合が高く、300万円以上の選択肢で回答した割合が低い。



■自己肯定感別

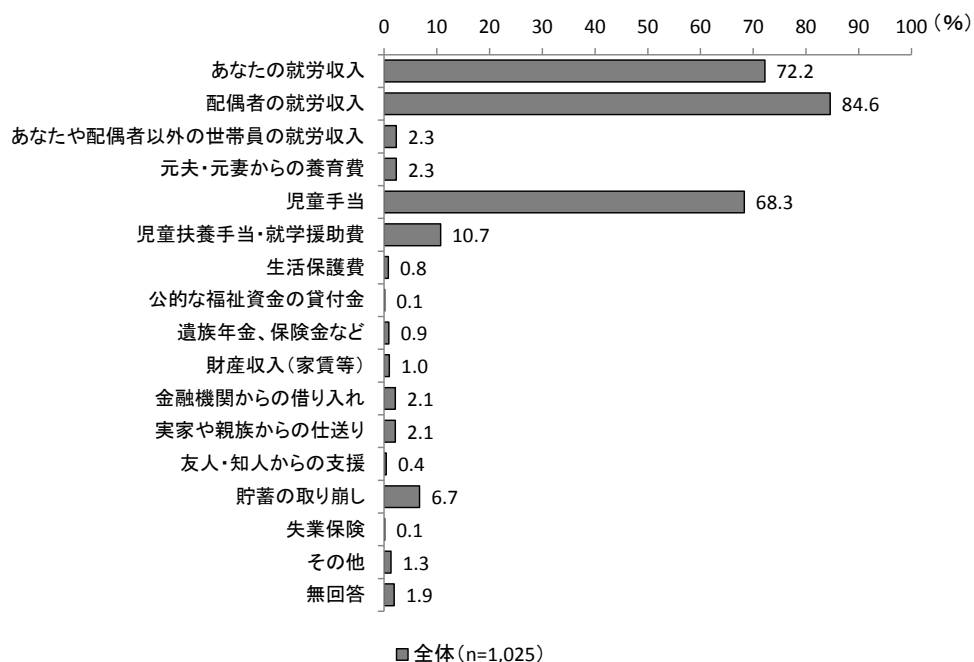
自己肯定感別では、あまり違いはみられない。



問 23 現在、どのような収入がありますか。

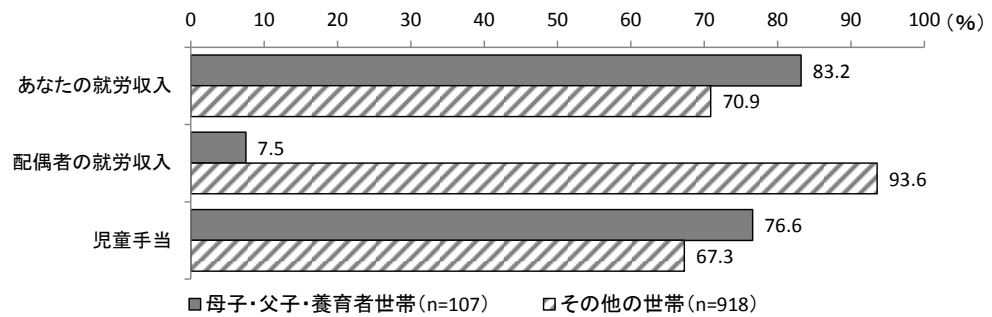
(あてはまるものすべてに○)

「配偶者の就労収入」と回答した割合が 84.6%と最も高く、次いで「あなたの就労収入」が 72.2%となっている。



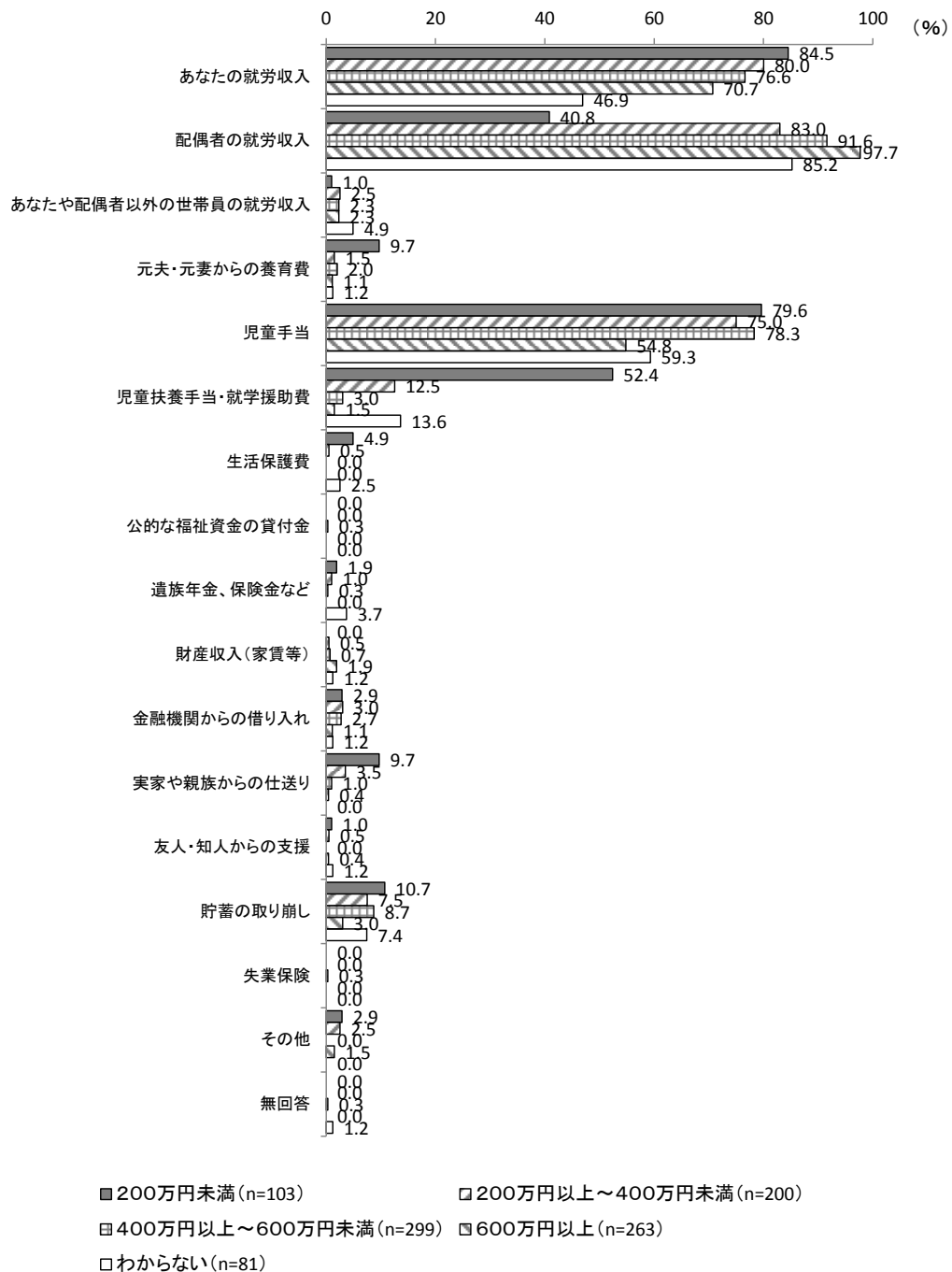
■家庭類型別（上位3項目）

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「あなたの就労収入」と回答した割合が高い。



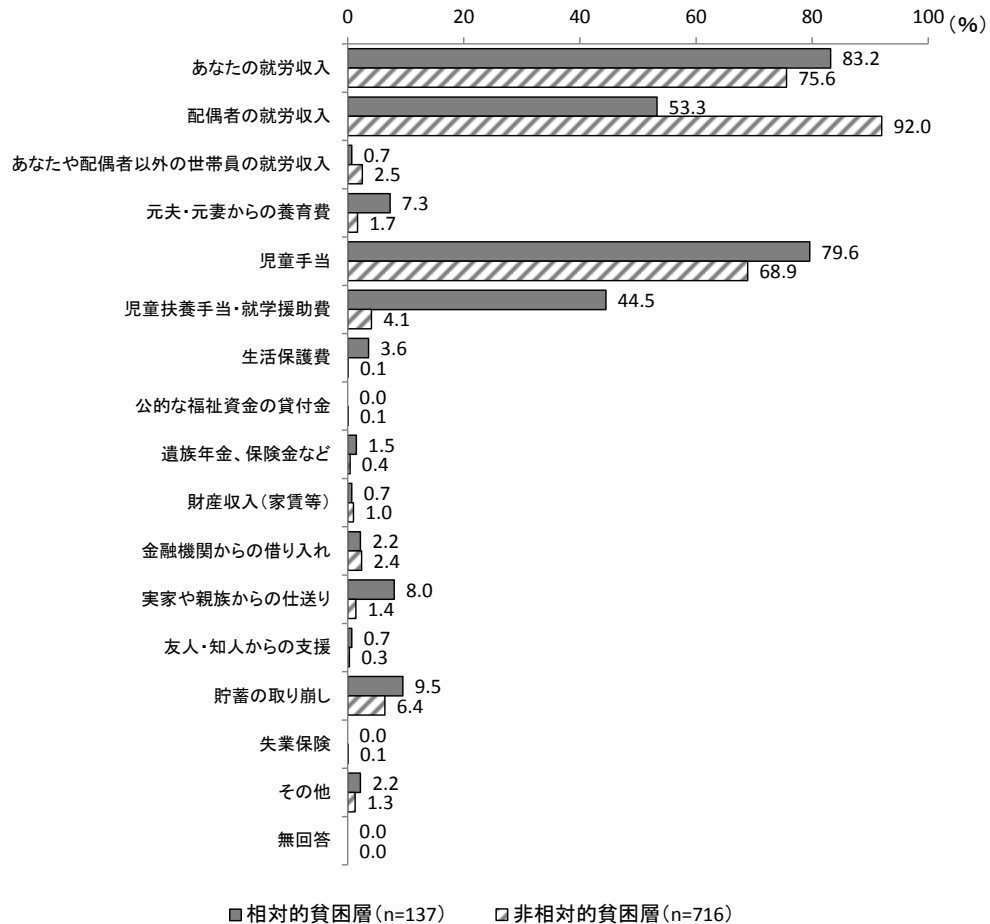
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「あなたの就労収入」「児童手当」「児童扶養手当・就学援助費」と回答した割合が高く、「配偶者の就労収入」と回答した割合が低い。



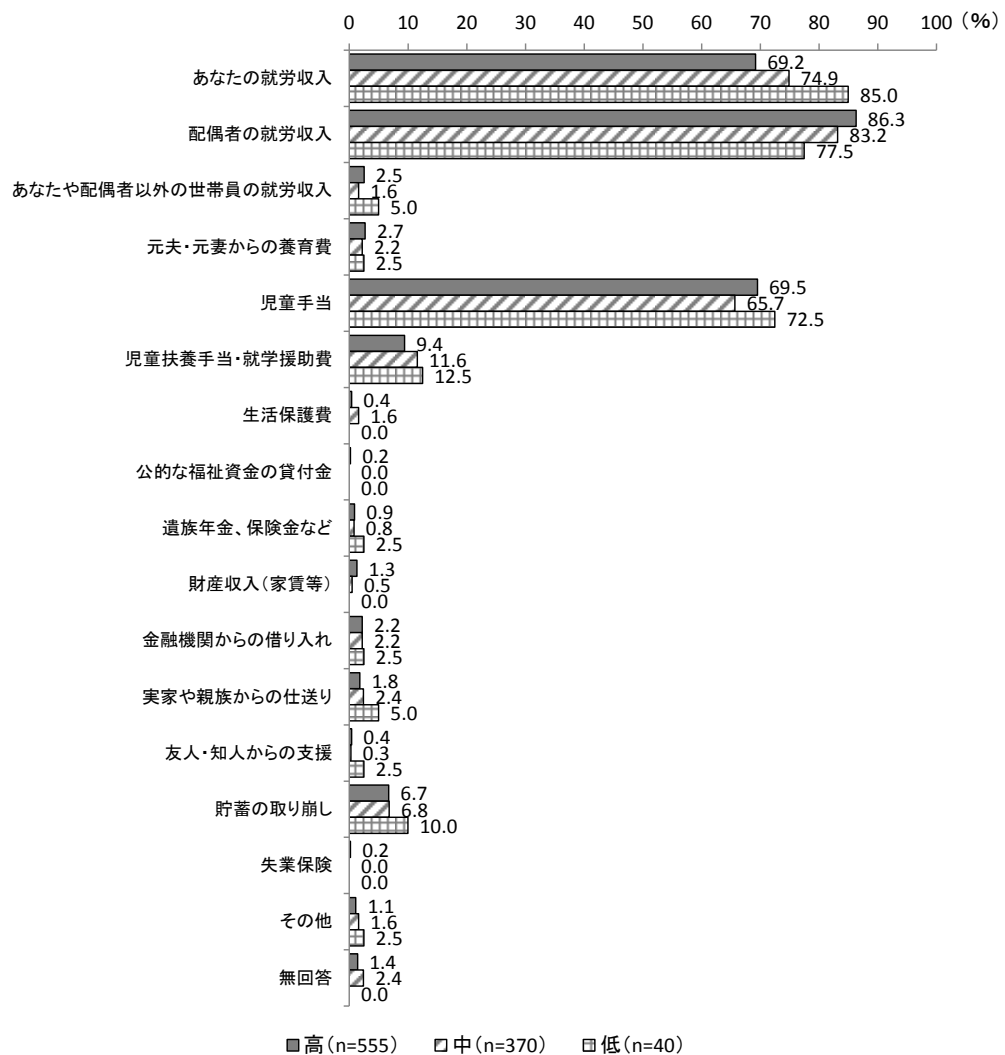
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「あなたの就労収入」「元夫・妻からの養育費」「児童手当」「児童扶養手当・就学援助費」「実家や親族からの仕送り」と回答した割合が高く、「配偶者の就労収入」と回答した割合が低い。



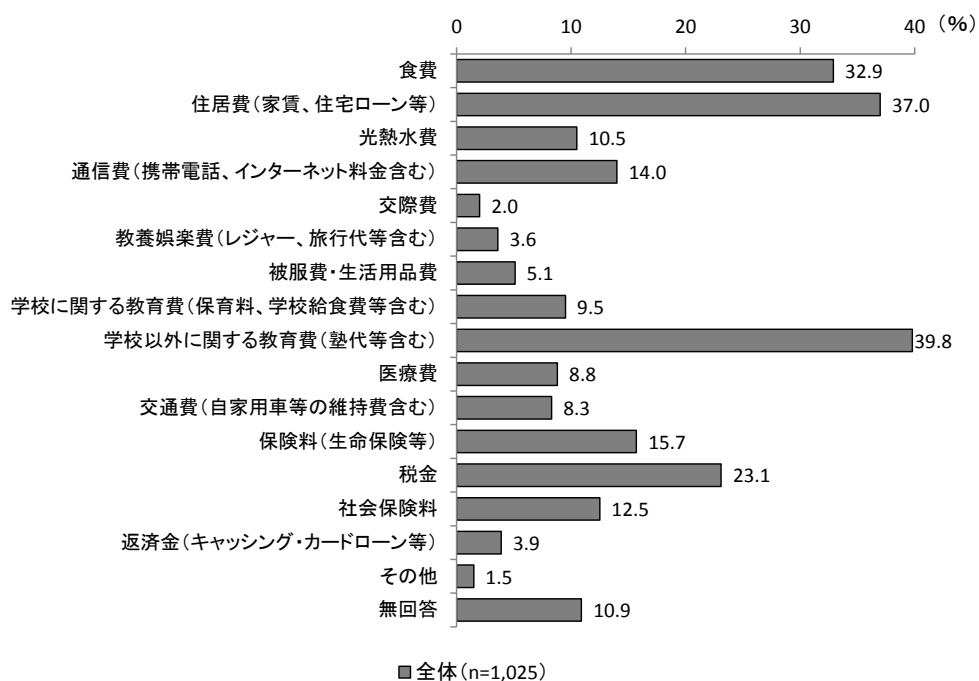
■自己肯定感別

自己肯定感が低では高・中と比べて、「あなたの就労収入」と回答した割合が高く、「配偶者の就労収入」と回答した割合が低い。



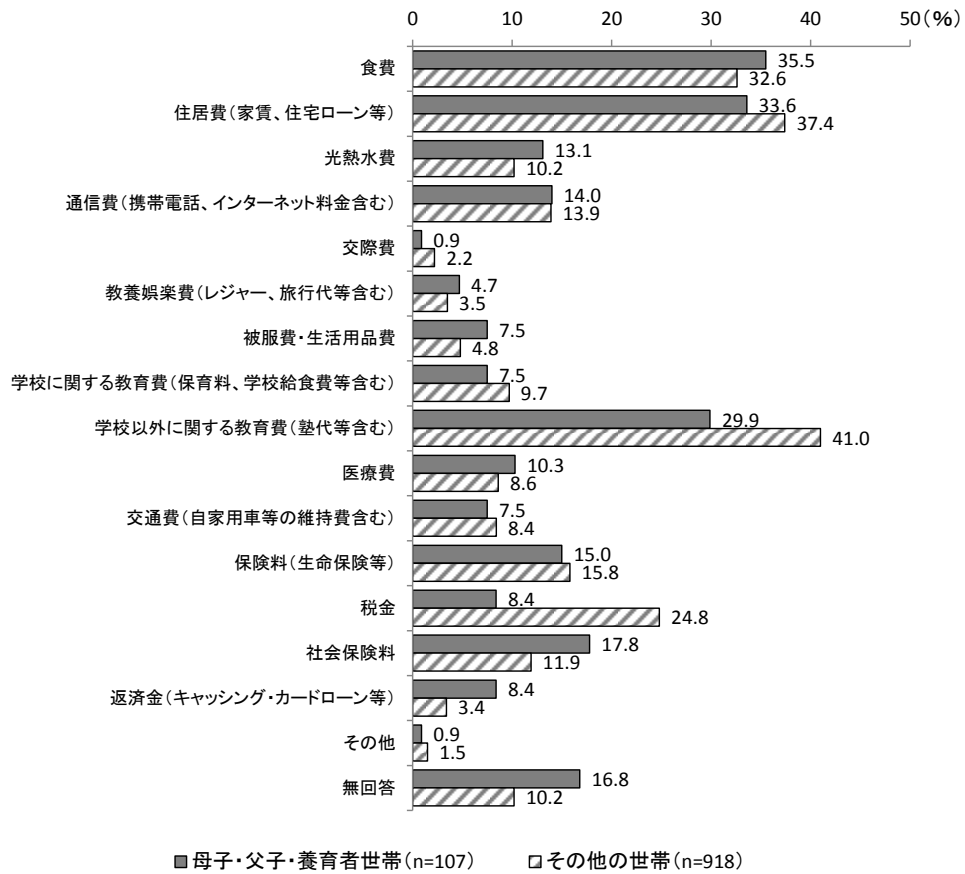
問 24 家計において負担を感じる経費は何ですか。（○は3つまで）

「学校以外に関する教育費（塾代等含む）」と回答した割合が 39.8%と最も高く、次いで「住居費（家賃、住宅ローン等）」が 37.0%となっている。



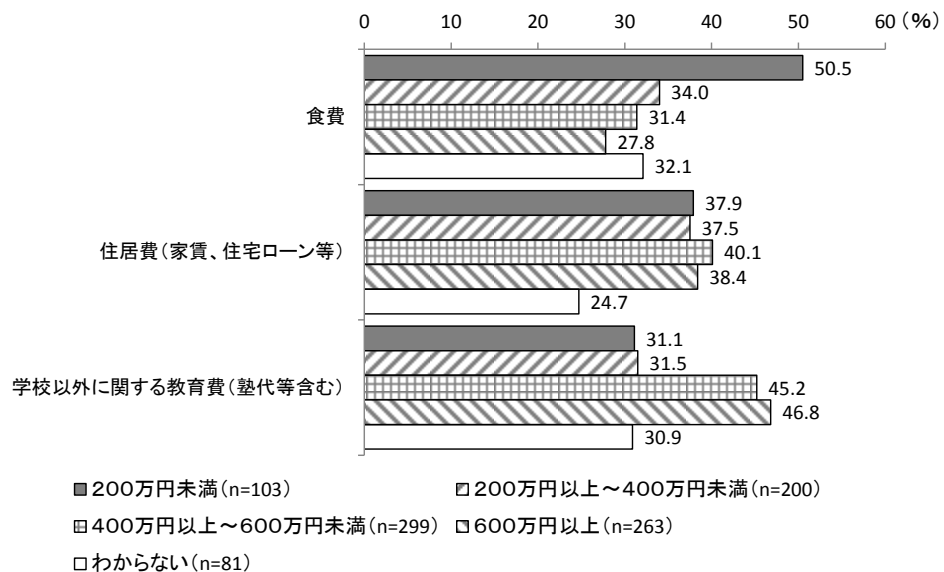
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「学校以外に関する教育費(塾代等を含む)」「税金」と回答した割合が低い。



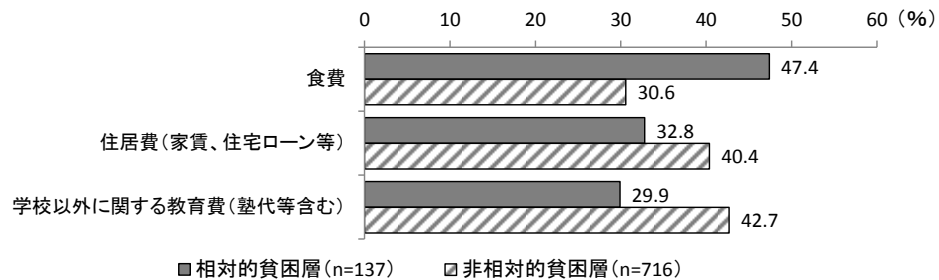
■可処分所得別（上位3項目）

その他の可処分所得区分と比べて、200万円未満では「食費」、400万円以上では「学校以外に関する教育費(塾代等含む)」と回答した割合が高い。



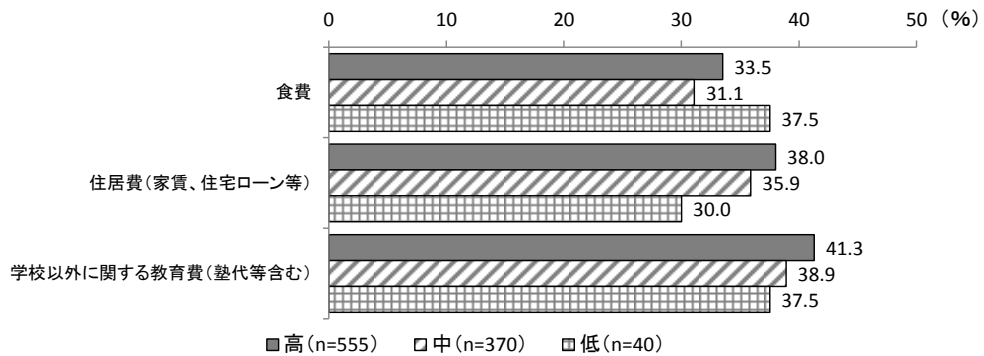
■（非）相対的貧困層別（上位3項目）

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「食費」と回答した割合が高く、「住居費（家賃、住宅ローン等）」「学校以外に関する教育費（塾代等含む）」と回答した割合が低い。



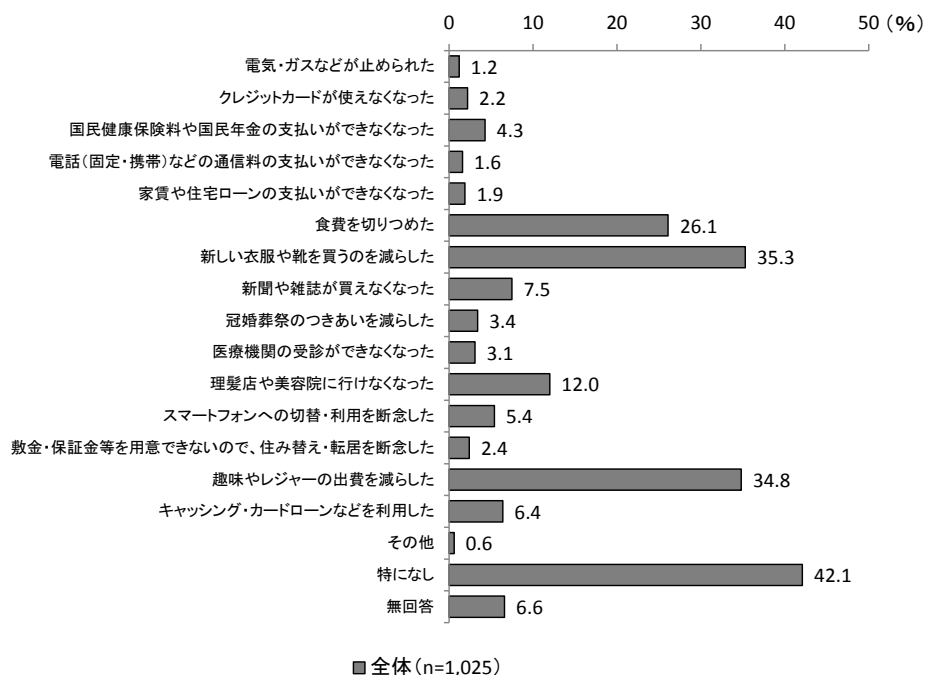
■自己肯定感別（上位3項目）

自己肯定感別では、あまり違いはみられない。



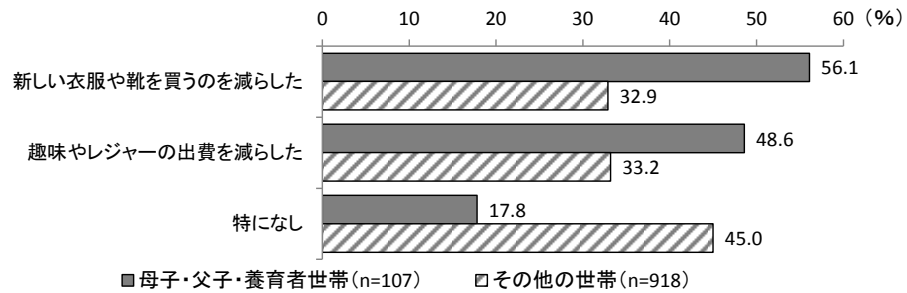
問 25 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「特になし」と回答した割合が 42.1%と最も高く、次いで「新しい衣服や靴を買うのを減らした」が 35.3%となっている。



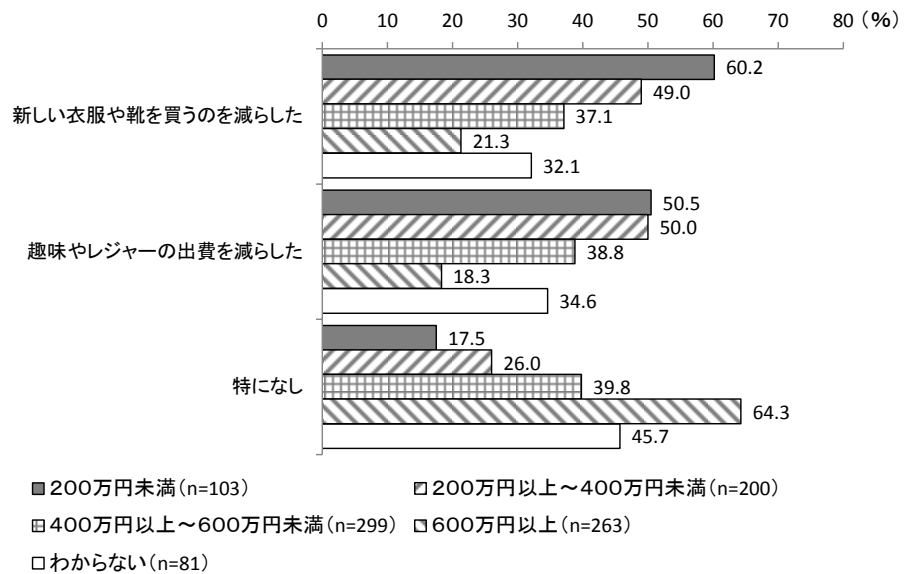
■家庭類型別（上位3項目）

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「新しい衣服や靴を買うのを減らした」「趣味やレジャーの出費を減らした」と回答した割合が高く、「特になし」と回答した割合が低い。



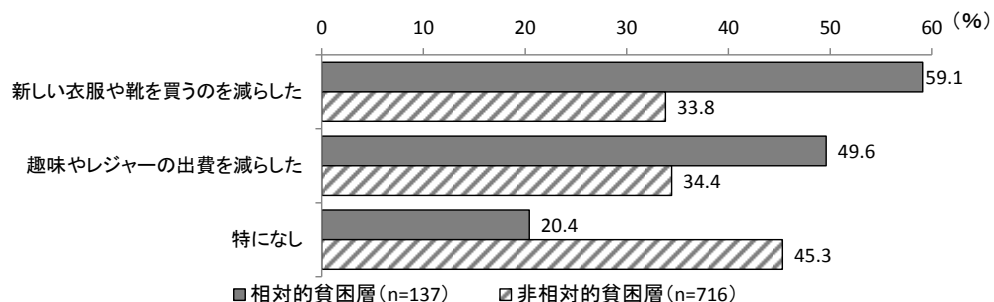
■可処分所得別（上位3項目）

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「新しい衣服や靴を買うのを減らした」「趣味やレジャーの出費を減らした」と回答した割合が高く、「特になし」と回答した割合が低い。



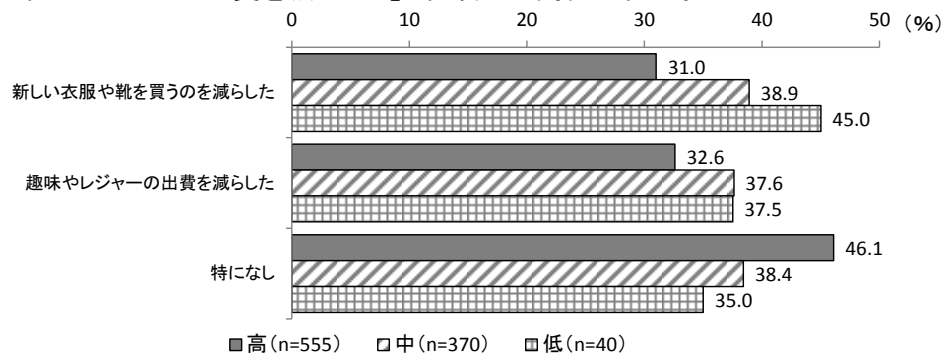
■（非）相対的貧困層別（上位3項目）

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「新しい衣服や靴を買うのを減らした」「趣味やレジャーの出費を減らした」と回答した割合が高く、「特になし」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別（上位3項目）

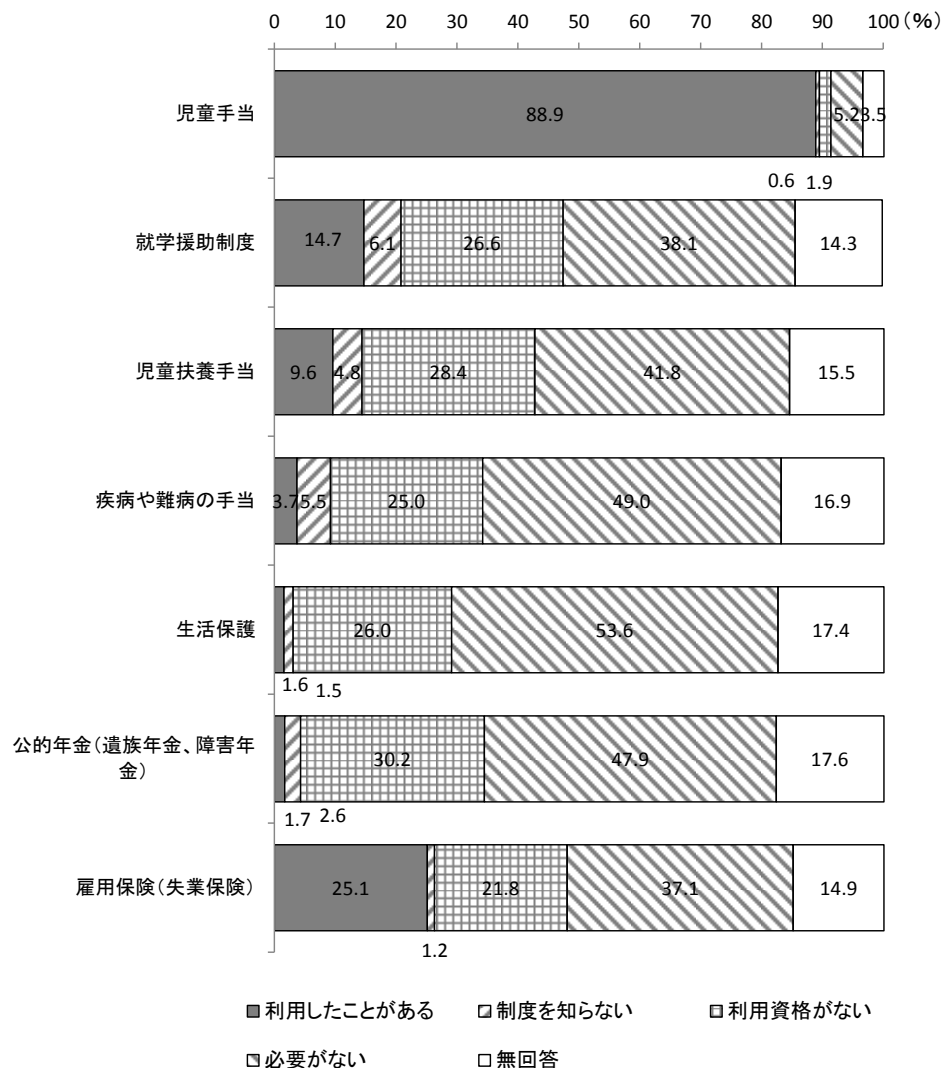
自己肯定感高では中・低と比べて、「特になし」と回答した割合が高く、「新しい衣服や靴を買うのを減らした」「趣味やレジャーの出費を減らした」と回答した割合が低い。



問 26 あなたは次の公的制度を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合は、その理由を教えてください。（1～4のうちそれぞれ1つに○）

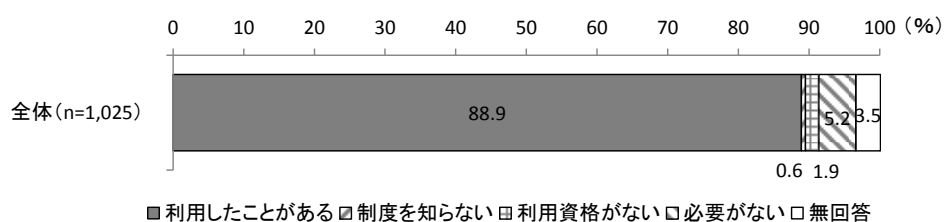
【一覧】

「利用したことがある」と回答した割合は、「児童手当」が 88.9%と最も高く、次いで「雇用保険（失業保険）」が 25.1%となっている。



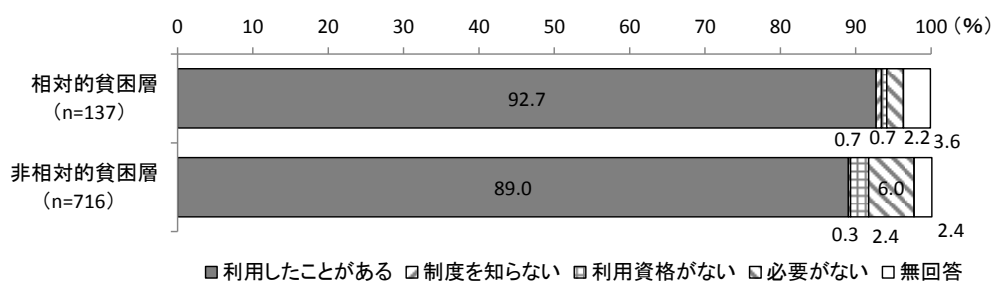
【児童手当】

「利用したことがある」と回答した割合が 88.9%と最も高く、次いで「必要がない」が 5.2%となっている。



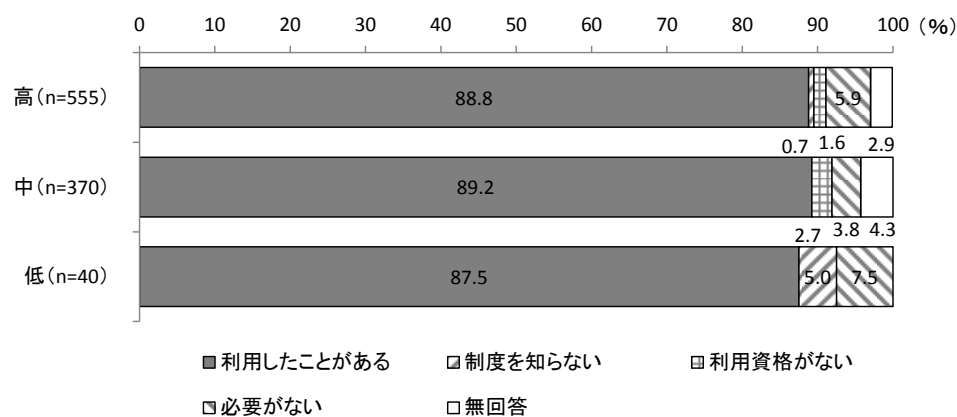
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、あまり違いはみられない。



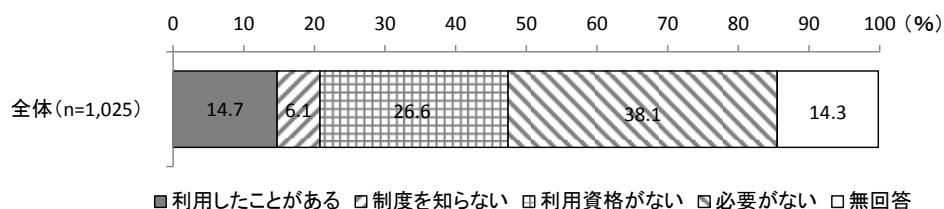
■自己肯定感別

自己肯定感高では、あまり違いはみられない。



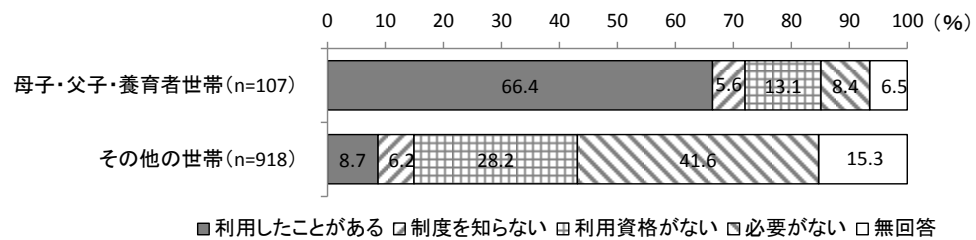
【就学援助制度】

「必要がない」と回答した割合が 38.1%と最も高く、次いで「利用資格がない」が 26.6%となっている。



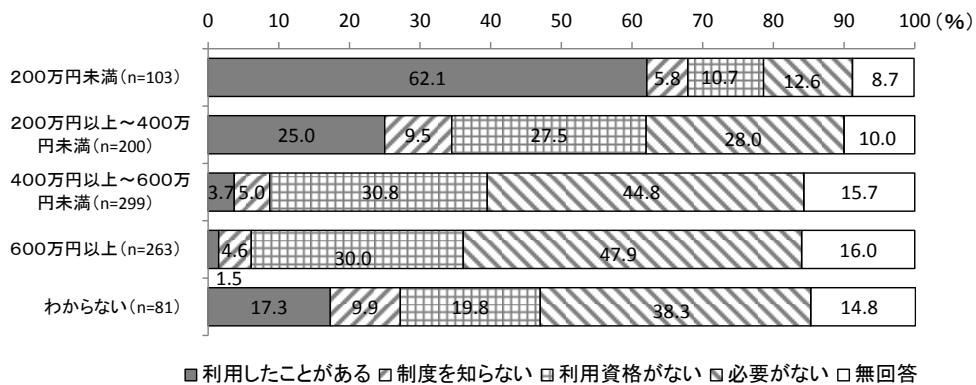
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



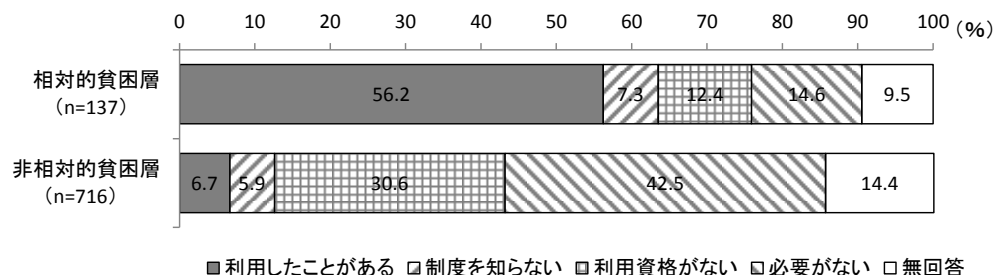
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



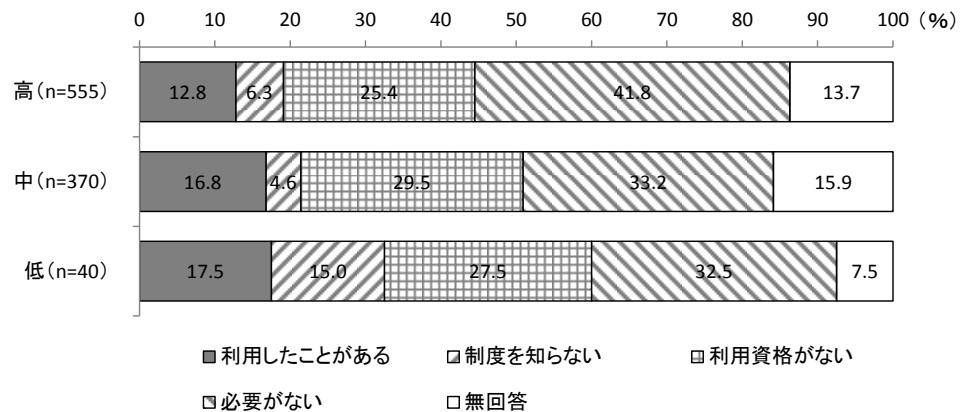
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



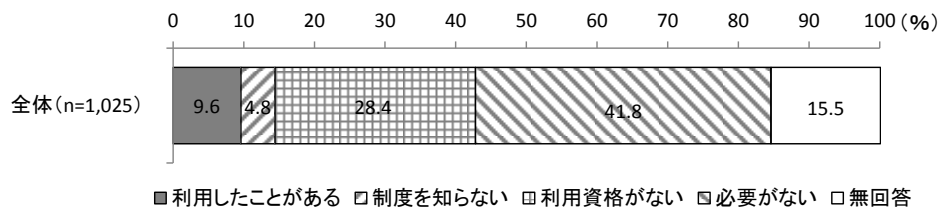
■自己肯定感別

自己肯定感高では中・低と比べて、「必要がない」と回答した割合が高い。



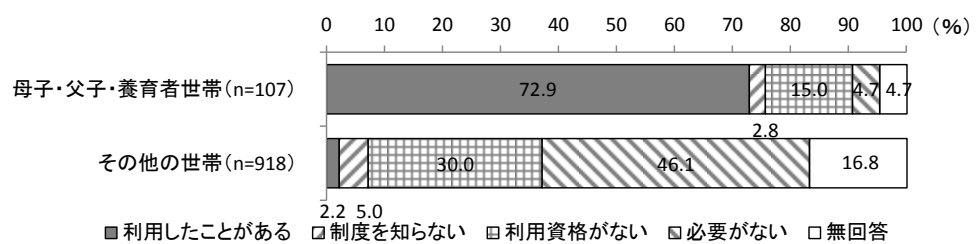
【児童扶養手当】

「必要がない」と回答した割合が 41.8%と最も高く、次いで「利用資格がない」が 28.4%となっている。



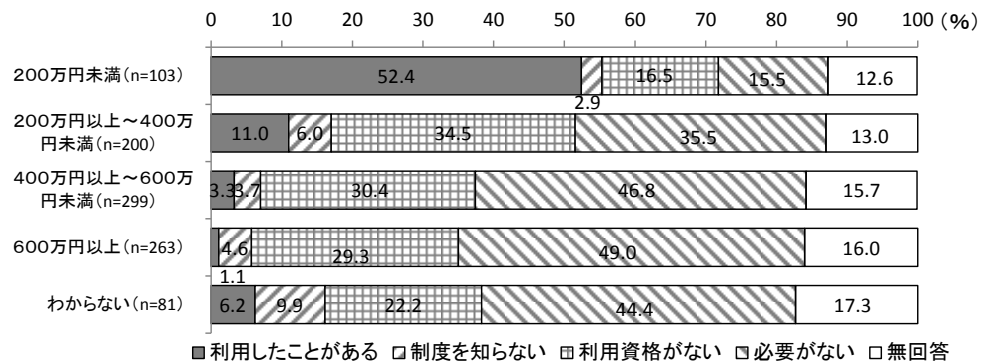
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



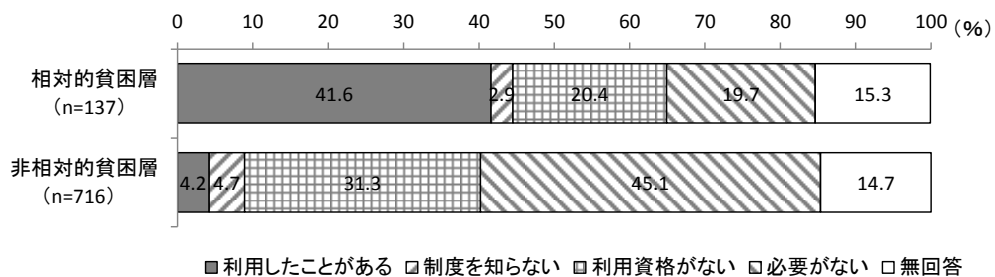
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



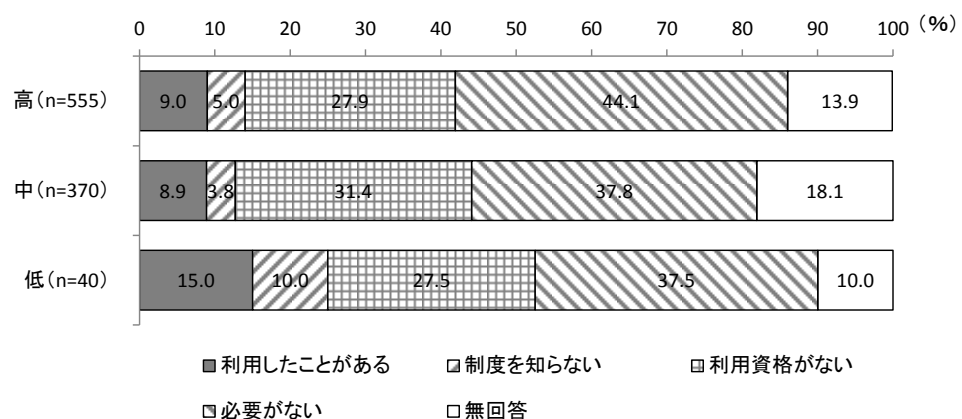
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



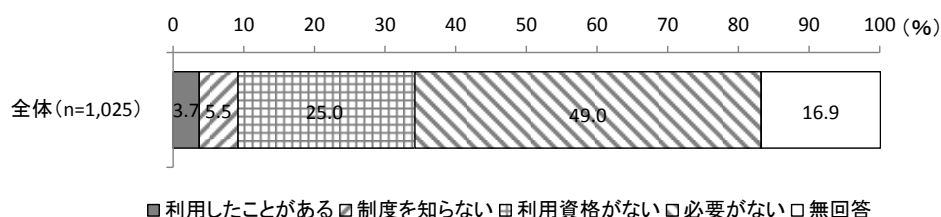
■自己肯定感別

自己肯定感低では高・中と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高い。



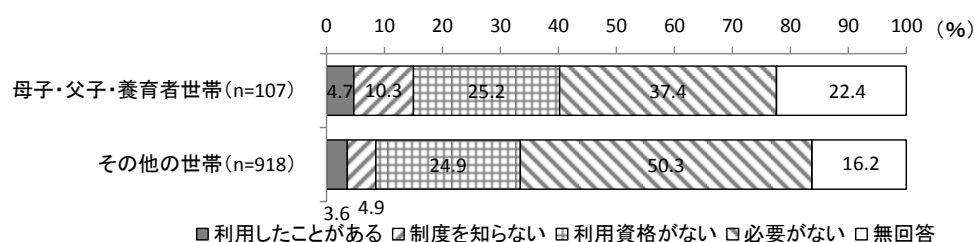
【疾病や難病の手当】

「必要がない」と回答した割合が 49.0%と最も高く、次いで「利用資格がない」が 25.0%となっている。



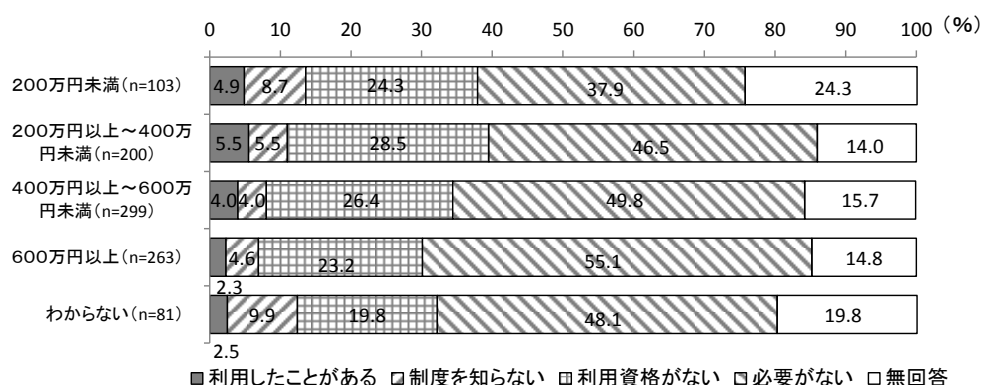
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



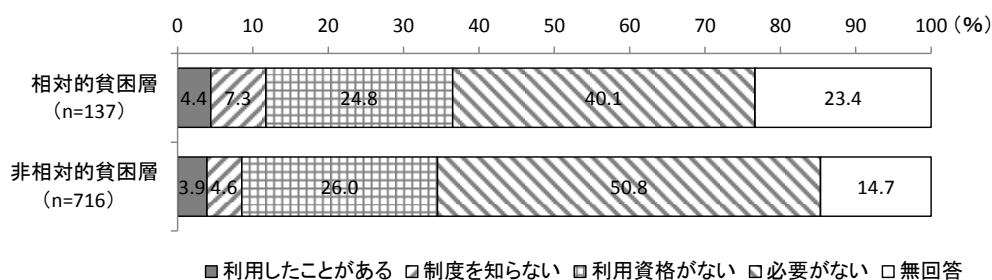
■ 可処分所得別

200 万円未満では、「必要がない」と回答した割合が低い。



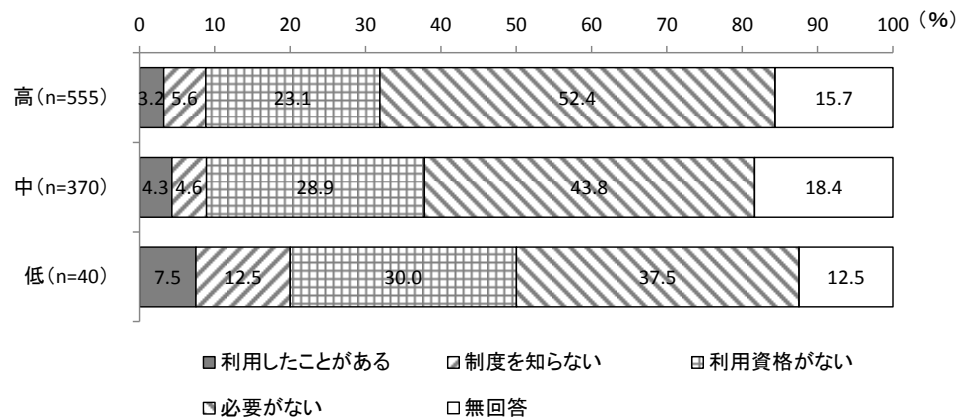
■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「利用資格がない」「必要がない」と回答した割合が低い。



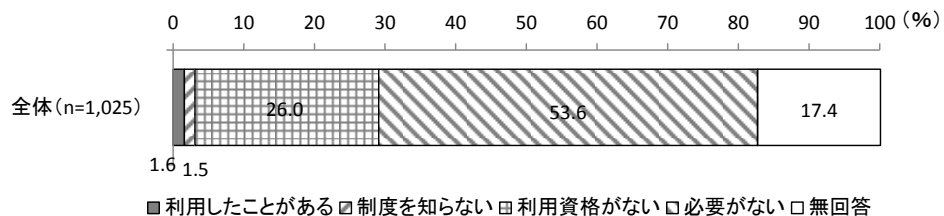
■自己肯定感別

自己肯定感低では高・中と比べて、「制度を知らない」と回答した割合が高く、「必要がない」と回答した割合が低い。



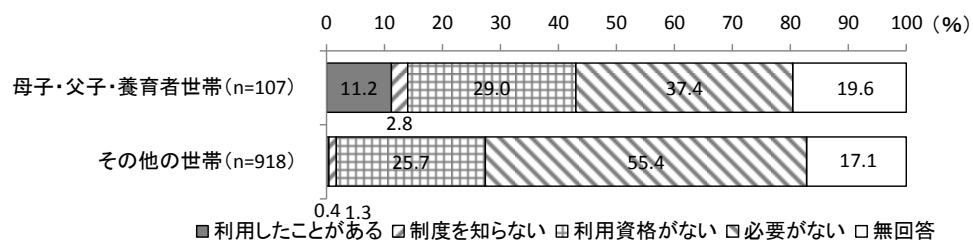
【生活保護】

「必要がない」と回答した割合が 53.6%と最も高く、次いで「利用資格がない」が 26.0%となっている。



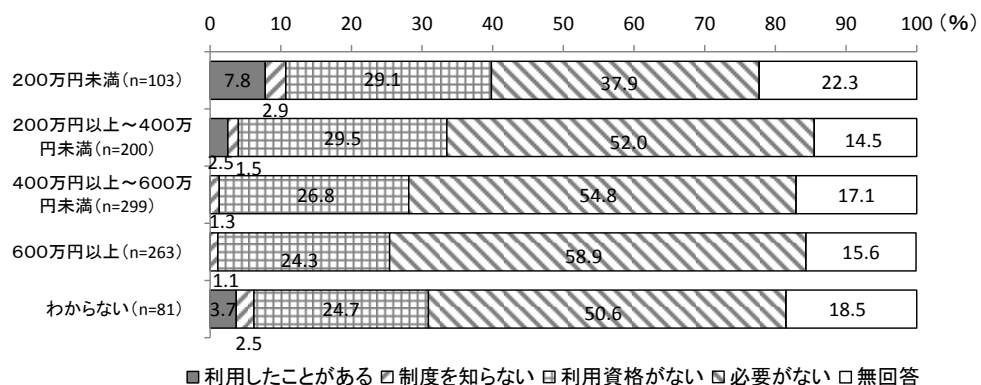
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



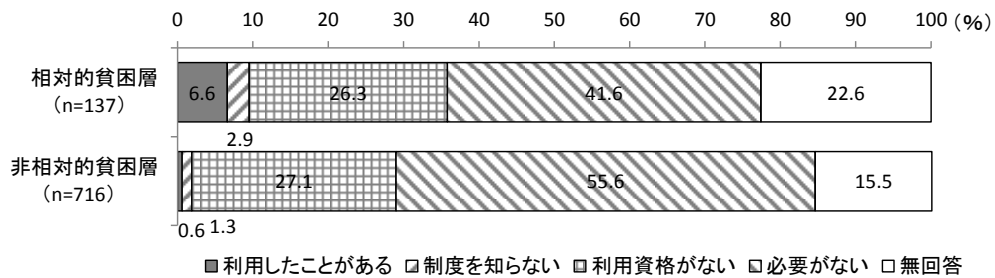
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



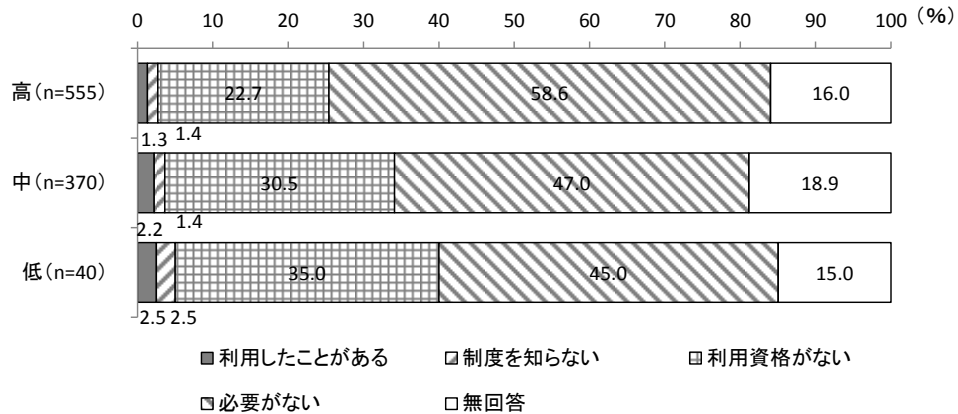
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高く、「必要がない」と回答した割合が低い。



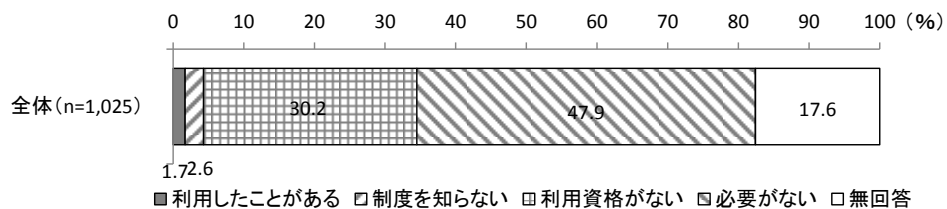
■ 自己肯定感別

自己肯定感高では中・低と比べて、「必要がない」と回答した割合が高く、「利用資格がない」と回答した割合が低い。



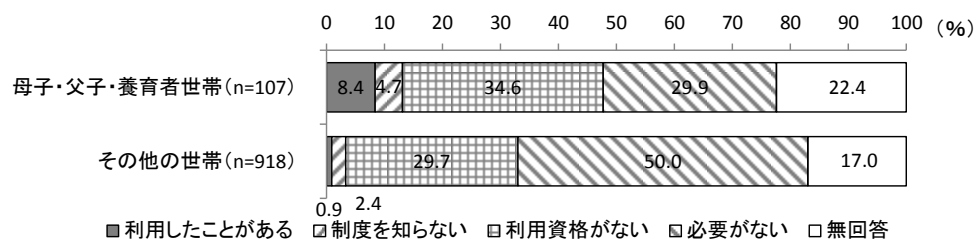
【公的年金（遺族年金、障害年金）】

「必要がない」と回答した割合が 47.9%と最も高く、次いで「利用資格がない」が 30.2%となっている。



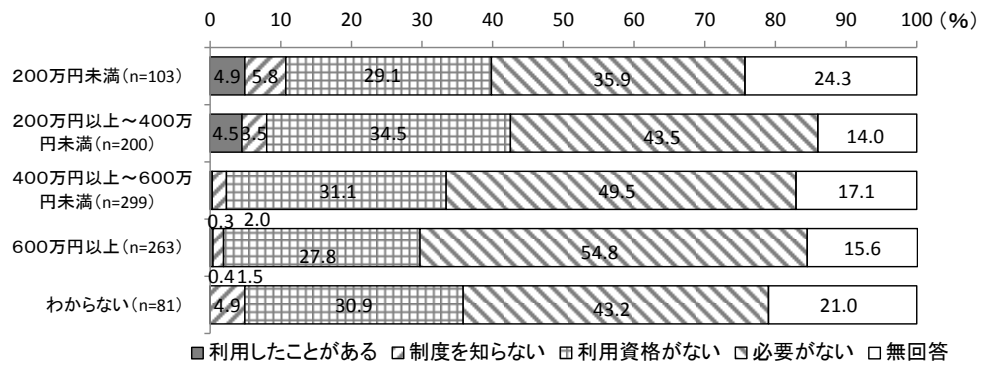
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



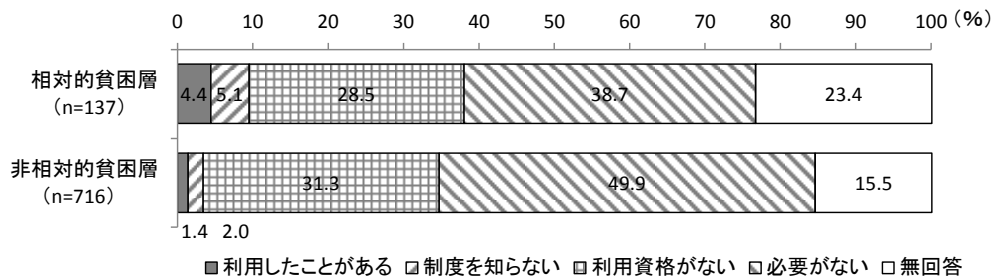
■可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



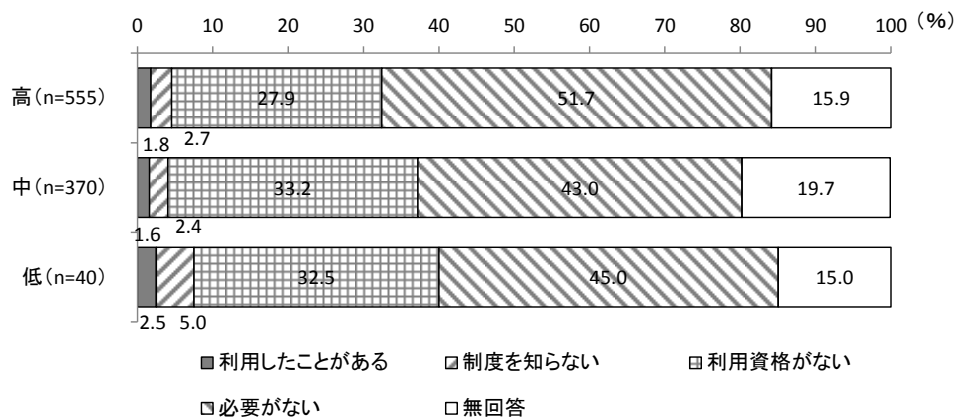
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



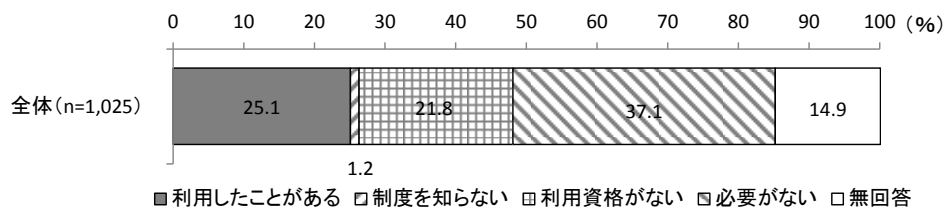
■自己肯定感別

自己肯定感高では中・低と比べて、「必要がない」と回答した割合が高く、「利用資格がない」と回答した割合が低い。



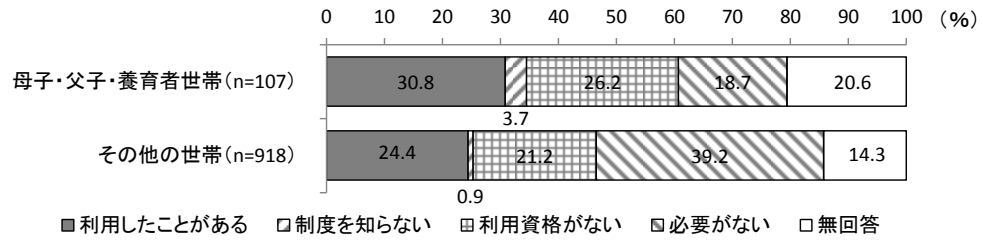
【雇用保険（失業保険）】

「必要がない」と回答した割合が 37.1%と最も高く、次いで「利用したことがある」が 25.1%となっている。



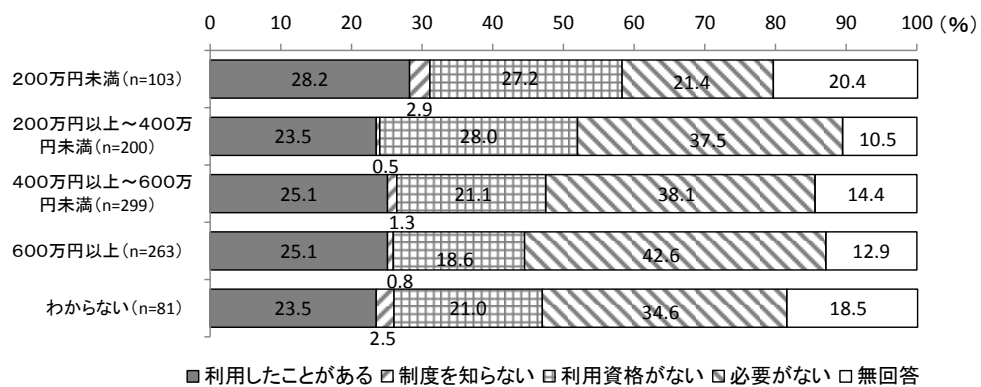
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



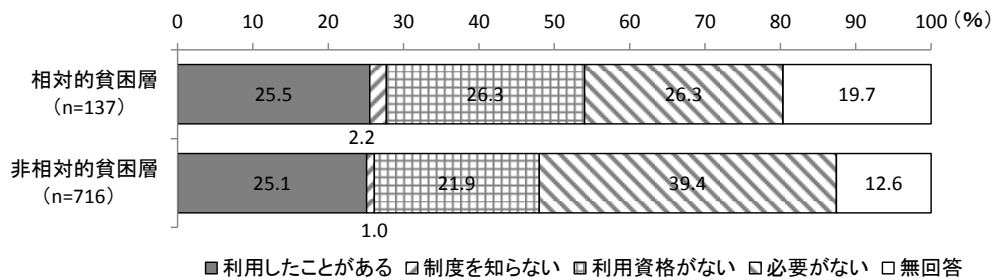
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



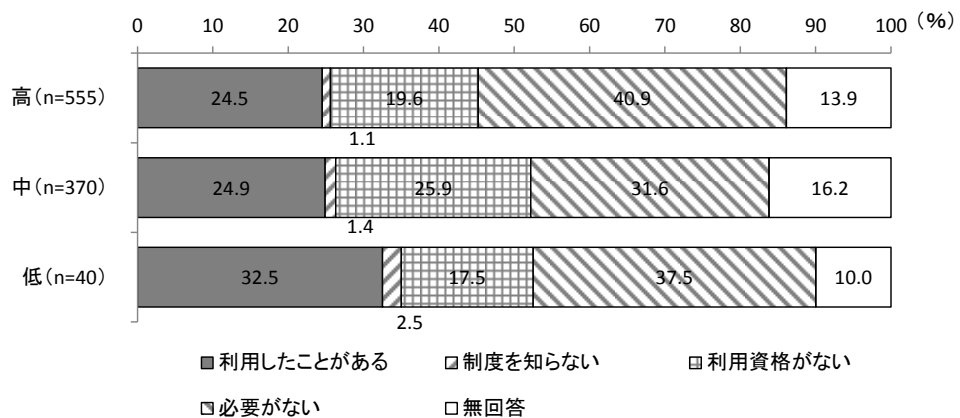
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「必要がない」と回答した割合が低い。



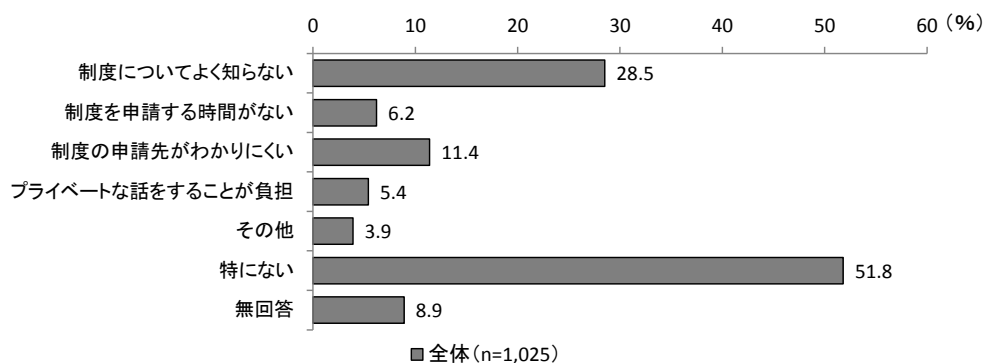
■自己肯定感別

自己肯定感低では高・中と比べて、「利用したことがある」と回答した割合が高い。



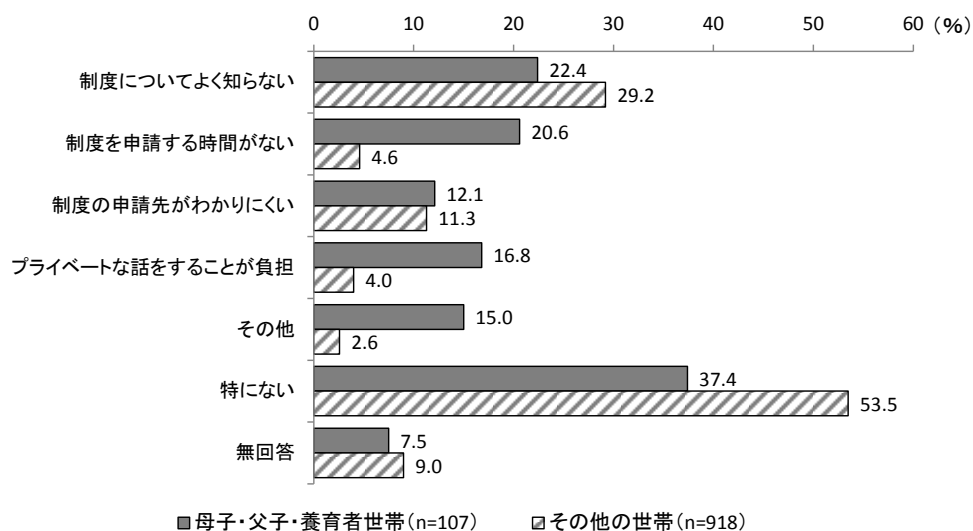
問 27 あなたが奈良市の支援制度（手当や就学援助など）を受けるうえで、困ったことはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「特にない」と回答した割合が 51.8%と最も高く、次いで「制度についてよく知らない」が 28.5%となっている。



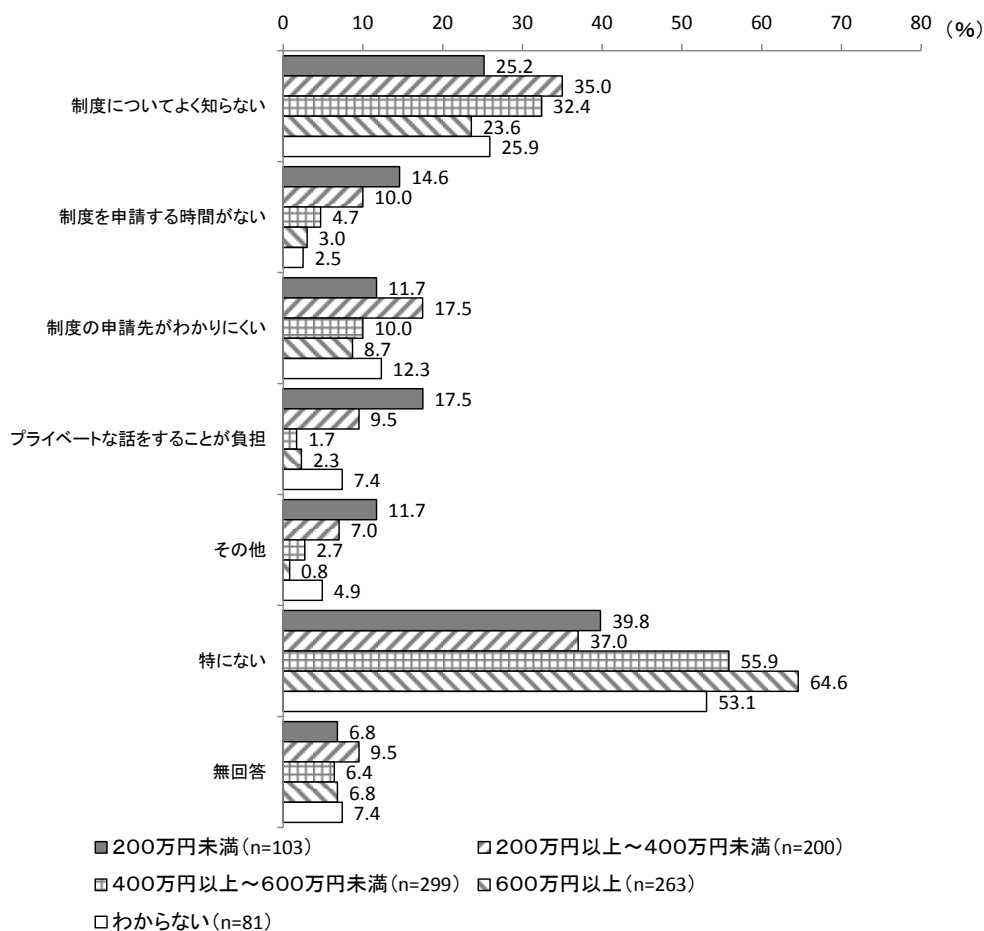
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「制度を申請する時間がない」「プライベートな話をするのが負担」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合が低い。



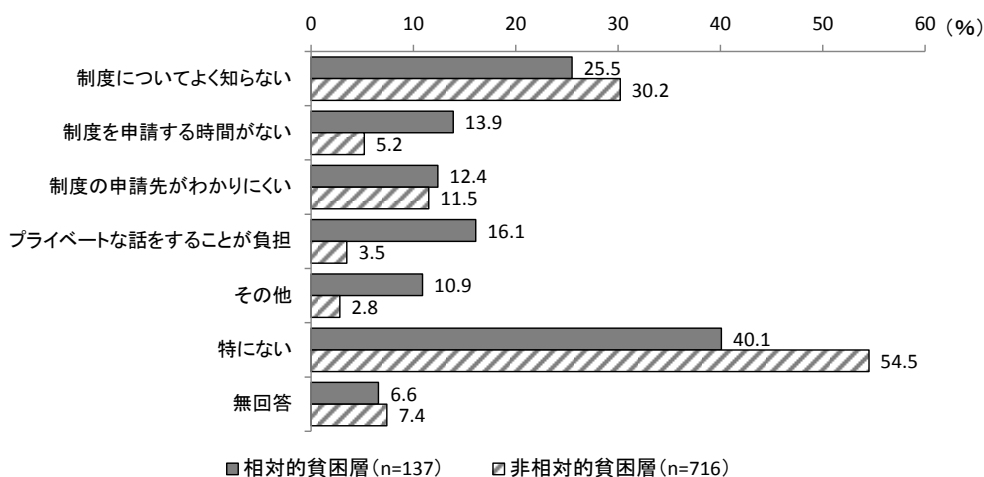
■ 可処分所得別

200 万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「プライベートな話をすることが負担」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合が低い。



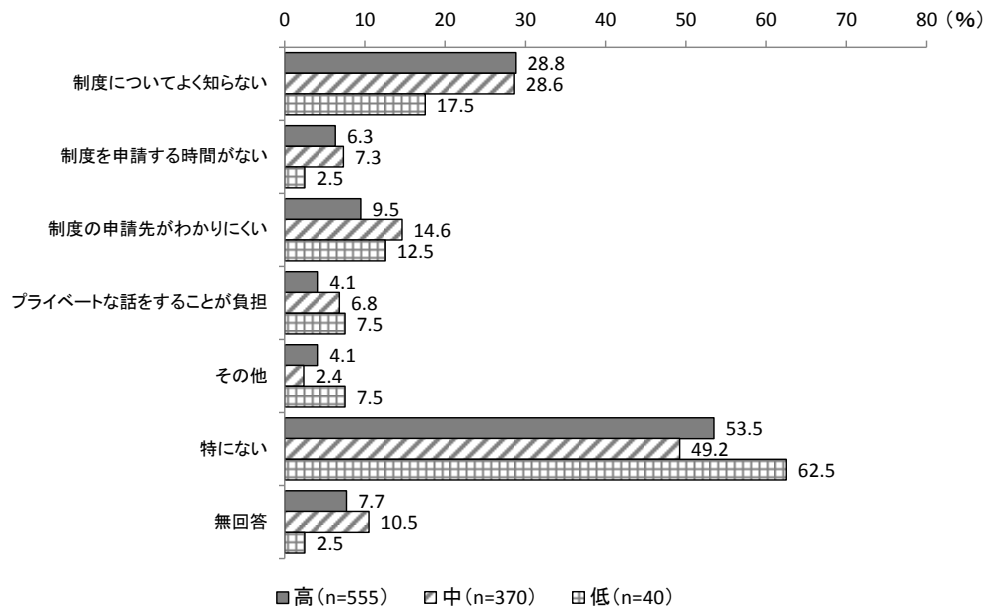
■ (非) 相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて「制度を申請する時間がない」「プライベートな話をすることが負担」と回答した割合が高く、「特にない」と回答した割合が低い。



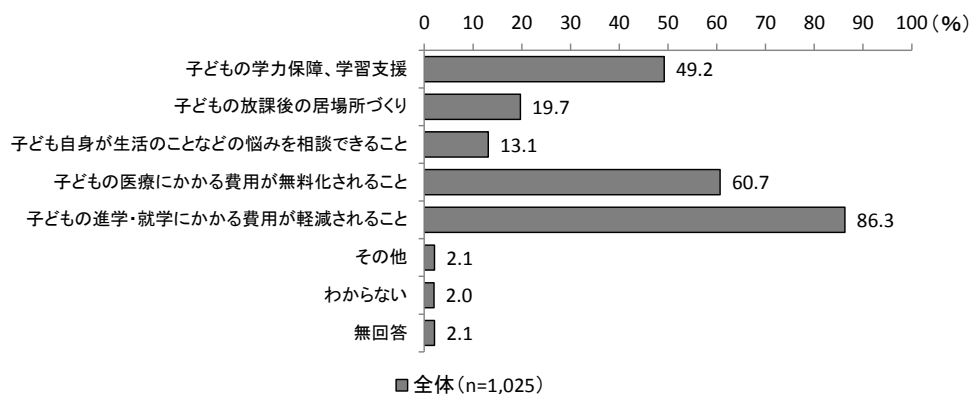
■自己肯定感別

自己肯定感低では高・中と比べて、「特にない」と回答した割合が高く、「制度についてよく知らない」と回答した割合が低い。



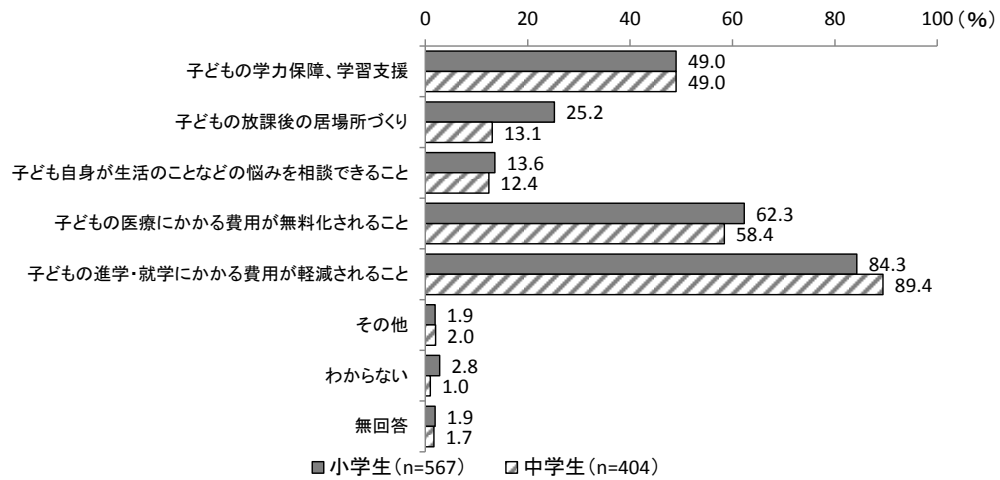
問 28 お子さんに対して必要と思われる支援、または、重要だと思う支援等はどうのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」と回答した割合が 86.3%と最も高く、次いで「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」が 60.7%となっている。



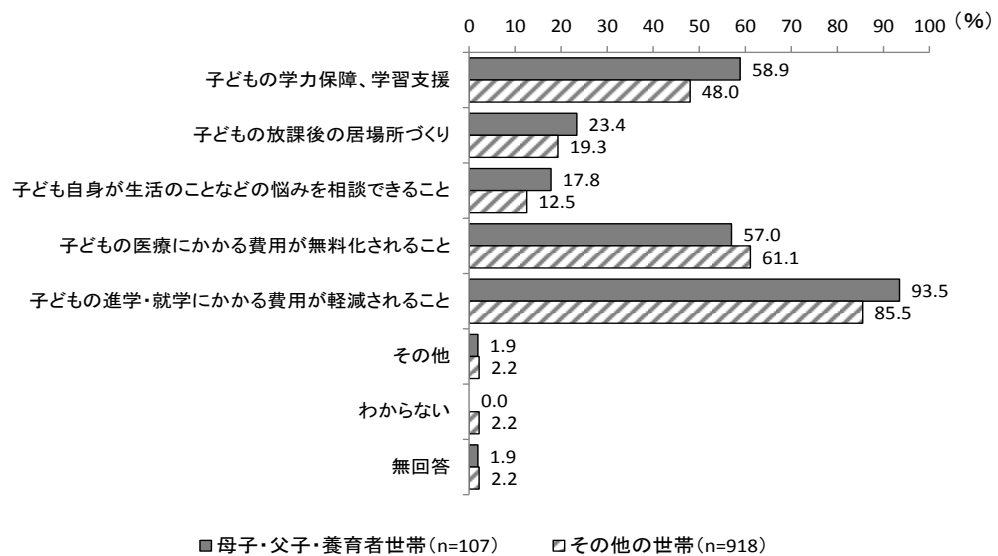
■学校種別

小学生保護者では中学生保護者と比べて、「子どもの放課後の居場所づくり」と回答した割合が高い。



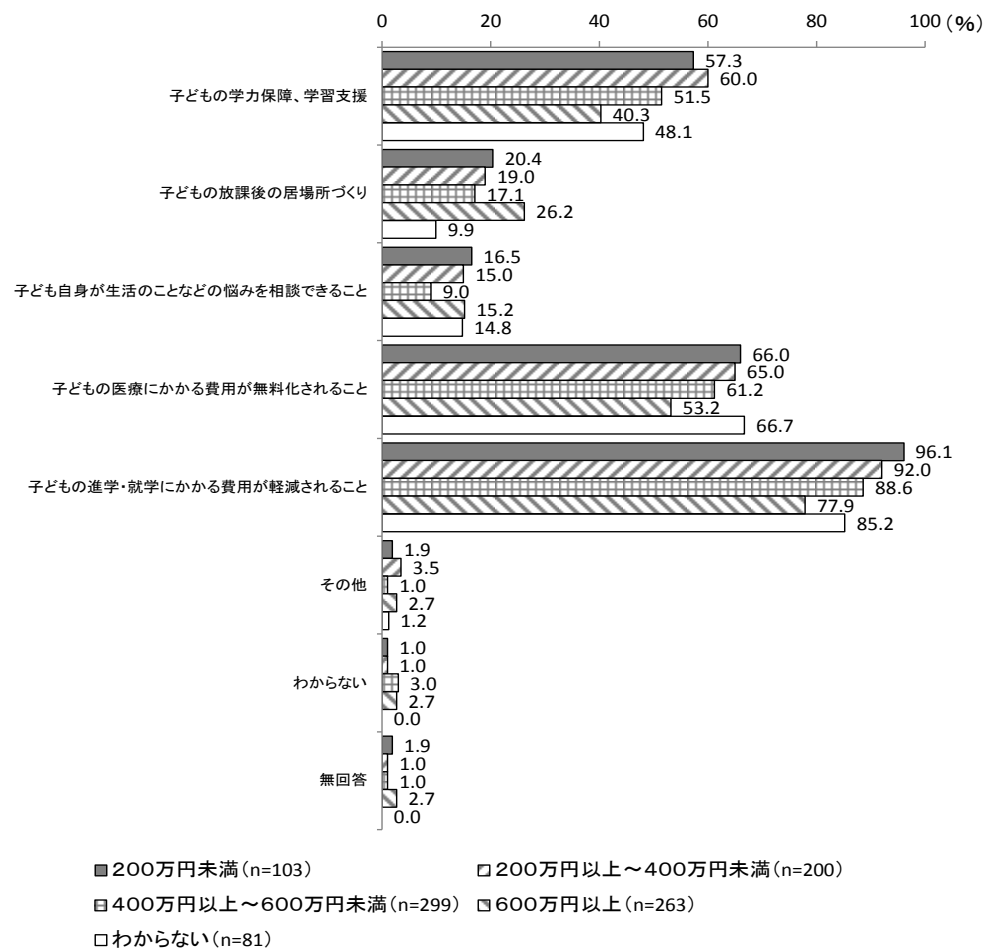
■家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」と回答した割合が高い。



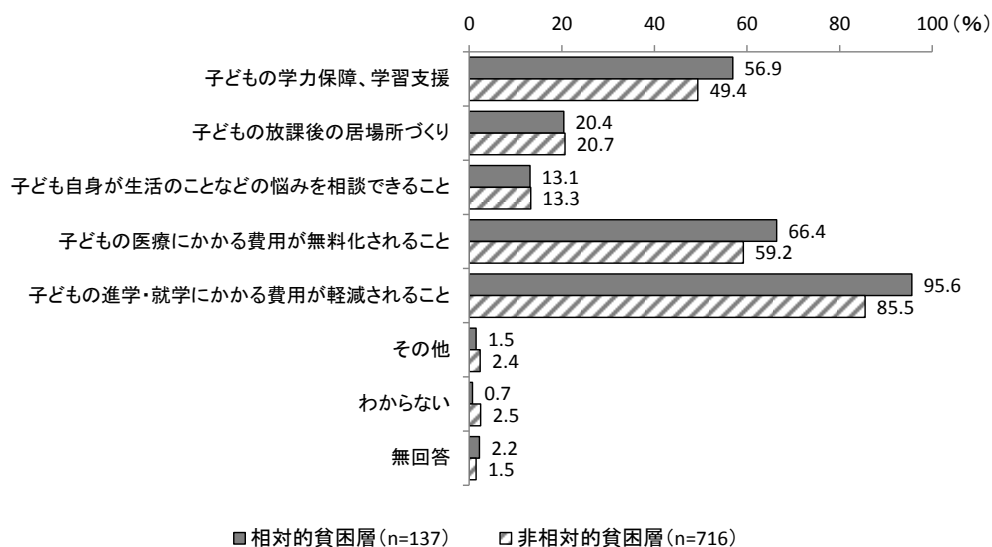
■可処分所得別

可処分所得区分が低くなるにつれ、「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」と回答した割合が高い。



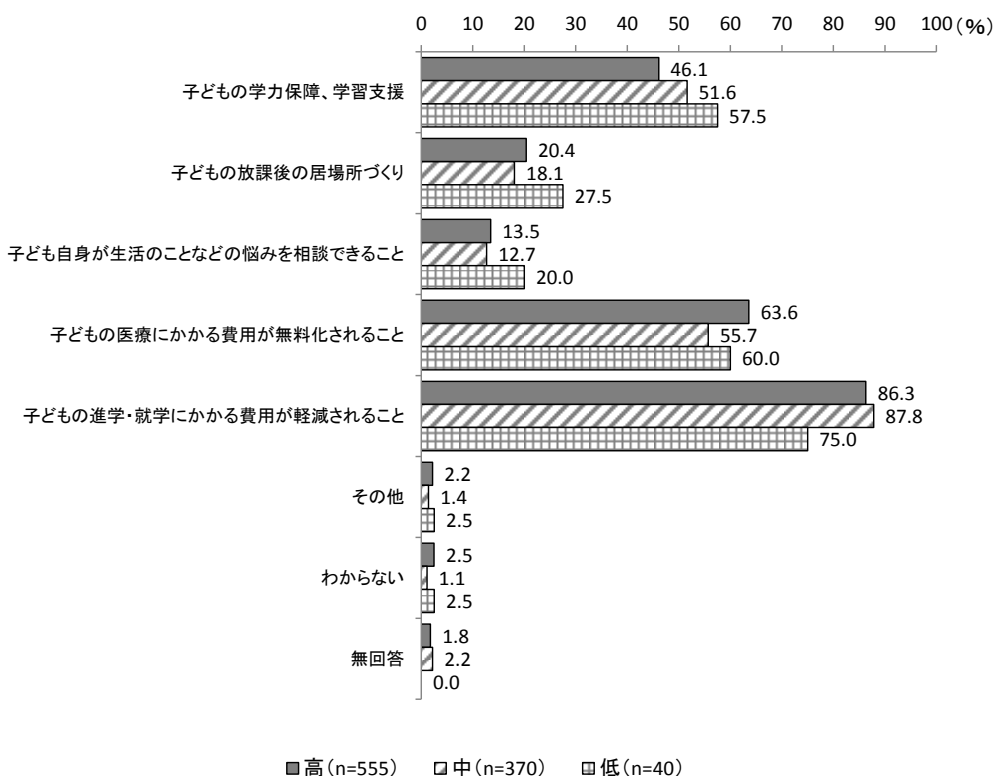
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて「子どもの学力保障、学習支援」「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」と回答した割合が高い。



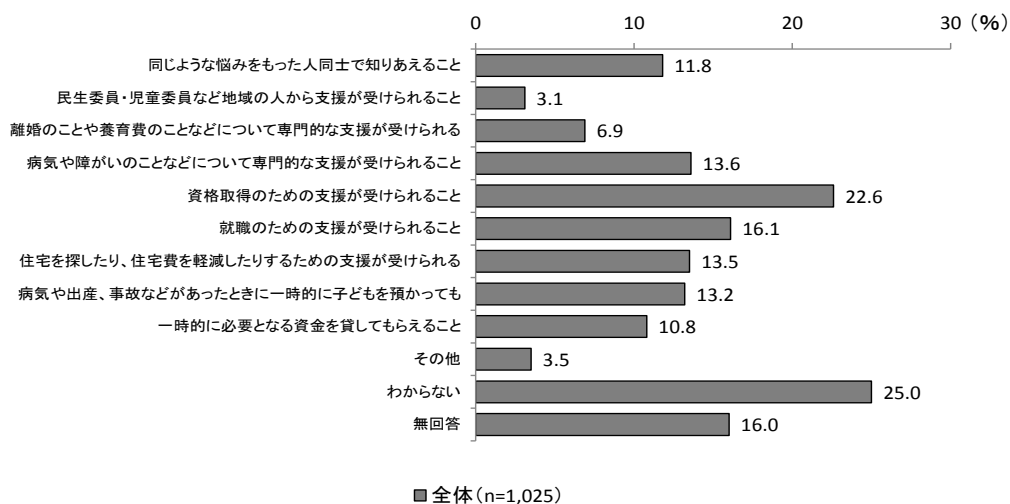
■自己肯定感別

自己肯定感低では高・中と比べて、「子どもの学力保障、学習支援」と回答した割合が高く、「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」と回答した割合が低い。



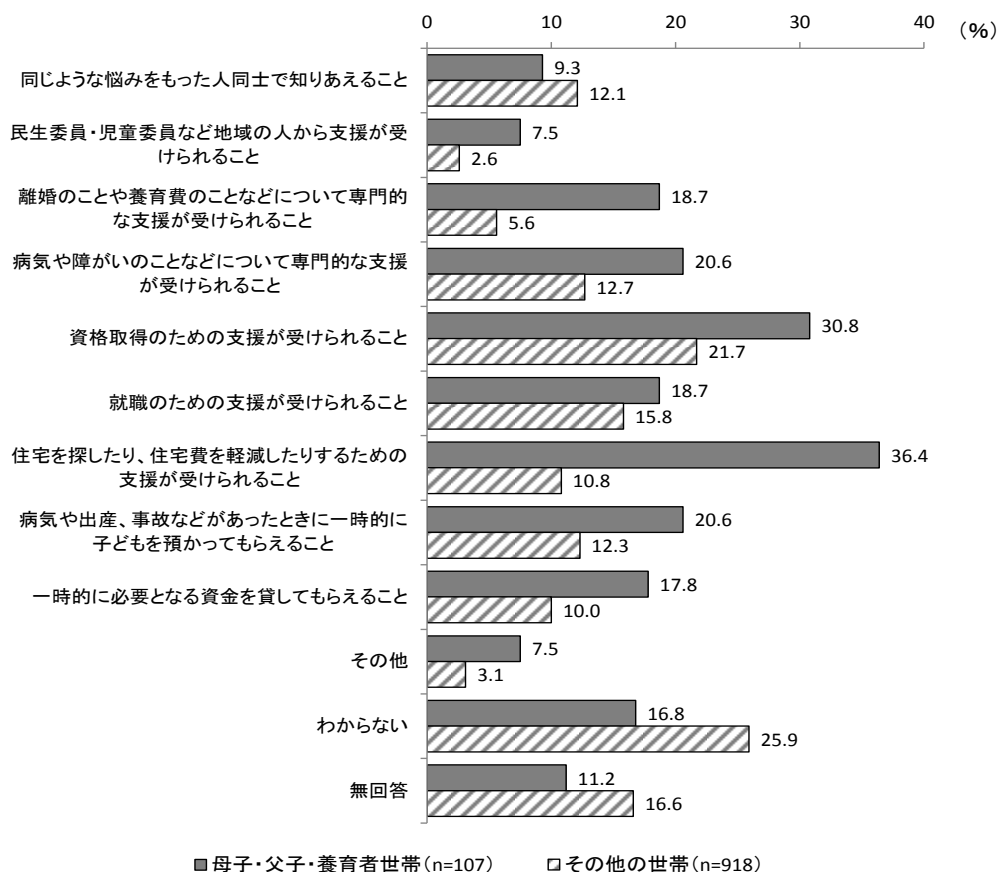
問 29 あなたが現在必要としている支援、または、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「わからない」と回答した割合が 25.0%と最も高く、次いで「資格取得のための支援が受けられること」が 22.6%となっている。



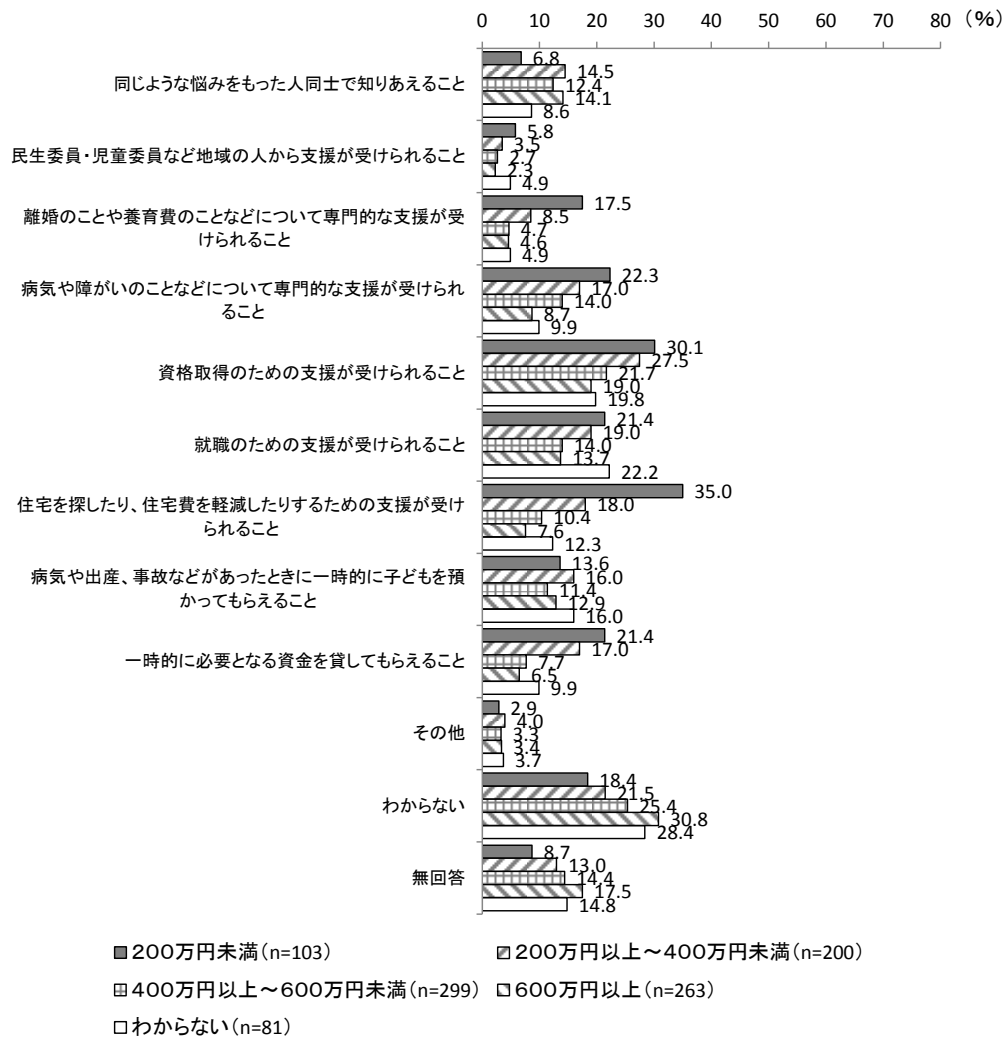
■ 家庭類型別

母子・父子・養育者世帯ではその他の世帯と比べて、「離婚や養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「資格取得のための支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」と回答した割合が高い。



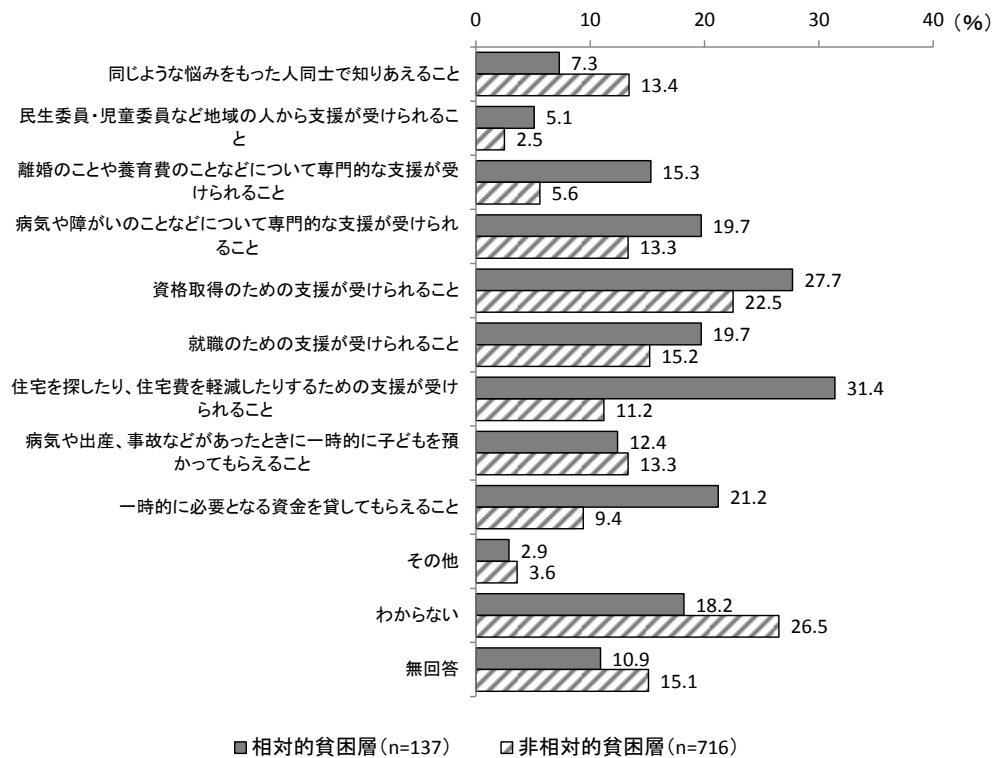
■可処分所得別

200万円未満ではその他の可処分所得区分と比べて、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「一時的に必要な資金を貸してもらえること」と回答した割合が高い。



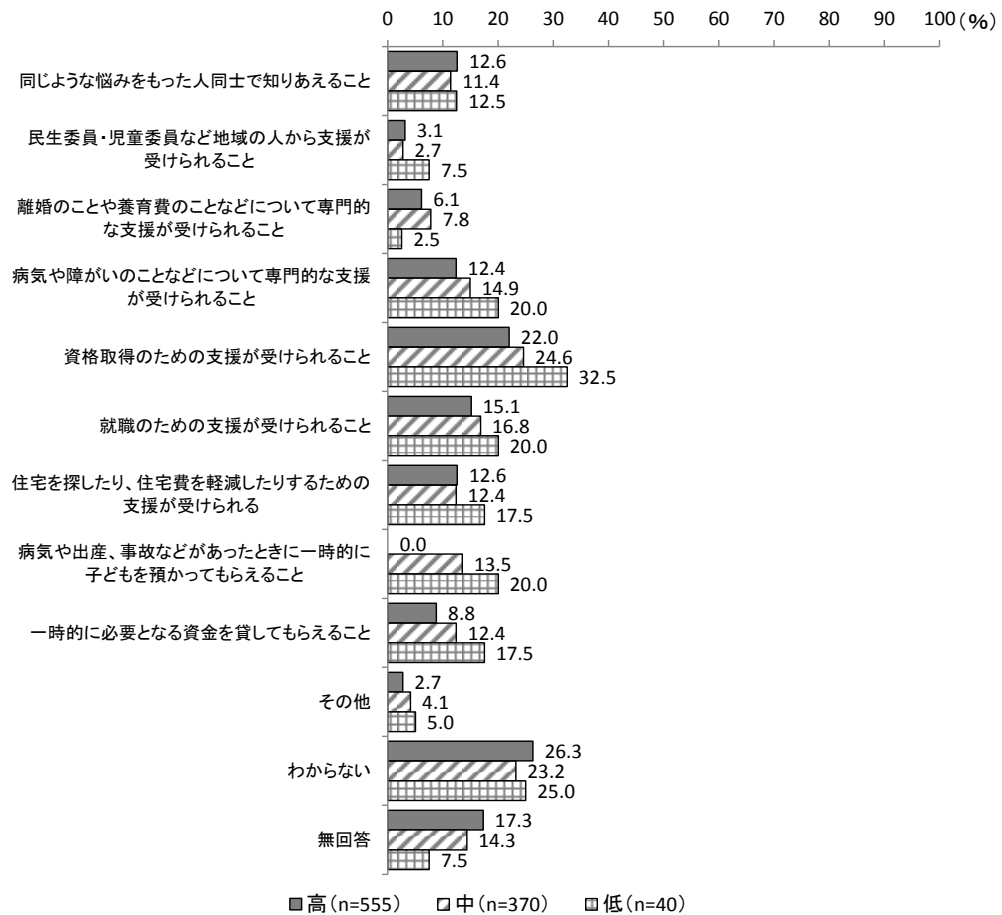
■（非）相対的貧困層別

相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」「資格取得のための支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「一時的に必要となる資金を貸してもらえること」と回答した割合が高く、「わからない」と回答した割合が低い。



■自己肯定感別

自己肯定感低では高・中と比べて、「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」「資格取得のための支援が受けられること」「病気や出産、事故などがあったときに一時的に子どもを預かってもらえること」「一時的に必要な資金を貸してもらえること」と回答した割合が高い。



■保護者の悩みごと別

生活費に関することでは「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「一時的に必要な資金を貸してもらえること」、仕事に関することでは「資格取得のための支援が受けられること」、住宅に関することでは「資格取得のための支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」、家族に関することでは「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」と回答した割合が高い。

	無回答	わからない	その他	一時的に必要な資金を貸してもらえ ること	病気や出産、事故などがあつたときに一 時的に子どもを預かってもらえること	住宅を探したり、住宅費を軽減したりす るための支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	資格取得のための支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な 支援が受けられること	離婚のことや養育費のことなどについて専 門的な支援が受けられること	民生委員・児童委員など地域の人から支 援が受けられること	同じような悩みをもった人同士で知りあ えること
生活費に関すること(n=324)	13.3	19.1	2.5	21.0	14.5	23.5	21.3	29.0	18.5	11.4	4.0	9.3
子どもの養育にかかる費用に関すること (n=427)	14.5	19.4	4.4	17.6	14.8	19.9	19.2	25.8	16.4	9.6	3.3	9.8
仕事に関すること(n=243)	10.3	20.2	4.5	11.9	15.6	20.2	24.7	34.2	19.3	11.9	3.7	11.5
住宅に関すること(n=134)	6.7	15.7	5.2	15.7	18.7	37.3	22.4	34.3	17.2	9.7	5.2	3.7
健康に関すること(n=226)	13.3	23.0	4.0	12.8	20.8	19.5	19.5	22.6	21.7	7.5	4.0	12.4
対人関係に関すること(n=85)	11.8	21.2	3.5	11.8	20.0	16.5	17.6	21.2	18.8	7.1	5.9	17.6
老後に関すること(n=236)	15.3	16.5	6.8	15.7	18.2	21.6	21.2	29.2	19.1	11.0	3.4	11.9
家族に関すること(n=176)	10.2	21.6	2.8	17.0	10.2	21.6	16.5	23.9	18.8	17.0	2.3	11.9
子どもに関すること(n=317)	12.6	21.8	4.7	11.7	17.0	18.0	18.0	26.8	15.5	8.8	3.8	14.2
その他(n=24)	4.2	8.3	29.2	12.5	16.7	16.7	20.8	37.5	16.7	4.2	-	20.8
特に悩んでいることはない(n=218)	22.9	30.3	1.8	3.2	11.9	6.0	10.6	16.5	11.0	3.2	4.6	11.0

問 30 自由意見

■意見一覧

大項目		小項目		件数
1	良かったこと (51 件)	1	子育てを通して自分が成長できた。	12
		2	子どもの成長を感じ、みれることがうれしい。	8
		3	子育てを通して地域とのつながりを持つことができた。	7
		4	子どもと過ごす時間を大切にして良かった。	4
		5	子どもを産み、育てることそのものが幸せである。	5
		6	子どもの遊び友達ができて良かった。	3
		7	子どもに負担をかけもしたが、協力してくれて助かっている。	2
		8	その他	10
2	困ったこと (14 件)	1	子育て支援が充実していない。	6
		2	相談先がわからなくて困った。	2
		3	子どもが病気の時に困った。	2
		4	子育てしにくい地域だと思う。	2
		5	その他	2
3	助かったこと (42 件)	1	相談する所があつて助かった。	5
		2	地域の協力があつて助かった。	12
		3	親の繋がりができ、相談等ができたこと。	11
		4	子育て支援制度があり助かった。	9
		5	保育園、学校できめ細かく見てもらった。	3
		6	その他	2
4	経済的支援について (50 件)	1	高校を無料にしてほしい。	8
		2	大学進学への援助をしてほしい。	5
		3	子育てに対して手当等援助をしてほしい。	9
		4	経済的援助をしてほしい。	8
		5	医療費を無料にしてほしい。	3
		6	経済的に余裕がない。	4
		7	義務教育の間は無料にしてほしい。	2
		8	その他	11
5	医療費について (30 件)	1	子どもの医療費を無料にしてほしい。	7
		2	18 歳まで医療費を無料にしてほしい。	2
		3	中学生まで医療費を無料にしてほしい。	3
		4	子どもの医療費補助があり助かっている。	3
		5	中学生まで医療費の補助があり助かっている。	3
		6	窓口での支払いをなくしてほしい。	4
		7	医療費補助のシステムをわかりやすくシンプルにしてほしい。	8
6	保育・学校教育について (65 件)	1	公立幼稚園の統廃合、閉園はやめてほしい。	3
		2	保育についてその他	5
		3	塾ありきではなく、学校教育の質の向上を希望する。	8
		4	学校にエアコンを設置してほしい。	4
		5	学校設備を整えてほしい。	3
		6	先生の能力向上を望む。	5
		7	先生の数を増やしてほしい。	2
		8	相談できる体制を整えてほしい。	6
		9	過保護な親、モンスターペアレンツ等を気にせずきびしい先生でいてほしい。	2
		10	中学校は制服にしてほしい。	2
		11	内申点について考えなおしてほしい。	4
		12	休みが多いので、土曜日の授業を復活させてほしい。	2
		13	学校教育についてその他	19

大項目		小項目		件数
7	子どもの居場所・預け先について (17 件)	1	子どもの預け先が少ない。	8
		2	病気の時預かってくれる場所が少ない	3
		3	その他	6
8	遊び場所について (41 件)	1	公園をもっと増やしてほしい。	10
		2	子ども達がボール遊び(球技)の出来る場所がほしい。	12
		3	子ども達が勉強(自習)出来る場所がほしい。	2
		4	もっと公園内の管理・施設を充実させてほしい。	8
		5	子ども達が遊んでいると住民・周りの大人から苦情を受けた。	5
		6	その他	4
9	家庭環境について (18 件)	1	子どもとのコミュニケーションをとる事が大事。	7
		2	ゆとり(余裕)のある子育て・環境づくりが必要である。	3
		3	親子の時間が少ない家庭が増えていると思う。(共働きなど)	4
		4	家庭以外での大人とのふれあいも必要である。	2
		5	親同士の繋がりをもち事が家庭円満につながる。	2
10	地域との関わり、社会的支援について (39 件)	1	親が気軽に相談できる場所がほしい。	5
		2	安心して子どもを預けられる場所や施設がほしい。	6
		3	子どもを含め、地域の大人とのふれあいの場がほしい。	9
		4	保護者間での子育て相談場所(サークル)がほしい。	5
		5	地域との関わり、社会的支援によって助けられた(肯定的意見)。	4
		6	その他	10
11	その他 (19 件)	1	通学路の安全確保をしてほしい。	3
		2	特になし。	2
		3	その他	14

■意見抜粋

【良かったこと】

- ・子育てをして自分も色々な経験を通じ成長できて良かったと思っています。保育園に通っている間は、そう感じませんでしたが、小学校へ行くようになると共働きの家庭では学校行事等参加するのが難しいよう思います。
- ・幼稚園の仲間や父兄と様々な体験をして親密につき合え、親子とも成長できた。地域の方々とのおつき合いで世代を越えて親しくできた。

【困ったこと】

- ・子どもは産まれてきてくれて本当に良かったと思いますが、母子家庭で、金銭的に余裕のない中、不登校となり、子どもへの時間、仕事、お金と、大変な事だらけで良かった事が思いつかない。
- ・父子家庭のため、どうしても栄養面が偏りがちなので心配なところがあります。あと母親から受ける愛を知らないことで子どもの将来や成長に何らかの影響があるのでは？と不安です。

【助かったこと】

- ・子育てを通して、近隣や地域の方々と親しくなれた事、色々知恵を頂き助けになっています。子どもがいなかったら知らなかった事、知りあうこともなかった人ばかりだと思っています。子育てしながら私も育てられていると思う日々です。
- ・小学校の時にカウンセリングを利用しましたが、よかったです。子ども達が自由に出入りできるカウンセリングの部屋があれば、良いのにと思いました。

【経済的支援について】

- ・子どもが関わることで、いろいろなことが無料化されると助かります。子供が沢山いるので、些細なことでも助かります。
- ・いろいろな制度や支援が本当に必要な人や場所などに行き届くようになってほしい。申請や手続きを分かりやすく尚かつ臨機応変に対応してほしい。

【医療費について】

- ・中学生の医療費が補助されるようになり、とても助かります。

- ・医療費が後で返ってくる制度がわかりにくい。窓口無料にしてほしい。

【保育・学校教育について】

- ・子どもは国の宝、等しく養育できる世の中でありたい。年よりをいたわるやさしい子どもを育てるのは大人の責任。学力勉強は学校で。友だち作りの大切さを大人は子どもに、身を持って教える。劣等感のない子を目標にイジメなど無い学校に。
- ・子どもの学校生活について放課後の校庭開放をしてもらえると助かりますし、子ども達も友達と遊びやすくなると思います。

【子どもの居場所・預け先について】

- ・預けたいときにすぐ（なにかと手続きに時間がかかる）保育して預ける場所があればもっと子育てしやすいのかなあ。
- ・仕事で遅くなるため学校でもっとゆっくり放課後を過ごせるようにしてほしい。バンビーホームは保育園ぽくて子どもは嫌がっているの。

【遊び場所について】

- ・放課後や休日に友達と野球やサッカー等の球技ができる場所、広場が欲しいです。
- ・中学生の放課後の過ごし方について、学校の部活動があわなくて入っていない場合、安心して運動したりする場が地域にはなくて困っている。

【家庭環境について】

- ・子どもと共に過ごす事で素直な明るい子に育つという事と、忙しくても手作りのご飯を毎日作る事でコミュニケーションが良くなると思っています。まず、どんな事でも話のできる家族が良いと思います。
- ・親（保護者）に心の余裕があることが必要。親子がお互いに依存しすぎず、共に成長を感じることができるよう心がけたいと思います。

【地域との関わり、社会的支援について】

- ・もっと色々なサークルを作って安い料金で習い事ができる環境を作ったら良いと思います。（子ども、大人関係なく、どの年齢の人でも気軽に入れるようなものがあったら）
- ・子ども達の健やかな成長のためには、母親がゆとりを持つことが大切だと思うので、周りのあったかいサポートが必要だと思います。

奈良市子どもの生活に関するアンケート結果

平成 29 年 3 月

発 行：奈良市（子ども未来部 子育て相談課）

〒630-8580：奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号

電 話：0742-34-4804

ファックス：0742-34-4817

メー ル：kosodatesoudan@city.nara.lg.jp